

図25 土器の出土位置(IVP-45)

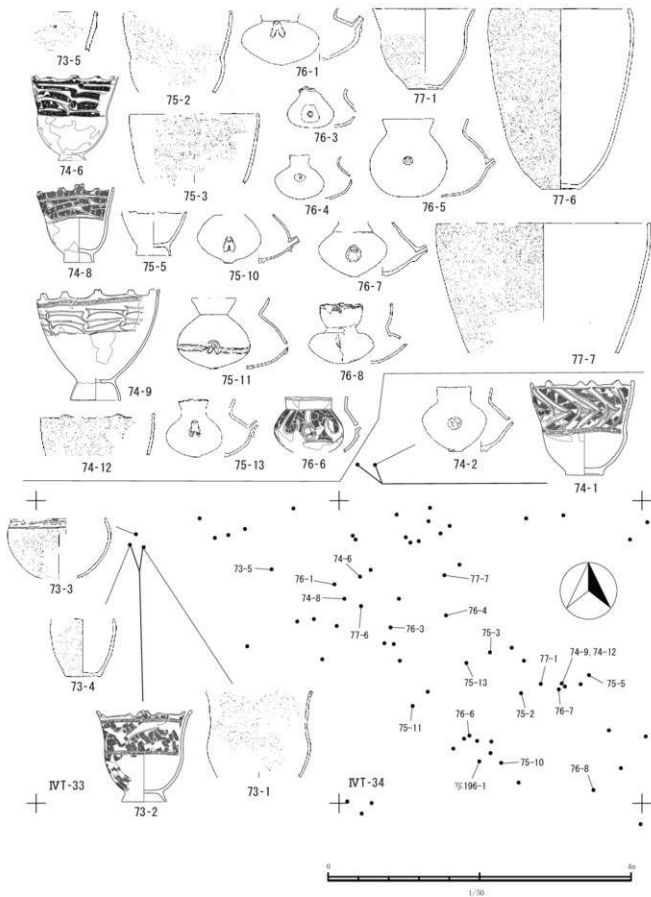


図25 土器の出土位置(IVT-33・34)

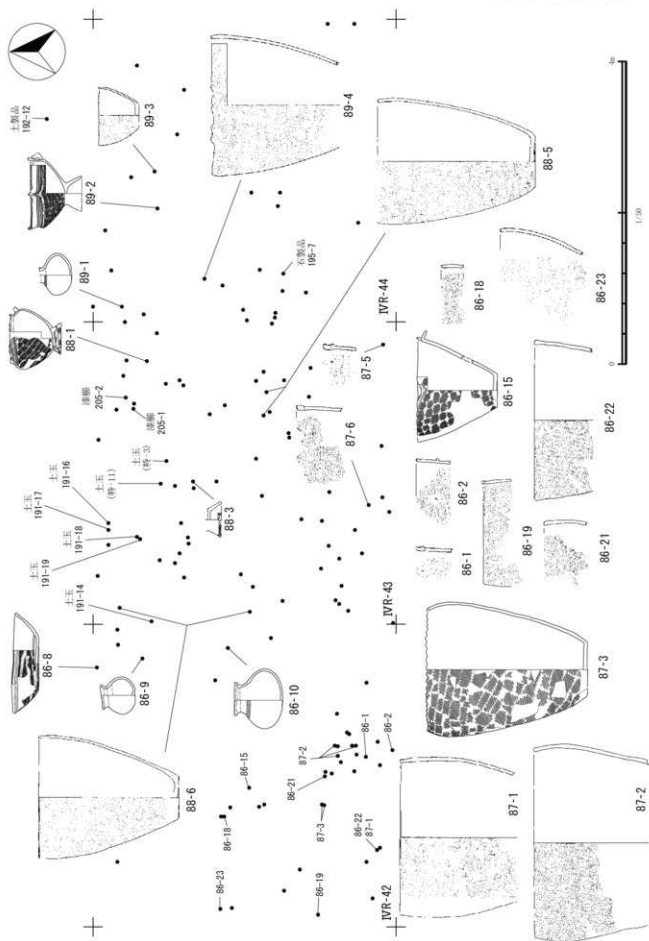


図27 土器の出土位置(IVR-42~44)

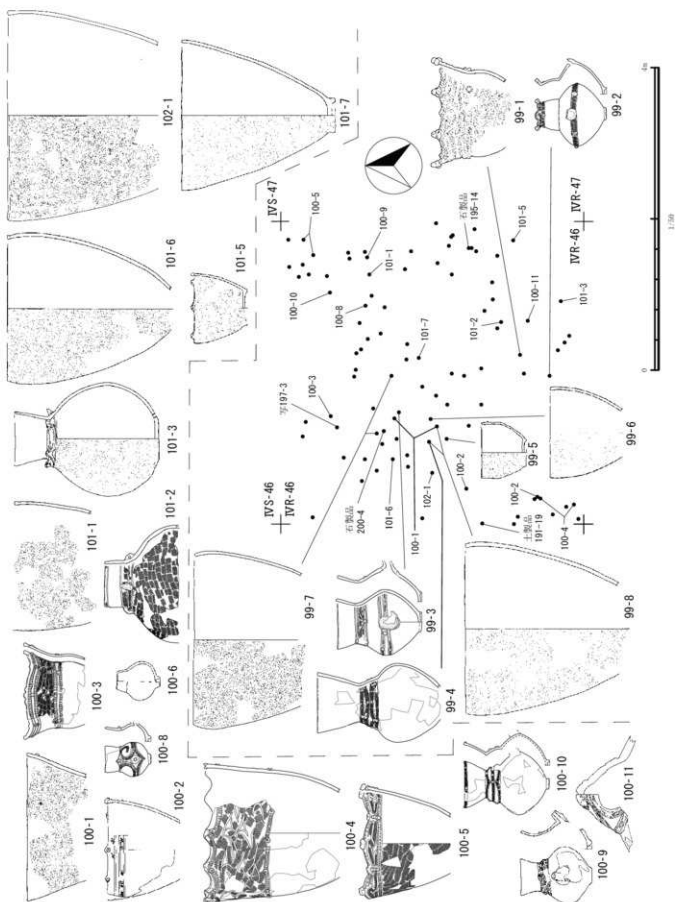


図28 土器の出土位置(IVR-46)

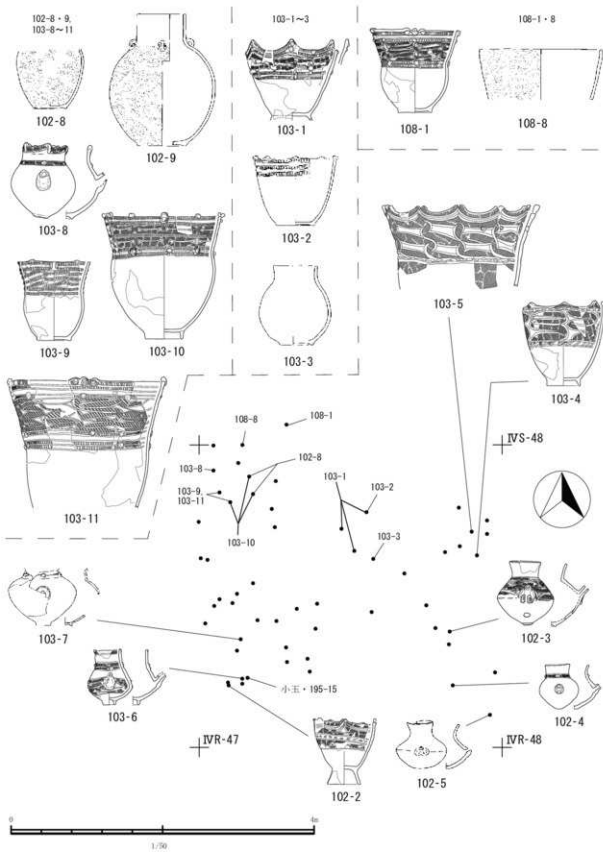


図29 土器の出土位置(IVR-47)

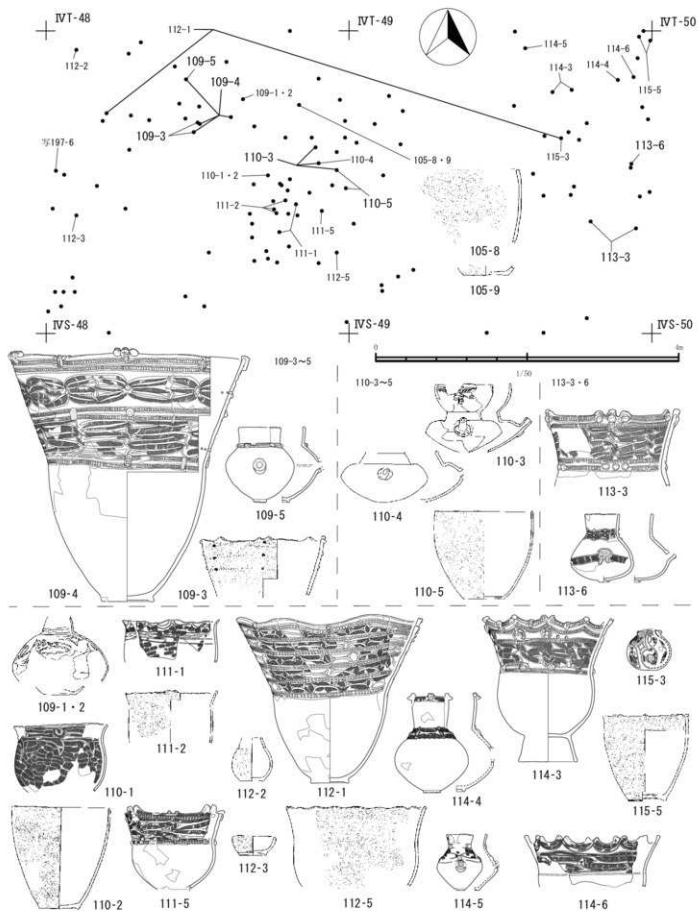


図30 土器の出土位置(IVS-48・49)

6 剥片石器・自然礫・石斧

石器の分類は、弘前市葉師遺跡の報告(青埋文編2014)に準じた。葉師遺跡は、本遺跡から距離的に近い縄文時代晩期の大集落で、石器組成の違い等を対比できるためである。しかし、平成23年度から26年度まで、複数の職員によって石器の整理が行われてきた経緯があり、細分は行わないこととした。そして、「ノッチ」(挟入削器)として台帳登録されていたものについては、削器に読み替える等整合性を図った。

ここでは剥片石器及び関連する石核転用敲石と、搬入された自然礫である原石、石斧について記述する。

【剥片石器】

剥片を素材とした石器で、掲載資料については器種ごとに分類し、観察表に記した。

- | | |
|--------|---|
| 石 鏃 | 石鏃としたものは、尖頭部をもち、先端部が薄く扁平な石器である。鏃身部先端の平面形態は基本的に二等辺三角形をなしている。掲載は尖基有茎鏃、平基有茎鏃、尖基鏃、平基鏃・凹基鏃・円基鏃・石鏃未成品(加工から石鏃と思われるが、形状が整わないもの)の順とした。 |
| 石 槍 | 尖頭部をもつ石器の内、左右対称形であり、石鏃と比較し大形で厚手のある石器である。 |
| 石 錐 | 尖頭部をもち、その断面形が三角形もしくは四角形の石器である。石鏃の先端部が比較的扁平であるのに対し、石錐は厚手である。摘みみを有する形態、棒状形態、剥片の一端に錐状の加工を有するもの、錐部断片の順に図示した。 |
| 石 鏟 | 両面加工でほぼ左右対称の細長い形状で、長軸一端に直交する刃部が作出されている石器である。 |
| 両面調整石器 | 形状が整わず、器種の特定できない両面調整の石器を一括した。 |
| 石 匙 | 素材剥片の一端に一对のえぐり加工をいれ、つまみ部を作出し、刃部と判断できる縁部をもつ石器である。つまみ部の位置から縦方向に長い刃部を持つ縦形石匙、横あるいは斜め方向に刃部をもつ横形石匙の順に図示した。 |
| 搔 器 | 急角度の刃部をもつ石器である。刃部の平面形態は外湾もしくは直線状である。 |
| 削 器 | 刃部と判断できる縁部をもつ石器である。 |
| 両極石器 | 対向する縁部から、バルブが発達せず、リングの密な二次加工や階段状剥離の二次加工で形成されている石器である。 |
| 二次加工剥片 | 部分的に加工がみられるが、器種を特定できない場合を二次加工剥片とした。大半は貝殻状剥離がみられる。 |
| 異形石器 | 機能よりも、デザインを重視して加工がなされていると判断される石器である。人・動物・三日月に類した形状などがある。黒曜石や鉄石英、玉髄など、色の付いた石材のものが一定量含まれる。 |
| 微細剥片 | 剥片の縁部に微小剥離痕がみられる石器である。 |

- 石 核** 目的的剥片を剥離したと思われる石器である。そして敲石類のうち、珪質頁岩製のものの多くは、石核を転用したと判断されるため、石核に続けて図示した。他の敲石と同様に、礫石器の中におき、縮尺率を3分の1にすると、小さな剥離の読み取りは難しい。また石器の変形を示す例となるため、石核としての履歴を考慮し、本報告書では剥片石器の中で記載することとした。
- 剥 片** 二次加工や微細な剥離痕の認められない一群である。アスファルトが付着した資料も含まれる。特に微小なもの(碎片)は、図示していない。

【自然礫】

加工・使用痕のない礫であり、黒曜石、珪質頁岩などの原石、くびれ石や水晶などの搬入礫が該当する。原石や水晶片は図化を行わないが、一部は、写真撮影を行った。

【石斧】

磨製石斧と打製石斧に分類した。

打製石斧 剥片や礫を素材とし、形状は細長い形態であり、石筥に類似する。打製石斧の刃部は剥離基部が大きく深くえぐれた剥離で構成され石筥の刃部加工と異なる。そして、より大形で厚みがあり、石材が粗粒玄武岩など、礫石器の素材となる石でも作られている。

磨製石斧 研磨で最終的に整形し、長軸の一端に直交した刃部をもつ石器である。

【遺構外出土石器】

今回報告の区域は、縄文時代後期末から晩期にかけての土器に伴う限られた時間幅の資料であり、第1層とした表土出土の石器についても、時期は同一である。そのため各層のものと、遺構構築時及び機能時のものとは限定できない柱穴出土の石器を一括して図示した。

石 鏃 (図119～図123)

尖基有茎鏃が多く、凹基は少ない。石鏃ではアスファルトが完成品の指標となるため、付着するもの(図119から図120-50)から図示した。長幅比、全長と茎の長さの比率、加工部分の比率などに着目すると類型化できそうなものがある。例えば図119-29・30・32のように茎が長く、基部へ向かうラインが丸みを帯びる物がある一方で、36・39・47のようにラインが角張るもの、図119-8・120-21のように刺突機能部の短いものなどがある。特筆すべきものとして、図119-9・15のように全長1.5cm前後の小形のものがあることである。これは、石核のなかに全長2cm程度の小形のものがあることと対応している。

図120-52～56は黒曜石製石鏃である。黒曜石製のものは、珪質頁岩製のものと形状では特異ないが、全体的に小形である。また、その石質のためか、アスファルトの付着は確認できない。53は石鏃にも類する。しかし珪質頁岩の産地では石鏃に、軟らかい黒曜石よりも、より硬い珪質頁岩や

玉髄が選択される傾向にあるため石鏝とした。図121-1～図123-17はアスファルトの付着は明確に確認できないが、形状が整っており完成品の可能性があるものである。図123-14は、ほぼ正三角形で、本遺跡の多くの石鏝と形状が異なる。図123-16～17は剥片の周縁を急斜度で加工して三角形の先端を作り出している。図123-18～35は石鏝未製品の可能性がある。32のように側縁が非直線的なものや左右非対称な一群である。図123-36～47は未製品とした。42は平坦な剥離で押し剥離によると思われるが先端部の作り出しが弱い。43～47は欠損部分を持つものであるが、加工途中の欠損の可能性がある。他は加工部分が少ないものの、形状と加工から石鏝との関係を推定し、石鏝未製品とした。

石 槍 (図124)

横長剥片を素材としたものが多いため厚みのあるものが多い。縦長剥片が多い石鏝と異なっている。図124-10・14～17は縦長剥片素材である。17は、素材剥片の湾曲が側面に現れている。12・13のように石鏝未製品の可能性があるものもあるが、厚みがあるため本類とした。

石 錐 (図125～図127)

つまみを有する形態、棒状形態、剥片の一端に加工したものがある。つまみを有するものは、つまみ部分が左右非対称のものが多い。図125-1～5のように、上辺が錐先に対して斜めに位置するものがある。うち1・3～5は上面に礫面が残る。礫面を持つ横長剥片のより厚みのある礫面側をつまみ部にしているものである。一方で、図125-9・12のように打面側がつまみ部となっているものがある。棒状のものは、摩擦がみられるものが多い。摩擦は両端に残るものもあるほか、観察表に明記したものの以外でも可能性を感じさせるものが多い。剥片の一端に加工したもの(図127-44～50)については、つまみを持つものと同様に摩擦が観察できるものが少ない。

石 篋 (図128～図129-12)

図128-1～3、図129-1のように、基部等に光沢をもつものがある。図128-1～3のように縦長剥片を素材とするもののほかに、図128-4・6・10・図129-9のように横長剥片素材のものがある。大きさや形状の変異が大きい。長さが4cm前後の小型のものでは、図129-6・10・12のように刃部が半円状となるものがある。

両面調整石器 (図129-13～図130)

石槍や石篋の未製品の可能性があるものが多い。側縁は非直線的であるが、さらに細部を加工すると削器・搔器への変形も可能である。図130-10は端部に光沢があるが、他の剥離面より風化度が古い。礫面の可能性があるが、周囲の礫面より新しい。刃部は未形成である。図130-13は石篋のように中央上部に光沢があるが、側縁・下部共に細部加工がなされていない。石篋の刃部が欠損し、再加工のために裏面の下辺から剥離加工を行った可能性もある。しかし、刃部の作り出しはなされておらず、本類とした。

石 匙 (図131～図143-7)

図131から図134-14までは縦形石匙である。うち図133-4までは、縦長剥片の打点側につまみ部を加工したものである。図133-5～7は横長剥片素材、図133-8～図134-14は素材剥片の末端につまみ部を作り出している。一方向から連続して生産された縦長剥片を素材としたものが図131-22や図133-11、図134-7のように散見される。図134-15～図143-7は、つまみ部が刃部の斜め及び横に作出された横形石匙である。長さや幅が5cm未満のものは、抉り部にアスファルトの付着するものがほとんどみられないが、5cm以上のものでは図133-1・2・7・9等のように付着するものがある。

図134-2～7をはじめとして、加工がつまみの作り出しを中心として、刃部にほとんどみられないものが多数存在する。素材剥片の形状をとどめているため、石核との対比ができる。また、つまみ部を素材剥片の、どの部分に作り出すのか把握できる。そのため図示点数を他のものより若干多とした。

また、つまみ部を二つものものが、上下(図132-6)に位置するもの、左右(図137-15、図138-2)に位置するものがある。つまみ部については、刃部に向かない礫面付近の軟質部に作り出したもの(図138-3など)、礫面をつまみ部の上部に残すもの(図138-11など)がある。

掻器・削器 (図143-8・図143-10～図146-18)

図143-8は中央部に、10は刃部にアスファルトが付着している。図146-4も同様であるが、刃部に付着するものは、その掻き取りに使われた可能性がある。図143-11は、石刃状の縦長剥片の末端を腹面側から折り取るように加工して、側縁を刃部としている。図144-1～4は掻器である。1・3の側縁は削器としての加工がなされている。縄文時代草創期に類似する形状のものがあるが、両者とも特に風化が進んでいるということはないため、後期末から晩期の掻・削器の多様性のなかで理解したい。また、素材剥片が礫面や礫面付近の軟質部を持つ場合、図145-1・2のように凝灰岩質の軟質部をさけて、珪質頁岩の良質な部分を刃部としている。図146-5～8は、一側縁にアスファルトが付着した削器である。秋田県平鹿遺跡など秋田県内に類似が多いが、本遺跡周辺では弘前市薬師遺跡から同様のものが出土している。図146-9は石槍状の大きさであるが、正面右側の側縁付近に表裏とも光沢があり、同様の削器と考えられる。

両極石器 (図146-19～図147-3)

図146-19は基部付近の断面が逆台形状であり、基部正面側が両極打法により加工されている。20は正面下側が礫面に近い比較的軟質の部分であり、楔としての使用よりも、両極石核の可能性もある。21は側面の厚みがなく、両極剥片の可能性もある。

図147-1は対向する2辺に両極打法に伴う剥離痕がみられるが、刃部は未形成である。器体を薄くする加工に両極打法が使われたと考えられる。2は正裏ともに上部に階段状の剥離が顕著である。下部に対向する階段状の剥離がないことから、下端部が削片として割れ落ちて、欠損した可能性がある。3は上下に階段状の剥離がみられる。

二次加工剥片 (図147-4～図148)

図147-5～図148-3は石鏃・小型削器・石錐の未成品の可能性がある。石鏃未製品の可能性があるが、目指す器種は特定できず、小型削器の可能性があるものも含む。図148-7・8は、器体中央に向かい合う挟り加工を持つ。図148-11～17はアスファルトが付着している。刃部に付着するものは、その掻き取りに使われた可能性がある。

異形石器 (図149)

図149-2は上部を欠失しているが白に近い黄灰色であり、突起の存在から異形石器とした。図149-3～6、8は人が動物の形を意識していると思われる。図149-19はサメの歯の形に、そして秋田県増田町八木遺跡で命名された「嘴状石器」の中の一部に類似する。基部形態は異なるが、基部にアスファルトの付着したものが青森市三内丸山遺跡の第9次調査区(縄文時代中期後半)から出土している。

図149-20は、石核を素材として、中央部に左右から加工している。実用性をもたせた加工とすると、石錘への転用品の可能性がある。しかし、中央の断面の線付近を中心にして上下でほぼ線対称となるので、本類においた。

微細剥片 (図143-9・図150)

微細な剥離痕のある剥片のうち、大形のものとしてアスファルト付着のものを中心に図示した。図150-2の打面は非常に小さく幅6mmである。図150-6は、石刃状の縦長剥片を素材としているが、剥片剥離軸は非直線的である。

石核及び石核転用敲石 (図151～図160)

図151-1～15は黒曜石製である。原石は大きなものでも10cm未満と考えられ、礫面が残るものが多い。2・11は最後に上下から、14は左右から両極打法で剥離した痕跡が残る。図151-16～図153-4は縁辺から求心的に、剥片を剥離していくものである。剥片剥離は、全体として裏面の礫面に向かって進行する。長さが数cm程度の小形の石核の多くは、礫面からの淡黄色(2.5Y8/3前後)の軟質部が1～2cm内部に続くものがあり、軟質部が近づいた時点で剥離が終了するものが多い。図153-5～9は両刃礫器状に交互に剥片を剥離している。6は軟質部と正面左側の節理を避けながら剥片が剥離されている。図154～図158-9は、求心的な剥片剥離を基本としながらも、打面転移を頻繁に行うものである。そのうち図157-1～5は、最終形の一端が尖る部分を持つ。

図158-1・6～9のような小形の石核が、原石の小さな黒曜石ばかりではなく、珪質頁岩にも存在する。これは、石鏃の項でもふれたように長さが1.5cm～2cm程度の小形品(図122-45～47など)と対応するものと考えられ、小さな剥片でも目的剥片となりうる。

図158-10～図160は、石核を転用した敲石である。珪質頁岩の礫を直接敲石として使用し、剥落が生じたものと事実上の区分がつかない。しかし、それらは少数であると判断されるため、一括して取り扱う。図158-11のようにごく一部のみ敲打痕がみられるもの、図159-5のように剥離が敲打痕からの剥落を主体とするものがある。図159-2は、ほぼ全面が敲打痕におおわれている。

剥片・接合資料 (図161)

図161-1・2は同一グリッドから得られた接合資料で、1は5点の、2は3点の接合品である。1と2は、同一母岩であるが、両者をつなぐ剥片がなく、接合しない。図161-3は、両面加工の石器の製作途中で生じるポイントフレイク、図161-4は黒曜石製の両極剥片である。図161-5～14は、アスファルトの付着する剥片である。その掻き取りに使われたためか、縁辺を中心にして付着している。

自然礫

加工・使用痕のない礫であるが、搬入品として選択されたと考えられる。

黒曜石、珪質頁岩などの原石、水晶、赤色顔料塊なども含まれる。これらは図化を行わなかったが、一部は、写真218で掲載した。

打製石斧 (図162)

図162-1は緑色凝灰岩製であるが、硬質である。図162-2は正面の礫面に若干の光沢があるが、使用に伴うものか不明である。また、基部は長く、袈りの形成される部分の両側縁は潰れが顕著である。図162-3は、粗粒玄武岩製で正面の礫面の刃部付近に摩耗が認められる。

磨製石斧 (図162-4～図165)

粗粒玄武岩、デイサイト、砂岩、凝灰岩、緑色凝灰岩の石斧を先に置き、遠隔地石材である緑色岩製のものを図165-2～10に置いた。

黒曜石製石器

黒曜石については、今回の刊行範囲内で1,029点以上出土している。今回の報告では石鏃5点、異形石器2点、石核、微細剥片及び剥片の一部を掲載した。内眼的にはつがる市出来島産(岩木山系)のものが多数を占める。産地分析は今後、遺跡全体を見渡したうえで試料を選定し、実施する予定である。分析を終え、最終報告書のなかで今回報告範囲についても遠隔地産のものなど必要な石器の図示や写真掲載を行う予定である。

原石は円礫・角礫両者の利用が認められる。近隣の大川添(4)遺跡では黒曜石剥片が早期前葉の深浦産の1点を除き出土しておらず、本遺跡とは対照的である。

写真図版で紹介した石器 (写真217・218)

写真217・218は写真図版での紹介資料である。原石、アスファルト付着品、礫面付近の軟質部分を持つ珪質頁岩の部分を生かした削器、ジャスパーなどの色鮮やかな石材を用いた石器などを中心に紹介する。主に写真での紹介に適した資料であるが、一部、図化予定を変更したものを含む。写真217-1・2は、主に正面側の縁辺を加工して整形した石鏃で、図123-16・17と同類である。写真217-4は長さが約1.5cmの小形の石鏃である。写真217-5は鉄石英製の石錐の基部である。写真217-6～8は、アスファルト付着品である。7・8は、つまみ部に相当する基部に加工がある。石鏃の未成品のようにも見えるが、横型石匙と同様のアスファルトの付着痕跡を持つ。(齋藤)

7 礫石器

分類基準は以下のとおりである。

- 磨石** 磨面を主体とするもの
 円礫、楕円礫、俵状の形態で、器面には滑らかな磨痕が見られる
- 1類 磨痕のみ
 A：片面に磨痕 B：両面に磨痕
- 2類 磨痕＋アバタ状の打痕(1類の磨痕の中にアバタ状の打痕が見られるもの)
- 3類 磨痕の中に凹孔が見られるもの
- 4類 全面に磨痕；円礫
- 5類 トチノキ石に似る
- 6類 スリコギに似る 棒状礫の端部に磨痕(敲石の形態)
- 7類 扁平磨石またはこれに類似した石器
- 8類 上記以外
- 敲石** 敲痕を主体とするもの 敲打痕と凹痕との区分は凹の深さによる
- 1類 扁平礫、棒状礫の端部に打痕
- 2類 小礫素材で扁平気味の円(楕円)礫の平坦面に打痕
- 3類 扁平礫、楕円球状礫の片面にアバタ状の打痕。凹石的でもある
- 4類 端部が丸みを持つ円柱状、俵状の形態の石器
- 5類 平面が隅丸長方形で厚みのある石器で4面に打痕
- 6類 円礫素材で、周縁に打痕
- 7類 扁平礫の側縁に打痕(磨石形態)
- 8類 全面打痕のもの
- 凹石** 凹痕を主体とするもの
- 1類 凹孔のみが見られる石器
 A：1面に見られるもの B：2面に見られるもの C：その他 3面以上
- 2類 凹孔＋磨痕
 A：1面に見られるもの B：2面に見られるもの C：その他 3面以上
- 3類 凹孔＋敲き痕
 A：1面に見られるもの B：2面に見られるもの C：その他 3面以上
- 石皿** 磨面が中心となる板状の大型礫石器
- 1類 板状節理の素材を利用 薄板状で割れやすい
 A：片面利用 B：両面利用
- 2類 1類以外の素材とする石皿で周縁に縁が見られるもの
- 3類 1類以外の素材とする石皿で縁のないもの
- 台石** 敲打痕が中心となる板状大型礫石器
- 砥石** 筋状や湾曲のある平滑面をもつ板状もしくは不整形の石器

磨石 (図166～図168-7)

磨痕を主体とする石器である。237点出土した。これには、球状(円礫)礫や厚みのある円礫、楕円礫等の器面に磨痕が見られるものほか、扁平・棒状・柱状礫等の器面や端部に磨痕が見られるものがある。多数を占めるのは、厚みのある円礫や楕円礫の片面あるいは両面に磨痕が見られるものであるが、両面に見られるものが多い。また、磨痕とともに線状痕やアバタ状の打痕ないしは凹孔が見られるものもある。これらの磨石の中には赤色顔料の付着が見られたものは8点あるが、これについては後述する。

扁平礫を素材としたものは一般的に扁平磨石と呼ばれているもので、側面に磨痕あるいは打痕、平坦面には凹痕(凹孔)が見られる。棒状あるいは柱状礫の類では、端部に磨痕が見られる(図168-5～7、図1-26[SI02出土])。このうち、図1-26・図168-7はトチノキ石(あるいはトチムキ石)に似た石器である。石材には11種類が認められた。多い順に記述すると安山岩95点、凝灰岩40点、花崗閃緑岩31点、緑色凝灰岩25点、粗粒玄武岩23点、デイサイト12点、玄武岩4点、斑岩4点、流紋岩1点、閃緑岩1点、礫岩1点である。

凹石 (図168-8～図174-5)

凹痕を主体とする石器である。591点出土した。礫石器の中で半数近くを占めている。大半は扁平礫を素材とするものであるが、厚みのある円形、楕円形の礫や棒状礫のものを用いているものもある。凹痕は扁平礫の両面に見られるものが多数を占めているが、片面にのみ見られるものもある。また厚みのある礫や棒状礫の中には、3面以上の面に凹痕が見られるものもある。凹痕の数は2個から3個見られるものが多いが、中には多数の凹痕が連なって溝状を呈しているものもある。また、両面に凹痕が見られる場合は、表裏面の対応する位置に見られるものが多い。凹痕の深さには、1mm前後の浅いものから10mm前後の深いものまでであるが3～6mm前後のものが多く、中にはすり鉢状を呈しているものも相当数みられる。石材には10種類が認められた。緑色凝灰岩302点、安山岩の126点、凝灰岩91点、粗粒玄武岩38点、デイサイト24点、流紋岩1点、玄武岩4点、斑岩2点、ひん岩2点、砂岩1点である。

敲石 (図174-6～図174-25)

敲打痕を主体とする石器である。104点出土した。中には、敲打痕と凹痕との区分が紛らわしいものもあるが、ここでは凹みの深さによって区分した。敲打痕は、円礫の全面や側縁、扁平礫の平坦面や端部・側縁、棒状礫の端部等に見られた。また、凹痕の周辺には滑らかな磨痕が見られるものもある。石材には8種類が認められた。安山岩33点、花崗閃緑岩15点、凝灰岩21点、緑色凝灰岩17点、デイサイトの10点、玄武岩1点、粗粒玄武岩6点、閃緑岩1点である。

石錘 (図175-1～4)

4点出土した。扁平礫を素材とし、長軸側縁に袂りをいれたものと短軸側縁に袂りを入れたものがある。石材は、安山岩1点、粗粒玄武岩2点、凝灰岩1点である。

礮 器 (図175-6~9)

5点出土した。棒状に加工したものや、角礮の一端に刃部を作出したもの、円礮の一端に刃部を作出したものがある。石材はデイサイト2点、珪質頁岩3点である。

砥 石 (図175-10~図176-4)

筋状や湾曲のある平滑面をもつ板状もしくは不整形の石器である。6点出土した。筋状の痕跡を持つものは、いわゆる有溝砥石と呼ばれるもので、3点出土した。図175-10は板状の礮を素材としたもので、3本の溝状の砥ぎ痕が見られる。石材は安山岩である。図176-1は、全面に他方向からの砥ぎ痕が見られるもので、研磨による消耗度が激しい。石材は凝灰岩である。図176-2は板状の礮を素材とし、溝状の砥ぎ痕が斜交するようで見られる。石材は凝灰岩である。図176-3・4は板状の礮を素材とし、3は片面、4は両面に平坦な砥ぎ痕が見られる。石材は凝灰岩である。このほかに、SN39から出土した石皿の裏面には砥石として利用されたと思われる溝状の痕跡が見られる。

石 皿 (図176-5~図179-5)

石皿は板状節理の板状礮を利用したもの、大型の礮を利用したものがある。前者の石質は安山岩およびデイサイトであるが、厚さ2~3cmの薄板状で、割れやすいという特徴がある。そのため形状には一定のものはなく、破片となっているものも多い。片面を利用したものと両面を利用したものがあるが、前者が多い。なお、この類の石皿は大小含めて47点出土しているが、個体数は不明である。大型の礮を素材とするものには、周縁に縁が見られる有縁の石皿と無縁の石皿がある。191点の出土があるが、前者は27点、後者は121点で、どちらに属するか不明な破片が43点である。また完形品は前者が27点中4点、後者は121点中27点で、破損品が多い。赤色顔料の付着が見られた石皿は14点であるが、これについては後述する。また、黒色のタール状物質の付着が見られたものは2点ある(図177-2、図178-4)。石材には9種類が認められた。最も多いのは安山岩の140点であるが、これは前述の板状節理の破片が多いためである。これ以外では緑色凝灰岩55点、凝灰岩18点、デイサイト12点、花崗閃緑岩6点、礮岩2点、粗粒玄武岩2点、斑岩2点、閃緑岩1点がある。

台 石

62点出土した。石材には5種類が認められ、多い順に安山岩27点、緑色凝灰岩26点、花崗閃緑岩4点、デイサイト3点、凝灰岩2点である。

赤色顔料が付着している石器 (図180・181)

赤色顔料が付着している石器には磨石、凹石、石皿がある。このうち、図180-7~9の石器に見られる赤色顔料は器面のごく一部に痕跡的に見られるものであり、使用に伴って付着したかどうか疑わしい。また、同じことが石皿の破片にも見られるものが1点ある(未実測)。これらの4点を除くと、使用に伴って顔料が付着したことが確実な石器は磨石6点、石皿13点である。ほとんどが遺構外から出土したもので、遺構に伴って出土したのは第9号配石遺構(SQ09)の石皿1点のみである。

使用によって赤色顔料が付着した磨石は、厚みのある円礮、楕円礮を素材としている。顔料の付着

は、器面の全面に見られるもの(図180-3)や平坦面の両面と片面に見られるものがある。図180-1では片面に顕著である。図180-2は平坦面にも痕跡的に見られるが、とくに側縁に顕著である。図180-3では両面を中心に見られるが、とくに凹みのある面に顕著で、裏面では薄く痕跡的である。図180-5は両面の磨痕を中心として見られる。図180-6は平坦面よりは側縁部に顔料の付着が顕著である。石材はデイサイト、凝灰岩、緑色凝灰岩、斑岩、花崗閃緑岩がある。

石皿は13点のうち、板状節理の素材を用いたもの9点と無縁の石皿4点に赤色顔料の付着が見られた。図181-5は中央のくぼんだ面に薄く見られたがその周辺では馬蹄形状に色濃く見られ、開いた部分ではこれより若干薄く見られる。

さて、上記の石器は赤色顔料そのものが付着した例であるが、図181-3の場合はいくぶん様相が異なっている。板状礫の表面には樹脂状の赤色と黒色の物質が斑状に、そうでない部分では赤色顔料や黒っぽい煤状の物質の付着が観察できる。分析していないので不明であるが、樹脂状の物質は赤漆と黒漆の可能性があり、この板状礫はパレットとして使われた可能性がある。石材は安山岩である。

(畠山)

表5-8 礫石器の組成

石 材	磨石	凹石	敲石	石錘	礫器	砥石	石皿	台石	小 計
流紋岩	1	1	0	0	0	0	0	0	2
デイサイト	12	24	10	0	2	0	12	3	63
安山岩	95	126	33	1	0	2	140	27	424
玄武岩	4	4	1	0	0	0	0	0	9
斑岩	4	2	0	0	0	0	2	0	8
ひん岩	0	2	0	0	0	0	0	0	2
粗粒玄武岩	23	38	6	2	0	0	2	0	71
花崗閃緑岩	31	0	15	0	0	0	6	4	56
閃緑岩	1	0	1	0	0	0	1	0	3
砂岩	0	1	0	0	0	0	0	0	1
礫岩	1	0	0	0	0	0	2	0	3
凝灰岩	40	91	21	1	0	4	18	2	177
緑色凝灰岩	25	302	17	0	0	0	55	26	425
珪質頁岩	0	0	0	0	3	0	0	0	3
点 数	237	591	104	4	5	6	238	62	1,247
割合 (%)	19.0	47.4	8.3	0.3	0.4	0.5	19.1	5.0	100.0
重量 (g)	165,926	239,245	58,411	491	3,432	8,681	872,681	252,310	1,601,177

※石皿は破片数もカウントしていることから、この数字が個体数を表すものではない。

とくに割れやすい板状節理を素材とする石皿には多数の破片がある。

8 土 製 品

土偶は、顔の表現・全体的特徴から、後期末から晩期中葉ごろに比定される資料である。他の土製品も出土状況などから、当該時期のものと思われる。

土 偶 (図182～188)

図182-5は中空の遮光器土偶である。頭に角状の突起の形をした髪飾りが形成されている。眼部と口部ともに隆帯で楕円形に囲んで表している。眼部には隆帯部分の上に刻みが施されている。後頭部には透かし孔がある。体部の正面側には両肩から推定で臍にかけて三角形の隆帯がみられ、隆帯の上に刻みが施されている。下半身は欠損している。江坂輝弥(1960)の第4類土偶、藤沼邦彦(1997)の角状の突起がついた土偶に相当する。図182-1や図182-2は、同じ種類の遮光器土偶の右眼部分である。図182-4は角状突起である。図182-8は口である。図182-6は小形の遮光器土偶の頭部である。顔面は欠損している。図182-7は土偶の部品と思われる。図182-3は遮光器土偶の右眼である。

図183-1は中空の大形土偶である。胴部に比して頭部が大きい。眼部と口部ともに隆帯で楕円形に囲んで表している。口部は穿孔があり、内側に貫通している。頭頂部に開口部がある。背中には沈線が入組文風に文様を描いている。下腹部(臍部)は出ている。図183-2は遮光器土偶の頭部から背中にかけての部品である。図183-4は中空土偶の右肩、図183-3は中空土偶の脚部である。

図184-1は遮光器土偶の下半身部分と思われる。体部中央下より臍を表現したと思われる突起がついている。下面には穿孔があり、内部とつながっている。図184-2～8は土偶の部品と思われる。一部は図184-1と同一個体と思われる。

図185-1は中実土偶の頭部である。吊り上った眼をしている。眼部と口部ともに隆帯で楕円形に囲んで表している。眼部の隆帯部と、頬部、頸部、髪飾り部の沈線で囲まれた範囲に縄文が施文され、さらにこの部分は赤彩されている。環状の耳が付き、中央には孔がある。図185-2は上述の頭部と同一個体と思われる上半身部である。背中に入り組んだ三叉文状の文様が展開している。肩や肘などの関節部が肥厚し、縄文が施文されている。この肥厚部に顕著に赤彩がのこされているが、沈線内にも残されている部分があるので、本来は全面赤彩されたと思われる。図185-3、図186-1はその腕と推定される。

図186-2は土偶の頭部である。吊り上った眼を表現しているなど、頭部の作りは図185-1と類似している。眉、頬、髪の部分に縄文が施文されている。首部分の内部が空洞であり、口の孔とつながっている。図186-3は腕部であろうか。

図187-1と図187-3は小形の中実土偶である。図187-3は体部中軸に貫通孔がある。図187-2は胴部であり、妊娠線と思われる中軸の沈線がある。その部分に赤彩がみられる。また左腕の破損部に、黒色の付着物がみられる。アスファルトであろうか。

図188に掲載されているのは土偶の部品である。1～5は髪飾り、6・10は腕部、7～9・11は不明部分である。

耳飾り (図189～191)

臼形(図189-1～5)が出土しており、図189-1は玉抱き三叉文の文様を持つ赤彩の耳飾りである。図189-2は弧状の沈線文と、弧状モチーフの間4か所と耳飾りの中心に小孔がある。沈線内に赤彩が残されている。図189-3と図189-4と図189-5は素文である。図189-3以外は中心に孔がみられる。

中心に孔のない車輪形(図189-6～10)について、図189-8は刺突文があり、刺突部に赤色の顔料が付着している。鼓形(図189-11・12)も出土している。

中心に孔がある環状の耳輪(図189-13～17、図190、図191-1～4)があり、大半は素文である。図189-14、図189-17、図190-1など刺突文や沈線文モチーフのものもある。

断面が三角形のさらに薄い環状の耳飾りと思われる多数の断片資料が出土している(図190、図191-1～4)。

1点耳栓形態の耳飾りが出土している。

玉 類 (図191)

赤彩の玉が出土している。図191-5、図191-6など突起をもつ星形、図191-7、図191-8など歯車形状の玉、側面に沈線で螺旋状のモチーフを持つ図191-9などがある。図191-5はそれぞれIV Q-45、IV V-33と20m近く離れた地点から出土したものが接合している。図191-11、図191-12は勾玉状の小さな玉、図191-13～18は小形の土製の玉である。すべて赤彩されている。

垂飾品 (図191)

図191-19はイモガイを模した垂飾品である。

ミニチュア土器・その他(図192)

ミニチュア土器として、壺、注口土器、鉢などが出土している。図192-12は棒状の芯に隆帯をつけ、C字文風モチーフを表現している。他に不明瞭な土製品が出土している(図192-13～18)。

土製円盤 (図193～194)

縄文地文の素材が多く、数点底部を素材としている。図193-4、図193-30、図194-6などは文様部分が土製円盤に加工されている。

(高橋)

9 石製品

石製品と選別したものは総数452点出土した。下記のとおり形状や加工状態などの特徴により分類し、記述する。なお、各分類の分布状況には際立った特徴は認められず、対象範囲の南東と南西隅付近を除く範囲に広く分布している様子が見られた。

岩版類 (図195-1~10)

板状の凝灰岩等の軟質な石材を用い、器表面に整形時の擦痕と沈線による文様が見られるものをまとめた。

図195-1~6はいわゆる岩版に分類されるものである。3が完形に近いがその他は破損している。1・3・4・6は臍または下腹部・正中線などの表現が見られるため、人体をイメージしていると考えられる。6の正面中央部には黒色物質が付着している。主な文様としては入り組み文や渦巻き文の他、3では三角形の文様なども見られる。1と4では背面の表現も積極的にされているが、その他では擦痕が見られるだけである。

図195-7~10は表面に十字・放射状その他の沈線が見られるものである。7の沈線は縦横ともに全周している。8の沈線は表面のみ施文されている。9の正面には細く浅い沈線が主に下半部に見られる。10の正面の沈線は、最初に中心部を通る十字が施文され、その後放射状の沈線が施されている。

有孔石製品 (図195-11~30)

緑色凝灰岩、凝灰岩、軽石等の石材を用い、器体の一箇所ないし複数箇所に貫通孔ないし盲孔が見られるものをまとめた。

図195-11~21は玉類とその未成品と考えられる。翡翠や緑色凝灰岩等を素材とした直径1 cm程度の玉である。図195-11~16は完成品で、孔が貫通している。11と12は片側から穿孔されているが、その他は両側からの穿孔である。17は盲孔であるがほぼ完成品である。18~21は素材に穿孔途中もしくは素材そのものである。

図195-22~28は垂飾品と考えられる。22・23は軽石を用いている。孔は片側からの穿孔により貫通している。24は凝灰岩製である。全体形状は不明であるが、ブーメランのような形状をしている。表裏面及び側面は盲孔と沈線により加飾されており、作りは非常に丁寧である。表裏面の盲孔は形状に沿って2列あり、それぞれが表裏で対になる。また、孔の直径が大きい列と小さい列が見られ、大きい孔は貫通直前まで穿孔されているものが多い。側面には盲孔列とその間を埋めるように×状の沈線が施文されている。盲孔の内部には赤色顔料が残存している。26~28には複数の貫通孔が見られる。26と27は湾曲した素材を用い、端部や中央付近に両側からの穿孔による貫通孔が見られる。26の正面には赤色顔料が塗布されている。28は粘板岩製で扁平に整形されている。

図195-29・30は垂飾の未成品と考えられる。29はマンガンノジュールに穿孔を試みているものである。30は盲孔の周囲に敲打痕が見られる。表面には擦痕も見られる。

円盤状石製品 (図196～198)

凝灰岩・板状の安山岩・デイスイト等を素材とし、敲打・剥離・研磨等の整形により円形ないし多角形に仕上げられたものをまとめた。

図196-1～5は直径が3cm程度、厚さが5mm～1cm弱程度で全面が丁寧に研磨されたものである。横断面形状は長方形である。4の中央部には浅い盲孔が見られる。6は側面のみ研磨されており、直径が5.6cmと大きい。

図196-7～図197-11は側縁を片面からまたは両極打撃による急角度調整で整形されているものである。直径は3cm程度から、大きいものは直径9cm程度のもがあり、4～5cm程度のもが多い。平面形状は小型のものは円形を呈するものが多く、大きいものの一部に剥離が全周しないものや多角形を呈するものなどがある。概して小さいものの方が丁寧に製作されているようである。横断面形状は側縁の剥離角は急角度であるため、台形ないし長方形を呈するものがほとんどである。剥離の稜線が磨耗しているもの(図196-7・8・11・12・22)、整形剥離の後敲打調整が施されるもの(図196-17・24・32・図197-8～11)がある。また、表面に黒色物質(図196-25)や赤色顔料(図196-26)等が付着しているものもある。剥離の稜線が磨耗するものについては、裏面側の縁辺部が強く磨耗しているものが見られるが、用途を推定するための材料となるかどうかは不明である。

図197-12～図198-14は側縁の整形剥離が両面から施されることで、横断面形状が楔形を呈するものである。直径は4cm～7cm程度のもが見られる。平面形状がきれいな円形を呈するものは少なく、多角形状や楕円形状のものが目立つ。整形剥離の後に敲打調整が行われているもの(図198-5～7・11・12)がみられる。特殊なものとして、黒色物質が付着するもの(図198-4)や、表面に擦痕が見られるもの(図198-11・12)がある。

石棒・石剣・石刀類 (図199～202)

柱状ないし棒状の粘板岩、安山岩等の石材を用い、敲打や研磨整形を用い各種の形態を形作っているものをまとめた。これらは被熱しているものを多く含む。

図199・図200には体部の横断面形状が円形ないし楕円形のもの、もしくは男性器を模倣したと思われるものをまとめた。いわゆる石棒と呼ばれるものである。

図199-1・2は小型で男性器を模倣したと考えられるものである。図199-1は凝灰岩製の反りのある素材の上端付近と正面中央に沈線が施されている。沈線内には赤色顔料が塗布されている。2は砂岩製で剥離・敲打整形により上端部付近に括れが作出されている。正面には擦痕も見られる。

図199-3～図200-3は粘板岩等を素材とし、敲打・研磨により整形され、横断面形状が円形、楕円形、隅丸方形のものである。体部の一部に帯状の敲打痕や沈線による区画が見られるものもあり、柏子所型石棒と呼ばれるものを含む。図199-3・4は傘状の頭部を持つ。4の頭部には平行沈線の他に円形の沈線が表裏それぞれに2個一対施文されている。5の頭部には遮光器土偶の目のような文様が施されている。また、頭部直下には両端に貫通孔がある。図199-6・7・10・11・15・図200-2などには帯状の敲打痕や沈線が見られ、敲打痕を縁取る沈線が見られるものもある。この部分から下位が柄部と見られる。また、沈線間に×字状の沈線が見られるものもある。11は折損したものの破断面を研磨し再加工しているものである。図199-16や図200-2の先端部分には磨耗痕が見られる。

図200-4~6は大ききな安山岩等の棒状礫を用い、敲打と一部研磨により整形されたものである。被熱しているものが多い。

図201には棒状の粘板岩等を素材とし、敲打・研磨により整形され、横断面形が菱形、レモン形のものをもとめた。断面形状から石剣と呼ばれるものである。断面形状以外は図199-3~図200-3の粘板岩素材の石棒とあまり変わらない。先端部付近に帯状の敲打痕と沈線の縁取りが見られるものがあり、この部分から下部が柄部と見られる。熊登型石剣と呼ばれるものを含んでいる。1・8は折損した破断面を再度研磨整形している。6は断面形状が扁平で、下端部がすばまり柄の作出があるため石刀に分類される可能性がある。7~12の先端部は磨耗している。13も扁平であるため小型の石刀の可能性もある。

図202-1~12は粘板岩等を素材とし、敲打・研磨により整形され、横断面形が扁平、楔形等のものをまとめた。いわゆる石刀である。図202-1・2はやや大型で、刃部が内反りである。2は擦痕が明瞭である。3~5は柄頭部と見られ、括れを持つ。3と5の柄頭には2本一對の平行沈線が上下に見られる。3の背には沈線が施されている。6・7は刃部~鋒部にあたる。6は鋒が四角く、身が直線状である。7は刃部が内反りである。9には刃間がみられる。11と12は両端部が磨製石斧の刃部のように整形されている。11は両端ともに縦断面が両刃に整形されている。表面には成形段階の剥離面を残している。12は両端ともに片刃に仕上げられている。被熱し、黒色物質が附着している。

棒状石製品 (図202-13・14)

チャートや凝灰岩を素材とし、敲打・研磨により整形され、全体形が棒状のものをまとめた。図202-13は完形品で、全面研磨整形されている。特に下端部には擦痕が明瞭であり、研磨により複数の面が形成されている。14の表面は擦痕があまり明瞭ではない。

石製模倣品 (図202-15~図203-9)

軟質の凝灰岩などを使用し、さまざまなものを模倣したと考えられるものをまとめた。

図202-15~図203-5は表面の一部が緩く凹むため、容器を模倣したと考えられるものである。図202-15と図203-2は凝灰岩製である。図202-15は研磨整形されており、外面に沈線が施文されている。図203-1・3~5は安山岩や粗粒玄武岩製である。1は正面が明瞭にへこんでいる。側面から裏面の中央付近は敲打成形により帯状に凹んだ部分が見られる。正面のへこんだ部分には黒色物質が広く附着している。同様の状況は図203-4にも見られる。図203-3~5は正面がごく緩く凹んでいる。凹んでいる部分は敲打痕が見られるものもある。正面以外の部分にも敲打成形が見られる。5は横断面形が算盤玉状である。

図203-6~8は石槍を模倣したと考えられる。両面からの剥離整形が施されるため、見た目は石槍と大差ないが、素材がデイサイトと凝灰岩であり、実用の石槍とは考えにくい。8には一部に擦痕も見られる。

図203-9・10は石冠である。2点ともに凝灰岩製で、敲打と研磨整形が施される。9は弧状の側面に擦痕が見られる。また、表裏面に敲打による凹みも見られる。10は弧状に緩く湾曲する体部に突起が作出されている。突起は体部の中央からややずれた位置に作出されている。

擦痕の見られる石製品 (図204-1～13)

器表面に研磨整形痕及び擦痕が見られるものをまとめた。

図204-1～3は全面が研磨整形されている。1は長方形の板状に、2・3は細長い棒状に仕上げられている。2は裏面の2箇所に盲孔が見られる。4は円盤状石製品に似るが、楕円形を意識していることからこの類に含めた。7も同様である。4の側面には敲打痕が見られる。7は表面と側面に擦痕が見られる。

図204-5は耳飾状の石製品である。下端部がやや広がる鼓状の形状で、上下両端が凹んでいる。

図204-11の表裏面には擦痕の他、敲打による凹みも見られる。12の表面は擦痕も見られるが磨耗した状況が広く見られる。石皿のような使われ方をした可能性もある。13は岩版の可能性もある。

自然礫利用石製品 (図204-14・15)

加工痕跡は見られないが、礫に自然に開いた孔が見られるものである。垂飾品等として利用されたかどうかは不明である。

(茅野)

10 漆製品

芯の部分を使い、漆塗膜のみが残った資料が出土している。

図205-1～3は堅櫛である。破損が著しく、歯の部分は残存していない。その特徴から結糸式堅櫛であろうか。他に、写真240のJ03、J04、J06、J07など脆弱なため土ごと取り上げた資料が数点ある。特徴からこれらも結糸式堅櫛と思われる。

図205-4は藍胎漆器と思われる容器の一部である。くびれをもつ器形のため、壺の可能性が高い。小片のため復元実測はしていない。口縁の一部が肥厚しており、山形の突起をもつ可能性がある。これ以外に、写真240のJ05、J09、J12、J13など繊維の痕跡が認められ、藍胎漆器と思われる資料が数点確認されている。これらの資料は脆弱なため、土ごと取り上げた。

図105-12は土器の底部に赤色顔料(漆の可能性もある)が厚く付着した資料である。

(高橋)

11 アスファルト関連遺物

図205-5は注口土器もしくは壺形土器の底部にアスファルトが付着している。写真241A-9はアスファルトが付着している。これ以外にも図205-7、図205-6など土器片にアスファルトが付着しているものが出土している。これらの土器内にアスファルトを保存していたと思われる。

図205-8～11、写真241A-8はアスファルトの塊である。

写真197-1～7は注口土器に付着したアスファルト状黒色物質(実測図なし)。

(高橋)

12 赤色顔料原礫 (写真241)

赤色顔料については、刊行範囲では約150点出土している。主要なものは写真241の集合写真に示したが最大のものは、集合写真の左上のもので2,673.6gある。顔料採取の容易な、すりつぶせる軟質部を外側にもつもののほかに、中心部の硬い部分のみ残るものがある。また、鉄石英として石器素材との区分が難しいものがある。赤色顔料についても分析を行った後、最終報告書で、まとめる予定である。

(齋藤)

13 焼成粘土塊 (写真232)

調査区から粘土塊が検出されている。関連資料として焼けひずみのある土器(図77-3)があり、焼きは堅い。焼成失敗土器の可能性もある。

(高橋)

14 その他

コハク

透明感のある褐色の鉱物らしきものがIV T-34グリッドⅢ層で2点出土し、コハクの可能性がある。発見時には1cm未満の塊で加工痕跡はなく、取り上げ時に砕けてしまったため掲載はしていない。

焼 骨

遺跡内では細片となった焼骨が出土している。Ⅲ層で出土位置を押さえた箇所としては特-4・17・45・50・51がある。グリッドではIV 0-41・IV S-48などで出土している。いずれも少量であり、すべてを回収できたわけではない。遺構内ではPit0072などで出土しているが、直接当該遺構に伴うものとは考えていない。一部の資料について骨組織形態学的検討を行った。ヒトは含まれておらず、すべて動物骨である。また、4点について年代測定を実施中である。分析結果の詳細は、次年度以降に刊行される報告書に掲載する。

炭 化 物

Ⅲ層出土の炭化材について樹種同定を行った。同定結果は次のとおりである。

IV R-36・Ⅲ層下部・C-3：トリネコ属、IV R-55・Ⅲ層(色調うすい範囲)：ニレ属、IV R-35・Ⅲ層・P-1834下部：アスナロ。詳細は、次年度以降に刊行される報告書に掲載する。

白色粘土

基本層序で白色粘土が確認された。Pit0035では白色粘土塊も出土している。また、Ⅲ層中で塊として、あるいは土器に取められた白色粘土が出土している(写真90-4~8)。粘土塊は後期後葉~晩期にかけてのものであることは確かだが、時期が判明する土器には伴っていない。

(岡本)

第3節 縄文時代後期中葉以前の土器(図118・写真192)

報告範囲では十腰内V群から晩期にかけての土器が圧倒的に多いが、少量ながら十腰内IV群以前に属する土器が出土しており、遺跡規模が大きくなる後期7-4期より遡る時期にも断続的な土地利用があったことを示している。本節で扱う時期の土器破片は、後期7-4期以降のものと比較した際判別可能なものが多かったため、図化可能な個体についてはほぼすべて抽出できたのではないかと思っている。特定の地区で集中して出土するわけではなく、遺跡全体で散発的に出土する。包含層下部や漸移層で出土した破片もあるが、多くは後期7-4期から晩期の遺物に混じって出土している。時期別に見ると、遺構出土分も含め榎林式～最花式(中期後葉)の出土数が多い。報告範囲では典型的な十腰内V群土器は出土していないため、後期後葉の一時期に土地利用の断絶が認められる。なお、本遺跡の放射性炭素年代測定で3,400yrBPより古い値を示した炭化物は、本節で触れるいずれかの時期の土地利用によって生じたものと考えられる。

円筒下層d式

写真195-21・22がSec3下部の漸移層から出土している。図示していないが、Sec3では同式のものがこのほかに2点出土している。本遺跡で最も古い時期の遺物である。

円筒上層c式

図118-1がⅢ層下部で出土している。

榎林式・大木8b式

4点を図示した(図118-2～5)。2～4が榎林式、5はそれと併行する大木8b式にあたると思われる。3は緩やかな波状口縁を呈し、波頂部の下に楕円形と推定される透かしが施されている。4はⅢ層下部で出土した。

最花式

2点を図示した(図118-6・7)。このほか、遺構ではPit0126から当該期の土器破片がまとまって出土している。

中期後葉

文様をもたない土器で、榎林式から最花式と考えられる。2点を図示した(図118-8・9)。遺構ではSQ18下層で小片が出土している(写真195-11)。

十腰内I群

5個体7点を図示した(図118-10～16)。15は櫛歯状工具で施文しているが、モチーフは不明である。Ⅲ層下部で出土しており、出土状況は写真85-2に示した。写真右側が15であり、左側の土器よりも低い位置で出土したことが分かる。16は網目状燃糸文が施文されている。

十腰内IV群

2点図示した(図118-17・18)。器厚はやや厚手で色調は黒褐色である。17は結節のない羽状縄文が施文されている。

(岡本)

第6章 弥生時代以降の遺物

第1節 出土遺物

1 弥生土器(遺物図206、写真242)

破片1片の出土である。小破片でしかも割れ口を含め全体摩滅が著しいため時期特定は困難だが、弥生土器の可能性があると最終的に推定したものである(本遺跡の縄文土器の範囲には該当させ難い)。

器種は、甕・壺・鉢のいずれかと思われ、復元口径は20.7cmを測る。

外面文様は、口端直下に1条の隆帯、その下位に無文の頸部、さらに下位の肩部には2条の横走沈線が巡る。口端直下の隆帯は、強くつまみ回す過程で器体に密着し、体部との隙間は全く認められない。このため、口端～隆帯まで非常に一体化しており、凹線を伴う肥厚帯のような状態に仕上がっている(平安時代のロクロ製品の口唇部形状に類似する)。上位の横走沈線には、15×5mm程度の粘土粒が被さるように貼付され、晩期後葉の深鉢などにみられる2個1対の粘土粒に類似する。

口端部に残る若干の凹凸は、刻目痕跡の可能性があるが、復元図では平口縁としておいた。

内面の口端部も外面と同時につまみ出すように作られ、その下位には3条の凹線、そのさらに下位の屈曲部には縄文が帯状に施されている。この縄文は単節であることは確かだが、施文後に擦れて歪んだようで、LRかRLかの判別は難しい。

焼成は堅緻、外面色調は浅黄橙色(10YR8/4)～橙色(5YR7/6)、内面色調は灰色(5Y5/1)、胎土中には1mm前後の小礫が多量に混入する。

上述のように本資料は弥生土器と確定できるものではないが、青森県域で生産された資料とみなして時期的な位置づけを行うなら田舎館式期頃と想定しておきたい。勿論、外来系の縄文土器である可能性も否定できない。注意喚起の意味も込め、あえてここに独立させて報告した。忌憚のないご指摘を待ちたい。

(木村)

2 土師器(遺物図206、写真242)

ロクロ環の口縁部破片1点のみの出土である。大きく端反り、外面には段状のロクロ目が明瞭に認められる。色調は灰白～灰黄色を呈し、焼成堅緻で、胎土には細砂粒と海面骨針が含まれている。小片であるため、年代を特定するには情報が少なすぎるが、青森県域における大まかな年代観に照らせば、概ね10世紀代を中心とするものと推定される。

(木村)

3 近世以降の遺物(写真242)

陶磁器、土器、銭貨等が出土しており、出土層位は全てI層である。陶磁器は、18世紀の肥前(肥前IV期)から20世紀の製品まで出土している。陶磁器の一部と土器2片のみを写真掲載し、ほかは図・写真とも省いた。

陶磁器

写真242-1～6は肥前IV期の磁器であり、1～3は皿類、4・5が碗類、6は瓶類である。1は人物文の可能性があるもの、5は外面青磁釉、内面縁文が四方禪文(?)の碗と思われる。これらと同時存在した可能性がある陶器が18の播鉢で、いわゆる唐津である。24の壺類は内面に黒色の鉄釉が施され、肥前IV期の唐津の可能性がある。

7～11は19世紀中葉の瀬戸である。7・8は碗、9・10は小坏、11は色絵の仏花瓶である。これらと併存した可能性があるのが19の播鉢類、22、23の片口鉢で、これらは地元製品「悪戸」である。

12～14は19世紀後葉以降の摺絵である。12は皿類、13が碗類、14は瓶類である。時間的に下るものではあるが、産地は不明である。

これら以外の15～17、20・21、25・26の7点の陶器も産地不明であるが、19世紀の中には取まっているものと推定される。

土器(写真242)

27・28は同一個体で、出意をもつタイプのいわゆる舟カマド形の焜炉と思われる。27は突出する皿状の部分であり、脚が貼付されている。28は本体の底部で、内面に強いロクロ目、外底面には回転糸切痕がみられる。19世紀中葉頃の製品と推定され、7～11の瀬戸などと共存したものと推定される。

銭貨

新寛永2点(一文と四文)、富士1銭アルミ貨(昭和16年)が1点出土している。

その他

銅製の指貫やガラス製のお弾きなどがある。

(木村)

第7章 調査の成果と課題

第1節 遺構

1 検出遺構の時期区分

今回の報告範囲で検出された遺構は、建物跡6、焼土遺構42、単独で検出された柱穴(Pit)225、土坑5、石棺状配石3、配石遺構15、土器埋設遺構36である。このうち、おおよその時期が判明しているものは次のとおりである。

中期後葉：Pit0126

後期後葉：SR07

後期末葉：SI05、SQ06、SQ14、SQ18、ブロック08、ブロック09、ブロック旧SI03

晩期初頭：SN15、SQ19、SR28、ブロック07

晩期前葉：SI01、SI02、SI04、SI06、SN01、SN31、SR01、SR19、SR20、SR21、SR22、SR23、SR25

晩期中葉：SI101、SN13、SN41、SR01、SN04、SQ08、SQ09、SQ12、SQ41、SR16

晩期後葉：Pit0128、Pit0436、Pit0542

やや時期幅をもつもの

後期後葉～後期末葉：SQ11

後期後葉～晩期初頭：SN28、SN50、SR05、SQ01、SQ02、SQ16、SR06

後期末葉～晩期初頭：SQ07、SR27

後期後葉～晩期前葉：SQ03、P100018-0019-0102-0536

後期後葉～晩期前半：剥片集中城2、剥片集中城3

後期末葉～晩期前半：SN33

後期後葉～晩期中葉：SN38、SN39

後期末葉～晩期中葉：SN09

晩期前半：剥片集中城4

晩期前葉以降：SN44、剥片集中城1

晩期：SR02、SR04、SR05、SR16、SR25、SR43、SR49

報告範囲では、十腰内V群の前半期(後期7-1~3期)に比定される土器がほとんど出土していない。それ以前は円筒下層d式、円筒上層c式、覆林~最花式、十腰内I式、十腰内IV群土器が少量ずつ出土しており、縄文時代前期から後期にかけての断続的な土地利用が認められる。後期7-4期から晩期5期にかけては途切れることなく土器が出土しているため、後期後葉に集落が形成され晩期後葉まで維持されたと考えられる。晩期6期の土器は出土しておらず、それ以降の遺物は弥生土器・土師器が1点ずつ、近世陶磁器が少量であり遺構は検出されていない。出土土器の時期と量から考えて、時期が確定できない遺構は後期後葉(後期7-4期)から晩期後葉(晩期5期)の間に構築された可能性が高い。

遺構・遺物の数量から考えて、川原平(1)遺跡は津軽ダムによる水没地区において、砂子瀬遺跡の後を受けて拠点集落としての役割を果たしたと理解できる。本遺跡の晩期集落は晩期5期のうちに縮小または廃絶し、水没地区内ではこの後、大川浜(3)遺跡で平安時代の堅穴建物跡5棟を含む小規模な集落が確認されるものの、大規模な集落が営まれることはなく、近世に砂子瀬村・川原平村が成立して現代に至る。本遺跡は川原平村の外縁に位置していたため、近世の土地利用の痕跡はほとんど確認できない。近代以降もあまり地形改変を受けなかったようで、縄文時代の遺構や遺物包含層が極めて良好に保存されていた。

2 遺物包含層の成り立ちについて

第5章図④でグリッドごとの土器出土重量を示したように、本遺跡では遺物が多量に出土する場所とそうでない場所の差が大きい。遺物が多量に出土する場所は図⑥の区域区分で区域A・B・C・Dにあたる範囲であり、東西約70m、南北約30mの弧状を呈している。この範囲は第4章において「南捨場」と仮称されたが、完形に復元できる土器が多数出土していることや、地方的に一括性の高い出土状況が認められるなど、集落構造を考える上では「捨て場」として位置づけるのが妥当である。ただし、今回は遺物包含層として現地調査を進めており、報告にあたっては遺構外として扱った。

捨て場(区域A～D)と捨て場外(区域E・F)では第3章第2節でも触れたように、堆積土の様相がやや異なる。調査では縄文時代の堆積土をⅢ層としたが、捨て場のⅢ層は黒～黒褐色なのにに対し、捨て場外のⅢ層は黄褐色～褐色で、Ⅲ層の堆積も捨て場内の方が厚い。捨て場内のⅢ層は遺物や礫、炭化物を多く含むことから自然に堆積したものではなく、人為堆積が主と考えられる。Ⅲ層に含まれる礫の多くは、遺構掘削の際に地山から掘りあげられ、廃棄された可能性が高い。今回報告範囲では前節で記したようにそれ以前の遺構・遺物は極めて希薄であることから、後期7-4期に本遺跡での居住が開始され、地表面にモノが捨てられたことが捨て場の始まりと考えられる。今回報告範囲のすぐ北側には柱穴が集中する範囲があり、最初期の居住域は確定していないもののその範囲内に求めてよいのではないかと考えられる。Ⅲ層と地山との間には漸移層が確認できる場所が多いため、捨て場内では整地のような地形改変は行われていないのであろう。後期8期、晩期1a期においても引き続き捨て場は継続しており、同時に配石遺構、土器埋設遺構が捨て場内に作られることもあった。一部の竪穴建物も捨て場と重複しているが、建物周辺からは同時期の遺物が多量に出土することはなく、廃絶後の窪みにもそれほど遺物は含まれていない。モノを捨てる場所と祭祀的な場所は明確に区分されていなかったようであるが、居住場所とモノを捨てる場所はそれほど近接していなかった可能性がある。晩期1b期はそれ以前に比べて遺物量が減り、晩期2期はさらに少ない。晩期3期には区域Aで一括遺物が得られており、捨て場としての機能が復活した感もあるが、晩期4期・5期は再び遺物量が減少する。今回報告した捨て場は、後期後葉～晩期初頭に最も利用されたといえる。

今回報告した捨て場は、1,500㎡を超える範囲に広がる。堆積土の上下関係は部分的に設定したセクションベルトでしか捉えることができない。区域BにはSec1・5・7が設定されており、Sec1では下部のⅢ-3層が後期、上部のⅢ-2層が晩期の堆積である。Sec5では下位が後期後葉、中位が後期末葉～晩期初頭、上位が晩期前葉の堆積である。Sec7では下位が後期後葉～末葉、上位が晩期前葉の堆積である。この範囲は主に後期後葉～晩期前葉に捨て場として機能し、晩期中葉には建物SI101が建てられる。後葉には土地利用の痕跡がほとんど認められない。このことから、全時期を通じて同一地点に廃棄され続けたのではなく、時期により廃棄される地点は異なっていることが分かる。また、同じく区域Bの例をあげると最も小さいブロック09が2.3×3m、最も大きいブロック07が3×6.7mの範囲で確認されており、実際の廃棄単位はおおむね調査で設定した1グリッド程度で捉えることが可能であることも分かった。捨て場というのはこのような小さな廃棄単位が累積したものと考えることができる。

3 石棺状配石の時期と系譜

捨て場の西端では、いわゆる石棺墓に類似した配石遺構が3基検出された(SQ14・SQ18東石組・SQ18西石組)。青森県内の石棺墓は、縄文時代中期末葉～後期前葉に構築されたと考えられており、本遺跡の downstream 約2kmには20基以上の石棺墓が検出された水上(2)遺跡が位置する。本遺跡でも調査時点では時期は不明ながら石棺墓を検出したと発表した(青埋文編2013a・b)。その後の整理で出土土器の検討、炭化材の放射性炭素年代測定を経て、SQ14・18が後期末葉頃に構築されたことが明らかとなり、青森県で知られている石棺墓と時期が異なること、墓としての機能が確定できないことなどから、石棺状配石として報告した(第5章第1節)。石棺状配石の石組内はいずれも埋め戻されている。SQ18東石組・同西石組で蓋石のようにみえる上面礫は、石組の上部に架け渡されたものではなく、埋め戻された土の上に置かれたものであるため石組内に空間は作れない。石組内を埋めた土はその後掘り起こされておらず、石棺状配石が墓であったとしても、再葬との関連はない。

では、中期末葉～後期前葉の石棺墓と、本書で報告した石棺状配石には関連があるのだろうか。青森県内では後期中葉以降に属する石棺墓は知られていない(児玉2007)が、秋田県大館市矢石館遺跡では晩期(大洞B式)の「組石棺」が5基検出されている(奥山1954)。矢石館遺跡では組石棺のほか列石が検出されており、本遺跡の状況と類似している。時間的・空間的な近接(両遺跡の距離は約30km; 第4章図X V参照)、列石を伴うという構造上の類似から、両者の関連はあると考えてよい。これとは別に、後期から晩期にかけては再葬と関連しない石棺墓が関東・中部地方の一部で作られており(加藤2007)、時間的に併行する本遺跡の石棺状配石や矢石館遺跡の組石棺は関東・中部地方との関連も視野に入れる必要があるが、東北部と中部・関東地方を直接結びつける要素は希薄である。ところで、本遺跡北西部では日時計形組石を伴う晩期前葉の土坑が検出されている(県565集で報告予定)ほか、近隣では弘前市大森勝山遺跡に晩期の環状列石が存在する。日時計形組石をもつ晩期の墓は、秋田県鹿角市玉内遺跡でも検出されている(秋埋文編1988)。石棺墓や環状列石は後期前葉の十腰内文化を特徴付ける遺構(鈴木2013)であり、秋田県鹿角市大湯環状列石などの例から日時計形組石も同時期の代表的な遺構の一つといえる。本書で報告した石棺状配石を含め、秋田県代川流域と青森県岩木川上流域では、十腰内文化で盛行した石組の遺構を構築する習わしが時代が下っても継続していたと考える方が、地理的に隔たった関東・中部地方との関連を考えるより妥当と考えられる。

4 土器埋設遺構

後期後葉～晩期の土器埋設遺構が36基検出された。粗製土器が多数のため、詳細な時期が確定できないものが多い。青森県内でこれまでに調査された土器埋設遺構は後期後葉が6基、晩期が28基(鈴木編2014)であるが、今回の調査ではこれを上回る数が検出された。

土器埋設遺構は捨て場内に分布し、群集箇所が複数あることが明らかとなった。群集した場所では接してはいるものの、隣接する土器を壊したものは確認できず、土器が埋められていることが地表面で分かるようになっていた可能性が高い。埋設位は正立31、倒立4、不明1で、掘方は確認できない場合が多い。また、当初から底部を欠いた個体を正位埋設した例がSR01をはじめ22基確認されており、ひとつの特徴といえる。また、報告範囲内では墓と認定できる遺構が検出されておらず、本書で報告した土器埋設遺構と墓城の関連は低いと考えられる。(図本)

第2節 遺物

今回報告範囲で出土した遺物は、土器・土製品724箱、石器・石製品404箱、漆製品3箱である(調査で使用した箱は容積36リットルの段ボール箱)。土器重量は約5,500kg、剥片重量は約1,200kgである。また、調査区のほぼすべてが今回報告範囲に含まれる2003年度の調査では、土器62箱、石器17箱が出土しており、この区域での出土量は1,200箱を超える。本遺跡全体では約7,400箱の遺物が出土しているため、今回報告した遺物量は全体の2割に満たない。亀ヶ岡文化(川原平(1)遺跡はその成立直前も含む)の拠点集落には膨大な量の遺物が埋蔵されているということを改めて認識させられる。なお、青森県内では円筒土器文化の遺跡で大量の遺物が出土することが知られており、三内丸山遺跡で約4万箱、水上(2)遺跡で約6,500箱、畑内遺跡で約4,800箱が出土している。三内丸山遺跡は別格としても、本遺跡の遺物出土量は円筒土器文化の拠点集落における出土量に比肩するものである。

1 土器

図④は後期7-4期、図⑤は後期8期、図⑥は晩期1a期、図⑦は晩期1b期、図⑧は晩期3期、図⑨は晩期2・4・5期の主要な土器を示した。いずれも一括資料を提示したわけではなく、文様・形状などが分かるものを時期ごとにまとめている。今回報告範囲では、青森県内ではこれまでまとまって出土していなかった後期7-4期・8期の土器が大量に出土した。このほか、晩期1a期・3期の資料が充実している。晩期1b期は図⑦にはやや多めに掲載したが、出土量はそれほど多いわけではない。晩期2・4・5期の出土量は少なく、晩期6期は出土していない。

後期7-4期(図④)はIV 0-P-43、IV R-47、IV S-49風倒木にまとまりがみられる。いずれの器種でも精粗を問わず口唇に面取りが施されることが多く、器壁は厚手で、色調は黒～黒褐色を呈するものが多い。底部はすべての器種で高台状のものが多く、壺・注口を除き台付のものがある。深鉢と鉢は器高と口径の差がないものが多く明瞭に区分されないため、ここでは深鉢・鉢を合わせて深鉢として述べる。粗製深鉢はくびれない器形(I類)が多く、精製深鉢はくびれのある器形(II類)が多い。I類の精製深鉢は一定量あるが、108-4のようにII類の粗製深鉢は極めて少数である。II類の精製深鉢はくびれより上に文様が施文されることが多い。文様部より下は無文であることが多く、37-5のように全体が縄文地であるものは稀である。文様の特徴としては沈線間の刻目、大ぶりの貼瘤があげられるほか、磨消縄文で文様が描かれる場合、磨消部が彫去されたように一段低くなったものもみられる。文様の要素は比較的単純で、三叉状の磨消部あるいはそれが横位または斜位に結合したくびれのある四角形または平行四辺形の磨消部が配置されたものであることが多い。口縁は突起の付く平口縁が多く、波状口縁のものは少数である。浅鉢は文様をもつものは少ないが、無文のものでもミガキが丁寧に施されている。壺・香炉は少なく、注口の比率は高い。46-10は注口の上部に香炉にみられる突起が付く例である。

後期8期(図⑤)はブロック09、ブロック旧SI03、IV P-44、IV P-45、IV T-34にまとまりがみられる。口唇の面取り、厚手の器壁、底部の形状、深鉢と鉢の不明ななどの特徴は前代を引き継いでいるが、土器の色調は赤褐色のものが一定数あらわれる。白色の小礫を胎土に含むものがあることが特徴的である。波状口縁深鉢は少数となり、くびれないI類の精製深鉢が増加し、II類でもくびれ部分の屈

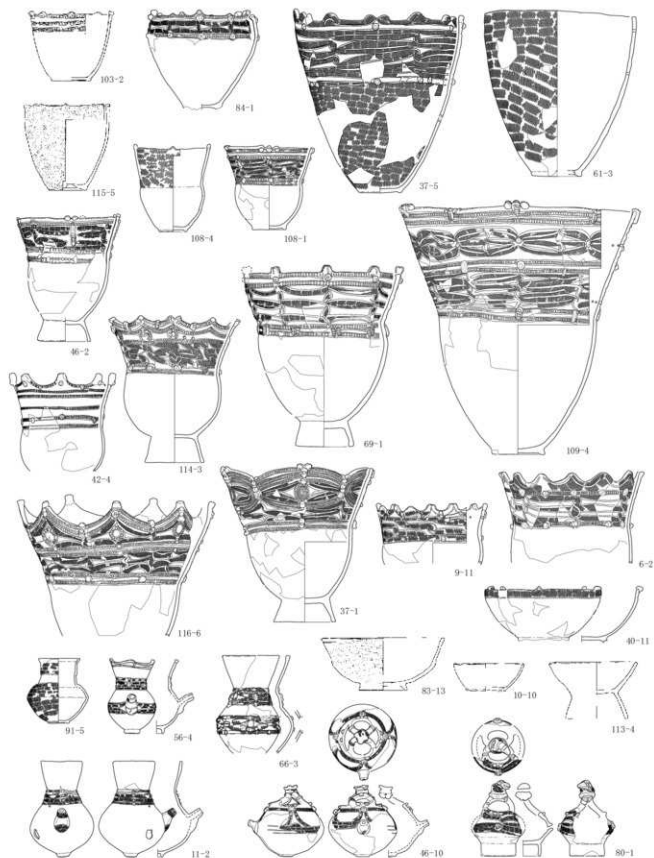
曲が弱まる。体部文様は前代よりも複雑な入組文が増えるようで、44-6のように一定のパターンのないものもみられる。70-7は粗製土器に文様が施文された珍しいものだが、本遺跡では同様の例が複数個体確認されている。沈線間の刻目や貼瘤は少数である。口縁突起の頂部に向かって弧線が施される例が多いことも本期の文様の特徴である。壺はやや大型の半精製・粗製のものが伴う。注口は基部に二袋状の膨らみが付されるものが目立つ。

晩期1a期(図33)はブロック07、IV0-42、IV0-44にまとまりがみられる。器壁は後期に比べて精製・粗製を問わず薄くなる。深鉢では底部の高台が残存する。96-1や12-4のような後期の形態を引き継ぐ深鉢・鉢では、突起の間隔が狭まって口縁の平たい部分がはつきりしなくなる。これらの口縁部には独立した三叉文が配され、体部文様は単純な入組文であることが多い。17-2・79-7・78-8・53-1は体部が膨らむ金魚鉢形ともいふべき台付鉢で、本期に新たに出現する器形である。口縁は小波状を呈し、体部文様は単純な入組文である。体部は縄文が施文されることが多い。115-6は器形は金魚鉢形であるが口縁文様は後期からの伝統を引き継いだものであり、金魚鉢形の台付鉢の祖型のようなものと考えられる。また、本期には92-1・22-12などのように、文様をもつ浅鉢が一定量伴うことも特徴である。金魚鉢形の鉢と同様に小波状口縁を呈す浅鉢もある。精製壺は少量で、17-6は典型例というわけではない。半精製壺は101-3のように頸部に隆帯をもつものがある。注口は底部の高台が消失する。基部の二袋状の膨らみは96-5のように一部で残るものの、19-12のように装飾となって痕跡化する。28-5は正面の口縁部に人面が付いた優品である。

晩期1b期(図34)はIVM-39にまとまりがみられる。深鉢・鉢は前代に比べて小型のものが增多するようである。口縁は平縁ではなくなり、小波状(57-2)か連続した刻目(40-1)となる。底部は19-3のように平底のものが確実に伴うため、粗製土器でも高台は消失傾向にあると考えられる。文様要素としては深鉢・鉢にみられた入組文が消失し、入組三叉文が深鉢・鉢・浅鉢・壺など多くの器種に施される。どの器種にも同じ文様が施されるようになるのはこの時期以降の晩期の特徴であろう。105-1・110-1のように深鉢・鉢には「野脇類型」(小林2010)の文様も施される。53-2のように金魚鉢形の鉢も組成する。壺は多様な精製壺が伴う。注口は体部が扁平となって壺との共通性がなくなり、注口独自の器形が完成する。文様は注口部周辺にのみ施されることが多い。

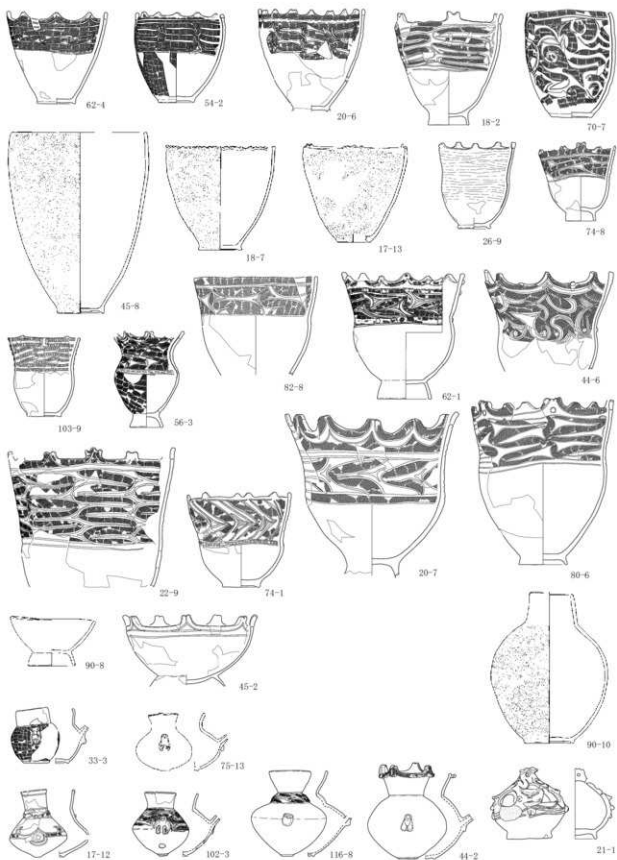
晩期2期(図35上段)は出土数が少ない。羊歯状文が本期の代表的な文様である。63-2は特殊な器形の注口である。

晩期3期(図35)はSec2-Ⅲ-7層、IVN-44、IVN-45・46、IV0-45にまとまりがみられる。50-15のように容量の大きい粗製深鉢と50-13のような小型の半精製鉢が明瞭に区分される。89-5のような大型の半精製深鉢は本遺跡ではほとんどみられない。粗製深鉢は基本的に平縁または口唇に刻目のあるもので、平縁のものには50-15・58-6のようにB突起が正面にのみ付く場合がある。底部は平底もしくは凹底で、高台が付くものはない。半精製鉢は台付のものが多く、文様は羊歯状文が省略され沈線間の刻目となった50-13・59-15のようなものと、32-1・57-9のように沈線のみのもので共存するようである。浅鉢は平縁で口縁が内湾するものが多い。63-5のようにB突起が付くものは少なく、晩期2期の特徴が残存したものと考えられる。体部が磨消縄文となるものは口縁に沈線間の刻目が施されたものが多く、体部に縄文が用いられない場合は沈線のみとなるようである。49-8・9は口唇に刻目が施される皿で、単独では晩期4期に位置づけたいが、49-6・10・11のような浅鉢と共に伴っており本



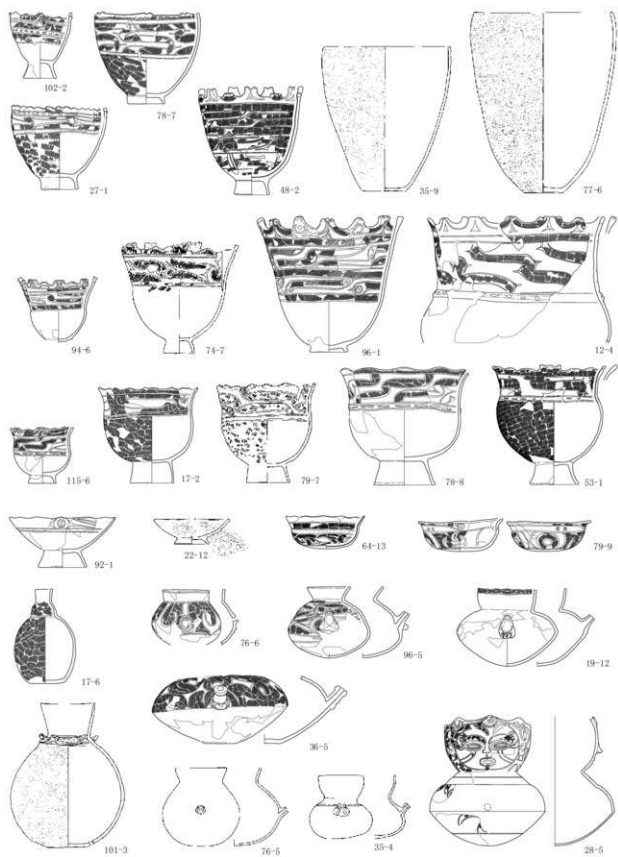
数字は掲載番号
S=1/8

図31 後期7-4期の土器



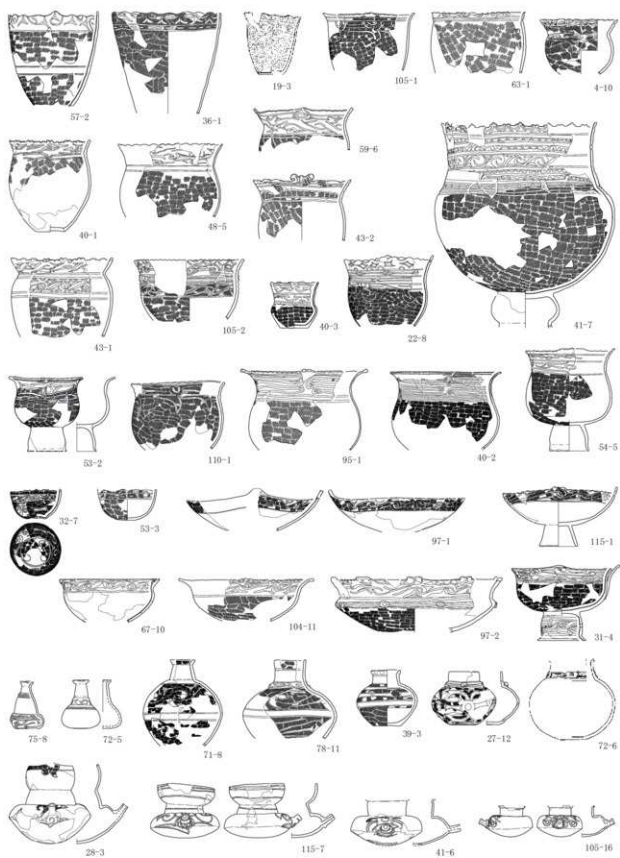
数字は掲載番号
S=1/8

図32 後期8期の土器



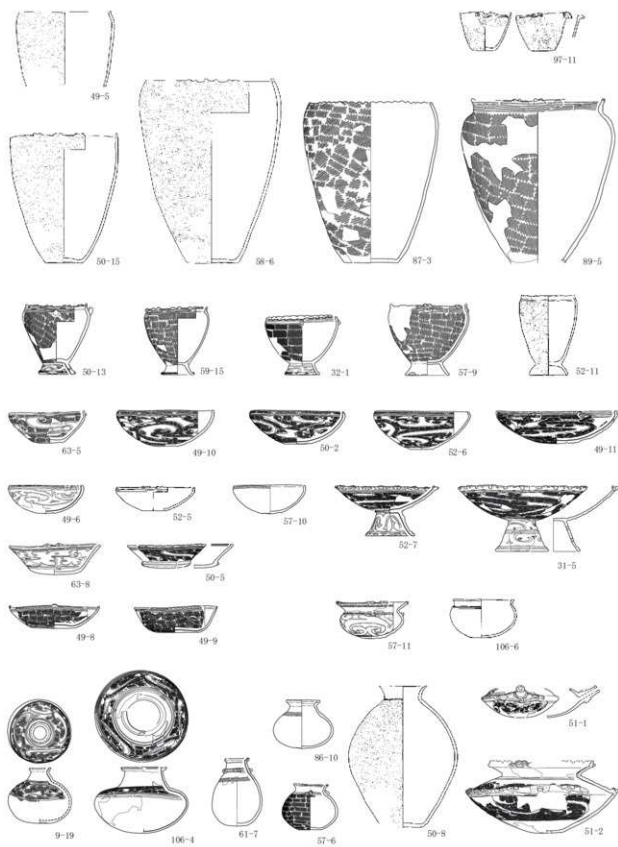
数字は掲載番号
S=1/8

図33 晩期1a期の土器



数字は掲載番号
S=1/8

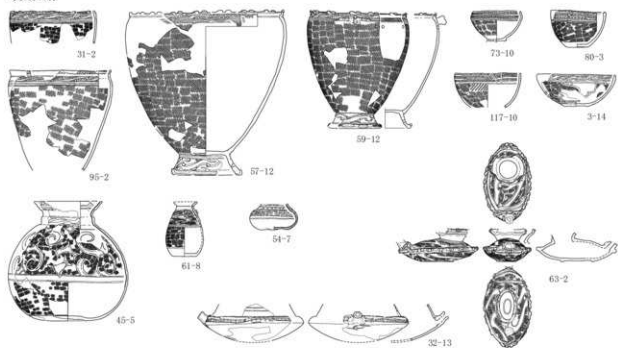
図30 晩期1b期の土器



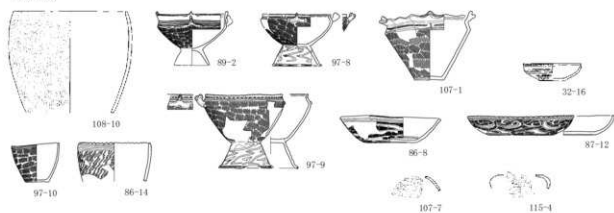
数字は掲載番号
S=1/8

図35 晩期3期の土器

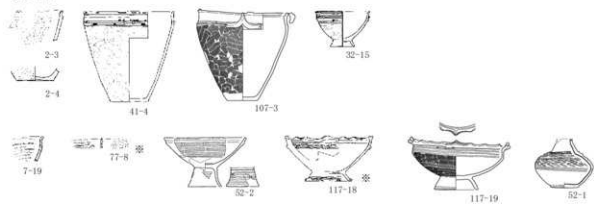
晩期2期



晩期4期



晩期5期



数字は掲載番号
S=1/8(※は1/6)

図36 晩期2期・4期・5期の土器

期にまとめた。

晩期4期(図36中段)は出土数が少ない。108-10は口縁に沈線をもつ縦走縄文の深鉢である。半精製鉢には台付とそうでないものがあり、台付鉢は頸部に一箇所の突起が付くようである。107-11は津軽地域には少なく、より南の地域で多く出土する形態の半精製鉢で、小波状口縁と頸部文様が特徴的である。97-10・86-14は晩期3期の可能性もある。精製土器の主体は86-8・87-12のような皿である。32-16は晩期5期に下る可能性もある。107-7・115-4は精製壺である。

晩期5期(図36下段)も出土数が少ない。今回報告範囲で出土したものは晩期5期でも古い段階に属するものが多いと考えられる。

放射性炭素年代との関係

測定結果の詳細は次年度に刊行される報告書に掲載するが、後期後葉から晩期初頭の土器付着物を多量に測定した(第5章第2節)。特に後期7-4期で9点、後期8期で6点、晩期1a期で9点とこれまでほとんど測定が行われてこなかった連続した時期について年代値が得られた意義は大きい。中央値は後期7-4期が3,300±2,970yrBP、後期8期が3,080±2,910yrBP、晩期1a期が2,980±2,910yrBPに分布する。後期7-4期と晩期1a期は分布範囲が重ならないが、後期7-4期と後期8期・後期8期と晩期1a期はそれぞれ分布範囲が重複する。また、これまでの年代測定結果と比較した場合、大洞B1式を3,120±3,050yrBPとする見解(小林2010)に対して中央値の分布範囲が重複せず100年程度後出の年代値を得たことになり、測定結果の詳細が公開された後にはあらためて晩期の開始年代について議論する必要があるだろう。

参考までに上記以外の青森県内における後期後葉から晩期の測定結果をまとめる。

炭化物等

- ・十握内IV群：十握内(1)遺跡/S107床面・3,260±40yrBP, 3,260±40yrBP(青埋文編2001)
- ・十握内V群：大川浜(4)遺跡/S109・3,080±20yrBP, SK09底面直上・3,130±20yrBP(青埋文編2014)
 芦沢(2)遺跡/S106床面・3,130±20yrBP(青埋文編2014)
 獅子神遺跡/1号住・2,540±50yrBP, 2号住・3,050±50yrBP(青埋文編2003)
 米山(2)遺跡/S11004・3,220±40yrBP(青埋文編2005)
- ・後期末葉～晩期初頭：川原平(1)遺跡/SN-33(図4-14土器内)・3,070±20yrBP(本報告)
- ・晩期初頭：川原平(1)遺跡/Sec I-III-2層(特23漆塗膜)・3,000±20yrBP(本報告)
- ・晩期初頭～前葉：有戸島井平(7)遺跡/AS13・2,890±30yrBP(青埋文編2003)
- ・大洞B2式：野尻(1)遺跡/407号焼土・2,970±40yrBP(青埋文編2002)
- ・晩期前葉～中葉：有戸島井平(7)遺跡/BS111・2,860±30yrBP(青埋文編2003)
- ・大洞C1式：野尻(1)遺跡/414号土坑・2,680±50yrBP(青埋文編2002)
- ・晩期中葉：野尻(1)遺跡/409号焼土・2,700±50yrBP(青埋文編2002)

土器付着物

- ・後期末葉～晩期初頭：芦沢(2)遺跡/2,920±20yrBP(青埋文編2014)
- ・後期後葉～晩期前葉：大川浜(2)遺跡/2,930±20yrBP(青埋文編2012)
- ・大洞B1式：川原平(1)遺跡/4,280±40yrBP(青埋文編2006)
- ・大洞B2式：大川浜(2)遺跡/2,920±20yrBP(青埋文編2012)
 川原平(1)遺跡/2,960±30yrBP(青埋文編2006)
- ・大洞B2式～BC式：不備無遺跡/2,925±20yrBP(間根・上條編2012)
- ・大洞BC式：川原平(1)遺跡/2,925±35yrBP, 2,875±30yrBP, 2,990±40yrBP(青埋文編2006)
- ・大洞BC～C1式：不備無遺跡/2,880±20yrBP(間根・上條編2012)

- ・大洞C1式：杉沢遺跡/2, 860±20yrBP(間根・上條編2012)
- ・大洞C2式：川原平(1)遺跡/2, 580±80yrBP, 2, 710±40yrBP(青埋文編2006)
- ・大洞C2～A式：米山(2)遺跡/AOMB1a・2, 570±30yrBP, AOMB1b・2, 450±35yrBP(青埋文編2005)

注目される土器

1) 穿孔のある土器

いわゆる補修孔ではない焼成後穿孔が施された土器として図11-2(注口・後期7-4期)、53-4(注口・晩期1a)、57-5(壺・晩期3)、102-3(注口・後期8)、115-5(深鉢・後期7-4)があげられる。117-8は後期末葉～晩期初頭の注口で、底部に穿孔を試みた痕跡が確認できる。

図109-4・116-1は、深鉢の胴部中位に補修孔が認められる例である。

2) 香炉の使用痕

図21-1では、香炉の内底面に付着したススの範囲を図化した。80-1も同様に内底面にススが付着しており、香炉内部では何かを燃やしたことが明らかである。

3) 人面・獣面付土器

本遺跡では人面・獣面付土器が多数出土している。過去の調査においても写真92に示したように人面付注口、人面・獣面付香炉が出土している。今回報告範囲でも次のように多数出土している。図21-1(人面付香炉)、21-2(人面付注口)、28-5(人面付注口)、33-2(簡略化された獣面が付された香炉)、61-5(獣面付香炉)、64-9(獣面付香炉)、72-10・11(人面付壺?)、80-1(獣面付香炉)、92-11(人面・獣面付香炉)、94-3(簡略化された人面が付された壺)、117-7(人面付深鉢?)。時期は後期末葉～晩期初頭に集中している。なお、人面・獣面付土器は特別な出土状況を示してはならず、その表現は土器の装飾の一部であったと考えられる。

4) 両性表現のある土器

後期末葉から晩期初頭の注口土器は、注口部を男性器に見立て、基部に二袋状の膨らみをもつ例が多数ある。図44-4もその一つで、時期は晩期1a期である。注口基部の二袋状の膨らみの間に、スリットを伴う突起が付されている。このような例は他に知られておらず、男性器表現と女性器表現が同一個体内に共存している現象と捉えたい。

5) 焼けひずみのある土器と焼成粘土塊

図77-3は焼けひずみのある粗製深鉢で、焼成失敗品の可能性がある。時期は晩期前半と考えられる。焼成粘土塊は写真232に示したように複数点出土しているが、これらの時期は特定できていない。また、後期末葉には図38-4・70-7など本遺跡でしか確認できないような粗製深鉢に文様を描いたと考えられる土器があり、本遺跡内で土器を生産していた可能性は高い。このほか、保管されたような出土状況を示す白色粘土(写真90)もあり、これらが土器生産と関係するのかどうか検討すべき課題である。

(岡本)

2 石器

1 石材環境

本遺跡の最初の報告(青埋文編2006)で、膨大な量の珪質頁岩製の剥片と長径15cmほどの原石が数点出土したことが記述された。珪質頁岩が分布する西目屋村の遺跡においては、一般に各時期とも石器の出土量が多く、原石も集落内に持ち込まれて石器製作が行われている。その詳細については『大川添(4)遺跡』で詳述した(青埋文編2014)。

石材産地だけに、礫面がついた剥片も石器素材として多数使用されている。両縁に加工のあるものについて、珪質頁岩の部分が刃部、礫面に近い軟質部分については手に持つ部分もしくは着柄部分に位置する可能性がある。削器のなかには加工の大きな縁辺が軟質部分であり、反対側の珪質で側縁の弱い剥離のある方が刃部と判断できる物がある。

珪質頁岩の原石は基本的に、水摩をうけており、凸部にローリングの痕跡をもつものが多い。このことから岩木川の本・支流の川原から搬入したものが多くと考えられる。石質は堅緻で良質のものから、珪化の進んでいないものまで多様である。

写真217-14は、刃部のみが珪質頁岩で、他は軟質で凝灰岩質となっている。石核においても、事実記載の項でふれたように礫面を作業面の背後にし、中心部の珪質頁岩の部分を可能な限り採取しようとしているのがみられる。

石材については、晩期になると、在地石材の利用が顕著になる。北海道では黒色の安山岩で削器が製作されることもある。津軽西部では地元で採取できる緑色凝灰岩を使用した玉作りが行われる。磨製石斧に関しては岩手県川目A・手代森遺跡の「蛇紋岩」、二子貝塚の花崗岩類、雨滝遺跡や青森県泉山遺跡の安山岩製のものが製作される。本遺跡では、北海道日高産と考えられる良質の緑色岩のほかに、粗粒玄武岩など、磨石などに使用される石材のものが出土している。今回の報告資料には敲打整形の石斧等の未製品の出土はなく、本遺跡で製作された痕跡はない。しかし、粗粒玄武岩は各地に産するので製作地域は不明である。千点以上出土した黒曜石については、今後、産地分析を行う予定であるが、肉眼的には出来島(岩木山系)産のものが多数を占め、深浦産のものを含む。遺跡から北に峠を越えて9.5km先の、中村川支流の孫産童子川でも同質の黒曜石が採取できる。中村川ではその合流点より下流でも採取することができる。本遺跡の周辺では筆者が整理した大川添(4)遺跡(縄文時代中期末～後期初頭主体)では黒曜石は縄文時代早期の日計式に伴う深浦産が1点のみ出土した。西目屋村では後期前葉～末葉の砂子瀬遺跡で161点の黒曜石が産地分析され、出来島(岩木山系)産のものが多数を占めている(青埋文編2012・2014)。後期前葉以降、その利用が増加するようであるが、晩期を主体とする弘前市葉師遺跡で計9,416.6gの黒曜石が出土しており(青埋文編2014)、晩期にはより多く使用されると考えられる。

磨石・石皿等の礫石器に使用される石材についても、付近に花崗閃緑岩の大沢岩体があるほか、デイサイト、安山岩、緑色凝灰岩、粗粒玄武岩なども岩木川の河原で採取可能である。そのためか、礫石器の出土数量は多い。

2 石器生産技術

縦長剥片を連続的に剥離するものや、石核縁辺から求心的に剥離するもの、両極打法などがあり、それらで得られる多様な形状の剥片が各種石器に利用されている。

石鏃については、加工部分が少ないものや側縁が非直線的などで粗い加工のものなど、石鏃の項目の未成品としたものから、二次加工剥片とした初期段階のものまで各段階のものがそろう。これらの素材となる小形剥片を剥離した小型の石核も得られており石鏃の製作が行われていたことを示すものと考えられる。

また、両極石器が出土しており、それらがみられないと報告された縄文時代後期末の西目屋村水上(4)遺跡(青森県教育委員会2011)と様相が異なる。

石核転用敲石の一部は磨製石斧製作遺跡にみられる「多面体を呈する敲石」(阿部1984・1990)に類似する。対象物については不明であるが、本遺跡の場合は、有縁石皿、中高の石皿などの敲打整形に使用した可能性も想定される。

3 アスファルト付着石器

産地である秋田県境に近いいためか、石鏃・石匙はアスファルトの付着するものが多い。付着率を提示することはできなかったが、前述の大川添(4)遺跡と比較すると、川原平(1)遺跡の付着率は高い。特に石匙への付着は、大川添(4)遺跡ではみられず、岩木川をはさんで、その対岸にある大川添(3)遺跡でも報告されていない。石匙への付着についても縄文時代晩期の時代性が関係する可能性がある。また、削器や剥片においても、付着しているものがあり、使用の際に掻き取りのために使用された可能性がある。

4 剥片等石器組成

本報告書の範囲内は遺構内外ともに縄文時代後期末から晩期であるため、合算して1表にまとめた。珪質頁岩の産地だけに、石核の重量は計194kg、剥片は計1,106kgと非常に多い。また、定形石器では、石鏃・石錐・石匙の比率が高い。

なお、両面調整石器については、分類当初、器種として設定していなかった。刃部が未形成であることから、多くを二次加工剥片に、一部は石槍(未製品?)等他の器種に分類していた。図示したものは、1表の作成にあたって両面調整石器に振り替えた。そして、1表ではその多くが含まれると考えられる二次加工剥片と合算した。

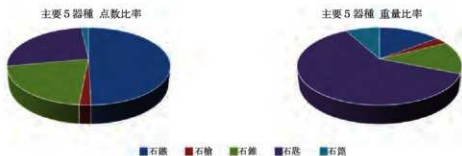
(齋藤)

1表 剥片石器等組成

大分類	器種	点数	重量(g)
定形石器その他	石 鏃	1,100	1,938.7
	石 槍	43	384.9
	石 錐	455	1,863.2
	石 匙	582	8,207.9
	石 鏡	38	1,070.1
	播 器	15	282.7
	削 器	661	13,678.1
	両極石器	36	498.3
	二次加工剥片*	3,988	70,960.2
	異形石器	25	394.9
	微細剥片	1,382	26,523.2
	(小計)	8,325	125,802.2
石 核	石 核	2,228	193,961.9
	石核転用酸石	53	6,898.4
剥 片	接合資料含む		1,105,700.0
黒曜石	黒曜石製剥片・石核**	1,022	2,626.4
石 斧	磨製石斧	17	1,790.1
	打製石斧	3	885.2
自然 礫	珪質頁岩原石	82	16,702.6
	黒曜石原石	1	94.0
	水 晶	7	10.8
全 合 計		10,606	1,432,362.5

* 両面調整石器を含む。

** 二次加工剥片・微細剥片を含む。石鏃・異形石器は含まない。



3 その他の遺物

1 共存土器から推定される土偶の時期

図185-1はIVP-45グリッドで後期8期の土器とともに出土しており、後期末葉の土偶である。図186-2はIVV-32グリッドで後期末葉頃の注口土器破片(P2006・非掲載)の隣で出土しており、これも後期末葉の土偶として問題がないように思われる。

2 鉢物(マンガンノジュール)を加工した遺物

図195-29は鉢物(マンガンノジュール)を加工した遺物である。外見は金属滓のようであるが自然の素材で、それに対して石製品のように穿孔を試みている。出土場所はIVT-45グリッドⅢ層である。当該グリッドの土器は図化したものがないが、取上げ時のメモは「斜面下の方、大洞BCの近くで出土。攪乱があったかも知れないがⅢ層から出たのは確か。9月8日」となっており、調査時点では金属滓と考えていた。2014年調査で西捨場から同様の有孔製品が出土しており、マンガンノジュールと判定されたため図195-29も金属滓ではないことが分かり、縄文時代の遺物として掲載することができた。

3 漆製品

今回報告範囲は台地上の乾燥地であるが、漆製品が多数出土した。漆製品の多くは櫛の破片と考えられるが、実測できたものは少ない。図205-4は籃胎漆器で、器種は壺と考えられる。また、生漆と思われるものが付着している土器(図27-10・写真197)が確認できるため、遺跡内で漆の調整を行っていたと考えられる。漆は赤色漆が多く、黒色漆は少ない。漆付着土器は塗彩されたものを含め、今回報告範囲では晩期に限られる。

4 アスファルト

アスファルト塊は図205に示したように数点出土している。補修や貯蔵、調査に用いたためにアスファルトが付着した土器もある。図205-5の黒色付着物は、分析の結果アスファルトと漆の混合物であることが分かった。漆黒色で光沢のある黒色物質は、アスファルトと漆の混合を疑う必要があるだろう。205-8・11のように穀の多く入ったアスファルト塊は、表面に砂粒が多く食い込んでおり、精製前に地面に置かれたことが分かる。断面で見ると不純物が含まれていたようにはみえない。

5 赤色顔料の生産に関わる遺物

赤色顔料の煮沸製粉に関わると考えられる、内面に顔料が付着した深鉢が複数点出土した。図4-20・21-3・105-12は晩期と考えられる。100-2は後期、4-10・108-10は晩期の有文土器で、確実に煮沸製粉に用いられたと言えるわけではないが、内面に赤色顔料が付着している。また、赤色顔料粉末を貯蔵したと考えられる壺(図112-2)や注口(図80-5・113-5)も出土している。写真240で示したように赤色顔料の素材となる赤石も多量に出土しているほか、赤石を粉末にする際に用いられた敲石や石皿がある(図180・181)。赤色顔料塗彩土器は主に晩期で、特に確実な赤色漆が塗彩されたものは今回報告範囲では晩期に限られる。(図本)

引用参考文献

- 青森県教育庁文化財保護課編 2002『三内丸山遺跡ⅩⅩ』青森県埋蔵文化財調査報告書第338集 青森県教育委員会
 青森県教育庁文化財保護課編 2015『西目屋村川原平(1)・(4)遺跡隣接地』『青森県遺跡詳細分析調査報告書』27
 青森県埋蔵文化財調査報告書第560集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 1987『大海近川遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第104集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 1988『上尾股(1)遺跡C地区』青森県埋蔵文化財調査報告書第113集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 1993『野脇遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第149集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 1996『泉山遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第190集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2001『十摺内(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第304集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2002『野尻(1)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第320集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2003『獅子神遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第339集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2003『有戸島井平(7)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第348集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2005『米山(2)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第391集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2006『川原平(1)・(4)遺跡・大川浜(2)遺跡・水上遺跡』
 青森県埋蔵文化財調査報告書第409集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2012『砂子瀬遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第513集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2012『大川浜(2)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第515集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2013a『平成25年度川原平(1)遺跡・水上(2)遺跡現地見学会資料』
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2013b『川原平(1)遺跡』『平成25年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告書』
 青森県埋蔵文化財調査センター 2014『川原平(1)遺跡』『文化財発掘出土情報』2014年7月号通巻398号 ジャパン通信情報センター
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『川原平(4)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第539集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『芦沢(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第540集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『大川浜(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第542集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『砂子瀬遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第543集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『大川浜(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第544集 青森県教育委員会
 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『上新岡・薬師遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第545集 青森県教育委員会
 青森県立歴史館編 1984『魚ヶ岡石器時代遺跡』青森県立歴史館調査報告第17集・考古-6
 大平山元1遺跡発掘調査班編 1999『大平山元1遺跡の考古学的調査』大平山元1遺跡発掘調査班
 平賀町教育委員会編 1981『総合1遺跡』平賀町埋蔵文化財報告書第9集
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1983『平鹿遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第101集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 1988『玉内遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第171集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 1989『八木遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第181集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 1990『深渡遺跡一森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ-』
 秋田県文化財調査報告書第286集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1998『血内1遺跡』秋田県文化財調査報告書第274集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 2000『戸平川遺跡』秋田県文化財調査報告書第294集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 2002『向様田A遺跡 遺構編』秋田県文化財調査報告書第346集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 2004『向様田A遺跡 遺物編』秋田県文化財調査報告書第370集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 2005『向様田D遺跡』秋田県文化財調査報告書第392集 秋田県教育委員会
 秋田県埋蔵文化財センター編 2006『深渡遺跡一森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅥ-』
 秋田県文化財調査報告書第407集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2008『堀ノ内遺跡』秋田県文化財調査報告書第432集 秋田県教育委員会
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 1986『駒坂遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第98集
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 1986『手代遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
 第108集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 1994『黒内Ⅷ・黒内ⅩⅢ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査
 報告書第208集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 2010『雨瀧遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第562集
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 2012『川日A遺跡第5次調査発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査
 報告書第589集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 久慈市教育委員会 1993『二子貝塚』久慈市文化財調査報告書第16集 久慈市教育委員会
 中郷村教育委員会 1987『能中遺跡発掘調査概報』中郷村教育委員会
 北海道埋蔵文化財センター編 1987『千歳市 ママチ遺跡Ⅲ』北海道埋蔵文化財センター調査報告書第36集 北海道埋蔵文化財センター
 えりも町教育委員会 2000『油駒遺跡』えりも町教育委員会

- 奥尻町教育委員会 1999『青苗B遺跡』奥尻町教育委員会
- 治村教育委員会 1985『洗井遺跡発掘調査報告書』治村教育委員会
- 秋田かんな子 2008「加曾利B式土器」『縄文土器総覧』アム・プロモーション
- 阿部朝衛 1984「多面体を呈する巖石について」『豊栄市史研究』第2号 豊栄市
- 阿部朝衛 1990「多面体を呈する巖石・再論」『帝京史学』第5号 帝京大学
- 江坂舞剛 1960『土偶』校倉書房
- 江坂舞剛 1965「青竜刀形石器考」『史学』第38巻第1号 三田史學會
- 奥山 潤 1954「縄文晩期の組石棺—秋田県北秋田郡早口町矢石館遺蹟—」『考古学雑誌』第40巻第2号 日本考古学会
- 加藤雅士 2007「関東・中部地方後晩期の石棺墓」『死と生—葬制—縄文時代の考古学』9 同成社
- 児玉大成 2007「東北地方北部の再探」『死と生—葬制—縄文時代の考古学』9 同成社
- 児玉大成 2015「北東北の環状列石」『津軽海峽圏の縄文文化』環太平洋文明叢書1 雄山閣
- 小林謙一ほか 2006「川原平(1)遺跡出土土器付着物の14C年代測定」『川原平(1)・(4)遺跡・大川浜(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集 青森県教育委員会
- 小林圭一 2008「甕付土器」『縄文土器総覧』アム・プロモーション
- 小林圭一 2010『亀ヶ岡式土器成立期の研究—東北地方における縄文時代晩期前葉の土器型式—』早稲田大学総合研究機構先史考古学研究所
- 齋藤岳・島口天・長井雅史・金成太郎・杉原重夫 2010「弘前市中村川支流の孫産童子沢に分布する黒曜石の全岩化学組成」『青森県立郷土館研究紀要』第34号 青森県立郷土館
- 島口 天 2006「遺跡周辺の地形・地質」『川原平(1)・(4)遺跡・大川浜(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集 青森県教育委員会
- 島口 天 2013「川原平(4)遺跡A区の地形・地質」『川原平(4)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第527集
- 鈴木克彦 2008「十勝Ⅰ遺跡の青玉攻玉と藍に収納された青玉の流通」『研究紀要』第13号 青森県埋蔵文化財調査センター
- 鈴木克彦 2013「第1部1 分布図と文化圏」『青森県史 資料編』考古2 縄文後期・晩期 青森県
- 鈴木克彦編 2014「北日本縄文時代埋設土器・埋設遺構集成」北日本縄文文化研究会叢書2 北日本縄文文化研究会
- 鈴木克彦 2015『遮光器土偶の集成研究』弘前学院出版会
- 鈴木克彦 2015「配石墓研究 追録と再考(1) —その分布と形態—」『縄文時代』第26号 縄文時代文化研究会
- 須藤 隆 1992「東北地方における晩期縄文土器の成立過程」『加藤徳先生追悼記念 東北文化論のための先史学歴史学論集』加藤徳先生追悼記念会
- 須原 祐 2013「川目A遺跡出土の磨製石斧にみる石斧生産について」『紀要』XXXII 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編
- 関根達人 2002「沢上貝塚出土晩期縄文土器の再検討」『宮城考古学』第4号 宮城県考古学会
- 関根達人 2005「十勝内産・IV・V群土器」に関する今日の理解」『葛西勲先生追悼記念論文集 北奥の考古学』葛西勲先生追悼記念論文集刊行会
- 関根達人・上條信彦編 2012『下北半島における亀ヶ岡文化の研究 青森県むつ市不備無遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告8 弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター
- 関根達人 2013「第1部2 土器の編年」『青森県史 資料編』考古2 縄文後期・晩期 青森県
- 辻誠一郎・中村俊夫 2001「縄文時代の高精度編年」『第四紀研究』第40巻第6号 第四紀研究会
- 辻誠一郎 2006「三内丸山の層序と年代」『植生史研究』特別第2号 日本植生史学会
- 富樫泰時 1983「青竜刀形石器」『縄文文化の研究』9 雄山閣
- 中門赤夫 2013「東北地方北部における甕付土器の基礎的研究」『古代』第131号 早稲田大学考古学会
- 奈良修介・豊島昂 1967『秋田県の考古学』郷土考古学叢書3 吉川文館
- 西木末五郎 1939「第14章 第1節14. 遺蹟と沿革」『日屋ダム建設記念 砂子瀬部落誌』十和田岩木川総合開発協議会
- 西木豊弘 2009「平成16～20年文部科学省・科学研究費補助金学術創成研究費「弥生農耕の起源と東アジア・炭素年代測定による高精度編年体系の構築—」(課題番号16G S 0118)研究成果報告書」研究代表者西木豊弘
- 福田友之 1984「西目稲村砂子瀬村元土の遺物」『青森県考古学』第1号 青森県考古学会
- 藤沼邦彦 1997『歴史発掘③ 縄文の土偶』講談社
- 藤沼邦彦(主編) 2005『青森県東津軽郡平館村今津遺跡発掘調査報告書—津軽半島東沿岸部における亀ヶ岡文化の遺跡—』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告2 弘前大学人文学部日本考古学研究室
- 藤沼邦彦・関根達人 2008『亀ヶ岡式土器(亀ヶ岡式系土器群)』『縄文土器総覧』アム・プロモーション
- 藤沼邦彦ほか編 2008『青森県三戸郡三戸町杉沢遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告6 弘前大学人文学部日本考古学研究室・弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター
- 前川寛和・大塚和義・請問秀彦 2010「岩石考古学の構築：岩石学的手法を用いた縄文石器の解析」『特別史跡 三内丸山遺跡 年報』第10号 青森県教育委員会
- 村越 潔 1984『増補 円筒土器文化』雄山閣考古学叢書10 雄山閣
- 山口義伸 2014「遺跡周辺の地形及び地質について」『川原平(4)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第539集 青森県教育委員会
- 新潮社編 2014『青森縄文王国』新潮社

檢出遺構一覽表

検出遺構一覧表(1)

遺構種別	遺構名	遺構図	写真	グリッド	備 考	遺物図	調査年
建 物 跡	SI01	1	19	IVP-25, 26		1	11
	SI02	2	20	IVR-40, 41		1	11
	SI03	【欠番】		—	土器ブロックに変更	22~24	11
	SI04	3	21	IVR-27		2	13
	SI05	4	22	IVR-37		2	11
	SI06	4	22	IVL-31		2	13
	SI101	5	23, 24 36	IVT-34, 35, 36 IVU-34, 35, 36	SN45~48およびS82基のP1tで図上復元	3, 写193	整理
焼土遺構	SN01	6	25	IVV, IVW-32		4	11
	SN02	6	25	IVV-32			11
	SN03	6	25	IVR-43		4	11
	SN04	6	25	IVR-43			11
	SN05	6	26	IVQ-41			11
	SN06	6	26	IVQ-41			11
	SN07	6	26	IVQ-39			11
	SN08	6	26	IVQ-40			11
	SN09	6	27	IVR-44			11
	SN10	7	27	IVQ-41			11
	SN11	7	27	IVR-40			11
	SN12	7	27	IVR-42			11
	SN13	7	28	IVR, IVS-44			11
	SN14	7	28	IVR-37			11
	SN15	7	28	IVR-36			11
	SN16	7	28	IVS-36, 37	SN17・SN20含む		11
	SN17	【欠番】		IV	SN16に統合		11
	SN18	7	28	IVR-38			11
	SN19	8	28	IVS-37			11
	SN20	【欠番】		IVS-37	SN16に統合		11
	SN21	8	29	IVN-41			11
	SN22	8	29	IVN-42			11
	SN23	8	29	IVP-42			11
	SN24	8	29	IVN-44			11
	SN25	8	29	IVR, IVS-46		4	11
	SN26	8	30	IVR-46			11
	SN27	8	30	IVS-47			11
	SN28	8	30	IVR-49		4	11
	SN29	9	30	IVQ-44, 45			11
	SN30	9	31	IVR-46			11
	SN31	9	31	IVS-49		4	11
	SN32	9	31	IVQ-46		4	11
	SN33	9	31	IVQ-44, 45	SN40を含む	4	11
	SN34	9	32	IVR-45			11
	SN35	9	32	IVR-45		4	11
	SN36	【欠番】		IVT-48	SQ41に変更	13	11
	SN37	10	32	IVS-44			11
	SN38	10	32, 33	IVT-48		5	11
	SN39	10	33, 52	IVT-48		5, 6	11
	SN40	【欠番】		IVQ-44	SN33に統合		11
	SN41	10	33	IVT-35			11
	(SN42)	【欠番】			現地の焼土ではないが、隣接するS841の時期判定のため、本焼土直下の出土土器を掲載。	6	11
SN43	10	34	IVV-34		6	13	
SN44	10	34	IVS-36		6	13	
SN45~48	【欠番】	24	IVU-34, 35	SI101に統合		13	
SN49	10	34	IVV-33		6	13	
SN50	10		IVS-35	Sec7の中にあり		13	
SN51~52	Ⅲで報告						
SN53	10	34	IVS-37			13	
土 坑	SK01	11	38	IVS-42		8	11
	SK02	11	38	IVO-37			11
	SK03	11	38	IVN-38			11
	SK04	11	38	IVO-40		8	11
	SK05	11	38	IVR-28		8	13

検出遺構一覧表(2)

遺構種別	遺構名	遺構図	写真	グリッド	備 考	遺物図	調査年
石棺状配石	SQ14	12~14	39~41 47	IVU, IVV-32		11	13
	SQ18	12・15~19	39・42~ 46・48	IVU-32, 33 IVV-32, 33		11	13
配石遺構	SQ01	20	49	IVV-32		9	11
	SQ02	20	49, 50	IVV-31, 32		9	11
	SQ03	21	50	IVV, IVW-32			11
	SQ04	21	50	IVQ-40			11
	SQ05	21	50	IVR-43		写194	11
	SQ06	21	50	IVR-43		9	11
	SQ07	21	50	IVR, IVS-37		9	11
	SQ08	21	51	IVR, IVS-45		9	11
	SQ09	22	51	IVR-44, 45	SQ13を含む	10	11
	SQ10	22	51	IVS-46			11
	SQ11	23	52	IVS-47		10, 11	11
	SQ12	22	52	IVT-48		5	11
	SQ13	【欠番】			SQ09に統合		11
	(SQ14)	12~14		上記参照	「石棺状配石」とする	11	
	SQ15	IVで報告				12	
	SQ16	23	46	IVV-31, 32・IVW-31	SQ17を含む	11	13
	SQ17	【欠番】		IVV-32	SQ16に統合		13
	(SQ18)	12・15~19		上記参照	「石棺状配石」とする	11	
	SQ19	24	53	IVR-34, 35・IVS-35	「旧IVR-35配石」を含む	12, 13	13
	SQ20~37	Ⅲ, IVで報告					
	SQ38~40	【欠番】					13
	SQ41	23	52	IVT-48	SN36から変更	13	整理
	土器埋設 遺 構	SR01	25	54	IVW-32		14
SR02		25	54	IVQ-38		14	11
SR03		25	54	IVQ-38		14	11
SR04		25	54	IVQ-38		14	11
SR05		25	55	IVQ-38		写195	11
SR06		25	55	IVQ-42		14	11
SR07		25	55	IVP-40		14	11
SR08		25	55	IVR-44		14	11
SR09		25	55, 56	IVR-44		14	11
SR10		26	55, 56	IVR-44		14	11
SR11		26	56	IVR-43		15	11
SR12		26	56	IVR-43		15	11
SR13		26	56	IVR-44		15	11
SR14		26	57	IVR-44		15	11
SR15		26	57	IVR, IVS-43		15	11
SR16		26	57	IVS-44		15	11
SR17		26	57	IVS-44		15	11
SR18		26	58	IVM-40		15	11
SR19		27	58, 59	IVM-39		15	11
SR20		27	58, 59	IVM-39		15	11
SR21		27	58, 59	IVM-39		16	11
SR22		27	58, 59	IVM-39		16	11
SR23		27	58, 59	IVM-39		16	11
SR24		28	59	IVN-39		写195	11
SR25		27	58, 59	IVM-39		16	11
SR26		28	60	IVR-44			11
SR27		28	60	IVQ-45			11
SR28		28	60	IVQ-45		16	11
SR29		28	60, 61	IVR-46			11
SR30		28	61	IVT-49, 50		16	11
SR31		28	61	IVS-49		写195	11
SR32		28	61	IVS-49		16	11
SR33		28	62	IVT-49		16	11
SR34		28	62	IVS-44		16	11
SR35		28	62	IVQ, IVR-44		16	11
SR36		28	62	IVR, IVS-44			11

柱穴一覧表(1)

P11 No.	グリッド	深さ (cm)	出土遺物・備考
0001	IVQ-39	12	後期7-4期～晩期
0002	IVQ-39	13	後期7-4期～晩期
0003	IVR-40	15	後期7-4期～晩期
0004	IVQ-36	43	晩期1期(図7-1)。
0005	IVR-36	31	遺物なし
0006	IVQ-35	25	沈殿のみ盛文の土器片。晩期か。剥片(図161-8)。
0007	IVQ-36	35	遺物なし
0008	IVQ-36	34	遺物なし
0009	IVP-36	26	遺物なし
0010	IVP-36	17	遺物なし
0011	IVP-36	22	遺物なし
0012	IVP-36	20	遺物なし
0013	IVP-35	22	遺物なし
0014	IVP-35	32	遺物なし
0015	IVP-35	21	遺物なし
0016	IVP-35	38	遺物なし
0017	IVP-35	26	遺物なし
0018	IVS-38	113	晩期前葉垂部。
0019	IVR-37	114	多量に破片を含む。 柱底で後期7-4深鉢(1斗)(図7-2,3,5,6)。 周方で後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-4)。 S105より新しい。
0020	IVS-40	26	後期7-4期～晩期
0021	IVS-41	37	遺物なし
0022	IVS-41	35	晩期赤彩垂。
0023	IVS-41	33	後期7-4期～晩期
0024	IVS-41	35	遺物なし
0025	IVR-41	34	晩期赤彩垂。
0026	IVS-41	21	遺物なし
0027	IVS-41	27	遺物なし
0028	IVR-41	25	晩期5期 残鉢。
0029	IVR-40	35	後期7-4期～晩期
0030	IVR-41	24	遺物なし
0031	IVR-41	42	遺物なし
0032	IVR-39	45	晩期1期 台付鉢(図7-7)。
0033	IVS-39	17	晩期1a期 深鉢(図7-8)。
0034	IVR-44	33	後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-9)。
0035	IVR-44	25	粘土1、礫3、石芥1(図163-1)。
0036	IVQ-38	1	遺物なし 【二列弧状の外側】
0037	IVQ-38	不明	遺物なし 【二列弧状の外側】
0038	IVQ-38	6	遺物なし 【二列弧状の外側】
0039	IVQ-38	7	遺物なし 【二列弧状の外側】
0040	IVQ-38	25	遺物なし 【二列弧状の外側】
0041	IVQ-38	13	後期7-4期～晩期 【二列弧状の外側】
0042	IVQ-38	10	遺物なし 【二列弧状の外側】
0043	IVR-38	19	後期7-4期～晩期 【二列弧状の外側】
0044	IVR-39	20	後期7-4期～晩期 【二列弧状の外側】
0045	IVR-39	15	遺物なし 【二列弧状の外側】
0046	IVR-39	不明	遺物なし 【二列弧状の外側】
0047	IVR-39	不明	遺物なし 【二列弧状の外側】
0048	IVR-38	6	平底の粗製深鉢底部。晩期。 【二列弧状の内側】
0049	IVR-38	5	遺物なし
0050	IVQ-38	不明	遺物なし 【二列弧状の内側】
0051	IVR-38	不明	遺物なし 【二列弧状の内側】

P11 No.	グリッド	深さ (cm)	出土遺物・備考
0052	IVR-38	15	遺物なし 【二列弧状の内側】
0053	IVR-38	23	遺物なし 【二列弧状の内側】
0054	IVR-38	16	遺物なし
0055	IVR-38	18	無文の注口土器。後期末葉～晩期初期。
0056	IVR-38	14	後期7-4期～晩期
0057	IVR-38	17	遺物なし
0058	IVR-37	23	遺物なし
0059	IVR-37	36	遺物なし
0060	IVR-38	22	遺物なし
0061	IVS-37	28	遺物なし
0062	IVR-37	24	後期7-4期～晩期
0063	IVR-37	21	晩期1b期 垂(図7-10)。
0064	IVQ-38	11	後期7-4期～晩期
0065	IVR-38	9	後期7-4期～晩期
0066	IVR-39	31	晩期赤彩垂。
0067	IVR-39	27	後期7-4期～晩期
0068	IVR-39	17	無文の注口土器。後期末葉～晩期。
0069	IVR-39	26	遺物なし
0070	IVP-42	25	遺物なし
0071	IVQ-42	12	後期7-4期～晩期
0072	IVQ-41	26	後期8期深鉢(図7-11)。破砕した残骨。
0073	IVQ-41	12	遺物なし
0074	IVQ-40	12	晩期1b期注口。
0075	IVQ-40	39	遺物なし
0076	IVS-40	21	晩期1期注口。
0077	IVQ-40	16	晩期前葉とみられる粗製深鉢(図7-12)。
0078	IVS-40	46	遺物なし
0079	IVS-39	23	遺物なし
0080	IVP-38	30	遺物なし
0081	IVR-43	17	遺物なし
0082	IVR-43	27	遺物なし
0083	IVR-43	18	遺物なし
0084	IVR-43	16	遺物なし
0085	IVR-43	15	遺物なし
0086	IVQ-43	31	遺物なし
0087	IVR-43	24	遺物なし
0088	IVR-43	27	遺物なし
0089	IVQ-39	36	遺物なし
0090	IVQ-40	22	遺物なし
0091	IVR-40	14	遺物なし
0092	IVR-40	9	遺物なし
0093	IVR-40	17	遺物なし
0094	IVQ-40	26	遺物なし
0095	IVQ-40	23	遺物なし
0096	IVQ-41	25	遺物なし
0097	IVQ-41	23	遺物なし
0098	IVQ-41	12	遺物なし
0099	IVQ-41	8	遺物なし
0100	IVR-40	35	遺物なし
0101	IVR-40	24	遺物なし
0102	IVS-39	31	遺物なし
0103	IVS-37	45	遺物なし
0104	IVS-37	22	遺物なし

柱穴一覧表(2)

P14 No.	グリッド	深さ (cm)	出土遺物・備考
0105	IVR-36	43	遺物なし
0106	IVR-37	29	遺物なし
0107	IVR-37	44	遺物なし
0108	IVQ-37	14	遺物なし 【二列弧状の内側】
0109	IVR-37	26	遺物なし
0110	IVR-37	19	遺物なし
0111	IVQ-37	25	後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-13)。 【二列弧状の内側】
0112	IVQ-37	13	遺物なし
0113	IVQ-37	23	後期7-4期～晩期
0114	IVQ-37	29	遺物なし 【二列弧状の内側】
0115	IVQ-37	21	遺物なし 【二列弧状の内側】
0116	IVQ-37	23	遺物なし 【二列弧状の内側】
0117	IVQ-37	16	遺物なし
0118	IVQ-37	16	遺物なし
0119	IVQ-37	33	遺物なし
0120	IVQ-37	22	遺物なし
0121	IVQ-37	21	遺物なし
0122	IVP-43	20	遺物なし
0123	IVQ-43	28	遺物なし
0124	IVQ-43	34	遺物なし
0125	IVQ-43	34	遺物なし
0126	IVQ-44	26	最花式。後晩期を含まない(図7-14～18)。
0127	IVQ-44	30	遺物なし
0128	IVS-48	34	晩期5期深鉢(図7-19)。
0129	IVR-46	23	後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-20)。
0130	IVR-33	41	遺物なし
0137	IVR-32	29	遺物なし
0176	IVT-39	46	剥片7, R F 1, 石鉢1, 柱底で糸底文深鉢(写193-30)。 風方で晩期3～4期臺(写193-31)。 覆土で晩期5期深鉢(写193-29)。
0181	IVT-39	55	柱底で晩期3期鉢(写193-32)。 風方で晩期1b期深鉢。右端未成品1。
0187	IVT-35	52	後期7-4期深鉢(図3-2)。 風方で異系統深鉢(図3-3)。 【S101柱穴】
0188	IVU-35	32	晩期2期深鉢(図7-21)。 後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-22)。 【S101柱穴】
0189	IVU-35	46	柱底で後期8期深鉢(写193-25)。 風方で晩期初期の可能性のある摩滅した有文土器 片。晩期1期の粗製深鉢(図7-23)。 【S101柱穴】
0190	IVU-35	19	遺物なし 【S101柱穴】
0191	IVU-35	26	遺物なし 【S101柱穴】
0192	IVT-39	16	遺物なし
0194	IVT-38	24	遺物なし
0195	IVS-38	14	遺物なし
0196	IVT-39	11	遺物なし
0200	IVT-39	18	遺物なし
0208	IVT-38	96	剥片2, R F 1, 後期7-4期～晩期
0209	IVT-38	50	晩期1a期浅鉢(写193-33)。
0211	IVT-39	12	遺物なし
0212	IVT-39	17	遺物なし
0220	IVT-40	13	遺物なし
0221	IVT-40	16	遺物なし
0222	IVT-40	8	遺物なし
0223	IVT-40	11	遺物なし

P14 No.	グリッド	深さ (cm)	出土遺物・備考
0241	IVS-41	27	遺物なし
0242	IVT-41	70	遺物なし
0280	IVT-43	132	遺物なし
0307	IVT-44	33	後期7-4期～晩
0318	IVT-45	57	遺物なし
0319	IVT-45	18	遺物なし
0333	IVT-46	15	遺物なし
0336	IVT-46	36	後期7-4期～晩期
0337	IVT-46	19	柱底で後期7-4期～晩期初期の粗製深鉢。
0338	IVT-46	33	無文の注口土器。後期末葉～晩期初期。
0340	IVT-47	30	遺物なし
0341	IVT-47	15	遺物なし
0418	IVT-41	27	遺物なし
0426	IVT-41	82	後期7-4期～晩期
0436	IVT-41	97	晩期5期深鉢(写193-34)。
0453	IVT-46	31	遺物なし
0455	IVT-46	31	遺物なし
0456	IVT-46	16	無文の注口土器。後期末葉～晩期初期。
0457	IVT-46	93	高台状の底部。後期末葉～晩期初期。
0458	IVT-46	21	遺物なし
0459	IVT-46	11	遺物なし
0533	IVT-47	27	剥片1。晩期前半とみられる粗製深鉢。
0535	IVU-34	40	晩期1a期深鉢(写193-20)。 【S101柱穴】
0536	IVS-36	98	風方で後期8期注口(図7-26, 27)。 柱底および片層で晩期1a期深鉢(図7-24, 25)
0537	IVS-37	51	遺物なし
0538	IVS-37	54	後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-28)。
0539	IVT-36	21	小波状口縁の粗製深鉢。後期末葉～晩期前半。
0540	IVU-35	21	遺物なし 【S101柱穴】
0541	IVU-32	22	後期7-4期～晩期
0542	IVU-35	29	晩期4期鉢(写193-17)。 【S101柱穴】
0543	IVU-32	19	後期7-4期～晩期
0544	IVU-35	46	後期7-4期～晩期 【S101柱穴】
0545	IVU-34	50	風方で晩期1a期の付付深鉢(写193-24)。 【S101柱穴】
0546	IVU-35	22	後期7-4期～晩期 【S101柱穴】
0547	IVT-37	25	遺物なし
0548	IVT-36	50	遺物なし
0550	IVU-35	14	後期7-4期～晩期 【S101柱穴】
0555	IVU-35	19	柱底で後期末葉～晩期初期注口(写193-15)。 【S101柱穴】
0556	IVU-35	49	後期7-4期～晩期 【S101柱穴】
0558	IVU-36	28	遺物なし
0571	IVU-48	61	遺物なし
0577	IVT-37	20	遺物なし
0586	IVT-35	27	遺物なし 【S101柱穴】
0587	IVT-35	22	遺物なし 【S101柱穴】
0588	IVU-35	61	遺物なし 【S101柱穴】
0589	IVU-35	28	遺物なし 【S101柱穴】
0590	IVU-35	16	遺物なし 【S101柱穴】
0591	IVU-35	46	遺物なし 【S101柱穴】
0592	IVT-35	15	遺物なし 【S101柱穴】
0593	IVU-36	23	遺物なし 【S101柱穴】
0594	IVU-36	16	遺物なし 【S101柱穴】

柱穴一覧表(3)

P11 No.	グリッド	深さ (cm)	出土遺物・備考
0595	IVF-35	27	遺物なし。【S1101柱穴】
0596	IVF-35	22	遺物なし。【S1101柱穴】
0597	IVF-35	20	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0598	IVF-34	15	晩期1b期深鉢。【S1101柱穴】
0599	IVF-34	22	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0600	IVF-34	19	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0601	IVF-34	11	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0602	IVF-34	23	遺物なし。【S1101柱穴】
0603	IVF-34	10	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0604	IVF-34	10	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0605	IVF-34	13	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0606	IVF-34	18	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0607	IVF-34	17	晩期1a期台付鉢(図7-29)。【S1101柱穴】
0608	IVF-34	21	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0609	IVF-34	18	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0610	IVF-34	13	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0611	IVF-34	14	後期8期深鉢。【S1101柱穴】
0612	IVF-34	14	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0613	IVF-34	32	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0614	IVF-34	15	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0619	IVF-34	19	遺物なし。【S1101柱穴】
0620	IVF-34	25	黒系統深鉢(図3-4)、 晩期1a期台付深鉢(写193-16)。【S1101柱穴】
0621	IVF-34	12	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0622	IVF-34	16	遺物なし。【S1101柱穴】
0623	IVF-35	37	柱直で後期7-4期深鉢(写193-23)。【S1101柱穴】
0624	IVF-35	12	遺物なし。【S1101柱穴】
0628	IVF-34	25	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0631	IVF-34	8	晩期1a期深鉢(写193-22)。【S1101柱穴】
0632	IVF-34	13	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0642	IVF-34	16	後期8期注口土器(写193-21)。【S1101柱穴】
0643	IVF-35	6	遺物なし。【S1101柱穴】
0644	IVF-35	10	晩期1期深鉢(写193-18)。【S1101柱穴】
0645	IVF-35	11	遺物なし。【S1101柱穴】
0646	IVF-35	11	遺物なし。【S1101柱穴】
0647	IVF-35	6	遺物なし。【S1101柱穴】
0648	IVF-35	18	遺物なし。【S1101柱穴】
0649	IVF-35	22	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0650	IVS-36	30	遺物なし。
0651	IVF-47	14	無文の精製壺。晩期。
0658	IVF-46	29	遺物なし。
0666	IVF-34	9	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0667	IVF-34	27	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0668	IVF-34	14	遺物なし。【S1101柱穴】
0669	IVF-35	19	遺物なし。【S1101柱穴】
0670	IVF-35	27	遺物なし。【S1101柱穴】
0671	IVF-35	29	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0672	IVF-35	35	遺物なし。【S1101柱穴】
0673	IVF-35	39	遺物なし。【S1101柱穴】
0674	IVF-35	39	後期末葉～晩期初頭(写193-26)。【S1101柱穴】
0675	IVF-35	31	遺物なし。【S1101柱穴】
0676	IVF-36	59	遺物なし。【S1101柱穴】
0692	IVF-35	28	遺物なし。【S1101柱穴】
0693	IVF-35	29	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】

P11 No.	グリッド	深さ (cm)	出土遺物・備考
0695	IVF-35	39	遺物なし。【S1101柱穴】
0707	IVF-34	40	後期7-4期深鉢(写193-27)、耳飾。
0710	IVF-36	50	後期7-4期～晩期。【S1101柱穴】
0711	IVF-36	40	遺物なし。【S1101柱穴】
0712	IVF-36	33	遺物なし。【S1101柱穴】
0713	IVF-36	25	遺物なし。【S1101柱穴】
0714	IVF-35	15	遺物なし。【S1101柱穴】
0715	IVF-35	11	遺物なし。【S1101柱穴】
0716	IVF-34	22	遺物なし。【S1101柱穴】
0717	IVF-33	52	遺物なし。
0718	IVF-33	16	遺物なし。
0719	IVF-33	20	遺物なし。
0720	IVF-33	45	後期7-4期深鉢(写193-28)。
0733	IVF-42	53	遺物I3P1(0436・0733)で取りあげている。 後期7-4期～晩期。剥片2。
0743	IVF-40	71	晩期3期浅鉢(写193-35)。
0787	IVF-38	44	後期7-4期～晩期。
0824	IVF-40	22	遺物なし。
0829	IVF-41	13	遺物なし。
0830	IVF-41	37	遺物なし。
0870	IVF-46	28	遺物なし。
0927	IVF-47	15	遺物なし。
0928	IVF-47	18	遺物なし。
0929	IVF-47	17	遺物なし。
0931	IVF-48	17	遺物なし。
0932	IVF-48	24	遺物なし。
0934	IVF-48	16	遺物なし。
1038	IVF-39	21	遺物なし。
1039	IVF-38	13	剥片1
1086	IVF-41	84	赤彩土器。晩期か。
1115	IVF-47	22	遺物なし。
1117	IVF-32	30	晩期1a期深鉢(図7-31)。 後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-30)。
1118	IVS-38	10	遺物なし。
1119	IVS-38	10	遺物なし。
1125	IVF-39	11	遺物なし。
1126	IVS-39	6	遺物なし。
1127	IVS-39	4	遺物なし。
1128	IVF-39	13	遺物なし。
1131	IVS-41	7	遺物なし。
1132	IVF-41	24	遺物なし。
1133	IVF-41	41	遺物なし。
1134	IVS-42	26	遺物なし。
1146	IVF-45	47	後期7-4期～晩期。
1174	IVS-36	36	遺物なし。
1175	IVF-35	19	遺物なし。【S1101柱穴】
1176	IVF-33	30	遺物なし。
1177	IVF-33	27	遺物なし。
1178	IVF-33	18	遺物なし。
1179	IVF-33	23	後期7-4期～晩期。
1180	IVF-33	14	遺物なし。
1181	IVF-33	20	遺物なし。
1182	IVF-32	25	遺物なし。
1188	IVF-33	27	遺物なし。

遺物觀察表

縄文土器観察表(1)

図番号	形式	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
1-1	93	S101	貼床	深鉢 II	晩期Ⅱb	晩期Ⅱb	口唇：黒目、外面。内面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。胎土：海綿骨針少量。使用痕：外ヌス、内コウ。		348
1-2	93	S101	貼床	深鉢 II	晩期Ⅱa~b	晩期Ⅱa~b	外面：沈流。縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。胎土：海綿骨針少量。使用痕：なし。		347
1-3	93	S101	貼床	注口	晩期Ⅱa	晩期Ⅱa	外面：ミガキ。内面：ミガキ。内外面全体を黒色に焼き上げているが光沢は乏しい。	1-4と同一体。	352
1-4	-	S101	上層	注口	晩期Ⅱa	晩期Ⅱa	同一	1-3と同一体。	353
1-5	93	S101	下層	深鉢 I	晩期Ⅱb	晩期Ⅱb	平口縁に黒目を付す突起。外面：花綱による入組文。縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。胎土：海綿骨針少量。使用痕：外ヌス。		350
1-6	93	S101	下層	浅鉢小	晩期Ⅱa	晩期Ⅱa	外面：縄文瓦葺(縄文瓦の三又文が)、体部無文。内面：ナツ。胎土：目立つた砂粒を黒色漆塗布。含まない。使用痕：外ヌス。		351
1-7	93	S101	上層	深鉢	晩期Ⅱa	晩期Ⅱa	外面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。底部：ナツ。高台。胎土：砂粒多い。使用痕：なし。	底径：5.0cm。	349
1-12	93	S102	坪面	深鉢 II	晩期Ⅱb	晩期Ⅱb	外面：沈流。花綱による入組文。縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：内コウ。	P-15	358
1-13	93	S102	1層	深鉢	後期7-4	後期7-4	平口縁に突起。口唇：面取。外面：花綱部に連続する黒目。突起下に彫施。縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。胎土：海綿骨針。使用痕：外ヌス。		354
1-14	93	S102	1層	深鉢	後期7-4	後期7-4	外面：花綱による入組文。縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：不明。		361
1-15	93	S102	1層	深鉢	晩期Ⅱa	晩期Ⅱa	外面：花綱による入組文。縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：外ヌス、内コウ。		362
1-16	93	S102	1層	浅鉢小	晩期Ⅱa~b	晩期Ⅱa~b	口唇：黒目、外面。内面：沈流。北縁部に連続する黒目。内面：比埴。ナツ。胎土：海綿骨針。		364
1-17	93	S102	1層	壺	晩期2	晩期2	外面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：なし。		363
1-18	93	S102	1層	注口	晩期2~3	晩期2~3	口唇：黒目、外面。内面：沈流。ミガキ。内面：内面：ナツ。胎土：海綿骨針少量。使用痕：なし。		360
1-19	93	S102	1層	台付鉢	晩期Ⅱa~b	晩期Ⅱa~b	外面：沈流。体部縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：なし。	底径：6.5cm。	366
1-20	93	S102	1層	粗製深鉢	後来~晩期Ⅱ	後来~晩期Ⅱ	外面：沈流。体部縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。		357
1-21	93	S102	1層	粗製深鉢 I	後期後遺	後期後遺	縁や小口縁状口縁小。口唇：面取。外面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：外ヌス、内コウ。		359
1-22	93	S102	1層	粗製深鉢 I	後期後遺	後期後遺	小波状口縁。外面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。使用痕：外ヌス。		365
1-23	93	S102	1層	粗製深鉢 I	後期後遺	後期後遺	口唇：面取。外面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。胎土：海綿骨針含む。使用痕：外ヌス。		355
1-24	93	S102	1層	粗製深鉢	後期後遺	後期後遺	外面：縄文瓦葺(積位)。内面：ナツ。底部：ナツ。高台。胎土：小磯。使用痕：外ヌス。	P-2	356
2-1	93	S104	貼床	深鉢 I	晩期2~3	晩期2~3	口唇：黒目、外面。内面：縄文瓦葺(積位)。口縁直下に朝霞小。内面：ナツ。胎土：粗瓦。使用痕：外ヌス。		2288
2-2	93	S104	貼床	深鉢	晩期2-4	晩期2-4	平口縁に突起。口唇：面取。外面：縄文瓦葺(積位)。北縁部に連続する黒目。高上段の黒目は縄文地に染み渡る。磨面縄文による文部。彫施。内面：ナツ。胎土：小磯。海綿骨針。使用痕：外ヌス。		2291

縄土土器観察表(2)

図番号	写真	出土位置	層位	形種	形状	時期	特徴	備考	図LNo.	整理No.
2-3	93	S104	I層	深鉢	I-C1	晩期5	外周に口縁に溝状文。口縁に凹凸文。溝状文(横線文)に垂直な短線の文。最上層の文。低い凹状により突起をとり、細粒の装飾がうようよになっている。内周に口縁の内側に溝状とし、その部分に横線。底部分にもナメ。胎土は砂状。使用痕：口コグ	2-4に同一個体。	2205・2204	
2-4	93	S104	I層	深鉢	I-C1	晩期5	外周に横線文。口縁、底部分に、底部分にナメ。内周に凹凸文。胎土は小礫。使用痕：溝状できない。	2-3に同一個体。	2206	
2-8	93	S105	I層	深鉢		晩期5	小盛状口縁の可能性あり。外周に横線文(横線文)。内周にナメ。胎土は精良。使用痕：溝状できない。外周に凹凸文。	307	2209	
2-9	93	S106	I層	深鉢	I	晩期1b	口唇：面立なし。外周に横線文。胎土は軟弱。使用痕：外ナメ。	2208		
3-1	94	S845	Ⅱ土	深鉢	II	晩期2	口唇：高目。外周に横線文。高目、平直状文のみ。内周にナメ。口縁に強い盛り出し。胎土は粗粒。外周に横線文に連続する短目。ナメ。内周にナメ。胎土は海綿骨状。砂状。使用痕：外ナメ。	2276	2209	
3-2	94	P10187	Ⅱ土	深鉢	I	晩期7-4	口唇に面立。外周に横線文に連続する短目。胎土は軟弱。使用痕：外ナメ。	2209	2209	
3-3	94	P10187	Ⅱ土	深鉢		晩期後登	口唇に面立。外周に横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は軟弱。使用痕：外ナメ。	2208	2208	
3-4	94	P10620	Ⅱ土	深鉢		晩期後登	口唇に面立。外周に横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は軟弱。使用痕：外ナメ。	2201	2201	
3-5	94	S845M2	Ⅱ層	深鉢		晩期前層	外周に横線文。横線文。右側ナメ。内周にナメ。胎土は軟弱。使用痕：外ナメ。	2200	2200	
3-6	94	S845M2	Ⅲ層	台付鉢		晩期2	外周に横線文。横線文(横線文)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：なし。	2183	P-2056	
3-7	94	S845M2	P10189 採掘直	台付鉢か		晩期2	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は軟弱。使用痕：外ナメ。	2270	2136	
3-8	94	S845M2	Ⅱ下段土	Ⅲ		晩期5	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2273	2113	
3-9	94	S845M2	Ⅱ層	深鉢	I	晩期7-4	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2198		
3-10	94	S845M2	Ⅱ層	深鉢	IIc.31	晩期7-4	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2198		
3-11	94	S845M2	Ⅱ層・Ⅱ下層	Ⅲ	IIc.31	晩期7-4	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2198		
3-12	94	S845M2	Ⅲ層	深鉢		晩期8	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2239	2239	
3-13	94	S845M2	Ⅲ層	深鉢		晩期8	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2249	2249	
3-14	94	S845M2	Ⅲ層	Ⅲ	I.81	晩期2	口唇に面立なし。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2191	P-2054	
3-15	94	S845M2	Ⅲ層	深鉢	I	晩期2	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	2286	P-2202	
4-1	-	S901		深鉢		晩期2か	口唇に面立。外周に横線文。横線文(横線文)に短目(口縁まで横線できり)。内周にナメ。胎土は粗粒。使用痕：外ナメ。	333-1	07体	

縄文土器観察表(3)

図番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
4-2	94	S801	深鉢	晩期Ⅰa	晩期Ⅰa ～晩期	口唇：面取。外面：沈線2本。縄文L。内面：ナツ。使用痕：なし。	直径：0.6cm。4-1と同1個体。	取上No. 333-2 P-1 0個体
4-3	94	S803	深鉢小	深鉢小	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：縄文L(後部)。内面：ナツ。約5mm幅の工具、腹内に面が浅かい筋が認められる。胎土：海綿骨針。使用痕：外スス。内面に灰白色の付着物。		331
4-4	94	S825	深鉢 I	深鉢 I	後期後葉 ～晩期	外口縁：縄文L。口唇：面取。底面は荒れている。内面：ナツ。胎土：小磯。タマリ綱。海綿骨針。縄文L(後部)。外面：縄文L(後部)。内面：ナツ。胎土：底面、低部を多量に含み、使用痕：外全体に赤化している。内コガシドは残存する印としての使用印の赤化が目立つ。底面荒れている。	直径：8.5cm。4-1との縁部分に共通の用として使用されていたと推定される。	1459
4-6	94	S825	粗形深鉢	粗形深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：縄文L(後部)。内面：ナツ。使用痕：外スス。内コガシ。	4-8と同1個体。	332
4-7	94	S828	粗形深鉢 I	粗形深鉢 I	後期後葉 ～晩期	外面：ナツ。内面：ナツ。胎土：海綿骨針少量。使用痕：なし。	4-7と同1個体。	331-1
4-8	-	S828	粗形深鉢	粗形深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：ナツ。内面：ナツ。胎土：海綿骨針少量。使用痕：なし。	4-7と同1個体。	331-2
4-9	94	S828	台付鉢	台付鉢	晩期	小磯状口縁。外面：底面直下に面取部。底面直下の筋が連続する海綿。腹上部の沈線。小磯上に面取部。口唇：面取。胎土：タマリ綱。海綿骨針。使用痕：外スス。内面に赤化の伏し。	直径：16.1cm。内底に赤色顔料付着。面付縁部に面取する土器か。	330-1 337-1
4-10	94	S831	深鉢 II	深鉢 II	後期後葉 ～晩期	小磯状口縁。外面：底面。沈線間に連続する短沈線。縄文L(後部)。内面：ナツ。使用痕：外スス。内コガシ。		335
4-11	94	S831	深鉢 II	深鉢 II	後期後葉 ～晩期	外面：外スス。内コガシ。		1401
4-12	95	S832	深鉢	深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：沈線。沈線による入面文。縄文L(後部)。底面との境界に沈線。腹上部の沈線。口唇に赤化。外スス。内コガシ。	直径：1.0cm。器高：13.8cm。底後：縄文L(沈線→肩目)。	1404
4-13	95	S832	深鉢	深鉢	後期7-4	外面：沈線。沈線による入面文。縄文L(後部)。底面との境界に沈線。腹上部の沈線。口唇に赤化。外スス。内コガシ。	直径：1.0cm。器高：13.8cm。底後：縄文L(沈線→肩目)。	330
4-14	95	S833	粗形深鉢 I	粗形深鉢 I	後期7-4	外面：沈線。沈線による入面文。縄文L(後部)。底面との境界に沈線。腹上部の沈線。口唇に赤化。外スス。内コガシ。		1416
4-15	95	S833	深鉢	深鉢	後期7-4	外面：沈線。沈線による入面文。縄文L(後部)。底面との境界に沈線。腹上部の沈線。口唇に赤化。外スス。内コガシ。		1414
4-16	95	S833	粗形深鉢	粗形深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：ナツ。右部が付くと思われ。内面：ナツ。胎土：小磯。使用痕：全体が赤化しており、二次蒸熟か。		1400
4-17	95	S833	台付鉢	台付鉢	後期後葉 ～晩期	外面：沈線。沈線による入面文。縄文L(後部)。腹上部の沈線。口唇に赤化。外スス。内コガシ。		1411
4-18	95	S835	深鉢	深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：ナツ。胎土：海綿骨針。使用痕：なし。		1402
4-19	95	S835	深鉢	深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：ナツ。底面：高石。内面：ナツ。胎土：小磯。海綿骨針。使用痕：確認できない。		1405
4-20	95	S835	粗形深鉢 I B01	粗形深鉢 I B01	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：縄文L。口縁に面取部の胎土の痕。その上から縄文を施文。内面：タマリ綱のろろナツ。胎土：小磯。海綿骨針。使用痕：なし。全体が赤化しており、二次蒸熟か。	4-21、22と同1個体。内面赤色顔料付着。	P-1474
4-21	95	IVQ-46	粗形深鉢 I B01	粗形深鉢 I B01	後期後葉 ～晩期	外面：面取。外面：口縁外周は強いツヤミナツ。縄文L。内面：口縁部荒れ。ナツ。使用痕：はつきりしない。	4-20、22と同1個体。内面赤色顔料付着。	P-2, 3
4-22	95	S835	粗形深鉢 I B01	粗形深鉢 I B01	後期後葉 ～晩期	外面：面取。外面：口縁外周は強いツヤミナツ。縄文L。内面：口縁部荒れ。ナツ。使用痕：はつきりしない。	直径：27.5cm。	407
4-23	95	S812	粗形深鉢 II B-1	粗形深鉢 II B-1	後期後葉 ～晩期	胎土の腹上部は内面の縁合痕が残る。口唇：面取。外面：口縁外周は強いツヤミナツ。縄文L。内面：口縁部荒れ。ナツ。使用痕：はつきりしない。		

縄文土器観察表(4)

区番号	写真	出土位置	部位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
6-2	96	SN98段 (WT-48)	III層	深鉢	IIa-5	後期7-4	突起が連続する口縁。口縁・口縁直下縁部には口縁部直下に連続した縄文帯が分布している。基部・口縁部の上端と下端を、斜め四方からの撮影の写真を必ず各自で撮影し、写真前には突起部に対応する箇所を付す。肩部文様帯には、3段の右下がりが入組文、入組文の起部部、連続部、終部部が突起と対応し、入組文の細線の上端と下端が区画帯に一致する特徴がある。体部はナズ。胎土：細砂粒。薄輪滑射。胎土が顕著で薄輪歪れ、胎土層質の量比が高い。使用値：外スス、内コグ。	口径：29.4cm。	P-1828
6-3	96	(SN2)	使上下 大巻強洗	深鉢	II	晩期1b	口唇：肩目。外面：沈線。沈線に斜めの部分があり、入組三又文が、内面；ナズ。胎土：粗粒。使用値：外スス、内コグ。	2292	
6-4	96	SN43	埋設9F	粗製深鉢	I	後期後葉 ～晩期	口唇：面取なし。外面：縄文区。内面：ナズ。胎土：ナズ。薄輪滑射。使用値：確説でき ない。全体に赤化。	2296	
6-5	96	SN44	使土直上	浅小 II	晩期前葉小	後期前葉小	口唇：面取なし。外面：面取りガケ。沈線。内面：ナズ。胎土：薄輪滑射。使用値：女 外スス、内コグ。	2293	P-1
6-6	96	SN49	9F体	粗製深鉢	I a-1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取なし。外面：縄文区。沈線により不明瞭。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用値：外 スス、内コグ。	2090	
7-1	96	P10004	覆土	深鉢	II	晩期1a~b	外面：縄文区(縄文区)に沈線。内面：ナズ。使用値：外スス。	373	
7-2	96	P10019	1層 柱頭	粗製深鉢	I	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：縄文区(横位)。内面：ナズ。使用値：外スス。	370	
7-3	96	P10019	1層 柱頭	粗製深鉢	I	後期後葉 ～晩期	平口縁に突起。口唇：面取。外面：縄文区(横位)。内面：ナズ。使用値：外スス。	369	
7-4	96	P10019	2層 柱頭	粗製深鉢	I	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：縄文区(横位)。内面：ナズ。使用値：外スス。	371	
7-5	96	P10019	柱頭	深鉢		後期7-4	平口縁に突起。口唇：突起部以外面取。外面：突起下に沈線。取巻上には肩目。沈線部直下 縁部は平口縁に一致する。使用値：外スス、内コグ。	368	
7-6	96	P10019	柱頭	深鉢		後期7-4	外面：縄文区に連続する肩目。縄文区(横位)。内面：ナズ。胎土：薄輪滑射。使用値：外 スス、内コグ。	372	
7-7	96	P10032	1層 台付鉢			晩期1a~b	外面：縄文区。台部ナズ。内面：ナズ。胎土：薄輪滑射。使用値：外スス。	375	P-1
7-8	96	P10033	1層 深鉢	IIb-4		晩期1a	小波状口縁。口唇：面取。外面：縄文区。沈線指目が粗大。文様帯上下端を2本の沈線で 区画。沈線による入組文。入組文の起部部は三又文状の沈線。上下の沈線は何れも書き直 しており、部分的に3本存在する箇所もある。体部縄文区(横・斜位)。内面：ナズ。使用 値：不明。黒底赤化のため使用値判定低。	382	P-5, 3
7-9	96	P10034	1層 粗製深鉢	I		後期後葉 ～晩期	平口縁に突起(形状不明)。口唇：肩目。外面：縄文区(横位)。内面：ナズ。使用値：外ス ス。	374	
7-10	96	P10063	1層 壺			晩期1b	外面：沈線。体部縄文区(横位)。内面：ナズ。	381	
7-11	96	P10072	1層 深鉢(文江 鉢)			後期7-4	外面：沈線。文様帯3つ不明。縄文区。内面：ナズ。使用値：外スス。胎土：3mm以下 の小波。薄輪滑射。	377	
7-12	96	P10077	1層 粗製深鉢	II		後期後葉 ～晩期	小波状口縁。外面：縄文区(横・斜位)。内面：ナズ。使用値：外スス、内コグ。	376	
7-13	96	P10111	覆土 深鉢	I		後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：ナズ。内面：ナズ。胎土：薄輪滑射少量。使用値：外スス。	380	
7-14	96	P10126	覆土 深鉢			最古	深鉢口縁。外面：面取。胎土：薄輪滑射少量。	383	
7-15	96	P10126	覆土 深鉢			最古	外面：面取。沈線。取巻のため縄文区(横位)に沈線できい。内面：ナズ。胎土：小波。タテ方直。 使用値：なし。	385	

縄文土器観察表(5)

図番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	撮影No.
7-16	96	P10126	深鉢		中期後葉	外面：縄文R(傾位)。内面：ナズ。使用痕：外スス。			386
7-17	96	P10126	深鉢		中期後葉	外面：縄文R(傾位)。使用痕：外スス。			387
7-18	96	P10126	深鉢		中期後葉	外面：縄文R(傾位)。底部付近には縄文なし。内面：ナズ。使用痕：外スス。			384
7-19	97	P10128	覆土	台付残鉢	晩期5	平口縁に突起。外面：ナズ。底面：ナズ。高台。使用痕：不明。	内面赤彩。		378
7-20	97	P10129	覆土	深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：縄文R。内面：ナズ。高台。使用痕：外スス。			379
7-21	97	P10188	覆土	深鉢	晩期2	口唇：唇凸。外面：ナズ。底面：平口。胎土：砂粒。海綿骨付。使用痕：外スス。			2271
7-22	97	P10188	覆土	深鉢 I	後期後葉 ～晩期	平口縁に突起。口唇：面取なし。外面：縄文R。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。			2272
7-23	97	P10189	覆土	深鉢小 II	晩期1a~b	外面：縄文。縄文R。内面：ナズ。胎土：海綿骨付。使用痕なし。			2274
7-24	97	P10536	1層	深鉢 II	晩期1a	小波状口縁。外面：縄文(縄文R)に波紋。内面：ナズ。胎土：海綿骨付。使用痕：外スス。			2257
7-25	97	P10536	柱状	深鉢	晩期1a	外面：縄文(縄文R)に波紋。内面：ナズ。胎土：海綿骨付。使用痕なし。			2256
7-26	97	P10536	面方	注口小	後期8	波状口縁小。口唇：面取。外面：口縁肥厚。底面：縄文R。胎文部は粗いナズ。胎土：海綿骨付。使用痕なし。	7-27と同一個体。		2314
7-27	97	P10536	面方	注口小	後期8	胎土が本丸の2本の丸の2個。内面：ナズ。胎土：海綿骨付。使用痕なし。	7-26と同一個体。		2313
7-28	97	P10538	覆土	深鉢 I	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：縄文R。内面：ナズ。胎土：小波。使用痕：外スス。			2259
7-29	97	P10607	覆土	台付残鉢小	晩期1a	口唇：ミガキ。底面：縄文R。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕なし。	外面赤彩(線)。		2264
7-30	97	P11117	覆土	深鉢 I	晩期	平口縁に波状口縁。口唇：面取。外面：縄文R。内面：ナズ。胎土：面取岩片。海綿骨付。使用痕：外スス。			2262
7-31	97	P11117	覆土	深鉢	晩期1a	外面：縄文。縄文R(傾位)。胎土：面取岩片。胎土：ナズ。胎土：小波。海綿骨付。使用痕：外スス。			2263
8-1	97	S801	2層	半筒形鉢	晩期4	口唇：唇凸。外面：縄文R(傾位)。内面：口縁に面取。使用痕：外スス。			338-2
8-2	97	S801	2層	深鉢	晩期4	外面：縄文R(傾位)。内面：ナズ。底面：ナズ小。使用痕：外スス。	底径：4.8cm。		338-1
8-3	97	S804	覆土	残鉢 I	晩期1a	外面：波紋。内面：ナズ。口縁肥厚。使用痕：不明。	内外面赤彩。		340
8-4	97	S804	覆土	注口	晩期1~2	外面：ミガキ。底面：内面：ナズ。			339
8-5	97	S804	1層	半筒形鉢	晩期3	口唇：唇凸。胎土の突起がほとんど見られる外縁のみ不明。外面：波紋面に朝式。外：縄文R(傾位)。内面：口縁に面取。胎土：面取岩片。胎土：ナズ。胎土：小波。海綿骨付。使用痕：外スス。	口径：10.8cm。 胎文部(縄文→波紋)。 底径：6.7cm。	P-1	79
8-6	97	S804	1層	深鉢	後期後葉 ～晩期	外面：縄文R(傾位)。内面：ナズ。使用痕：外スス。口唇：ナズ。			341
8-7	97	S805	覆土	半筒形 深鉢	後期8	口唇：内傾きに面取。外面：口縁と胎土に波紋。ナズ。内面：ケズリのみナズ。胎土：砂。胎土：面取岩片。使用痕：外スス。	口径：30.0cm±0.4cm。 胎土：砂。 胎土：面取岩片。		2297

縄土器観察表(6)

区分	写真	出土位置	層位	形状	器形	時期	特徴	備考	取上No.
9-1	97	S001	確認面	注口又は注 溝	注口又は注 溝	後彌7-4	平口縁に突起。口唇：面底、外面：ナズ、胎土、縄文、土織、縄文Ⅱ、内面：ナズ、胎土：海綿骨針多量を含む。		395
9-2	97	S001	確認面	注口	注口	後彌7-8	外面：注口部先端及び基部に縄文Ⅱ、胎土、胎土層上部に黒目。内面：ナズ、胎土：海綿骨針多量を含む。使用痕：なし。	注口部突出。 底径：1.9cm。	399
9-3	97	S001	確認面	注口	注口	後彌7-8	注口部は確認できない。外面：ナズ。内面：ナズ。底面：黒目。胎土：海綿骨針多量。		344
9-4	97	S001	確認面	深鉢	深鉢Ⅱ	後彌8	口唇：面底、外面：土織による黒文、縄文Ⅱ(厚土)。内面：ナズ、胎土：2mm以下の小窪状口縁。使用痕：外、ス。		306
9-5	97	S001	1層	台付鉢小	II B05	後彌7-8	平口縁に台形突起。口唇：面底、外面：土織、縄文Ⅱ。内面：ナズ。使用痕：内、コウ。		397
9-7	97	S002	確認面	深鉢	深鉢	後彌7-4	平口縁に台形突起。口唇：面底、外面：土織、縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：ナズ、胎土：海綿骨針多量を含む。使用痕：外、ス。		392
9-8	97	S002	確認面	浅鉢	浅鉢Ⅰ	後彌7-8	口唇：面底、外面：縄文Ⅱ、胎土、ナズ。内面：ナズ。		394
9-9	97	S002	確認面	深鉢	深鉢Ⅰ	後彌8	平口縁に突起。外面：土織、縄文Ⅱ、内面：ナズ、胎土：海綿骨針。使用痕：外、ス。		390
9-10	97	S002	確認面	粗製深鉢	粗製深鉢Ⅰ	後彌後彌 ～晩期	口唇：面底、外面：縄文Ⅱ、内面：ナズ、胎土：小磯、海綿骨針。使用痕：外、ス。		389
9-11	97	S003 (IV IV-22)・ IV-31・ IV-32	III層	深鉢	深鉢Ⅱ B05	後彌7-4	口縁に連続する突起(約1単位)、山形突起と上部にある台形突起の2種が交互に配列されるが、1箇所は山形突起の連続して並んで並ぶ。台形突起の幅は「A」の字幅に等しい。突起は、外面に高さ約1.5cm、内面に高さ約1.0cmの突起。比喩による入組(1単位)：縄文Ⅱ(厚土)・胎土、胎土：ナズ。使用痕：外、ス、内、コウ。	口唇：22.7cm。 細頸孔。 底文(土織→土織→縄文)。	1076
9-12	97	S006		深鉢小	深鉢小	後彌8	口縁に突起。外面：土織、縄文Ⅱ、内面：ナズ。使用痕：外、ス。		391
9-13	97	S006		粗製深鉢	粗製深鉢Ⅰ	後彌後彌 ～晩期	口唇：面底、外面：縄文Ⅱ、内面：ナズ。使用痕：外、ス、胎土：海綿骨針。		388
9-15	98	S007	1層	粗製深鉢	粗製深鉢Ⅰ	依来～晩期	外面：赤色。内面：ナズ、胎土：海綿骨針。2mm程度の穴少量。使用痕：外、ス。	9-16と同一個体。	345-1
9-16	98	S007	1層	粗製深鉢	粗製深鉢Ⅰ	依来～晩期	外面：赤色。内面：ナズ、胎土：海綿骨針。2mm程度の穴少量。使用痕：外、ス。	9-15と同一個体。	345-2
9-17	98	S007	1層	深鉢	深鉢小	依彌小	外面：土織前に連続する黒目。内面：ナズ、胎土：海綿骨針多量。使用痕：外、ス。		346
9-19	98 ①前下	S008	2層	碗	碗Ⅲ	晩彌3	口唇：面底、外面：土織、土織ミガク。体部は確認。土織による雲形文(環状若丸)。縄文Ⅱ(厚土)的。口縁は確認できない。体部下半分まで。底面：円形の凹。内面：ナズ。	口唇：4.5cm、底径：3.5cm、器高：11.8cm(縄文→土織→縄文)。 外面および内面に黒部赤部形跡。	22
10-1	98	S009		注口	注口	後彌8	外面：土織、ナズ。底面：黒目。体部と底面の境に土織。内面：ナズ、胎土：小磯、使用痕：外、ス。	底径：5.5cm。	27
10-2	98	S009	覆土	半円筒鉢	II B01	晩彌4	平口縁に突起(単位は約2.5×2.5単位)が分布する。外面：土織少量、縄文Ⅱ(厚土)。内面：土織のみ。コウ。	口唇：11.6cm。	342
10-3	98	S009・ IV-15	覆土・ II層	半円筒鉢	III	晩彌3	口唇：面底、外面：土織、土織、土織。底面：黒目。体部は確認。土織による雲形文(環状若丸)。縄文Ⅱ(厚土)的。口縁は確認できない。体部下半分まで。底面：円形の凹。内面：ナズ。	口唇：22.5cm。	343
10-4	98	S009・ IV-15	覆土・ III層	粗製深鉢	II A1	後彌後彌 ～晩期	口唇：面底、外面：ナズ、胎土：海綿骨針多量を含む。使用痕：外、ス、内、コウ。内外面に黒部赤部形跡。	口唇：33.0cm。	1087

縄文土器観察表(7)

区番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
10-7	59	SQ11勝 (WS-47)	半柄肉壺	Ⅲ1	後期8	口唇に黒文。外面黒文。口唇は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯多く含む。使用痕なし。外面黒文。		P-1617, 1702, 1766
10-8	9, 98	SQ11勝 (WS-47)	粗製深鉢		後期7~8	平口縁にB段縁。口唇：面取。口唇に面取時の粘土の股。外面：ナズ。胎土：小磯。使用痕なし。外面黒文。口唇は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		P-1619
10-10	96 巻頭&上	SQ11勝 (WS-47)	深鉢	Ⅲ1	後期7-4	口唇は面取。外面黒文。口唇は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		
11-1	98	SQ11勝 (WS-47)	注口	Ⅲ	後期7-4	外面：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		P-1625
11-2	98 巻頭&上	SQ11勝 (WS-47)	注口	Ⅲ1	後期7-4	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		P-1614
11-4	99	SQ14	深鉢		後期7-4	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2286
11-5	99	SQ14	深鉢		後期7-4	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2285
11-8	99	SQ15 (SP17下 IV-33)	深鉢		後期7-4	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2279
11-9	99	SQ16(SQ17 下 IVV- 33)	深鉢		後期7-4	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2280
11-10	99	SQ16(SQ17 下 IVV- 33)	粗製深鉢	I	後期後葉 ~晩期	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2281
11-11	99	SQ18 西石 組	深鉢		後期7-4	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2282
11-12	99	SQ18	注口		後葉~晩期	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2284
11-13	99	SQ18	深鉢		後期7-8	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2283
11-14	99	SQ18 (IVV-33)	構築面		後期7-8	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		P-2
11-15	99	SQ18 (IVV-33)	構築面		中葉上層 か、 晩期後葉 ~晩期	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2287
11-16	99	SQ18 (IVV-33)	深鉢	Ⅲ1	中葉上層 ~晩期	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2277
11-17	99	SQ18 (IVV-33)	深鉢		中葉上層 ~晩期	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2276
12-1	100	SQ19	深鉢	Ⅲ&4	晩期上層 a~b	口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2278
						口唇：面取。胎土：ミガサ。注口縁部縁縁。注口唇：外面に黒文。黒文取。胎土は面取時の粘土の股、内面：ナズ。胎土：小磯。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。胎土は面取時に黒文を有する。		2287

縄土器観察表(8)

図番	写真	出土位置	層位	形態	器形	時期	特徴	備考	図上No.	集積No.
12-2	100	S919	I層	深鉢	I.k4	晩期Ia~b	小底が凹状。外面：縄文瓦(縄文I)に接している瓦片。入瓦文の人間部中央のみ磨損。内面：ナツ。胎土：クナ。使用：外スス。口径：25.1cm, 底径：8.6cm, 器高：25.6cm			256
12-3	100	S919東 (IVR-35)	III層	台付深鉢	II.5	後期I	口縁に低い台形突起が確認し、小底が台身より立ち出ている(11~12程度)。口径：約14.3cm。文様帯上下端を境とするほぼ等しい区別で区画。縄文I(磨損)。口縁に上瓦文。突起部はナツ。外面：ナツ。胎土：小底、使用：外スス、内ココ。器高：22.0cm			2203
12-4	100	S919 (IVR-35)	I層・ III層下	鉢	II.5	晩期Ia	平口縁に突起(縄文I)目立たず。口縁の内と外面に内部突起が施されるものが交互。口唇：面取。外面：比叡。三文瓦。比叡による人組瓦。幸一面所で残っている(写真参照)。入瓦文の外面部は三文瓦の比叡。縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土上へ連続する突起。体面瓦文。使用：外スス。注口底に半円状の浅帯。内面：ナツ。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：21.98cm			P-2147
12-5	100	IVS-35	S919底下	注口	III	晩期Ia	外面：面取。内面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			3009
14-1	101	S901		粗製深鉢	I.k1	後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			P-1 埋没 本体
14-2	101	S902	覆土	粗製深鉢		後期I	外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			303
14-3	101	S903		粗製深鉢 (台付か)		後期I	外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			312
14-4	101	S904		粗製深鉢		後期I	外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			318
14-5	101	S906		粗製深鉢	I.k1	後期I	外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			313
14-6	101	S906		粗製深鉢	I.k1	後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			304-2
14-7	101	S907		深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			304-1
14-8	101	S908	III層	粗製深鉢	I.B1	後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			325
14-9	101	S909	III層	粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			326
14-10	101	S910	覆土	粗製深鉢	I.k1	後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			314
14-11	101	S910	覆土	粗製深鉢	I.k1	後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			318-1
15-1	101	S911	覆土	粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			318-2
15-2	101	S912	覆土	粗製深鉢	I.k1	後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			316
15-3	101	S913		粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			319
15-4	101	S913		粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			320
15-5	102	S914		粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			321
15-6	102	S915		粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			305
15-7	102	S916		粗製深鉢		後期I	口唇：面取。外面：縄文I.R. 制御彫刻に浅帯。胎土：砂粒。外面磨損なし。器高：23.3cm, 注口径：29.2cm			322

縄文土器観察表(11)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.
18-2	105 106 107 108	ア*79 (WT-33) ア*79 (WT-34) B*34	III層	台付深鉢	18a1	後期8	口縁に突起(6単位)、肩部がV字状に斜下する肩部の突起、口唇に面取、突起直下の口縁縁を無文に構成し、肩部と唇を下側の区画が単位深鉢が条から1條へと変化する不整合な表出である。胎土が非常に入組文、入組文層から上部と下部の区画間に達する点状気泡である。胎土と台部は無文となる。使用痕：外アス、内コク。	口径：21.5cm、底径：8.0cm、高径：23.7cm、胎完成。	p-2255, 2256
18-3	105	ア*79 (WT-33)	III層	鉢	18a1	後期8	口縁に右形突起(単位数不明)、突起直下の口縁縁を無文に構成し、胎土が非常に入組文、入組文層から上部と下部の区画間に達する点状気泡である。胎土と台部は無文となる。使用痕：外アス、内コク。	口径：20.7cm、底径：5.0cm、高径：19.5cm、胎土：小磯、砂紀、黒又類(縄文→沈殿)。	p-2244
18-4	105	ア*79 (WT-34)	III層	鉢	18a2	晩期1a	口唇に面取る唇目、外縁に沈殿した上ら組文、縄文(丸滑面)、胎部下ナブ、胎部下ナブのちナブナブ。胎部：面取、使用痕：外アス、内コク。	口径：13.5cm、底径：7.0cm、高径：13.8cm。	p-2247
18-5	105	ア*79 (WT-34)	III層	台付鉢	18a5	後期8	口縁に山形突起(単位数不明)、突起直下の口縁縁を無文に構成し、胎土が非常に入組文、入組文層から上部と下部の区画間に達する点状気泡である。胎土と台部は無文となる。使用痕：外アス、内コク。	口径：26.5cm、底径：10.7cm、高径：26.7cm。	p-2255, 2103
18-6	105	ア*79 (WT-34)	III層	鉢	18a	晩期1a	外縁に沈殿、円形突起、縄文LR、内面ナナブ、胎土：砂紀、漆黒骨片、使用痕：なし。	外面突起。	2212
18-7	105	ア*79 (WT-34)	III層	箱型深鉢	18a2	後期7~8	口唇に0字の角目が連続、外縁に縄文LR、底部に突出した台状、底面は平坦、内面：ナナブ、胎土：小磯多く含む、胎部無骨片、使用痕：外アス、内コク。	口径：23.1cm、高径：22.1cm、底径：9.1cm。	p-2246-1, 2246-2
19-1	106	ア*711 (WS-34)	III層	鉢	19a5	後期8	口縁に連続する突起(単位数不明)、突起直下の口縁縁には胎部にのみ存在する角目、口唇：面取、外縁：縄文LR、沈殿した上ら組文、胎部下ナブ、胎部下ナブの胎部に連続する点状気泡を区別し、胎部無文、使用痕：外アス、内コク、胎土：砂紀、漆黒骨片。	口径：22.0cm、胎土：砂紀、漆黒(縄文→沈殿)。	p-2365
19-2	106	ア*711 (WS-34)	III層	台付鉢	19a5	晩期1a	口縁に連続する突起、突起は「山」のものとの連続あるが交互には並ぶわけではないようである、口唇：面取なし、外縁に沈殿、縄文(胎部)気泡の類文、三叉状の持ち手を伴う、胎部はクズリの子ナブ、胎土：砂紀、使用痕：外アス、内コク。	口径：14.5cm、底径：8.5cm、高径：13.5cm、胎土：砂紀(縄文→縄文花頭)。	p-2325
19-3	106	ア*711 (WS-34)	III層	深鉢	19a	晩期1b	小磯状口縁、外縁：全面に縄文LR、縄文地に沈殿、底面直上に沈殿、底面：平坦、内面：ナナブ、胎土：胎部骨片、使用痕：外アス、内コク。	口径：22.0cm、胎土：砂紀、使用痕：外アス、内コク。	p-2300
19-4	106	ア*711 (WS-34)	III層	台付鉢		晩期1a~b	外縁：縄文LR、沈殿、胎部下ナブナブ、内面：ナナブ、胎土：砂紀、使用痕：内コク。	p-2303, 2324, 2325	
19-5	106	ア*711 (WS-34)	III層	台付鉢		晩期1a~b	外縁：縄文LR、胎部面取、内面：クズリの子ナブナブ、胎土：小磯、使用痕：外アス、内コク。	p-2329	
19-6	106	ア*711 (WT-33)	III層	深鉢	19b	後期7~8	口唇：面取なし、外縁：ナナブ、底面：平坦、内面：ナナブ、胎土：クズリ、使用痕：なし。	胎土：南西赤面骨片付着。	p-2339
19-7	106	ア*711 (WS-34)	III層	半圓蓋	19	晩期1a~b	外縁：肩部に突起(側方)の貫孔孔、沈殿、胎部無文、底面：平坦、内面：ナナブ、胎土：砂紀、使用痕：なし、外縁面取。	高径：6.9cm、底径：3.3cm。	p-2332
19-8	106	ア*711 (WS-34)	III層	注口	19	晩期1a	外縁：ミガキ、注口直下に内凹のヒコキモノを伴う唇らみ、内面：ナナブ、胎土：小磯、胎部：面取、使用痕：なし、外縁面取。	底径：2.4cm、注口部は基部から穴幅、1.4cm。	p-2326
19-9	106	ア*711 (WT-34)	III層	注口	19	晩期1a	口唇：面取なし、外縁：ナナブ、全体に面取、内面：ナナブ、胎土：小磯多く含む、使用痕：なし。	口径：6.5cm、高径：10.5cm、底径：1.4cm。	p-2340
19-10	106	ア*711 (WS-34)	III層	注口	19	晩期1a	外縁：ミガキ、注口直下二箇所の軌らみ、注口完形面取、内面：ナナブ、胎土：南西赤面骨片、使用痕：なし、外縁面取。	注口部は胎部から穴幅、注口部は胎部から穴幅。	p-2398
19-11	106	ア*711 (WS-34)	III層	注口	19	晩期1a	口唇に強い面取、外縁：ミガキ(全体に面取)、沈殿、注口基部に沈殿と軌迹による文様、内面：ナナブ、胎土：南西赤面骨片、使用痕：なし、外縁面取。	口径：9.1cm、高径：16.0cm、注口部は基部から穴幅。	p-2323, 2334

縄文土器観察表(12)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
19-12	106 巻部上	A*7112 (WS-34)	III層	注口	II4	晩器1a	小底状口縁。口唇：面取。外面：口縁に連続する。頸部を杖状で区画。縄文地に縄文用印を付す。胎土：直土。注口部には粘土塊存在。玉柄三叉文。縄文なし。 口唇：胎土。胎土：砂粒。無磨砕。使用痕：なし。	口唇：12.5cm、器高：16.5cm。 注口部底径：20.22	P-2322
19-13	106	A*7111 (WT-34)	III層	粗面砂鉢	IIb1	後器1a ～晩器	口唇：面取。外面：縄文(WS-3)に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。底面下部：底面中央に突起。突起に使用痕：外ナス。内ナゴ。口唇に連続する。縄文(WS-3)の口唇と肩目による入組。磨砕なし。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：25.0cm、器高：25.0cm、底径：11.2cm。 口唇：25.3cm、器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	P-2329
20-1	107	A*7112 (WT-35)	III層	砂鉢	IIb31	後器7-4	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：21.0cm。 口唇：21.0cm。	P-2367
20-2	107	A*7112 (WS-35)	III層	砂鉢	IIb41	後器8	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：21.0cm。 口唇：21.0cm。	P-2359
20-3	107	A*7112 (WT-35)	III層	砂鉢	IIa11	後器8	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：16.9cm。 口唇：16.9cm。	P-2375
20-4	107	A*7112 (WS-35)	III層	砂鉢	IIb11	後器7-4	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：32.0cm。 口唇：32.0cm。	P-2366
20-5	107	A*7112 (WT-35)	III層	砂鉢	IIb1a~b	晩器1a~b	外面：面取なし。外面：直土。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：6.5cm。 口唇：6.5cm。	P-2376
20-6	107	A*7112 (WS-35)	III層	台付砂鉢	IIb5	後器8	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：22.2cm。 口唇：22.2cm。	P-2382
20-7	巻部下	A*7112 (WS-35)	III層	台付砂鉢	IIA5	後器8	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：36.2cm。 口唇：36.2cm。	P-2389
20-8	107	A*7112 (WT-34)	III層	台付砂鉢	II1	後器7~8	口唇：面取なし。外面：直土。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：22.0cm、器高：8.7cm、底径：10.0cm。 口唇：22.0cm、器高：8.7cm、底径：10.0cm。	P-2369
20-9	107	A*7112 (WS-35)	III層	高鉢	II4	晩器1b	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：7.8cm、器高：12.8cm、底径：6.7cm。 口唇：7.8cm、器高：12.8cm、底径：6.7cm。	P-2369
20-10	107	A*7112 (WT-35)	III層	半面割文は粗面砂	II1	晩器1a~b	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：11.6cm。 口唇：11.6cm。	P-2367
20-11	107	A*7112 (WT-34)	III層	注口	II5	後器7-4	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：11.6cm。 口唇：11.6cm。	P-2363
20-12	107	A*7112 (WS-35)	III層	注口	II1	晩器1a	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：11.6cm。 口唇：11.6cm。	P-2389
20-13	107	A*7112 (WS-35)	III層	注口	II1	晩器1a	平口縁(8単位前後)。口唇：面取。外面：口縁に連続する。胎土：直土。注口部：口縁に面取。口唇の時分の穴の付。ナデ。胎土：直土。器高(口縁)：25.0cm、底径：11.2cm。	口唇：11.6cm。 口唇：11.6cm。	P-2386

縄文土器観察表 (13)

区番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
21-1	108 109 110 111	A*P12 (WS-35) ・RS-35 ・RS-36 ・RS-37 ・RS-38 S-35	皿類・ Ⅲ-6類・ Ⅲ-8類	香印	後期中	外面：溝かしら周りの入組文、周目1本を伴う彫溝、沈溝、体部内面に刷毛状彫溝、入組3重位(刷毛状溝)、口縁に其周りの条状突起、内形の溝かしら、頂部に横溝。内面：内底にスス。外面は直立した二次突起なし、外底面に彫溝残存、面付焼痕面顕著。胎土：小粒、クヌリ(産卵部部)にはみられない胎土。	アメリカ真鍮指で発見。	P-2238, 2304
						口縁に連続する彫形的突起、外面：縄文LR、沈溝、此部縁の突起で面を表現、入組は5単位と並び、4単位が確認できている。内面：ナズ、胎土：砂粒、薄層骨付。		P-2574, 2381
21-2	108	A*P12 (WT-35) 下	注口		後期中 〜晩期	口縁に連続する彫形的突起、外面：縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒多量、使用痕/なし、内外面磨滅なし。	沈溝内に赤色顔料彩色の痕跡。表面は黒色で、口縁に4重位のナズで、それぞれが彫刻痕が出玉し、接合している。	2218
21-3	107	(WT-33)	箱形深鉢	I&1		口縁に連続する彫形的突起、外面：縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒多量、使用痕/なし、内外面磨滅なし。	内面赤色顔料付着。	P-2371
22-1	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期7-4	平口縁に突起、外面：連続する唇目、使用痕、沈溝、沈溝による入組文、縄文LR、内面：ナズ、胎土：大粒の砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス。		558
22-2	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期7-4	外面：彫溝、連続する唇目、沈溝による入組文、縄文LR、内面：ナズ、胎土：シルト、使用痕：外スス。		552
22-3	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期7-3	平口縁に突起、外面：沈溝、縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒、使用痕/外スス。	83-9・10と同一個体か。	557
22-4	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期中	平口縁に突起、外面：沈溝、縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒、使用痕/外スス。	22-5と同一個体。	546-2
22-5	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期中	平口縁に突起、外面：沈溝、縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒、使用痕/外スス。	22-4と同一個体。	546-1
22-6	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期中	平口縁に突起、外面：沈溝、縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒、使用痕/外スス。		537
22-7	109	A*P13 (BS103)	深鉢		後期中	平口縁に突起、外面：沈溝、縄文LR、内面：ナズ、胎土：砂粒、使用痕/外スス。		579
22-8	109	A*P13 (BS103)	深鉢	II&11	晩期1b	小源平口縁に突起(1単位)のみ、外面：沈溝、間隔ひいた入組3文、体部縄文LR(條、斜位)、縄文地に彫溝で文様(3単位)確認できる。内面：ケズリのみナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。	口縁：18.5cm、内外面磨滅。	P-40
22-9	109	A*P13 (BS103)	深鉢	III&11	後期中	平口縁に突起(2単位)、外面：沈溝、間隔ひいた入組3文、体部縄文LR(條、斜位)、縄文地に彫溝で文様(3単位)確認できる。内面：ケズリのみナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。	口縁：35.1cm、内外面磨滅なし。胎土：小粒、5重位のナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。胎土：細砂、彫刻痕。	P-10
22-10	109	A*P13 (WS-42)	台形深鉢	III&11	後期中	平口縁に突起(2単位)、外面：沈溝、間隔ひいた入組3文、体部縄文LR(條、斜位)、縄文地に彫溝で文様(3単位)確認できる。内面：ケズリのみナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。	口縁：26.0cm、底径：8.0cm、胎土：細砂、彫刻痕。胎土：小粒、5重位のナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。胎土：細砂、彫刻痕。	P-36, 39, 40
22-11	109	A*P13 (BS103)	台形深鉢		後期中か	平口縁に突起(2単位)、外面：沈溝、間隔ひいた入組3文、体部縄文LR(條、斜位)、縄文地に彫溝で文様(3単位)確認できる。内面：ケズリのみナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。	口縁：26.0cm、底径：8.0cm、胎土：細砂、彫刻痕。胎土：小粒、5重位のナズ、胎土：砂粒、薄層骨付、使用痕：外スス、内コゴ。胎土：細砂、彫刻痕。	P-11

縄文土器観察表 (15)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
24-7	110	ア77 HS103	覆土2回目	粗製深鉢		後期後葉 ～晩期	外面：縄文瓦、底面付岩には縄文なし。底面：高台。内面：ナツ、底面ナツ、胎土：小口唇、海跡骨針。使用痕：外ナツ、底面、海跡骨針。使用痕：内コウ。	底径：10.4cm。	P-68
24-8	110	ア77 HS103	覆土2回目	粗製深鉢	I&11	後期後葉 ～晩期	口唇：面瓦、外面：縄文瓦、内面：ナツ、胎土：砂粒多い。使用痕：外ナツ、外面、海跡骨針。使用痕：内コウ。		P-63
24-9	110	ア77 HS103	覆土2回目	粗製深鉢	I&11	後期後葉 ～晩期	口唇：面瓦、外面：縄文瓦、内面：ナツ、胎土：砂粒多い。使用痕：外ナツ、外面、海跡骨針。使用痕：内コウ。	24-11と同じ個体。83・9・10によく取っている。	P-71
24-10	111	ア77 HS103	覆土3回目	深鉢		後期7-3	口唇：面瓦、外面：ミガキ外に近いナツ。内面：ナツ、胎土：砂粒。使用痕：なし。	24-9の2つと同じ個体。	P-71-2
24-11	111	ア77 HS103	覆土3回目	深鉢		後期7-3	口唇：面瓦、外面：ミガキ外に近いナツ。内面：ナツ、胎土：砂粒。使用痕：なし。	口径：10.1cm。	P-71-1
24-12	111	ア77 HS103	覆土2回目	甕	II	後葉～晩期	外面：縄文瓦、縄文瓦。右側面は縄文に染みついておられるが、穴縁により不明。ナツ。底面：高台。内面：ナツ、胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。	底径：2.8cm。外面黒黒。注口部先地欠損。	597
24-13	111	ア77 HS103	覆土2回目	注口		後期8	内外面：ナツ。底面：高台。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。	底径：2cm。注口部は基部から欠損。	92
24-14	111	ア77 HS103	覆土3回目	注口		後期8小	口唇に連続する突起。口唇：面瓦、外面：胎土。取端には長れがある。注口部に連続する突起。内外面は外ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。		205
24-1	114	Sec1 IVb-36 IVc-36	III-2層 III層	深鉢		後期7-4	平口縁に連続する突起。口唇：面瓦、外面：胎土。取端には長れがある。注口部に連続する突起。内外面は外ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。		P-749
24-2	114	Sec1 IVc-37	III-3層	深鉢	II	後期8小	平口縁に突起。突起は土交互と見られる。大突起には口縁に本面面に包出。口唇：面瓦、外面：胎土。注口部には土交互と見られる。内面：ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：外ナツ、内コウ。		P-201
24-3	114	Sec1 IVc-37	III-3層	注口	II	後期8	口唇：面瓦、外面：胎土。注口基部には百日月の隆帯。隆帯上に縄文瓦、底面：高台。内面：ナツ。胎土：小磯、タナリ磯。使用痕：なし。外側部最大径は5cm。	口径：7.2cm。底径：2.0cm。器高：11.6cm。	P-193
24-4	114	IVc-35	Sec1-III-3層	注口	II	後期7-4	口唇：面瓦、外面：胎土。取端には長れがある。注口部に連続する突起。内外面は外ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。	底径：2.6cm。器高：12.0cm。注口部は基部から欠損。	P-819
24-5	114	IVc-36	Sec1-III-3層	注口		後期7-4	外面：ミガキ。注口部は外ナツと見られる。外側部最大径は5cm。注口部に連続する突起。内外面は外ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。	底径：2.1cm。縄文瓦類(縄文一帯層)一注口部底面欠損。	P-748
24-6	114	IVc-36	Sec1-III-3層	石付深鉢	I&11	後期7-8	口唇：面瓦、内外面：化粧、ミガキ外と思われる。胎土：砂粒、5mm以下小磯。使用痕：なし。	口径：19.4cm。器高：10.6cm。底径：9.3cm。	P-741
24-7	114	Sec1 IVc-37	III-3層	粗製深鉢	I&11	後期後葉 ～晩期	平口縁に三山一組の突起(凸単位)。口唇：面瓦、外面：縄文瓦(凸単位)。取端下半は縄文瓦(凸単位)。内面：ナツ、胎土：小磯。砂粒。使用痕：外ナツ、内コウ。	口径：20.0cm。	P-196,216
24-8	114	Sec1 IVb-36	III-3層	粗製深鉢	I	後期後葉 ～晩期	口唇：面瓦、外面：縄文瓦、内面：ナツ、胎土：小磯。海跡骨針。使用痕：外ナツ、外面に突起(凸単位)。外面に装釘工具による集積痕。口唇：面瓦、突起(凸単位)に伴い、口唇部の内外面を包む。外面に装釘工具による集積痕。内外面を包む。口唇部は外ナツと見られる。外側部最大径は5cm。注口部に連続する突起。内外面は外ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。	口径：16.2cm。底径：6.9cm。器高：18.2cm。注口部は基部から欠損。	P-751
24-9	114 巻頭下	IVc-36	Sec1-III-2層	粗製深鉢	II&11	後期7-8	口唇に突起。突起は土交互と見られる。外側部最大径は5cm。注口部に連続する突起。内外面は外ナツ。胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：なし。	口径：16.2cm。底径：6.9cm。器高：18.2cm。注口部は基部から欠損。	P-564
24-10	114	Sec1 IVb-36	III-2層	深鉢	II	後期7-4	平口縁に山形突起。口唇：面瓦、外面：突起(凸単位)。取端下半は縄文瓦(凸単位)。内面：ナツ、胎土：砂粒、海跡骨針。使用痕：外ナツ、I&11。注口部による入組文。	底径8cmとしている。	P-571

縄文土器観察表(17)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
27-9	115	IVc-36 Sec1-III-2	Sec1-III-2	台付皿	I B1	後末～晩期	口唇：面取。内外面：ミガキ。粘土：砂粒。海綿質射。使用痕：なし。 外面：体部縄文瓦。内面：ナズ。粘土：粒子細かく粗良。	口径：10.7cm。 底径：6.0cm。	P-659 P-692, 957
27-10	115	Sec1 IVc-36 ・IVd-43	III-2層・III-3層	粗製壺		後末～晩期	外面：縄文瓦。底面：低平な高台。内面：ナズ。粘土：小礫多く含む。使用痕：外ノズ。外面：外面付着層年代測定中。	口径：6.2cm。底径：5.5cm。器高：11.2cm。	P-377, 229
27-11	115	Sec1 IVc-36 ・IVd-38	III-2層・III-3層	壺		後末～晩期	口唇：面取なし。外面：ミガキ。粗製海綿。3層位の突起(樽形)の貫通孔。口縁：縄文瓦(樽形)。樽部分はミガキ。底面：ミガキ。内面：ナズ。粘土：海綿質。使用痕：なし。	口径：6.2cm。底径：5.5cm。器高：11.2cm。	P-146
27-12	115	Sec1 IVc-36	III-2層	壺	III 1	晩期1b	平口唇。口唇：外ノ取める。外面：厚縄文瓦。粘土：なし。器面には2本の隆帯。上部隆帯：隆帯の上に縄文1条。6層目に突起。突起を沈凹した延長貫通。下部隆帯：隆帯上に突起。突起が途切れる部分に突起相違の箇所。隆帯上には縄文瓦の瓦敷。内面：ナズ。粘土：白色礫少量。	口径：7.9cm。器高：12.9cm。 注口部は基部から約2cm。 口径：8.4cm。器高：13.6cm。 注口部は基部から約2cm。	P-566 P-566
27-13	115	Sec1 IVc-36	III-2層	壺	III 1	晩期1a	平口唇。口唇：外ノ取める。外面：厚縄文瓦。粘土：なし。器面には2本の隆帯。上部隆帯：隆帯の上に縄文1条。6層目に突起。突起を沈凹した延長貫通。下部隆帯：隆帯上に突起。突起が途切れる部分に突起相違の箇所。隆帯上には縄文瓦の瓦敷。内面：ナズ。粘土：白色礫少量。	口径：7.9cm。器高：12.9cm。 注口部は基部から約2cm。 口径：8.4cm。器高：13.6cm。 注口部は基部から約2cm。	P-156
28-1	116	Sec1 IVc-36	III-2層	注口	III 1	晩期1a	口唇：面取。外面：ミガキ。注口基部に隆帯。内面：ナズ。粘土：海綿質射。使用痕：なし。	口径：8.9cm。器高：16.8cm。注口部径：4.7cm。	P-584
28-2	116	IVc-36	Sec1-III-2層	注口	III 1	晩期1a	口唇：面取。外面：ミガキ。注口基部に隆帯。内面：ナズ。粘土：海綿質射。使用痕：なし。	口径：8.9cm。器高：16.8cm。注口部径：4.7cm。	P-155
28-3	116	Sec1 IVc-36	III-2層	注口	III 1	晩期1b	口唇：面取。外面：ミガキ。注口基部に隆帯。内面：ナズ。粘土：海綿質射。使用痕：なし。	口径：8.9cm。器高：16.8cm。注口部径：4.7cm。	P-686
28-4 28-5	116 116	Sec1 IVc-36 ・IVd-38 ・IVe-39	III-2層・III-3層	注口	III 1	晩期1a	口唇：面取。外面：ミガキ。注口基部に隆帯。内面：ナズ。粘土：海綿質射。使用痕：なし。	口径：10.2cm。器高：8.5cm。底径：5.6cm。 口径：14.0cm。底径：7.0cm。器高：12.6cm。	P-995 P-157
28-6	116	Sec1 IVc-36	III-2層	粗製鉢	I B311	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。内面：ナズ。内外面やや荒れている。粘土：水ノ粗良。砂小波状口縁。口唇：面取。内面：縄文瓦。底面付近には縄文なし。内面：ナズ。粘土：砂粒。海綿質射。使用痕：なし。	口径：29.0cm。器高：7.8cm。器高：41.0cm。底径は図上記載。	P-995 P-995
28-7	116	Sec1 IVc-36 ・IVd-38 ・IVe-39	III-2層	粗製鉢	I B31	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。	口径：29.0cm。器高：7.8cm。器高：41.0cm。底径は図上記載。	P-995
29-1	117	Sec1 IVc-36	III-2層	粗製鉢	I B1	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。	口径：29.0cm。器高：7.8cm。器高：41.0cm。底径は図上記載。	P-992, 503, 153
29-2	117	Sec1 IVc-36	III-2層	粗製鉢	I B1	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。	口径：29.0cm。器高：7.8cm。器高：41.0cm。底径は図上記載。	P-657
29-3	117	Sec1 IVc-36	III-2層	粗製鉢	I B1	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。粘土：砂粒。使用痕：なし。	口径：36.5cm。	P-568
29-4	117	Sec1 IVc-36	III-2層	粗製鉢	I B1	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。内面：ナズ。粘土：2mm以下小礫。使用痕：外ノズ。	口径：41.5cm。	P-703
30-1	117	Sec1 IVc-36	III-2層	粗製鉢	I C1	後期後葉～晩期	口唇：面取。外面：縄文瓦。内面：ナズ。粘土：小礫。海綿質射。使用痕：外ノズ。	口径：41.5cm。	P-88

縄文土器観察表(18)

図番分	写真	出土位置	単位	形状	器形	時期	特徴	備考	図上No.	整理No.
30-2	116	Sec1 IVb-36	III-2層	粗製深鉢	I.a.11	後期後葉～晩期	平口縁に突起。口唇：面皮。外面：縄文。内面：ナズ。胎土：海綿骨針。砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：30.6cm, 底径：8.9cm, 器高：42.6cm。	P-69a, 241	1012
30-3	117	IVb-35・IVb-36・IVc-37	Sec1 III-2層・III-3層・III-4層	粗製深鉢	I.a.1	後期後葉～晩期	口唇：面皮。外面：縄文(口縁部は一段削た)。縄文(口縁部を除く)は縄文。内面：ナズ。底部：灰底。胎土：小籠。砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口唇：27.1cm, 底径：11.4cm, 器高：14.9cm, 内外面赤色。	P-69b	1
30-4	116	Sec1 IVb-36	III-2層	粗製深鉢		後期後葉	外面：縄文&K。底部付近は縄文なし。底径：高台。底面：ナズ。胎土：砂。使用口径：外xス。	底径：9.0cm。	P-572	1019
30-5		Sec1 IVb-36	III-2層	粗製深鉢		後期後葉	外面：縄文&K。底径：高台。底面：ナズ。胎土：3cm以下小籠。使用口径：外xス。内コゴ。	底径：6.8cm。	P-118	1014
30-6	116	Sec1 IVc-35	III-2層	香印		後期8	香土突起。胴部の彫り付する部分に之を裏に沈め(口の裏面のみ)。外面：粘。貫通孔あり。底径：胎土。砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：24.7cm。	P-20	1030
30-7	118	44・41	III-1層・III-2層	粗製深鉢	I.a.1	後期8	口唇に突起。外面：縄文&K。内面：ナズ。胎土：小籠多く含む。海綿骨針。使用口径：外xス。内コゴ。胎土：砂粒。	口径：29.8cm。	P-18	702
31-1	118	Sec2 IVb-44	III-2層	深鉢	II.Ba.5	後期8	口唇に高低の突起が交互に下隆れ。高い方の胴部に肩目。口唇：面皮。外面：縄文。内面：上層の縄文。内コゴ。胎土：砂粒。	口径：17.6cm。	P-14	714
31-2	118	Sec2 IVb-44	III-2層	深鉢	II.Ba.5	晩期2	平口縁に突起(単位数不明)。口唇：肩目。外面：沈。最上層の花輪から口縁に行つたコゴも外に沈。沈れと肩目による生肌状文。縄文&K。内面：ナズ。胎土：海綿骨針。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：21.0cm, 底径：10.2cm, 器高：16.9cm。		136
31-3	118	Sec2 IVb-44	III-2層	粗製深鉢	I.Ba.1	後期後葉～晩期	口唇：浅口面皮。外面：ナズ。内面：ナズ。胎土：小籠。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：27.1cm, 底径：11.4cm, 器高：14.9cm, 内外面赤色。	P-2	112
31-4	118	IVb-41	III-2層	台付深鉢	II.c	晩期1b	裝飾的な小波状口縁。本器は1単位。外面：面輪と台部は人福三文字。文様部は縄文なし。体部縄文&K。右部：透かし丸。使用口径：なし。胎土：砂粒。海綿骨針。	口径：15.7cm, 底径：4.4cm, 器高：8.8cm。		115
31-5	118 巻部下	Sec2 IVb-44	III-2層	台付皿	I.BS	晩期3	透かし丸のある裝飾的な突起が連続する口縁。外面：沈。用法による雲形文。縄文&K(磨削)。磨削部はミガキ。右部：沈。透かし丸。ミガキ。内面：ミガキ。胎土：粘。海綿骨針。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：16.3cm, 底径：4.2cm, 器高：7.0cm, 内外面赤色(磨削部)。	P-2	131
31-6	118	Sec2 IVb-44	III-2層	浅鉢	I.A1	晩期3	口唇：面皮なし。外面：沈。連続する肩目。用法による雲形文。縄文&K(磨削)。磨削部はミガキ。右部：内面：沈。透かし丸。ミガキ。胎土：砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：19.5cm, 底径：3.6cm, 器高：7.0cm, 内外面赤色(磨削部)。	P-2	131
31-7	118	Sec2 IVb-45	III-2層	浅鉢	I.A1	晩期3	口唇：面皮なし。外面：沈。連続する肩目。用法による雲形文。縄文&K(磨削)。磨削部はミガキ。右部：内面：沈。透かし丸。ミガキ。胎土：砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：16.3cm, 底径：4.2cm, 器高：7.0cm, 内外面赤色(磨削部)。		131
31-8	118	Sec2 IVb-44	III-2層	浅鉢	I.A1	晩期3	口唇：面皮なし。外面：沈。連続する肩目。用法による雲形文。縄文&K(磨削)。磨削部はミガキ。右部：内面：沈。透かし丸。ミガキ。胎土：砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：16.3cm, 底径：4.2cm, 器高：7.0cm, 内外面赤色(磨削部)。		131
31-9	118	Sec2 IVb-44	III-2層	浅鉢	I.A1	晩期3	口唇：面皮なし。外面：沈。連続する肩目。用法による雲形文。縄文&K(磨削)。磨削部はミガキ。右部：内面：沈。透かし丸。ミガキ。胎土：砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：16.3cm, 底径：4.2cm, 器高：7.0cm, 内外面赤色(磨削部)。		131
32-1	118 巻部下	Sec2 IVb-44	III-2層上	半筒形鉢	I.a.5	晩期3	口唇：面皮なし。外面：沈。連続する肩目。用法による雲形文。縄文&K(磨削)。磨削部はミガキ。右部：内面：沈。透かし丸。ミガキ。胎土：砂粒。使用口径：外xス。内コゴ。	口径：14.0cm, 底径：7.3cm, 器高：8.5cm, 縄文(磨削部→突起→沈)。	Sec2 P-9	78
32-2	118	Sec2 IVb-44	III-2層	半筒形鉢	I.a.5	晩期3	口唇に肩目。体部縄文&K。使用口径：外xス。内コゴ。胎土：砂粒。	口径：12.1cm, 底径：3.0cm, 器高：4.5cm, 外面に磨削(比喩)年代測定中。		701

縄土器観察表(20)

図番	写真	出土位置	層位	形態	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
33-2	120	Sec3 IVc-41	Ⅲ-11層	香戸		後期7~8	香戸型。普通しき面滑。左右側面に打痕(突起、左側点)。使用良好。粘土・砂・陶質骨片。口縁:ナズ、縄文(横文)。注口直下に上面に刻目がある。			1515
33-3	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-8層	平筒製注口	Ⅱ1	後期8	口唇:横文。外面:ナズ、縄文(横文)。注口直下に上面に刻目がある。胎底:高台;内面:小縄。使用良好。口唇:横文。		P-17	2165
33-4	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-6層	深鉢		後期7-4	深鉢。胎底面は穴。底面は3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			904
34-1	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-4層	平筒製台付鉢	Ⅱc-2	晩期4	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。		P-12	122
34-2	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-4層	平筒製鉢	Ⅱb-2	晩期5か	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			213
34-3	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-4層	粗製深鉢	Ⅱc	晩期2~3a	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			902
34-4	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-3層	粗製深鉢	Ⅱa-1	後期後葉	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。		P-4	900
34-5	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-3層	粗製深鉢	Ⅱa-1	後期後葉	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。		P-11	903
34-6	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-3層	粗製深鉢	Ⅱc1	後期後葉	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。		P-8	216
34-7	120	Sec3 IVc-45	Ⅲ-4層	深鉢		晩期	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			214
34-8	120	Sec3 IVc-45	Ⅲ-4層	深鉢		後期後葉	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。		P-10	189
34-9	120	Sec3 IVc-44	Ⅲ-2層	深鉢	Ⅱ	後期7-3	口唇:面紋。外面:江縄。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。		P-19	909
35-1	121	Sec5 IVc-36・IVc-36	Ⅲ-9層・Ⅲ-8層	深鉢	Ⅱa5	後期8	口唇:連続する突起。口唇:面紋。外面:江縄。縄文(横文)。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			2199
35-2	121	Sec5 IVc-36	Ⅲ-8層	粗製鉢	Ⅱa11	後期後葉	口唇:連続する突起。口唇:面紋。外面:江縄。縄文(横文)。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			2192
35-3	121	Sec5 IVc-36	Ⅲ-7層	深鉢	Ⅱa11	後期7-4	口唇:連続する突起。口唇:面紋。外面:江縄。縄文(横文)。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			2210
35-4	121	Sec5 IVc-35	Ⅲ-7層	注口	Ⅱ1	晩期1a	口唇:連続する突起。口唇:面紋。外面:江縄。縄文(横文)。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			2015
35-5	121	Sec5 IVc-35	Ⅲ-7層	釜か		晩期1a-b	口唇:連続する突起。口唇:面紋。外面:江縄。縄文(横文)。胎底:3部一組の突起。口唇:面紋。外面:江縄。注脚間に連続する刻目。縄文(横文)。胎底面:ナズ。胎底:(内面)と側面(上部)に刻目のあるもの2種。内面:ナズ、粘土・小縄。使用内・外・ス・ス。			2197

縄文土器観察表 (21)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
35-6	121	Se5 IVS-34・31 (IVS-34)	III-6層	台付鉢小	IIb3	晩期1a	小底状口縁。口縁：外面、口縁部と唇部を形成し、唇部を形成した上端より口の縁位縁部で折折。唇部文様部には入組文を5単位生成する。入組文の単位部に三叉状の筋、縄文(取柄)。体部縄文(取柄)は表面で見えていない。使用痕：外スス、内ス上平コガ。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：19.5cm、底径14cm、高存年4/5。	2061	2100
35-7	121	Se5 IVS-34・31 (IVS-34)	III-6層・III-5層	深鉢	IIb5	後期8	口縁に低い山状の台形突起と低い山形突起が交互に連続。低い突起の頂部に斜目。口縁部には山形突起と低い山形突起の間に、外組文を5単位生成する。外組文の単位部に三叉状の筋、縄文(取柄)。体部縄文(取柄)は表面で見えていない。使用痕：外スス、内ス上平コガ。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：25.0cm、底径11.0cm、高存年4/5。口縁部は縄文(取柄)と外組文(取柄)。	2100	
35-8	121	Se5 IVS-34 (IVS-34)	III-5層	蓋	III	晩期1~2	口縁：外組文。外面、内面：ナギ。板状口縁部。胎土：小磯。使用痕：外スス、内コガ。	口径：26.8cm、底径：30.7cm、底径：6.6cm。	2121	
35-9	121	Se5 IVS-35	III-5層	粗面深鉢	I b1	後期後葉~晩期	口唇状口縁。外面、縄文(取柄)。小底状縁の下には、縄文筋に上向きに弧線と下向きに弧線が組合せて影線形の文様が連続し、底部以下に三叉文を配す。文様帯の外周部には粗面を呈し、体部には縄文で覆われている。使用痕：外スス、内コガ。胎土：小磯。使用痕：外スス、内コガ。	口径：26.8cm、底径：30.7cm、底径：9.0cm。	2041	
36-1	122	Se5 IVS-35	III-4層	深鉢	I C	晩期1b	小底状口縁。外面、縄文(取柄)。小底状縁の下には、縄文筋に上向きに弧線と下向きに弧線が組合せて影線形の文様が連続し、底部以下に三叉文を配す。文様帯の外周部には粗面を呈し、体部には縄文で覆われている。使用痕：外スス、内コガ。胎土：小磯。使用痕：外スス、内コガ。	口径：22.0cm、底径：9.7cm、底径：27.1cm。	2018	2193
36-2	121	Se5 IVS-34・31 (IVS-34)	III-4層・III-3層・III-2層	台付鉢	IIb5	晩期1a	口縁に低い山形突起と台形突起が交互に連続(単位長不明)。台形突起の頂部に斜目2本。外組文による山形突起。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：22.0cm、底径：290±20g程度。外組文は5単位生成する。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	2147	
36-3	122	Se5 IVS-34	III-4層	台付鉢	II	晩期1a~b	外面：縄文(取柄)。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：22.2cm、底径：5.0cm。	2119	
36-4	122	Se5 IVS-34	III-4層	台付鉢	IIA5	晩期1a	口縁に低い山形突起と台形突起が交互に連続(単位長不明)。台形突起の頂部に斜目2本。外組文による山形突起。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：22.2cm、底径：5.0cm。	2119	
36-5	122	Se5 IVS-34	III-4層	注口	IIA5	晩期1a	外面：縄文(取柄)。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：22.2cm、底径：5.0cm。	2056	
37-1	122	Se7 IVS-35	III-10層・III-9層・III-8層	台付鉢	IIb3a	後期7-4	外面：縄文(取柄)。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：22.2cm、底径：5.0cm。	2053	
37-2	122	Se7 IVS-34	III-2層・III-3層・III-10層	台付鉢	IIb5	晩期1a	口縁に低い山形突起と台形突起が交互に連続。台形突起の頂部に斜目2本。口唇状口縁。外面、縄文(取柄)。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：23.7cm。	2060	
37-3	122	Se7 IVS-35	III-10層	注口	III	後期7~8	外面：ナギ。注口部以下に1日寸の彫込み。底面：産石。内面：ナギ。胎土：小磯。使用痕：外スス、内コガ。	口径：2.0cm、注口部は基部から尖り、先部に黒色物質(ブラスファルト)が付着している。	2052	
37-4	122	Se7 IVS-34・31 (IVS-34)	III-10層・III-9層	注口小	IIA	晩期1a	外面：縄文(取柄)。底面：産石。胎土：磁質で粘土質の黒土古灰。磁砂粒、骨質骨片。	口径：0.6cm。	2051	2100

縄文土器観察表 (23)

原番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
38-11	124	Se7 IVs-36	III-7層	深鉢	II	後期7~8	外面くびれ部に内面の亀頭と横方向の突起が互に張り付けられる。横方向の突起は上唇に傾いた短柱状が施される。体部下半部。内面:ナズ。胎土:小粒。薄緑青針。使用痕:外スス、内コウ。	くびれ部に内面亀頭の表現。	P-222・223	222・223
39-1	124	Se7 IVs-35・IVs-36	III-6層・III層	台付鉢	IIb&5	晩期1a	口縁に山形突起と山形突起が交互に連続。台形突起の頂部に刻目日本木。口唇:面取。外底:各突起下に向きの三又文。文部帯を上を底面に到達する短柱状で区画。区画の上を下半部の入組文。入組文の頂部に刻目三又文の区画。入組文内には木の底化現象。編文土:薄緑青針。入組文の区画を引き直した箇所あり。使用痕:外スス、内コウ、胎土:薄緑青針。	山形突起と山形突起が交互に連続。台形突起の頂部に刻目日本木。口唇:面取。外底:各突起下に向きの三又文。文部帯を上を底面に到達する短柱状で区画。区画の上を下半部の入組文。入組文の頂部に刻目三又文の区画。入組文内には木の底化現象。編文土:薄緑青針。入組文の区画を引き直した箇所あり。使用痕:外スス、内コウ、胎土:薄緑青針。	2110	2110
39-2	124	Se7 IVs-35	III-5層	注口	III	晩期1a	口唇面取なし。外面:ナズ。区画。内面:ナズ。胎土:小粒。薄緑青針。使用痕:なし。	口唇:5.3cm、器高:9.0cm、底径:1.6cm。胎土は基部から外周。	2016	2016
39-3	124	Se7 IVs-35	III-2層	壺	III	晩期1b	口唇に無文なし。外面:口縁面取。3.5角半。区画。編文区画に。横筋にはミ字半。体部中身に無文なし。体部下半部編文区画。内面:ナズ。胎土:精良。使用痕:なし。外面黒斑。	口唇:5.9cm、底径:5.4cm、器高:11.9cm。胎土は基部から外周。	2017	2017
39-4	124	Se7 IVs-34	III-2層・III層	壺	III	晩期1a	口唇:面取。外面:編文区画。区画。ナズ。器部に横筋。横筋上に編文。区画。突起。底:高石。内面:ナズ。胎土:細灰状片。使用痕:なし。外面黒斑。	口唇:10.8cm。外面対上及び内面黒斑赤影(踵)。体部突起赤影(アスアツガク)付着。	P-249	2079-1
39-5	124	Se7 IVs-34	III-2層・III層	壺	III	晩期1a	—	口唇:10.8cm。外面対上及び内面黒斑赤影(踵)。体部突起赤影(アスアツガク)付着。底径:9.6cm、39-4と同じ個体。	2079-1	2079-2
40-1	125	IVb-29	III層	深鉢	IIb&5	晩期1b	口縁に短突起(単位数不明)。口唇:扇目。外面:入組三又文。区画。体部上半部編文区画。体部下半部ナズのみナズ。底部:高石。内面:ナズ。胎土:タカリ焼。薄緑青針。使用痕:外スス、内コウ。	口唇:17.0cm、底径:6.0cm、器高:19.4cm。	P-437	1151
40-2	125	IVb-39	III層	台付鉢	IIb&2	晩期1b	口唇:扇目。外面:文部帯上下に半行区画。半行帯は区画三又文。末端に凹形突起。体部の幅が細く編文区画で覆われる。胎土:黒色で傾斜した入組三又文。胎土基部の亀頭が濃い。細砂粒。薄緑青針。使用痕:外スス、内コウ。	口唇:23.0cm、器高12.2cm、器厚が4mm厚と薄い。	P-438、382	271
40-3	125	IVb-39	III層	鉢	IIb&1	晩期1b	平口縁に短突起(単位数不明)。口唇:面取なし。外面:区画。入組三又文。ナズ。体部編文区画(部分)。底部:平底。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス、内コウ。	口唇:10.8cm、底径:5.4cm、器高:9.7cm。	P-437	1113
40-4	125	IVb-39	III層	深鉢	III	後期後葉	外面:ナズの編文区画。区画。平底。器高15cmくらいは編文なし。底部:高石。内面:ナズ。胎土:面取。使用痕:外スス、内コウ。	口唇:7.0cm。	P-437	283
40-5	125	IVb-39	III層	船形深鉢	I&4	後期後葉	口唇:面取。外面:口縁に面取時の粘土の痕。編文区画。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス、内コウ。	口唇:28.3cm。	P-680	273
40-6	125	IVb-39	III層	船形深鉢	I&4	後期後葉	口唇:面取。外面:編文区画(部分)。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス、外面黒斑。	口唇:25.9cm。	P-682、681	64
40-7	125	IVb-39	III層	深鉢	IIb&1	後期7-4	平口縁に突起(二山一帯で3単位)。口唇:面取。区画。編文による入組文。編文区画(部分)。体部は無文。内面:ナズ。胎土:粘土。編文区画。使用痕:外スス、内コウ。	口唇:22.2cm。編文区画(部分)。部分の編文区画は下着金具、編文区画は土製と思われる。	P-483	260
40-8	125	IVb-39	III層	台付鉢	IIb&1	後期7-4	外面:区画間に連続する扇目。胎土。区画による入組文。編文区画(部分)。横筋は彫去状。体部下半部ナズ。胎土:小粒。タカリ焼。薄緑青針。使用痕:なし。外面黒斑。	口唇:22.0cm、器高:22.0cm、底径:10.6cm。	P-484	1119
40-9	125	IVb-39	III層	深鉢	III	後期8a	外面:口縁に大小交互の山形突起(単位数不明)。口唇:面取。外面:口縁編文区画。基部以下ナズ。底部:高石。内面:ナズ。胎土:砂粒。薄緑青針。使用痕:なし。外面黒斑。	口唇:8.5cm、器高:15.9cm、底径:3.1cm。	P-528	280
40-10	125	IVb-40	III層	注口	II5	後期7~8	注口部対上から内周。	口唇:8.5cm、器高:15.9cm、底径:3.1cm。	P-432	1073

縄文土器観察表(24)

区分	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
40-11	126	IVb-40	II層	台付浅鉢	I Bb1	後期1~4	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：縄文(14単位)。沈線。ミガサ。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：23.7cm。底文脈(沈線)幅2.2cm。突起形状は108-4、112-5と共通するが、7歳では17-4と同じ。	P-652、167
0-1	126	IVb-40	II層	深鉢	I Bb3	後期1~4	深鉢口縁(8単位)。突起部は突起の突起。口唇：面取。外面：沈線間に連続する肩目。底面は突起の突起の突起に「人」の字状の沈線。沈線による人脈文。縄文(8単位)。底面は突起。体部無文。胎土：黒変で滑らか。粘土基質の量比が高い。細砂付。使用痕：外々スス。内コガ。	口唇：25.5cm。底面：底面黒変。突起形状は108-4、112-5と共通するが、7歳では17-4と同じ。	P-431、465、466、467
01-2	126	IVb-40	II層	粗製鉢	I Bb11	後期後遺～晩期	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：17.0cm。底面：13.9cm。底径：8.0cm。	P-432
01-3	126	IVb-40	II層	鉢	I B	後期8	外面：突起による人脈文。縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	縄文(8単位)→沈線。上部の突起は黒口縁。	P-504
01-4	126	IVb-41	II層	平筒製深鉢	I Bb1	晩期5	深鉢口縁(8単位)。突起部は突起の突起。口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：19.2cm。底面：19.1cm。底径：8.0cm。	P-945
01-5	126	IVb-42	II層	深鉢	I C	晩期1a	口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：7.9cm。底面：9.5cm。胎土：黒変。	1456
01-6	126	IVb-43	II層	注口	III	晩期1b	口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：32.5cm。底面：32.5cm。底径：8.0-7。底面では晩期1b類似。	P-1077
01-7	127	IVb-43	II層	台付浅鉢	I Bb5	晩期1b~2	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：8.5cm。底面：5.4cm。	P-944
01-8	126	IVb-43	II層	粗製鉢	I A1	晩期1~2	口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：24.1cm。	P-895
01-9	126	IVb-43	II層	粗製深鉢	I Bb11	後期後遺	口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：22.2cm。底面：32.8cm。底径：9.1cm。	297
01-10	126	IVb-43	II層	粗製深鉢	I A1	後期後遺	口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：21.6cm。	267
02-1	127	IVb-38	II層	深鉢	I Bb11	後期1~4	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：沈線間に連続する肩目。底面：突起の突起の突起に「人」の字状の沈線。沈線による人脈文。縄文(8単位)。底面は突起。体部無文。胎土：黒変で滑らか。粘土基質の量比が高い。細砂付。使用痕：外々スス。内コガ。	口唇：22.3cm。底面：22.3cm。底径：8.1cm。	1098
02-2	127	IVb-38	II層	台付浅鉢	I B11	後期5	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：縄文(12単位)。底面：面取。内面：ナツ。胎土：小塊。使用痕：なし。内面黒変斑。	口唇：23.8cm。	1129
02-3	127	IVb-39	II層	深鉢	I Bb11	後期1~4	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：沈線間に連続する肩目。底面：突起の突起の突起に「人」の字状の沈線。沈線による人脈文。縄文(8単位)。底面は突起。体部無文。胎土：黒変で滑らか。粘土基質の量比が高い。細砂付。使用痕：外々スス。内コガ。	口唇：20.0cm。底面：8.9cm。底径：3.2cm。	P-386
02-4	127	IVb-39	II層	深鉢	I Bb11	後期1~4	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：沈線間に連続する肩目。底面：突起の突起の突起に「人」の字状の沈線。沈線による人脈文。縄文(8単位)。底面は突起。体部無文。胎土：黒変で滑らか。粘土基質の量比が高い。細砂付。使用痕：外々スス。内コガ。	口唇：22.3cm。底面：22.3cm。底径：8.1cm。	P-467、362
02-5	127	IVb-39	II層	深鉢	I Bb11	後期1~4	平口縁に突起(8単位)。口唇：面取。外面：沈線間に連続する肩目。底面：突起の突起の突起に「人」の字状の沈線。沈線による人脈文。縄文(8単位)。底面は突起。体部無文。胎土：黒変で滑らか。粘土基質の量比が高い。細砂付。使用痕：外々スス。内コガ。	口唇：22.3cm。底面：22.3cm。底径：8.1cm。	1081

縄文土器観察表 (25)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
42-6	127	IV0-39	II層	深鉢	IIb411	後期7-4	平口縁に突起。口唇：面底。外面：突起部直下には屈折面が小さな距離を付し、前面部に付す突起と上下で対応する。口縁直下から屈折部まで肩目帯と肩文を交互に配置し、斜め下方から等間隔に、粘土基質の黒色帯を横行方向に形成される。体部は細文。胎土：新成で等間隔に、粘土基質の黒帯が成り、細砂粒、微塵の陶質骨片。使用土：外土ス。	口径：23.7cm、器高は14cm程度と推し、	101・1122
42-7	127	IV0-39	III層	粗製台付鉢	I 4a11	後期後葉	平口縁に突起(計12単位)。口唇：面底。外面：胎土。胎土：小磯、海神骨片。体部は細文。胎土：外土ス。	口径：13.2cm、	288
42-8	128	IV0-40	III層	粗製深鉢	I 4a1	後期後葉 ～晩期	平口縁に突起。口唇：肩目、外面：面底。内面：ナギ。胎土：小磯、クナリ泥。使用土：外土ス。	口径：28.4cm、	P-301、488
43-1	128	IV0-41	III層	深鉢	IIb24	晩期10～2	平口縁に突起。口唇：肩目、外面：面底。内面：ナギ。胎土：小磯、クナリ泥。使用土：外土ス。	口径：21.3cm、	P-376、606
43-2	128	IV0-41	III層	深鉢	IIb41	晩期1b	小磯文(胎土)の肩の角のような形状をした突起(1単位)。口唇：面底なし。外面：面底。細文(胎土)。胎土による突起付いた入組。体部細文(胎土)。内面：ナギ。胎土：クナリ泥。陶質骨片。使用土：外土ス。内面に黒色帯のため使用痕度低い。	器高では晩期1b程度、	1118
43-3～8	128	IV0-41・IV0-41	III層	台付深鉢		晩期3	台部に彫らみをもつ台付深鉢。全体面底。外面：肩目、透かし孔。内面：ナギ。胎土：砂粒、陶質骨片。使用土：なし。外面面底。	外面赤彩(焼)、磨き出し、	P-544
43-9	128	IV0-42	III層	注口	II1	晩期1a	口唇：面底。外面：面底。注口先端部縁。注口先端部縁。内面：ナギ。胎土：	口径：9.3cm、注口部存在、	P-664
43-10	128	IV0-42	III層	半壊深鉢	III1	晩期1a	口唇：面底。外面：面底。胎土：小磯、海神骨片。胎土：外土ス、内コナゴ。口唇：面底。胎土：外土ス。	口径：9.2cm、器高：25.1cm、底径：11.0cm、胎土：小磯、海神骨片(アスファルト小磯)が帯状に付着、	P-663、665、719
43-11	128	IV0-42	III層	粗製深鉢	III1	晩期8	口唇：面底。外面：面底。胎土：外土ス、内コナゴ。口唇：面底。胎土：外土ス。	口径：21.2cm、器高：24.1cm、底径：7.2cm、	P-664、665
43-12	128	IV0-42	III層	深鉢	I 4a11	後期7-4	平口縁に突起(計12単位)。口唇：面底。外面：突起部直下には屈折面が小さな距離を付し、前面部に付す突起と上下で対応する。口縁直下から屈折部まで肩目帯と肩文を交互に配置し、斜め下方から等間隔に、粘土基質の黒色帯を横行方向に形成される。体部は細文。胎土：新成で等間隔に、粘土基質の黒帯が成り、細砂粒、微塵の陶質骨片。使用土：外土ス。	口径：21.2cm、器高：24.1cm、底径：7.2cm、	P-659
43-13	129	IV0-42	III層	深鉢	IIb411	後期7-4	平口縁に突起(計12単位)。口唇：面底。外面：突起部直下には屈折面が小さな距離を付し、前面部に付す突起と上下で対応する。口縁直下から屈折部まで肩目帯と肩文を交互に配置し、斜め下方から等間隔に、粘土基質の黒色帯を横行方向に形成される。体部は細文。胎土：新成で等間隔に、粘土基質の黒色帯が成り、細砂粒、微塵の陶質骨片。使用土：外土ス。	口径：25.0cm、胎土：小磯、海神骨片(アスファルト小磯)が帯状に付着、	P-906
43-14	128	IV0-42	III層	深鉢	IIb411	後期7-4	平口縁に突起(計12単位)。口唇：面底。外面：突起部直下には屈折面が小さな距離を付し、前面部に付す突起と上下で対応する。口縁直下から屈折部まで肩目帯と肩文を交互に配置し、斜め下方から等間隔に、粘土基質の黒色帯を横行方向に形成される。体部は細文。胎土：新成で等間隔に、粘土基質の黒色帯が成り、細砂粒、微塵の陶質骨片。使用土：外土ス。	口径：22.0cm、	P-927

縄土器観察表(26)

図番号	写真	出土位置	層位	形種	形状	時期	特徴	備考	図上No.
44-1	129	IV0-42	III層	深鉢	I 8041	後製8	平口縁に突起(4単位)、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口縁：18.6cm、外周径：29.0mm、突起： 幅約1丸。 口径：11.0cm、底径：4.0cm、深さ： 29.3cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	1099
44-2	129	IV0-42	III層	注口	II 11	後製8	平口縁に突起(4単位)、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：11.0cm、底径：4.0cm、深さ： 29.3cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	109
44-3	129	IV0-42	III層	臺又は注口	後製7~8	後製7~8	外周、ミガキ、底隆、高背、内面：ナデ、胎土：タナリ磯、海綿骨片、使用痕：なし、外 周面：隆起、溝状、凹溝、肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：11.0cm、底径：4.0cm、深さ： 29.3cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	272
44-4	129	IV0-42	III層	注口	晩製1a	晩製1a	外周、溝状、凹溝、肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：11.0cm、底径：4.0cm、深さ： 29.3cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-1458
44-5	129	IV0-42	III層	深鉢	後製未定、 晩製初頭	後製未定、 晩製初頭	口唇に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：11.0cm、底径：4.0cm、深さ： 29.3cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-912
44-6	129	IV0-42	III層	深鉢	II 6031	後製8	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：25.9cm。 残存率1/3。	P-551
44-7	129	IV0-42	III層	深鉢	II 55	後製8	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：27.0cm。 底径：7.0cm、深さ： 23.1cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-551
44-8	129	IV0-42	III層	台付深鉢	後製7-4	後製7-4	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：27.0cm。 底径：7.0cm、深さ： 23.1cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-410、 611
45-1	130	IVP-39	III層	深鉢	II 6031	後製7-4	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：27.0cm。 底径：7.0cm、深さ： 23.1cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-370
45-2	130	IVP-40	III層	台付浅鉢	I 811	後製8	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：28.6cm。 底径：7.0cm、深さ： 23.1cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-400、 401
45-3	130	IVP-40	III層	鉢	I 8011	後製7-4	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：27.0cm。 底径：7.0cm、深さ： 23.1cm。 外面赤影(内面は原料保存なし)、 口部完成。	P-448
45-4	130	IVP-42・ IVP-43	III層	深鉢	I 405	晩製1a	口唇に突起する突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：14.3cm、底径：7.0cm、深さ： 28.2cm、内外面赤影(胎)、 口部完成。	P- 594, 935, 967
45-5	130	IVP-42	III層	壺	III 1	晩製2	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：16.0cm、深さ：16.3cm、底径： 4.3cm。	P-702
45-6	130	IVP-42	III層	甕形 台付鉢	I 4011	後製後製 ~晩製	平口縁に突起、突起部間に肩口、外周、外縁、溝状、凹溝による山形文、入 字文の屈曲部に二文状の突起、唇部隆起が基本編文であるべき所にもほとんど盛文され ていない部分がある。仕舞はきれいに処理されたが、粘土のツツクが丸い。ひき直した ものもまらんと用いられている。体部隆起。使用痕：外、内コケ。胎土：砂粒、小 石。	口径：16.0cm、深さ：16.3cm、底径： 4.3cm。	P-934

縄文土器観察表 (27)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
45-7	130 ⑤頭上	IVP-42	III層	注口	II1	晩期 Ia	口唇・面取なし。外面・縄文、縄文R、玉拍三ノ文。注口先端露出。注口直下に2~3突の彫らぬみ。器底面が著しい(文様)。使用直後には不明、外面・ナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。	口径：8.6cm、底径：2.0cm、器高：15.0cm。 注口部完全。	P-714
45-8	130 ⑤頭下	IVP-42	III層	粗型深鉢	I.6.1	後部後葉 ～晩期	口唇・面取。外面・縄文R。縄文Rは後部には不明、外面・ナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。底面が著しい(文様)。使用直後には不明、外面・ナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内面黒光り、底面・高台。	口径：28.4cm、器高：38.5cm、底径：9.8cm。食む跡には後部にも多い。7歳小児が多用していた。内面は濃赤色の染料で着色された。	P-720、 721, 726
46-1	131	IVP-43	III層	深鉢	II.6.11	後期7-4	平口縁に突起(9単位)。口唇・面取。外面・縄文R(一部輪彫)。突起の直下には横長縦割のケズリ。口縁文に連続する5単位。北側による入組文、縄文R(磨削)。外面には磨削のケズリ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。	口径：22.1cm、底径：8.4cm、器高：24.3cm。 縄文R(縄文→沈彫一帯付)。磨削形、突起は22単位。	P-1003、 1037
46-2	131 ⑤頭上	IVP-43・ IVD-43	III層	台付深鉢	II.6.11	後期7-4	平口縁に3個一組の突起(4単位)。口唇・面取。外面・玉拍三ノ文の突起。2つから5単位に突起。北側による入組文、縄文R(磨削)。外面には磨削のケズリ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。平足は硬質、内コマ。胎土・白～灰色の小籠。南面黒光り。	口径：21.0cm、底径：11.1cm、器高：29.8cm。 文様に彫り込まれているが、文様は胎土に磨削が認められ、磨削による入組文・底面下第一帯彫→沈彫(小籠)で染み込まれたと思われる。	P-1037、1038 1124
46-3	131	IVP-43	III層	深鉢	II.6.11	後期8	口唇・面取。外面・縄文R。入組文の突起は三ノ文、北側による入組文、南面黒いナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内コマ。	口径：27.0cm、器高：10.4cm、底径：11.6cm。	P-782
46-4	131	IVP-43	III層	深鉢	II.6.11	後期8	口唇・面取。外面・縄文R。入組文の突起は三ノ文、北側による入組文、南面黒いナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内コマ。	P-999	
46-5	131	IVP-43	III層	深鉢	II.6.11	後期8	平口縁に突起。突起頂部に唇目。口唇・面取。外面・縄文R(磨削)。外面には磨削のケズリ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内コマ。	P-996	
46-6	131	IVD-43	III層	深鉢	II.6.11	後期8	平口縁に突起。突起頂部に唇目。口唇・面取。外面・縄文R(磨削)。外面には磨削のケズリ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内コマ。	P-978, 973 1438	
46-7	131	IVD-43	III層	台付深鉢	I.11	後期7-8	口唇・面取。外面・ケズリのみナゲ。台部・磨かし瓦。内面・ケズリのみナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内面黒光り。	口径：27.0cm、器高：10.4cm、底径：11.6cm。	P-978, 978
46-8	131	IVD-43	III層	注口	II.6.11	後期7-4	口唇・面取。外面・縄文R(横段)。底面・ナゲ。内面・ナゲ。底面・高台。胎土・砂粒。使用直後・なし。内面黒光り。	底径：2.1cm、注口部先端欠損。	P-1072
46-9	131	IVD-43	III層	注口	II.1	後期7-8	口唇・面取。外面・ミガキ。内面・ナゲ。胎土・クマリ。南面黒い。使用直後・なし。外内黒光り。	口径：8.2cm、注口部は基部から剥離。	P-1068
46-10	131 ⑤頭上	IVD-43	III層	注口	I.5	後期7-4	深鉢の胎土直下に射子状の1射子突起。影彫・影彫突起は管状工具による。沈彫。	底径：2.6cm、器高：13.3cm、注口部完全。	P-1064
46-11	131	IVP-43	III層	粗型深鉢	I	後部後葉 ～晩期	口唇・面取。外面・ケズリのみナゲ。内面・ナゲ。胎土・小籠。クマリ。南面黒い。使用直後・外ナス。内コマ。	P-984	
46-12	131	IVD-43	III層	粗型深鉢	I	後部後葉 ～晩期	口唇・面取。外面・縄文R。内面・ナゲ。3mm位の単位、単位内に細かな突起認められる。胎土・クマリ。南面黒い。使用直後・外ナス。内コマ。	P-1053	
46-1	132	IVD-43	III層	粗型深鉢	I.6.1	後部後葉 ～晩期	口唇・面取。外面・縄文R。内面・ナゲ。胎土・小籠。使用直後・外ナス。内コマ。	口径：12.5cm、器高：16.6cm、底径：8.4cm。	P-973

縄文土器観察表(28)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
47-2	132	IVP-43・IVP-43	III層	粗製深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	口唇：直取、面取りの明し後の凹凹、縄文が施文される。外面：縄文X状、内面：ナツ、船土；薄輪背射、小磯、クヤリ器、使用値：外スス、内コゴ。		p-982, 1003
47-3	132	IVP-43	III層	粗製深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	口唇：直取、外面：縄文X、縄文は面取後に施文、内面：ナツ、船上：小磯、クヤリ器、使用値：外スス、内コゴ。	口径：32.0cm。	p-986
47-4	132	IVP-43	III層	粗製深鉢	I C11	後器後葉～晩期	平口縁に四山一組の突起(単位位か)、口唇：面取、外面：口縁下に波彫(縄文器文)、縄文X状、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。		p-1037
47-5	132	IVP-43	III層	粗製深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	口唇：直取、外面：縄文X、縄文は面取後に施文、内面：ナツ、船上：小磯多く含む、使用値：外スス、内コゴ、クヤリ器、使用値：外スス、内コゴ。	口径：25.2cm。	p-977
47-6	132	IVP-43	III層	深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	口唇：直取、外面：直取、低平な面取、内面：ナツ、船外工具痕、船上：小磯、使用値：外スス、内コゴ、クヤリ器、使用値：外スス、内コゴ。	直径：8.0cm。	p-780
47-7	132	IVP-43	III層	深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	外面：縄文X、直取、低平な面取、内面：ナツ、船上：小磯多く含む、使用値：外スス、内コゴ。	直径：8.7cm。	p-980下
47-8	-	IVP-43	III層	深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	外面：縄文X、直取、高舌、内面：ナツ、船上：小磯多く含む、使用値：外スス、内コゴ。		p-980上
47-9	-	IVP-43	III層	深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	外面：縄文X、直取、高舌、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。		p-1006
47-10	-	IVP-43	III層	深鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	外面：ナツ、直取、高舌、内面：ナツ、船上：クヤリ器、小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。		p-1002
48-1	132	IVP-43	III層	深鉢	II 6a5	後器	口縁に突起(連ねる単位)口唇：面取、外面：波彫、縄文は面取前に施文、内面：ナツ、直取、高舌、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	直径：6.8cm、船外器、と差支がある。	p-1011
48-2	133 巻部上	IVP-43	III層	右付鉢	I 8a5	晩期1a	口縁に上への右側突起(突起不明)、大突起は面取後に施文、小突起は面取後に施文、口唇：面取、外面：大突起下に三文字、小突起下に縄文X状と付文、ナツ、船外器(船外器)、体部と右側の突起は波彫(単位位か)、縄文X状、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：21.6cm、底径：7.6cm、器高：23.7cm。	p-957
48-3	132	IVP-43	III層	鉢	I 8a11	晩期1a	平口縁に鋭い山部突起、口唇：面取、外面：波彫に連続する短波彫、突起下に折りに施文、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：19.2cm。	p-1010
48-4	133	IVP-43	III層	右付鉢	II 6a4	晩期1a	小波状口縁、口唇：面取、外面：口唇部文部は細い波彫(単位位か)、直取、高舌、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：21.5cm、底径：8.0cm、器高：16.5cm。	p-777
48-5	133	IVP-43	III層	鉢	II 6a2	晩期1b	平口縁に突起(単位位か)、突起は面取後に施文、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：22.9cm。	p-776
48-6	132	IVP-43	III層	浅鉢	I 811	後器-4	口唇：直取、外面：直取、高舌、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：17.5cm、底径：7.5cm、器高：17.8cm。	p-965
48-7	133	IVP-43	III層	注口	II 11	後器-4	口唇：直取、外面：直取、高舌、内面：ナツ、船上：小磯、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：7.6cm、底径：1.3cm、器高：1.9cm。	p-947
48-8	133	IVP-43	III層	右付深鉢 右付鉢	I 4a1	後器後葉～晩期	口唇：直取、外面：直取、高舌、内面：ナツ、船上：小磯多く含む、薄輪背射、使用値：外スス、内コゴ。	口径：19.0cm、器高：1.9cm、底径：1.9cm、器高が1.9cmから1.4cmの部分の傾斜、船土や面取の跡から、後器後葉～晩期間のもの可能性がある。	p-1069

縄文土器観察表 (29)

図番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
48-9	133	IVb-13	III層	粗製陶鉢	I.a.1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：22.6cm、	P-1050、 1128	
48-10	133	IVb-13	III層	粗製陶鉢	I.a.11	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-786、 953	
48-11	133	IVb-13	III層	粗製陶鉢	I	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-935	
48-12	133	IVb-13	III層	台付鉢小		口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	1442	
49-1	134	IVb-41	III層	浅鉢	I.A1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	1455	
49-2	135	IVb-41	III層	手摘製 台付鉢	I.a.5	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1022	
49-3	135	IVb-41	III層	手摘製 台付鉢	II.b.5	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1022	
49-4	134	IVb-41	III層	浅鉢	I.A1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P- 1014, 1015	
49-5	135	IVb-41	III層	粗製陶鉢	II.b.1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P- 1014, 1015	
49-6	134	IVb-41	III層	浅鉢	I.B1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1024下	
49-7	134	IVb-41	III層	浅鉢	I.B1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1023	
49-8	49-8a 49-8b	IVb-41	III層	皿	I.B21	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1024上、 1024下	
49-9	134	IVb-41	III層	皿	I.B2	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1024上、 1024下	
49-10	49-10a 49-10b	IVb-41	III層	浅鉢	I.A1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1023-1	
49-11	134	IVb-41	III層	皿	I.A1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1024下	
49-12	134	IVb-41	III層	浅鉢	I.A1	口唇：面取、外面：縄文は面取に施文、内面：クマツリのカナヅ、胎土：小磯多 くむ、タカラ散、使用痕：外スス、口径：27.1cm、	P-1023-2	

縄土器観察表(30)

収番号	写真	出土位置	層位	形態	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
49-13	135	IVS-41	III層	瓶製造 III	晩期3	外面：口縁部ミガキ、唇部、体部編織文。内面：口縁花綱、ナヅ、口縁部ミガキ。胎上：15.4×9.0cm、底径：5.3cm、器高：1024下、 体部釉付。使用痕：なし、外面黒煙。	口径：9.0cm、底径：5.3cm、器高：1024下、 外面の一部に赤色顔料が付着。	P-1023-2、 1024上、 1024下、 P-1078	124
50-1	134	IVS-41	III層	浅鉢 I A1	晩期3	口唇：面取なし、外面：底縁、連続する肩目、胎法による黒帯文、編織文(胎内)。胎内面はミガキ、底部：白粉の凹痕、内面：ミガキ、胎上：砂粒、使用痕：なし、外面黒帯(胎)。	口径：17.6cm、器高：7.0cm、 外面黒帯(胎)。	P-1078	113
50-2	134	50-2下	III層	浅鉢 I A1	晩期3	口唇：面取なし、外面：底縁、連続する肩目、胎法による黒帯文、編織文(胎内)。胎内面はミガキ、底部：白粉の凹痕、内面：ミガキ、胎上：砂粒、使用痕：なし、外面黒帯(胎)。	口径：19.0cm、底径：5.3cm、器高：7.1cm、 外面黒帯(胎)。	P-931	128
50-3	134	IVS-41	III層	浅鉢 I A1	晩期3	口唇：面取なし、外面：底縁、連続する肩目、胎法による黒帯文、編織文(胎内)。胎内面はミガキ、底部：白粉の凹痕、内面：ミガキ、砂粒、使用痕：なし、外面黒帯(胎)。	口径：17.0cm、底径：4.3cm、器高：内外面付着帯年代測定中、 内外面黒帯(胎)。	P-1122	110
50-4	134	IVS-41	III層	浅鉢 I B5	晩期3	平口縁に花綱を施すことで連続した突起縁の体部を作出。口唇：肥厚、外面：花綱、胎上：胎部の花綱から突起部にかけて三叉状の採り、編織文(胎内)。胎法による黒帯文、胎内面はミガキ、底部：凹痕、内面：ミガキ、胎上：砂粒、使用痕：なし。	口径：21.8cm、底径：5.0cm、器高：6.2cm、 内外面黒帯(胎)。	P-931	1001
50-5	134	IVS-41	III層	皿 II 5	晩期3	平口縁に三叉状の採りと同じを施すことで連続した突起縁の胎部を作出。口唇：肥厚、外面：花綱、連続する肩目、編織文(胎内)、花綱による黒帯文(胎法なし)、胎内面はミガキ、底部：胎部の裏面に突起(胎内)、底部に白粉の花綱、内面：ミガキ、胎上：海神付刺、タナリ刺、使用痕：なし。	口径：16.2cm、器高：5.1cm、	P-1020	138
50-6	134	IVS-41	III層	浅鉢 I B1	晩期3	口唇：面取なし、外面：底縁、ミガキ、胎法による黒帯文、編織文なし、底部：凹痕、内面：ミガキ、胎上：肩目、海神輪付、使用痕：なし、内外面黒煙。	口径：20.0cm、底径：5.8cm、器高：8.6cm、		133
50-7	135	IVS-41	III層	瓶製造 III	晩期3か	口唇：内面取なし、外面：口縁部文、体部編織文、下半は編織文(胎内)にナヅ。内面：胎部の花綱から突起部にかけて三叉状の採り、編織文(胎内)にナヅ。胎法による黒帯文、胎内面はミガキ付着、二枚割の可能性がある。内外面の全体にナヅあり、外面の一部に黒文が付着。	口径：14.0cm、		1000
50-8	135	50-8下	III層	瓶製造 III	晩期3か	口唇：内面取なし、外面：胎上、体部と胎部の間に花綱、体部編織文、胎部と胎上の間に花綱、胎内面取なし、外面：底縁に刺刺、胎内：口縁花綱、ナヅ、胎上：小籠多く含む、使用痕：なし、外面黒煙。	口径：10.9cm、器高：30.0cm、 晩期3期がまとまっているグランドで出土しており、晩期3期の可能性が高い。	P-932	239
50-9	135	IVS-41	III層	瓶製造 III	晩期3か	口唇：面取なし、外面：胎上、体部編織文、内面：ナヅ。胎上：小籠、使用痕：なし、外面黒煙。	口径：9.8cm、		1033
50-10	135	IVS-41	III層	半筒製造 III 1	晩期3	平口縁に二割一組の突起(胎位)。外面：胎部の下の胎部に突起、花綱、体部編織文、胎部に凹痕、内面：ナヅ、胎上：海神付、使用痕：なし、口縁部に黒煙。	口径：8.4cm、器高：11.1cm、底径：5.0cm、 口径：10.7cm、		190
50-11	134	IVS-41	III層	半筒製 台付鉢 II B-21	晩期3	平口縁に突起(胎位数不明)、口唇：肩目、外面：底縁、胎内面取、胎部突起(胎部、体部突起)、内面：口縁に強い盛り出し、花綱、使用痕：外、ナヅ、内ココ。胎上：砂粒、海神輪付。	口径：14.0cm、		1039
50-12	135	IVS-41	III層	半筒製 台付鉢 II B-21	晩期3	平口縁に突起(胎位数不明)、口唇：肩目、外面：底縁、花綱面に刺刺、体部編織文、胎部突起(胎部、体部突起)、内面：胎部に刺刺、胎部に突起(胎位)、胎内面取、内面：口縁に強い盛り出し、使用痕：外、ナヅ、内ココ。	口径：12.7cm、底径：7.5cm、器高：15.1cm、 胎内面黒帯(胎位数不明)。	P-900、 901	1040
50-13	135	50-13	III層	半筒製 台付鉢 II B-21	晩期3	平口縁に突起(胎位数不明)、口唇：肩目、外面：底縁、花綱面に刺刺、胎部突起(胎部、体部突起)、内面：胎部に突起(胎位)、胎部に突起(胎位)、胎内面取、内面：口縁に強い盛り出し、使用痕：外、ナヅ、内ココ。	口径：10.3cm、底径：5.8cm、器高：13.2cm、		143
50-14	135	IVS-41	III層	半筒製 台付鉢 II B-21	晩期3	平口縁に突起(胎位数不明)、口唇：肩目、外面：底縁、花綱面に刺刺、胎部突起(胎部、体部突起)、内面：胎部に突起(胎位)、胎部に突起(胎位)、胎内面取、内面：口縁に強い盛り出し、使用痕：外、ナヅ、内ココ。	口径：10.3cm、底径：5.8cm、器高：13.2cm、		220

縄文土器観察表(31)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
S0-18	135 巻頭下	IV8-4	III層	粗製鉢鉢	I 8a11	晩器3 ~晩器	平口縁に彫刻文が連続して付される。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：23.0cm、器高：27.0cm、底径：7.9cm。 晩器前期がまわっているブリードで出しているため、7層では晩器前期とし	120
							外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。		
S1-1	134	IV8-4	III層	注口		晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：21.5cm、底径：5.6cm、器高：15.1cm。 口唇部は底部から外縁、口唇部一部突起。	221
S1-2	136	IV8-4	III層	注口	IIIc	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：14.7cm、器高：5.2cm。 外面赤彩、注口部は残存しない、底径：6.0cm、器面は磨き出し、外面赤彩(凸線彫)に漆黒色残存。	101
S1-3	134	IV8-4	III層	注口		晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：17.2cm、底径：6.8cm、器高：10.4cm。 内外面赤彩。	212
S2-1	137	IV8-5	III層	壺	IV	晩器5	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：16.4cm、器高：5.0cm、底径：5.0cm。 内外面赤彩(彫)。	P-1
S2-2	137	IV8-5	III層	浅鉢	I 81	晩器5	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：17.2cm、底径：6.8cm、器高：10.4cm。 内外面赤彩。	1034
S2-3	137	IV8-5	III層	壺	III	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：7.5cm、器高：16.0cm。 内外面赤彩、内面口唇部一部赤彩。	P-1247
S2-4	137	IV8-6	III層	浅鉢	I 811	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：17.2cm。 内外面赤彩(彫)。	P-1318
S2-5	137	IV8-6	III層	浅鉢	I A11	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：16.4cm、器高：5.0cm、底径：5.0cm。 内外面赤彩(彫)。	P-1318、 1373
S2-6	137 巻頭下	IV8-5	III層	浅鉢	I A1	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：19.2cm、底径：4.6cm、器高：8.2cm。 内外面赤彩(彫)、内外面磨き帯年代測定 P-1248 中。	8
S2-7	137 巻頭下	IV8-5	III層	台付鉢	I 85	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：21.5cm、器高：10.0cm、器高：10.0cm、内外面赤彩(彫)。	P-1421
S2-8	137	IV8-5	III層	台付鉢	I Aa11	後器8	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：19.8cm、底径：5.0cm、器高：20.4cm、完整。	P-1248
S2-9	137	IV8-6	III層	半筒裏 台付鉢	IIIc-5	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：12.2cm。	P-1266
S2-10	137	IV8-6	III層	台付鉢	IIIc-21	晩器3	外面：口唇部に土器土器貼付、粘土上に突起筋、肩凹線帯土に凸線、体上部と正面体下部に凸線(文様不明)。口唇・面取・外面：クヌリ・内裏面直上。底面直上。7.9cm。	口唇：13.8cm、器高：10.0cm。 縄文(縄文→土器)一項目。	P-1319

縄文土器観察表(33)

図番号	写式	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
54-6	139	IVb-44	台付鉢	IIb&41	晩期Ib	小波状口縁。三山の突起(自単位)。口唇:直。外面:口縁部は縄文。胴部は漆黒には下段に段に分かれ、それぞれに凸條による入組文。体部は縄文の細かな編み肌で覆われ、右部は縄文となる。使用痕。口縁部と体部の外面にススとコウガ。口縁部と体部の面にコウガが付着。胎土:黄褐色で滑らか。底土:縄文肌。状態:体部とナブ。内面:ミダナ。	口径:18.1cm, 底径:8.3cm, 器高:21.6cm, 胎存率半以下。器高が5cm程度に薄い。	P-1019
54-6	139	IVb-44	器鉢	IIb&41	晩期Ia	小波状口縁。外面:縄文肌。状態:体部とナブ。内面:ミダナ。	口径:24.0cm, 内面:口縁部は5.7cm, 器高:13.6cm, 胎存率約半。内面口縁部に赤色顔料付着。外面は付着痕年代測定中。	P-897
54-7	139	IVb-44	蓋	II	晩期2	外面:江蘇部に凸條の網文が認められる半平底状文。底面:裏り出し状の網が認められる。口唇:直。内外面:ナブ。胎土:3mm以下の小波。タキリ。陶器骨片。使用痕(凸条)。	口径:18.1cm, 器高:7.9cm, 底径:7.2cm, 胎土:口唇:9.2cm, 底径:3.2cm, 器高:18.2cm, 胎土:口唇部は蓋部から欠損。注口部は欠損。	P-785
54-8	139	IVb-44	浅鉢	I B1	後期7~8	口唇:直。内外面:ナブ。胎土:3mm以下の小波。タキリ。陶器骨片。使用痕(凸条)。	口径:18.1cm, 器高:7.9cm, 底径:7.2cm, 胎土:口唇:9.2cm, 底径:3.2cm, 器高:18.2cm, 胎土:口唇部は蓋部から欠損。注口部は欠損。	P-1042
54-9	139	IVb-44	注口	II	後期7-4	口唇:直。内外面:ナブ。胎土:3mm以下の小波。タキリ。陶器骨片。使用痕(凸条)。	口径:18.1cm, 器高:7.9cm, 底径:7.2cm, 胎土:口唇:9.2cm, 底径:3.2cm, 器高:18.2cm, 胎土:口唇部は蓋部から欠損。注口部は欠損。	P-1017
54-10	139	IVb-44	注口	II	晩期Ia	外面:注口部凸條に三又状縄文。	口径:29.7cm, 器高:34.2cm, 底径:8.4cm, 胎土:口唇部は欠損。	P-1048
55-1	139	IVb-44	粗製鉢	I & 41	後期後葉 ~晩期	平口縁に2割~3割の二山状の低い突起(自単位)。外面:縄文肌(横位)。内面:ナブ。底面:回紋。使用痕:外スス。	口径:9.7cm, 底径:4.9cm, 器高:40.1cm, 胎土:ごく僅かな赤色顔料付着。	P-1127
55-2	139	IVb-44	粗製深鉢	IIb&1	後期後葉 ~晩期	口唇:直。外面:縄文肌(横位)。底面:低平な高台。内面:ナブ。胎土:小波。砂粒。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:18.8cm, 底径:7.6cm, 器高:19.6cm, 胎土:口唇:10.6cm, 底径:7.6cm, 器高:19.6cm, 胎土:口唇部は蓋部から欠損。	P-796
55-3	139	IVb-44	粗製深鉢	I & 41	後期後葉 ~晩期	平口縁に連続する突起(自単位)数不明。口唇:直。外面:縄文肌。突起外面に磁層。ナブ。平口縁に連続する突起(自単位)は凸条。形は不整形。内面:磁層状に肥厚する突起あり。ナブ。胎土:小波多く含む。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:23.6cm, 器高:13.7cm, 胎土:口唇部状と胎土小欠。後期7~8間か。	P-1047
55-4	139	IVb-44	粗製深鉢	I B&1	後期後葉 ~晩期	口唇:直。外面:縄文肌。底面:蓋平な高台。内面:ナブ。胎土:小波。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:29.7cm, 器高:34.2cm, 底径:8.4cm, 胎土:口唇部は欠損。	P-1079
55-5	139	IVb-44	粗製深鉢	I & 41	後期後葉 ~晩期	口唇:直。外面:縄文肌。底面:蓋平な高台。内面:ナブ。胎土:小波。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:36.0cm, 器高:46.7cm, 底径:8.2cm, 胎土:口唇部は欠損。	P-1112, 112
56-1	140	IVb-44	鉢	II	後期7-4	外面:立脚部に連続する目。底面, ナブ。底面:高台。内面:ナブ。胎土:小波。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:6.3cm, 器高:11.12, 112	P-1156
56-2	140	IVb-44	台付鉢	I & 5	後期8	口唇:直。外面:縄文肌(横位)。底面:低平な高台。内面:ナブ。胎土:小波。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:24.8cm, 器高:10.6cm, 胎土:口唇部直。横位に凸条。器高が5cm程度に薄い。	P-1158
56-3	140 巻頭下	IVb-44	器鉢	IIb&5	後期8	口唇:直。外面:縄文肌。状態:体部による入組文。編み肌による入組文。編み肌(横位)。口唇:直。内外面:ナブ。胎土:小波多く含む。使用痕:外スス、内コウガ。胎土:口唇部と体部の外面にススとコウガ。胎土:黄褐色で滑らか。底土:縄文肌。状態:体部とナブ。内面:ミダナ。	口径:16.0cm, 器高:6.8cm, 器高:20.2cm, 胎土:口唇部と体部の外面にススとコウガ。胎土:黄褐色で滑らか。底土:縄文肌。状態:体部とナブ。内面:ミダナ。	P-1162
56-4	140 巻頭上	IVb-44	注口	III	後期7-1	波状口縁(自単位)。口唇:直。外面:口縁部等。胴部は編み肌には下段に凸條の網文が認められる。胎土:3mm以下の小波。タキリ。陶器骨片。使用痕(凸条)。	口径:8.6cm, 底径:2.7cm, 器高:15.8cm, 胎土:口唇部は欠損。	P-1164, 1165
56-5	140	IVb-44	粗製深鉢	I B&2	後期後葉 ~晩期	口唇:直。内外面:縄文肌。底面:高台。内面:ナブ。胎土:小波多く含む。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:13.6cm, 器高:15.0cm, 底径:5.8cm, 胎土:口唇部は蓋部から欠損。注口部は欠損。	P-1166
56-6	140	IVb-44	粗製深鉢	I & 41	後期後葉 ~晩期	口唇:直。内外面:縄文肌。底面:蓋平な高台。内面:口唇に連続する突起(自単位)の段。タキリの凸条。陶器骨片。使用痕:外スス、内コウガ。	口径:30.6cm, 器高:46.7cm, 底径:8.2cm, 胎土:口唇部は欠損。	P-1123

縄土器観察表(34)

区番号	写真	出土位置	単位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
56-7	140	IVP-41	III層	粗製深鉢	I Aa1	後彌生後～晩期	口縁：面底、外面：縄文、内面：ナギ、胎土：小礫多く含む、使用痕：外、ス、内口ノケ。 平口縁に突起(4単位分)、突起頂部に刻目。口唇：面底、外面：縄文、縄文丸、ほとんど磨消跡のない粗製深磨陶片。底部下半ナギ。内面：ナギ、胎土：小礫、コナリ、洞溝付針、使用痕：なし。外面に砥石確認できる。	口縁：29.6cm	P-1188、 1159、1162
57-1	140	IVP-44	III層	深鉢	IIA11	後彌生	口唇：面底、外面：縄文、内面：ナギ、胎土：小礫、コナリ、洞溝付針、使用痕：なし。外面に砥石確認できる。	口径：18.6cm	P-1165
57-2	140	IVP-41	III層	深鉢	I B041	晩彌生	小窓状口縁に山形突起(8単位分)、突起中央に沈没凹み状の彫文あり、使用痕：外、ス、内口ノケ。外面：ナギ、底面：高台、内面：ナギ、胎土：小礫、タナリ、使用痕：なし、外面黒色。	口唇：8.8cm	P-800、 901
57-3	140	IVP-41	III層	壺	III	晩彌生	外面：口縁部と肩部に平行縄文、ミガキ、底面：円形の凹痕、内面：ナギ、胎土：砂、使用痕：なし。	口唇：8.1cm、底径：4.1cm、器高：9.1cm	P-1277
57-4	141	IVP-45	III層	壺	III1	晩彌生	外面：口縁部と肩部に平行縄文、ミガキ、底面：円形の凹痕、内面：ナギ、胎土：砂、使用痕：なし。	口唇：9.4cm、底径：4.1cm、器高：10.6cm、胴部下半に孔、外面赤彩、内面黒部内側まで洞溝付針。	P-1273
57-5	141	IVP-45	III層	壺	III1	晩彌生	外面：口縁部と肩部に平行縄文、ミガキ、底面：円形の凹痕、内面：ナギ、胎土：砂、使用痕：なし。	口唇：6.8cm、底径：4.5cm、器高：9.8cm	P-1288
57-6	141	底部下	III層	半磨製壺	III1	晩彌生	平口縁に2筋一組の突起(2単位)、外面：胎土に突起(1単位)、沈没、体部縄文R(横位)。	口唇：9.6cm	P-1289
57-7	141	IVP-45	III層	粗製壺	III1	晩彌生～3	平口縁に2筋一組の突起(1単位)、口唇：面底(なし)、外面：口縁部と肩部に平行縄文、胎土に沈没、体部縄文R(横位)、胎土：ナギ、胎土：小礫、使用痕：なし。	口唇：9.4cm、器高：20.9cm、底径：8.5cm	P-1283
57-8	141	IVP-45	III層	粗製壺	11	晩彌生～3	口唇：面底、外面：口縁部と肩部に平行縄文、胎土：ナギ、胎土：小礫、洞溝付針、使用痕：外、ス、スは体部下半全周しており、系群類似と思われる。内面にコナリはない。	口唇：15.2cm、底径：9.0cm、器高：15.0cm	P-1279
57-9	141	IVP-45	III層	半磨製台付鉢	III B-21	晩彌生	平口縁に突起(8単位分)、口唇：高台、外面：肩部突起部所、沈没、体部縄文R、右部：下部に突起部隆起、内面：口縁に強い溝り出し、使用痕：外、ス、胎土：砂、洞溝付針。	口唇：14.8cm、底径：4.1cm、器高：6.1cm	P-1274
57-10	141	IVP-45	III層	浅鉢	I A1	晩彌生	口唇：内側が軟に面底、外面：口縁部に2筋の平行縄文、ミガキ、内面：ミガキ、底面：口縁の内凹。	口唇：15.1cm、底径：3.4cm、器高：8.4cm	P-1285
57-11	141	IVP-45	III層	鉢	III1	晩彌生	平口縁に2筋一組の突起(1単位)、外面：口縁部と肩部に刻目、胎土の突起は胎土のみ確認される。口縁、胎土による彫文、内面：口縁と突起部の上下にそれぞれ2筋の沈没、ミガキ、底面：円形の凹痕、縄文、胎土：小礫、使用痕：外、ス、胎土：コナリ、洞溝付針、使用痕：なし、外面黒色。	口唇：32.4cm、底径：15.0cm、器高：34.8cm	P-1281
57-12	141	IVP-45	III層	半磨製台付鉢	III B-21	晩彌生2	口縁に突起(6単位分)の口唇：高台、外面：沈没(側面)による5筋帯文、沈没、体部縄文R(横・斜位)、管部：沈没、胎土に溝み、内面：口縁に強い溝り出し、ナギ、胎土：砂、使用痕：外、ス、胎土：コナリ、洞溝付針、使用痕：外、ス、内口ノケ。	口唇：20.2cm、器高：7.6cm	P-1272
58-1	141	IVP-45	III層	粗製深鉢	I Aa11	後彌生後～晩期	平口縁に2山形の突起(1単位分)、口唇：面底、外面：口縁に面底時の沈没、縄文、内口ノケ。外面：面底、内面：ナギ、胎土：小礫、使用痕：外、ス、胎土：コナリ、洞溝付針、使用痕：外、ス、内口ノケ。	口唇：27.5cm	P-1279
58-2	141	IVP-45	III層	粗製深鉢	I Aa11	後彌生後～晩期	平口縁に2山形の突起(1単位分)、口唇：面底、外面：口縁に面底時には沈没なし、胎土：外、ス、内口ノケ。	口唇：13.5cm、器高：12.0cm、底径：5.8cm	P-1289
58-3	141	IVP-45	III層	粗製鉢	I Aa1	後彌生後～晩期	平口縁に突起(4単位分)、口唇：部分円形面底、外面：縄文、底面直上には沈没なし、底面：低平な高台、底面：円形の凹痕、内面：ナギ、胎土：小礫、タナリ、洞溝付針、使用痕：外、ス、内口ノケ。	口唇：21.4cm、器高：23.5cm、底径：8.3cm	P-1284

縄文土器観察表 (35)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.
58-5	142	IV0-15	III層	粗製深鉢	Ia01	後彌生 ～晩期	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：30.4cm。 P-1279	1066
58-6	142 巻部下	IV0-15	III層	粗製深鉢	Ia011	後彌生 ～晩期	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：27.6cm。胎高：38.8cm。底径：10.3cm。 P-1275	106
58-7	142	IV0-15	III層	粗製深鉢	Ia01	後彌生 ～晩期	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：28.2cm。 P-1279	213
59-1	143	IV0-15	III層	注口	II11	後彌生-4	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：6.8cm。底径：2.9cm。胎高：14.3cm。胎口部は胎口から外側。 P-155	110
59-2	142	IV0-15	III層	深鉢		後彌生	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：21.0cm。底径：7.5cm。胎高：20.2cm。残存1/2。 P-1586	1472
59-3	143	IV0-15	III層	鉢	IIb011	後彌生	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：19.0cm。 器底縁が著しい。残存率4/5。 P-1584	217
59-4	143	IV0-15	III層	深鉢	IIc5	後彌生	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：10.0cm。胎高：22.6cm。底径：7.2cm。 P-1402	1043
59-5	142	IV0-15	III層	半焼深鉢	III1	晩期Ib	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：20.6cm。 P-1429、1430	1059
59-6	142	IV0-15	III層	深鉢	IIIc21	晩期Ib	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：20.9cm。底径：4.7cm。胎高：8.1cm。 内外面赤彩と思われる。赤彩(漆定積焼存)。 P-132	132
59-7	142	IV0-15	III層	浅鉢	I 81	晩期3	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：13.6cm。編文(編文一次焼)。 P-1033	1033
59-8	142	IV0-15	III層	半焼深鉢	IIIc-5	晩期3	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。	口径：17.8cm。編文(編文一次焼)。 P-1057	1057
59-9	143	IV0-15	I層	半焼深鉢	IIIc-21	晩期3	口唇：外面、外面；口縁に面取の粘土の土。文土のち字子のも編文は、編文は全体に編文されておらず、また表裏面の枚数が違ってから編文されたため不明。内面：ナ ズ。胎土：砂粒、タナリ織。使用痕：外、ス。		

縄文土器観察表 (37)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
61-2	144 巻頭上	IVp-15	III層	粗葉器鉢	I Bst1	後期後遺 ～晩期	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：31.5cm、底径：10.5cm、器高：35.0cm。縹紗孔2対。縹紗孔器に厚み、中の凹みが残存。口唇部が7-8割の有文縹紗彫が深い。口唇部は1-1割と少した。	P-1454	76
61-4	145	IVp-15・IVa-15	III層	深鉢	I Bst11	後期7-4	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：32.2cm。 口唇部と上面に縹の縹のようが狂風。		293
61-5	145	IVp-15	III層	香炉	香炉	後期7～8	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：10.0cm。 口唇：11.5cm、底径：8.0cm、器高：11.5cm。縹紗孔1対。	P-1424	1389
61-6	145	IVp-15	III層	壺	壺	後期7～8	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：10.0cm、底径：3.2cm、器高：11.5cm。縹紗孔1対。	P-1286	237
61-7	巻頭下	IVp-15	III層	壺	III1	晩期3	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：11.5cm、底径：5.0cm、器高：11.5cm。縹紗孔1対。		32
61-8	145	IVp-15	III層	壺	III1	晩期2	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：23.7cm、底径：10.4cm、器高：26.7cm。	P-1424	41
62-1	145 巻頭8下	IVp-15	III層	台付鉢	IIIa5	後期8	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：24.9cm。 口唇：23.7cm、底径：10.4cm、器高：26.7cm。	P-1379	117
62-2	145	IVp-15	III層	台付鉢	I Bst11	後期7-4	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：17.4cm。 口唇：17.4cm、底径：6.0cm、器高：17.4cm。	P-1506, 1570, 1571, 1588	141
62-3	145	IVp-15	III層	台付鉢	IIIa5	後期8	口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。 口唇：面取。外面：縄文R(横肉)。体部下は縄文R(横肉)。底面：高台。	口唇：17.4cm。 口唇：17.4cm、底径：6.0cm、器高：17.4cm。	P-1583	142

縄文土器観察表 (39)

区番号	式名	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
60-7	146	IVQ-46	粗製釜		晩期	口唇：直線；外面：ナズ；底面：高台；内面：ナズ；胎土：小硬、クサリ織。海綿骨付。胎厚：7.0cm。底径：5.0cm。口径：6.6cm。器高：18.4cm。外面赤彩。一部脱色して、辻線文が不鮮明。	取上1419 P-1418	
60-8	147	IVQ-46	浅鉢	I.C11	晩期3	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	取上1170	
60-1	147	IVQ-35	注口		後期1～8a	外面：厚直。内面：ナズ；胎土：砂粒を多く含む。	406	
60-2	147	IVQ-35	注口	晩期1b	外面：厚直。内面：ナズ；胎土：砂粒を多く含む。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：砂粒を多く含む。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：砂粒を多く含む。	437		
60-3	147	IVQ-35	浅鉢	晩期2	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	438		
60-4	147	IVQ-35	浅鉢	I.A11	晩期2	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	426	
60-5	147	IVQ-35	粗製浅鉢		後期後遺～晩期	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：砂粒を多く含む。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：砂粒を多く含む。	427	
60-6	147	IVQ-35	粗製釜	III	晩期1a	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	408	
60-7	147	IVQ-36	粗製釜	I.1	後期8	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	210	
60-8	-	IVQ-36	台付浅鉢		晩期1a～b	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	412	
60-9	147	IVQ-36	香炉		後期1～8	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	1026	
60-10	147	IVQ-36	深鉢	III&11	後期1-4	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	399	
60-11	147	IVQ-36	台付浅鉢	III&4	晩期1a	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	419-1	
60-12	147	IVQ-37	浅鉢		晩期	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	1377	
60-13	147	IVQ-37	浅鉢	I.4	晩期1a	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	80	
60-14	147	IVQ-37	注口		晩期1a	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	413	
60-15	147	IVQ-37	深鉢	I.0&11	後期8	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	423	
60-16	147	IVQ-37	深鉢	III&5	後期8	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	429	
60-1	148	IVQ-34	鉢	I.8&21	晩期1b	口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。口唇：直線；外面：ナズ；胎土：硬直。内面：直線状。	2181	

縄土器観察表(40)

図番号	写真	出土位置	器位	器種	器形	時期	特徴	図上No.	整理No.
65-2	148	IVR-34	皿下下	注口	皿I	晩期1a	口縁に波紋。外面にミガキ。胴部と口縁部(器底)と体部の間に深溝に二枚状の溝が入り、内面、ナズ。底は丸小籠。砂粒。使用痕(内面に赤色の物質が付着しており赤色の物質が付着しており同一体か、外面赤い。外面赤い可能性がある。	175, 19.6cm, 器高: 14.4cm, 底径: 1.7cm, 注口部は基部から傾斜。内面に赤色の物質が付着しており赤色の物質が付着している可能性がある。	2190
65-3	148	IVR-34	皿唇	香印小		後期2a	香印の上半部が、外面に黒褐色斑。貫通孔。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	63-4~6と同一個体か、外面赤い。特: 212	2235
65-4	148	IVT-34	皿唇	香印小		後期2a	口縁に波紋。ミガキ。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	65-3・5・6と同一体か、外面赤い。65-3・4・5と同一体か、外面赤い。	2232
65-5	148	IVR-36	皿唇	香印小		後期2a	口縁に波紋。ミガキ。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	65-3・4・5と同一体か、外面赤い。65-3・5と同一個体か、外面赤い。	2237
65-6	148	IVT-50	皿唇小	香印小		後期2a	口縁に波紋。ミガキ。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	65-3・5と同一個体か、外面赤い。口縁25.5cm, 底径1/4。	2233
66-1	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	深鉢	皿5	後期7-4	外面に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。		2194
66-2	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	鉢	皿	晩期1a	外面に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	黒文刺(縄文→花崗)。	p-2425, 2426
66-3	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	注口	皿I	後期7-4	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 12.0cm, 注口部は器底から文様。	2189
66-4	149	IVR-35	皿唇(配石下)	注口	皿I	後期7-4	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 7.3cm, 底径: 2.6cm, 器高: 13.8cm, 注口部完存。	p-2082
66-5	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	注口		後期2a	外面に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	底径: 2.7cm。	2186
66-6	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	注口	皿I	晩期1a	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 6.5cm, 器高: 8.5cm, 底径: 3.6cm, 注口部底中から文様。	2185
66-7	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	粗製鉢	1.8a1	後期後遺 ～晩期	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 21.6cm, 器高: 17.7cm, 底径: 6.6cm。	2196
66-8	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	粗製深鉢	1.8a1	後期後遺 ～晩期	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 22.0cm。	2180
67-1	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	粗製深鉢	1	後期後遺 ～晩期	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 22.3cm。	2300
67-2	149	IVR-35	皿唇下(配石下)	粗製深鉢	1.8a1	後期後遺 ～晩期	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。	口径: 36.8cm, 器高: 47.7cm, 底径: 10.8cm。	2174
67-3	150	IVR-35	皿唇下(配石下)	粗製深鉢	1.8a1	後期後遺 ～晩期	口縁に波紋。注口は、器底(上部に傾斜)。外面に波紋。内面: はほとんど磨製しておらず、粘土の層が目立つ。粘土、砂粒。海産骨片。使用痕: 内スス、貫通孔の周囲にある。内面に黒褐色斑が確認。		p-2441

縄文土器観察表 (43)

図番号	写真	出土位置	部位	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
71-6	152	IVS-37	III層	壺小	後期8	口唇：内側に面取。外面：口唇部ミガキ。底部編文(縦位)。内面：ナズ。胎土：小口唇に面取。使用痕：なし。	口唇：9.2cm。外面に黒色物質(アスファルト)が付着。外面が腐食。	P-245	72
71-7	152	IVS-37	III層	深鉢	後期9 ~晩期	外面：劣化激しい。編文(丸)。器底付着には編文(なし)。内面：ナズ。底面：ナズ。胎土：小口唇に面取。使用痕：なし。	口唇：5.2cm。底面に黒文一列(編文)が腐食。底面全体に黒い物質から腐食。底面が腐食激しい。	P-225	415
71-8	153	IVS-34	III層	壺	晩期1b	外面：口唇に面取。外面に黒文と腐食による黒斑状文。頸部ミガキ。注口基部に隆起と突起。注口先端部平。内面：ナズ。胎土：小口唇に面取。使用痕：なし。	口唇：8.3cm。注口部腐食。外面に付着黒色年代層付着。	P-2182	2205
71-9	153	IVS-34	III層	注口	晩期1a	外面：口唇に面取。外面に黒文と腐食による黒斑状文。頸部ミガキ。注口基部に隆起と突起。注口先端部平。内面：ナズ。胎土：小口唇に面取。使用痕：なし。	口唇：10.2cm。器高：7.8cm。注口部腐食。	P-2196	2067
71-10	153	IVS-34	III層	注口	晩期2	外面：口唇に面取。外面に黒文と腐食による黒斑状文。頸部ミガキ。注口基部に隆起と突起。注口先端部平。内面：ナズ。胎土：小口唇に面取。使用痕：なし。	口唇：10.2cm。器高：7.8cm。注口部腐食。	P-2164	2093
71-11	153	IVS-34	III層	台付鉢	晩期1a~b	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：21.0cm。底径：7.4cm。器高：20.9cm。編文(縦位)は口唇部から内面にかけて腐食。編文(縦位)は口唇部から内面にかけて腐食。編文(縦位)は口唇部から内面にかけて腐食。	P-2164	2168
71-12	153	IVS-35	III層下	鉢	後期8	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：9.2cm。底径：2.8cm。器高：15.6cm。注口部腐食。	P-2420	2120
71-13	153	IVS-35	III層中	注口	後期7-4	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：8.6cm。底径：2.8cm。器高：15.6cm。注口部腐食。	P-2143	2143
72-1	153	IVS-35	III層	深鉢	後期未属	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：9.2cm。底径：2.8cm。器高：15.6cm。注口部腐食。	P-2246	2246
72-2	153	IVS-35	III層	香炉小	後期8	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：9.2cm。底径：2.8cm。器高：15.6cm。注口部腐食。	P-2257	2011
72-3	153	IVS-35	III層	注口	III	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：9.2cm。底径：2.8cm。器高：15.6cm。注口部腐食。	P-2074	2074
72-4	153	IVS-35	III層	壺	III	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：9.2cm。底径：2.8cm。器高：15.6cm。注口部腐食。	P-2019	2176
72-5	153	IVS-36	III層	壺	IV	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：17.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2022	2175
72-6	154	IVS-36	III層	壺	III	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：28.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2201	2201
72-7	154	IVS-36	III層	深鉢	後期7-4	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：28.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2243	2243
72-8	153	IVS-36	III層	深鉢	晩期1a~b	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：7.4cm。器高：16.8cm。底径：10.8cm。外面左半及び内面口唇部~器底部P-2019	P-2019	2176
72-9	154	IVS-36	III層	注口	III	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：17.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2022	2175
72-10	153	IVS-36	III層	壺又は注口	後期8小	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：28.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2201	2201
72-11	153	IVS-36	III層	壺又は注口	後期8小	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：28.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2243	2243
72-12	153	IVS-36	III層	壺又は注口	後期8小	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：28.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2201	2201
72-13	153	IVS-36	III層	壺又は注口	後期8小	口唇に突起(単位数不明)。口唇：面取。外面：口唇部文様帯には口唇部面取に連動して黒文帯を含む若干の編文が面取に沿って沿って面取の方向を横文帯で覆う。底部に黒文帯を帯びている。編文(縦位)。体部は編文(縦位)を帯びて腐食。使用痕：なし。	口唇：28.0cm。底径：5.8cm。外面及び内面に黒部付着。	P-2243	2243

縄土器観察表(44)

区分	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
72-11	153	S46(埋豆)	III層	壺	壺口は直口	後製2c ～晩期	外底に縄文肌、内面ナツ。底部平底。胎土凝灰状片。使用痕:外スス、内コゴ。口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	72-10と同一個体。 底径:8.0cm。	2231	
72-12	154	IVS-37	III層	深鉢	深鉢	晩期1a	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	底径:8.0cm。	2006・2007, 2020	2004
73-1	154	IVT-31・IVT-33	III層	深鉢	深鉢	晩期1a	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:19.8cm, 底径:9.0cm, 高さ:19.5cm。	p-3070, 2071	2078
73-2	154	IVT-33	III層	台付鉢	台付鉢	晩期1a	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:19.8cm, 底径:9.0cm, 高さ:19.5cm。	p-3070, 2071	2078
73-3	154	IVT-33	III層	台付鉢	台付鉢	晩期1a	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:19.8cm, 底径:9.0cm, 高さ:19.5cm。	p-2069	2104
73-4	154	IVT-33	III層	瓶製鉢	瓶製鉢	後製1a ～晩期	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:13.4cm, 高さ:12.2cm, 底径:7.2cm。	p-2070	2072
73-5	154	IVT-33	III層	深鉢	深鉢	後製2	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。			2311
73-6	154	IVT-33	III層	鉢	鉢	晩期1a	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:28.5cm, 底径:8.2cm, 器高:28.3cm, 胎土凝灰(比縁→噴火→比縁再編文)。	p-2224	2100
73-7	154	IVT-33	III層	台付鉢	台付鉢	晩期1a	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:26.5cm, 胎土凝灰(縄文→比縁)。		2093
73-8	154	IVT-33	III層	深鉢	深鉢	後製1b	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:17.3cm, 高さ:18.0cm, 底径:10.6cm。	p-2078	2305
73-9	154	IVT-33	III層	粗製深鉢	粗製深鉢	後製1a ～晩期	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:10.6cm。		2045
73-10	154	IVT-33	III層	半筒製台付鉢	半筒製台付鉢	晩期2	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:21.5cm, 底径:7.8cm, 高さ:19.9cm。		2028
74-1	155 巻88P	IVT-34	III層	鉢	鉢	後製2	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:7.1cm, 器高:13.7cm, 底径:5.0cm。 口唇に突起(中央から外縁)。 口唇に突起(中央から外縁)。	p-2131, 2132	2031
74-2	155	IVT-34	III層	注口	注口	後製2	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:7.1cm, 器高:13.7cm, 底径:5.0cm。 口唇に突起(中央から外縁)。 口唇に突起(中央から外縁)。	p-2131	2010
74-3	155	IVT-34	III層	深鉢	深鉢	後製2	口唇に突起。2種類の突起(一つは山状、もう一つは穴開のため形状不明)が交互に口唇・面周りに出現する。文様帯下部は状態良好に連続する短比縁区。型北縁の間に上下から2枚の捺入があることでも、短比縁区文のようにしては、体部下半部は内面・外面に上下の海澄片。使用痕:外スス、内コゴ。	口径:7.1cm, 器高:13.7cm, 底径:5.0cm。 口唇に突起(中央から外縁)。 口唇に突起(中央から外縁)。		2244

縄文土器観察表 (45)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
74-4	155	IVT-34	III層	深鉢	I B04	後部8	小塚状口縁。外面：縄文(縄文Ⅱ)に似、瀬前須水ではない。キチナーズ不明。内面：ナズ。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：15.6cm。	2247	
74-5	155	IVT-34	III層	台付鉢	I B04c	後部8	口縁に深い山形突起と台形突起交互(12単位分)。台形突起頂部は胎土。口唇：面紋。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：30.7cm。底径：9.0cm。器高：23.5cm。底径：6.5cm。	P-2181	2084
74-6	155	IVT-34	III層	台付鉢	II B011	晩部1a	口縁に深い山形突起と二山形の台形突起交互に連続(単位数不明)。口唇：面紋。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：16.1cm。底径：6.5cm。器高：16.6cm。	P-2251	2034
74-7	155	朝明上	III層	台付鉢	II B05	晩部1a	口縁に深い山形突起と二山形の台形突起交互(12単位分)。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：25.6cm。底径：10.5cm。器高：23.3cm。	P-2275	2094
74-8	155	朝明下	III層	台付鉢	II B5	後部8	口唇に深い山形突起と二山形の台形突起交互(12単位分)。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：24.6cm。	P-2191	2312
74-9	155	IVT-34	III層	台付鉢	I B041	後部8	口唇に深い山形突起と二山形の台形突起交互(12単位分)。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：20.8cm。胎線青(縄文→化境)。	2114	
74-10	155	IVT-34	III層	深鉢	II B01c	後部8	口唇に深い山形突起と二山形の台形突起交互(12単位分)。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：22.9cm。	P-2335	2123
74-11	155	SN58R29 (WT-34) ・IVT-34	III層	深鉢	II B011	後部8	口唇に深い山形突起と二山形の台形突起交互(12単位分)。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：27.0cm。	P-2240	2140
74-12	155	IVT-34	III層	深鉢		後部8	口唇に深い山形突起と二山形の台形突起交互(12単位分)。胎線青。胎土：小粒。胎線青。使用痕：なし。	口径：13.8cm。胎線青(縄文→化境)。 7.2cm。	P-2037	2130

縄文土器観察表 (47)

区番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
77-1	156	IVT-34 皿層	粗製鉢	IIb&1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取、外周：口縁に十字のワザを打ち出す。体部織文は、底部直上2cmくらいは織文なし(ナデ)。底部：底台、内面：ナデ。胎土：高粘。胎土：小底。クマリ織。使用口唇：外、外周：内外面直線。	口径：21.6cm、部高：17.0cm、底径：7.8cm。	P-2359
77-2	156	IVT-34 皿層	粗製鉢	Ia&1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取、外周：クズリの中、下直なナデ。内面：ナデ。底唇：高粘。胎土：小底。砂。使用口唇：外、外周：内、内周：ナデ。	口径：18.7cm、部高：18.0cm、底径：6.4cm。	2077
77-3	156	IVT-34・ IVb-18	粗製鉢	Ia&1	後期後葉	口唇：面取、外周：織文なし。内面：ナデ。胎土：小底を多く含む。高粘骨粉。使用口唇：面取、外周：外、外周：ナデ。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：22.5cm。	2298
77-4	156	IVT-34	粗製鉢	Ia&21	後期後葉	口唇：面取、外周：織文なし。内面：クズリの中、ナデ。胎土：小底を多く含む。高粘骨粉。使用口唇：面取、外周：外、外周：ナデ。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：22.5cm。	2075
77-5	158	IVT-34	粗製鉢	IC1	後期後葉 ～晩期	平口縁に面取(口縁部)。口唇：面取、外周：高粘(顔付)。工具は約1cm幅の痕と思われるが、底部の織紋はない。内面：ナデ。胎土：高粘。使用口唇：外、外周：内、内周：ナデ。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：29.2cm、部高：38.2cm、底径：8.2cm。	2248
77-6	158 巻部の上	IVT-34	粗製鉢	Ia&1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取、外周：織文なし。内面：高粘。胎土：小底。使用口唇：外、外周：内、内周：ナデ。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：45.2cm。	P-2088
77-7	156	IVT-34	粗製鉢	Ia&1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：45.2cm。	P-2190
77-8	156	IVT-34	浅鉢		晩期5	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：36.0cm、口縁24.7cm、底部径10.0cm、部高不明。	2020
78-1	158	IVT-35	台付鉢	IIb&11	後期7-4	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：15.6cm、部高：13.3cm、底径：8.0cm。	2133
78-2	158	IVT-35	半割割 台付鉢	IIb&1	晩期3	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：11.0cm、部高：10.7cm、底径：5.5cm。	2137
78-3	158	IVT-35	皿層	Ib1	後期7-8	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：2.8cm。	2006
78-4	158	IVT-35	皿層上	Ib&1	晩期	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：21.8cm、底径：7.8cm、部高：20.4cm。	2226
78-5	158	IVT-35	皿層	IIb1	晩期	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。	口径：21.8cm、底径：7.8cm、部高：20.4cm。	2014
78-6	158	IVT-36	深鉢		後期6a	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。		
78-7	158 巻部の上	IVT-33	鉢	Ia&11	晩期1a	口唇：面取、外周：クズリの中、織文なし。高粘骨粉。胎土：小底を多く含む。胎土から晩期後葉に属する可能性。		

縄文土器観察表(48)

区番号	写真	出土位置	器位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
78-8	158 巻部の上	IVc-33	III層	有付鉢	IIIa	晩縄8a	小深鉢口縁。口縁・面取・外縁に縄文を形成し、口縁部を水色の土層で飾り、胴部文様には土層埋入の縄文を包含するが、器底と胴部の対応関係は窺えない。器底には縄文を形成しない程度に盛り上がり、外縁には新設した瓦片状の縄文を埋め込んだ器底の浮文で飾り、体部と台部は縄文は無文となり、台部の下縁外面が瓦片状に彫写する。使用痕。外口ス、内口コ。	口径：27.0cm、底径：12.8cm、器高：23.0cm。	P-2060
78-9	158	IVc-33	III層	有付鉢鉢	IIIb1	晩縄8	平口縁に二山状の突起(4単位分)。口唇・面取・外縁・縄文。体部ミガキ。内面：ミガキ。胎土：小磯。クサリ小磯。海綿骨片。使用痕：なし。内外赤黒。	口径：14.8cm、器高：8.7cm、底径：7.6cm、内外赤黒。	P-2067, 2068
78-10	159	IVc-33	III層	半筒胴鉢	III	晩縄8	外縁：沈線。縄文。内面：ナズ。器底：直台。胎土：クサリ。使用痕：なし。	底径：4.0cm、注口部は途中から欠損。	P-2075
78-11	159	IVc-33・IVc-34	III層	兼	IV	晩縄8b	口唇：彫刻なし。外縁：縄文。内面：ミガキ。胎土：小磯。海綿骨片。使用痕：なし。外縁彫刻。底。縄文(耳取部)。胴部彫刻ミガキ。内面：ナズ。胎土：精良。使用痕：なし。外縁彫刻。	口径：6.7cm。	P-2078
78-12	159	IVc-33	III層	注口	III	晩縄7-4	口唇：面取。外縁：面取。胎部を刻むが胎部、縄文。使用痕：不明。黒炭残存。胎土：海綿骨片。クサリ。口縁に連続する突起(6単位)。突起頂部に肩。口唇：面取。外縁：突起部をつなぐ。胎部と体部の間に相違のような断面。全面クサリのり。ミガキ。底部：直台。内面：ナズ。底加工具痕。胎土：力強多含む。海綿骨片。使用痕：なし。内外赤黒。	口径：10.5cm、外縁赤黒。注口部欠存。	P-2067
79-1	159	IVc-33	III層	注口	III	晩縄8a	口縁に連続する突起(6単位)。突起頂部に肩。口唇：面取。外縁：突起部をつなぐ。胎部と体部の間に相違のような断面。全面クサリのり。ミガキ。底部：直台。内面：ナズ。底加工具痕。胎土：力強多含む。海綿骨片。使用痕：なし。内外赤黒。	口径：11.1cm、器高：17.2cm、底径：2.3cm、注口部欠存。	P-2138
79-2	159	IVc-33	III層	注口	III	晩末～晩縄9	平口縁に突起(4単位分)。口唇：面取なし。外縁：ナズ。注口底面に沈線。注口基部に二袋状の突起(4単位分)。内面：ミガキ。胎土：小磯。海綿骨片。使用痕：なし。内外赤黒。	口径：6.5cm、注口部欠存。	P-2065
79-3	159	IVc-33	III層	注口	III	晩末～晩縄9	口唇：面取。外縁：面取。胎部を刻むが胎部、目取を有し、基部に土層埋入。二袋状の突起(4単位分)を有し、口縁はミガキ。胎土：精良。使用痕：なし。外縁彫刻。	口径：9.8cm、注口部は途中から欠損。	P-2063
79-4	159	IVc-33	III層	注口	III	晩縄9b	外縁：全体をミガキ調整。黒炭残存。体部は注口部付近にのみ沈線による文様。注口基部に玉顆三叉文。胎土：精良。	注口部欠存。	2158
79-5	159	IVc-33	III層	深鉢	IV	晩縄7-4	深鉢口縁(4単位分)。深鉢部と器底部に突起。深鉢部突起の頂部に肩。口唇：面取。外縁：沈線。胎部に連続する肩。頂部を刻む胎部。縄文(器底)。沈線による入組文。胴部彫刻。胎土：ナズ。内面：クサリのり。ナズ。胎土：海綿骨片。使用痕：外口ス、内口コ。	口径：27.0cm、器高(沈線～縄文一沈線)：約45cm。	2202
79-6	159	IVc-33	III層	深鉢	IIIb5	晩縄8	口縁に面取を有する突起(4単位分)。口唇：面取。外縁：沈線。縄文(器底)。沈線による入組文。胴部彫刻。胎土：ナズ。胎土：精良。胎土：海綿骨片。使用痕：外口ス、内口コ。	口径：20.9cm、器高(縄文一沈線)：約45cm。	2151
79-7	159 巻部の上	IVc-33・IVc-33	III層	有付鉢	IIIb4	晩縄9a	口唇：面取。外縁：面取。胎部を刻むが胎部、目取を有し、基部に土層埋入。二袋状の突起(4単位分)を有し、口縁はミガキ。胎土：精良。使用痕：なし。外縁彫刻。	口径：20.7cm、器高：21.2cm、底径：9.9cm、外縁赤黒。胎土：ナズ。胎土：海綿骨片。使用痕：外口ス、内口コ。胎土：海綿骨片。使用痕：なし。内外赤黒。	P-2079
79-8	159	IVc-33	III層	深鉢	IIIb5	晩縄8	口縁に連続する突起(4単位分)。突起頂部に肩。口唇：面取。外縁：突起部をつなぐ。胎部と体部の間に相違のような断面。全面クサリのり。ミガキ。底部：直台。内面：ナズ。底加工具痕。胎土：力強多含む。海綿骨片。使用痕：なし。内外赤黒。	口径：17.4cm、器高：6.9cm、輪郭孔。	2310
79-9	159	IVc-33	III層	深鉢	III	晩縄9a	口唇：面取。外縁：面取。胎部を刻むが胎部、目取を有し、基部に土層埋入。二袋状の突起(4単位分)を有し、口縁はミガキ。胎土：精良。使用痕：なし。外縁彫刻。	口径：19.5cm、器高：10.1cm、底径：7.5cm。	2038
79-10	159	IVc-33	III層	粗製有付鉢	I 41	晩縄8a	口唇：面取。外縁：面取。胎部を刻むが胎部、目取を有し、基部に土層埋入。二袋状の突起(4単位分)を有し、口縁はミガキ。胎土：精良。使用痕：なし。外縁彫刻。	口径：10.1cm、輪郭孔。	2160
79-11	159	IVc-33	III層	粗製有付鉢	I 41	晩縄後葉～晩縄9	口唇：面取。外縁：面取。胎部を刻むが胎部、目取を有し、基部に土層埋入。二袋状の突起(4単位分)を有し、口縁はミガキ。胎土：精良。使用痕：なし。外縁彫刻。	口径：22.0cm、輪郭孔。	2058

縄文土器観察表 (49)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.
79-12	160	IVc-34	III層	台付鉢	I.Bs11	後期8c	平口縁に突起(蓮紋)不明。正面に眉目があるものと近いものがある。口唇・強い凹取。外側・体側面に連続するナズ。底部・台がつくとと思われるが破損。内面・ナズ。胎土・小硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：10.3cm。	2029
79-13	160	IVc-34	III層	深鉢		後期8c	平口縁に突起。口唇：直取。外面：貝目。彫痕。ぬいミガサ。内面：ナズ。胎土：中硬。使用痕・外スス。		2251
79-14	160	IVc-34	III層	深鉢		後期8c	口縁に連続する突起。突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：7.2cm。器高：16.0cm。	2224
80-1	160	IVc-34	III層	香印		後期7-4	丸底。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：7.2cm。器高：16.0cm。	2224
80-2	160	IVc-34	III層	香印		後期8c	丸底。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：7.2cm。器高：16.0cm。	2251
80-3	160	IVc-34	III層	鉢	I.As21	晩期2	香印の正面突起が、外面・正面に突起。円筒状の突起。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：11.6cm。底径：4.2cm。器高：7.8cm。	2149
80-4	160	IVc-34	III層	注口	III	後期7~8	香印の正面突起が、外面・正面に突起。円筒状の突起。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：11.6cm。底径：4.2cm。器高：7.8cm。	2149
80-5	160	IVc-34	III層	注口	II	後期7-4	口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
80-6	160 巻頭下	IVc-34	III層	深鉢	IIa.5	後期8	口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
80-7	160	SWs区(IVc-34)・IVc-34	III層	粗砂深鉢	I.As1	後期後葉~晩期	口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。外面凹取。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
80-8	161	IVc-34	III層	半筒状壺	III		口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。外面凹取。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
80-9	160	IVc-34	III層	半筒状壺	III		口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。外面凹取。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
81-1	161	IVc-34	III層	半筒状壺	III		口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。外面凹取。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
81-2	161	IVc-34	III層	粗砂壺	III		口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。外面凹取。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
81-3	161	IVc-34	III層	粗砂壺	III		口唇：直取。外面：ミガサ。底部：直取。内面：ナズ。胎土：小硬。使用痕・なし。外面凹取。	口径：5.3cm。器高：11.6cm。底径：2.0cm。注口部は途中から欠損。	2155
80-6	160 巻頭下	IVc-34	III層	深鉢	IIa.5	後期8	突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020
80-7	160	SWs区(IVc-34)・IVc-34	III層	粗砂深鉢	I.As1	後期後葉~晩期	突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020
80-8	161	IVc-34	III層	半筒状壺	III		突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020
80-9	160	IVc-34	III層	半筒状壺	III		突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020
81-1	161	IVc-34	III層	半筒状壺	III		突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020
81-2	161	IVc-34	III層	粗砂壺	III		突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020
81-3	161	IVc-34	III層	粗砂壺	III		突起部連続する口唇。右形突起は35単位。右形突起の間に山形突起が2個。突起は計15個。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。口唇：直取。外面：突起部は眉目。口唇：直取。外面：突起下・又三状の飾り。縄文I.Bs.11。胎土：ナズ。胎土：外硬。使用痕・外スス。内コウ。	口径：39.4cm。底径10.2cm。器高：30.3cm。	2020

縄土器観察表(50)

図番号	写真	出土位置	部位	形状	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
81-4		IVe-34	III層	粗敷鉢	I 6a1	後部後装 ~晩期	口唇: 曲腹, 外周: 横筋, 胴部は口縁縁の一部が凹凸な真なり。内面: ナズ。口唇: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。		2019	
81-5	161	IVe-34	III層	深鉢	I 6a1	後部5a	口唇: 横筋なし。外周: ナズ。胎土: 赤土, 外周をナズで内周: 赤土でナズ。胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。		2253	
81-6	161	IVe-34	III層	台付鉢小		後部5a	外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。	アスファルト球状の黒色物質付着。		2252
81-7	161	IVe-35	III層	浅鉢	II 1	晩期1b	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋化した人組二又文と横の文様。内面: ナズ。		2220	
81-8	161	IVe-33・ IVe-35	III層	深鉢		後部8	平口縁に山の外縁と二山の突起が交互。二山の間は口縁に浅筋。口唇: 横筋, 外周: 横筋, 胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。	口唇: 23.8cm, 底径: 4.5cm, 器高値: 20.1cm, 胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。	2507	
81-9	161	IVe-33	III層	台付鉢	III 6a	晩期1a	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。		P-2080, 2086	2132
81-10	161	IVe-33	III層	鉢	III 6a11	後部7-4	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。	口唇: 27.0cm。	P-2081	2111
81-11	162	IVe-33	III層	壺	III	晩期1b	外周: 口唇に浅筋, 胴部は口縁縁の縁に浅筋。口唇: 横筋, 胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。	口唇: 27.0cm。	P-2099	2099
81-12	161	IVe-33	III層	粗敷深鉢	III 6a11	後部後装 ~晩期	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。		P-2080	2129
82-1	162	IVe-39	III層	深鉢	III 6a11	後部7-4	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。		P-145	1133
82-2	162	IVe-40	III層	粗敷深鉢	I 6a1	後部後装 ~晩期	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。		P-318	298
82-3	162	IVe-41	III層	粗敷深鉢		後部7-8	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。			608
82-4	163	IVe-41	III層	深鉢		後部7-3	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。			558
82-5	162	IVe-41	III層	深鉢	II	後部7-4	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。	内面径: 30.0×20.0cm。		538
82-6	162	IVe-41	III層	鉢	I 6a1	後部7-4	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。			539
82-7	163	IVe-41	III層	深鉢		後部7-4	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。			540
82-8	162	IVe-40・ IVe-49・ IVe-49	III層	深鉢	III 6a1	後部8	口唇: 横筋なし。外周: 口縁の上にある深筋。内面: ナズ。胎土: 赤土, 胎厚: 10.8cm, 底径: 4.5cm。		P-1030, 1708	543

縄文土器観察表(51)

図番号	写式	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
82-9	163	IV-Q-11	深鉢	I	晩期1b	小底状口縁。外面：沈腕。沈腕間に連続する沈腕。縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。海砂骨片。使用痕：外スス。外面：ナズ。内面：ナズ。胎土：砂粒。		589
82-10	-	IV-Q-11	皿	注口	後末～晩期			P-213
82-11	162	IV-Q-11	粗製深鉢	I, a1	～晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：2mm以下小礫多い。使用痕：外スス。使用痕：外スス。		521
82-12	163	IV-Q-11	粗製深鉢	I, a1	～晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：クサリ縄。4mm以下小礫。海砂骨片。使用痕：外スス。		502
83-1	162	IV-R-10	粗製鉢	I, a1	～晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：面取。沈腕間に連続する唇目。縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。海砂骨片。使用痕：外スス。		503
83-2	163	IV-R-11	深鉢	I	晩期8	底状口縁(単位数不明)。外面：文様帯は段状。沈腕による入組文。縄文Ⅱ。体部下半と台部はナズ。内面：ナズ。胎土：砂粒。胎土は全体に細かい。砂粒1mm少量。使用痕：なし。		165
83-3	163	IV-R-11	台付鉢	II	晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：面取。胎土：小礫。海砂骨片。外面に黒底残るため使用痕は弱い。使用痕：なし。		583
83-4	163	IV-R-11	台付深鉢	I, a3	晩期1a	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		596
83-5	163	IV-R-11	粗製深鉢	I	晩期1a	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：クサリ縄。胎土：シルト質。砂粒多い。使用痕：外スス。		418
83-6	163	IV-R-11	粗製深鉢	I, a1	～晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		519
83-7	163	IV-R-11	粗製深鉢	I, a1	～晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		611-1
83-8	163	IV-R-11	深鉢	I	晩期9	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		609
83-9	163	IV-Q-12	深鉢	I	～晩期	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		599
83-10	163	IV-Q-12	深鉢	I	晩期7-3	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		524-1
83-11	163	IV-R-13・IV-Q-13	深鉢	I	晩期7-3	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。		524-2
83-12	163	IV-Q-12	深鉢	I, B1	晩期7-4	底状口縁。口唇：面取。外面：沈腕間に連続する唇目。胎土：面取。取組上に唇目。沈腕による入組文。縄文Ⅱ(胎土)。胎土は全体が粗粒。底面：面取。使用痕：外スス。内面：中肉。		422
83-13	163	IV-Q-12	浅鉢	I, B1	晩期7-8	口唇：面取。外面：ミガキ。内面：ミガキ(表面磨滅)。胎土：砂粒。海砂骨片。使用痕：なし。		523・522
83-14	163	IV-Q-12	台付深鉢	I, B1	晩期7-4	口唇：面取。外面：縄文Ⅱ。沈腕。内面：ナズ。胎土：砂粒。クサリ縄。使用痕：外スス。取組しない以上平復元。		524
83-15	163	IV-Q-12	深鉢	I, a11	晩期8	口唇部突起が連続(12単位)。口唇：面取。外面：面取。文様帯には沈腕排出による入組文。生成する。入組文の空部(三文字状)を配し、入組文の組織の上端と下端が細粒文様帯の区画間に連続する。縄文Ⅱ(胎土)。胎土は細文となる。使用痕：外スス。内面：四ツコ。		56
83-15	163	IV-Q-12	深鉢	I, a11	晩期8	口唇：面取。外面：沈腕による入組文。縄文Ⅱ。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス。内面：四ツコ。		587

縄文土器観察表 (52)

図番・写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
84-1 165 後頭上	IV-Q-14	III層	台付鉢	I 6a11	後期7-4	平口縁に2線の突起が交互に付く10角の口唇；底面、外面；口縁部を縁部に沿って斜め方角から劈開面に項目を写す項目帯と細文様を形成し、粗文様の突起部には田罫様の細帯を下す。1周位の帯が残り付からぬ外される。粗帯文様の上部は1周位の短段状突起で、下部は突起に対応する凹形突起を伴う凹帯の帯を付す項目帯で終了。粗帯文様では、入組文の突起部と縁部突起の突起の間に山状の突起と窪凹状帯部に連続する帯があり、入組文の突起部と縁部突起の突起の間に山状の突起と窪凹状帯部に連続する帯があり、窪凹状帯部は窪凹状帯部の突起と窪凹状帯部の突起の間に山状の突起と窪凹状帯部に連続する帯を幾度か折ってコナリ付着。粘土；縁部で織造され、粘土質の帯が多い。細砂粒。海綿骨片。	P-5, 199		53
84-2	IV-Q-13	III層	深鉢		後期7-4	平口縁に突起、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			526
84-3	IV-Q-13	III層	深鉢		後期7-4	口縁に水小の山形突起が交互に連続し、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	P-40		527
84-4	IV-Q-13	III層	深鉢	II	後期7-4	外面；縁文；底面。底面に連続する項目。体部堅い。内面；ナデ；砂粒多い。台付かぶろか不明。	P-264		503
84-5	IV-Q-14	III層	注口		後末～晩期8	平口縁に突起、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒多い。口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	P-189		287
84-6	IV-Q-13	III層	深鉢		後期8	平口縁に突起、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			528
84-7	IV-Q-13	III層	深鉢		後期8	平口縁に山形の突起。突起部には内面にのびる項目。口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			417
84-8	IV-Q-13	III層	深鉢		後期8	平口縁に二山状の山形突起。口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	P-295		582
84-9	IV-Q-13	III層	深鉢	IIa1	後期8a	小腰状口縁の、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			578
84-10	IV-Q-13	III層	深鉢	IIb1	後期8b	平口縁に突起、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	P-267		579
84-11	IV-Q-13	III層	深鉢		後期8	平口縁に大小の突起が交互に連続し、大突起の頂部には内面に縁く項目。口唇；外面；外面；大突起下の三叉状の突起は肩状の突起によるもので縁の先端は同じておらずはつきりした三叉文ではない。底面、底面に連続する短比縁。縁文は、底面による入組文、内面；ナデ；海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	420		
84-12	IV-Q-13	III層	深鉢		後期8	平口縁に二山の突起。口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	529		
84-13	IV-Q-13	III層	深鉢	IIa11	後期8	平口縁に山形突起、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			577
84-14	IV-Q-13	III層	深鉢		晩期1a	口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	P-41		584
84-15	IV-Q-14	III層	深鉢	IIa5	後期8	平口縁に連続する有形突起、口唇；外面；内面；底面；外面；内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			268
84-16	IV-Q-13	III層	深鉢	II	晩期1a	小腰状口縁に突起、外面；口縁部突起の中に三叉状の突起。底面、突起下の三叉文、縁文。縁文による入組文、内面；ナデ；粘土；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。			586
84-17	IV-Q-13	III層	深鉢	II	晩期1b	深鉢の突起部分、裝飾的な大型の突起をもつ。外面；底面、縁文；底面による入組文、内面；ナデ；砂粒。海綿骨片。使用面；外・内・内コテ。	P-103		589

縄文土器観察表 (53)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.
85-1	164	IV-Q-14	III層	台付鉢		後期8 ～前期	外面:沈凝、縄文(灰褐色)、磨面部ナズ。持ち手による三叉文、連続する細比線、体部下半ナズ。内面:ナズ。胎土:小礫多量含む。使用痕:外スス。胎土:沈凝。外側:縄文。内面:ナズ。胎土:3mm以下小礫、海綿骨針。使用痕:外スス。	底径: 6.8cm。	P-14, 190
85-2	164	IV-Q-13	III層	深鉢		後期8 ～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:4mm以下小礫、使用痕:外スス。		P-206
85-3	164	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.6a1	後期8 ～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		P-270
85-4	164	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.6a1	～前期	平口縁に面取。外面:沈凝。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		P-206
85-5	164	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.6a1	～前期	平口縁に面取。外面:沈凝。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		421
85-6	164	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.6a1.1	～前期	平口縁に面取。外面:沈凝。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		532
85-7	164	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.6a1	～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:3mm以下小礫、使用痕:外スス。		500
85-8	165	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.8a1	～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		516
85-9	165	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.8a1	～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		513
85-10	164	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.8a1	～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		601
85-11	165	IV-Q-13	III層	粗製深鉢	I.8a1	～前期	口唇:面取。外面:縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		520
85-12	165	IV-Q-14	III層	粗製台付深鉢	I.6a1.1	～前期	平口縁に面取(単位数不明)。口唇:面取。外面:ケズ目のちナズ。内面:ナズ。胎土:小礫。使用痕:外スス。内コゴ。		1088
85-13	164	IV-Q-13	III層	台付鉢		晩期1a	外面:ナズ。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		604
86-1	166	IV-R-12	III層	深鉢		後期8	平口縁に大小の突起。小突起部は肩目。口唇:面取。外面:入交配下に貼面。小突起部下には大律帯の中に貼面。内面、沈凝による人組文、縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		545-1
86-2	166	IV-R-12	III層	深鉢		後期8	平口縁に大小の突起。小突起部は肩目。口唇:面取。外面:入交配下に貼面。小突起部下には大律帯の中に貼面。内面、沈凝による人組文、縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		545-2
86-3	166	IV-R-12	III層	注口		晩期1a~b	注口原部のみ。外面:沈凝、三叉文、体部縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		548
86-4	166	IV-R-12	III層	深鉢	II	晩期1a~b	小袋状口縁。外面:沈凝、縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		533
86-5	166	IV-R-12	III層	鉢		晩期1a	口唇:連続した肩目。外面:沈凝。連続する肩目。縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。		535
86-6	166	IV-R-12	III層	浅鉢	I.13	晩期3	口唇:面取。外面:沈凝。連続する肩目。縄文(灰褐色)。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		536
86-7	166	IV-R-12	III層	浅鉢又はIII	I.13	晩期3~4	口唇:面取。外面:沈凝。連続する肩目。縄文。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		549
86-8	166	IV-R-12	III層	皿	I.13	晩期4	口唇:面取。外面:沈凝。連続する肩目。縄文(灰褐色)。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		71
86-9	166	IV-R-12	III層	壺	III.1	晩期3	口唇:面取。外面:沈凝。連続する肩目。縄文(灰褐色)。内面:ナズ。胎土:砂粒。使用痕:外スス。内コゴ。		93

縄文土器観察表 (55)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	形状	時期	特徴	備考	取上No.
87-7	167	IVc-13	III層	深鉢	底面	後期8	口唇：面取。外面：縄文丸唇の。花輪による入組文。体部下半はナズ。内面：ナズ。粘土：小礫。使用痕：外ナズ。内コウ。		P-999
87-8	167	IVc-13	III層	深鉢	底面	後期8	口唇：面取。外面：花輪による組文。縄文丸。花輪。三又文。内面：ナズ。粘土：砂粒。海苔骨片。使用痕：外ナズ。内コウ。		503
87-9	167	IVc-13	III層	深鉢	底面	後期8	平口縁に小突起。口唇：面取した見出し。外面：花輪(入組三又文)。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：外ナズ。内コウ。		504
87-10	-	IVc-13	III層	深鉢小	底面	後期8	外面：花輪。花輪による組文。縄文丸。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：外ナズ。内コウと同一個体。		521-1
87-11	167	IVc-13	III層	深鉢小	底面	後期8	小波状口縁。口唇：面取した組文。外面：縄文丸。花輪による雲形文(巻石なし)。縄文丸(唇の)。折角状のナズ。底面：平足。底面ミダ。体部と底面の間にミダ。ナズ。粘土：砂粒。海苔骨片。使用痕：なし。		521-2
87-12	167	IVc-13	III層	皿	底面	晩期4	平口縁に突起。口唇：突起の部に花輪。外面：花輪。縄文丸。内面：ミダ。底面と体部の間に花輪。粘土：砂粒。使用痕：なし。		97
87-13	167	IVc-13	III層	浅鉢	底面	晩期3	外面：面取した見出し。花輪。縄文丸。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。		501-1
87-14	167	IVc-13	III層	浅鉢	底面	晩期3	平口縁に突起。口唇：突起の部に花輪。外面：花輪。縄文丸。内面：ミダ。底面と体部の間に花輪。粘土：砂粒。使用痕：なし。		501-2
87-15	167	IVc-13	III層	皿	底面	晩期4	口唇：面取。外面：花輪。縄文丸。内面：ミダ。底面と体部の間に花輪。粘土：砂粒。使用痕：なし。		501
87-16	-	IVc-13	III層	浅鉢	底面	晩期3	外面：口縁部高目。花輪。縄文丸。粘土：砂粒。海苔骨片。使用痕：なし。		510
87-17	-	IVc-13	III層	浅鉢	底面	晩期2~4	外面：口縁部高目。花輪。縄文丸。粘土：砂粒。海苔骨片。使用痕：なし。		503
87-18	167	IVc-13	III層	浅鉢	底面	晩期3~4	平口縁に突起(単位小)。口唇：斜い面取。外面：縄文丸。底面：高台。内面：ナズ。粘土：小礫多く含む。使用痕：外ナズ。		509
87-19	-	IVc-13	III層	浅鉢	底面	晩期3~4	外面：口縁部高目。細花輪。縄文丸(全体に厚取)。粘土：砂粒。使用痕：なし。		507
88-1	167	IVc-13	III層	平縁割台付鉢	底面	晩期3	平口縁に突起。口唇：高目。外面：花輪。斜突。肩部突起(単位。体部縄文丸。若渚：花輪。花輪に花輪小。粘土：小礫。海苔骨片。使用痕：外ナズ。内コウ。		90
88-2	-	IVc-13	III層	鉢	底面	晩期2~3	外面：花輪。縄文丸。内面：ナズ。粘土：砂粒。海苔骨片。使用痕：なし。		571
88-3	167	IVc-13	III層	台付鉢	底面	晩期2小	右面：平縁(厚取。厚取部に縄文丸。突起高目。粘土：砂粒。海苔骨片。使用痕：なし。		568
88-4	167	IVc-13	III層	粗製浅鉢	底面	後期後葉~晩期	口唇：面取。外面：縄文丸。内面：平足。粘土：小礫。砂粒。使用痕：外ナズ。		518
88-5	167	IVc-13	III層	粗製浅鉢	底面	後期後葉~晩期	口唇：面取。外面：縄文丸。内面：ナズ。底面：ナズ。粘土：小礫。使用痕：外ナズ。内コウ。		1091
88-6	167	IVc-13	III層	粗製浅鉢	底面	後期後葉~晩期	口唇：面取。外面：縄文丸。内面：ナズ。底面：ナズ。粘土：小礫。使用痕：外ナズ。内コウ。		P-206
89-1	167	IVc-14	III層	壺	底面	晩期3	外面：平縁(厚取)文3本。ミダ。底面：円形の凹底。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。		P-188
89-2	167	IVc-14	III層	平縁割台付鉢	底面	晩期4	口唇：面取。外面：縄文丸。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：外ナズ。		P-322
89-3	167	IVc-14	III層	粗製浅鉢	底面	後期後葉~晩期	口唇：面取。外面：縄文丸。内面：ナズ。底面：ナズ。粘土：小礫。使用痕：外ナズ。内コウ。		P-58, 89
89-4	167	IVc-14	III層	粗製浅鉢	底面	後期後葉~晩期	口唇：面取。外面：縄文丸。内面：ナズ。底面：ナズ。粘土：小礫。使用痕：外ナズ。内コウ。		P-211, 223
89-5	167	IVc-14	III層	粗製浅鉢	底面	後期後葉~晩期	外面：平縁(厚取)文3本。ミダ。底面：円形の凹底。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。		605-606
89-6	167	IVc-14	III層	壺	底面	晩期3	外面：平縁(厚取)文3本。ミダ。底面：円形の凹底。内面：ナズ。粘土：砂粒。使用痕：なし。		94
89-7	167	IVc-14	III層	平縁割台付鉢	底面	晩期4	平口縁に突起(単位)。突起の高目に平縁。口唇：花輪(突起に巻き込み)。外面：花輪(平縁外縁高目。底面4本突起。肩部にミダ)。粘土：小礫。海苔骨片。使用痕：外ナズ。内コウ。		P-22

縄文土器観察表(56)

区番号	写真	出土位置	層位	形態	時期	特徴	備考	取上No.
89-3	167	IVR-44	III層	粗製鉢	後彌生後～晩期	口唇外周、外面に縄文肌、底面ナゲ、内面ナゲ、胎土薄層付、使用痕に外ズス、内コ ク 平口縁に5本の筋突起が並んで付く。口唇、口蓋、面取、外面にタズリのみの縄文肌、内面にナ ズ。胎土、小粒、細砂粒、使用痕、外ズス、内コナ。内外面に肌取痕のため底面低く、胎土部ナ 胎土に細帯で精進された、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口縁に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：12.1cm、筋高：3.7cm、底径：5.0cm 口径：29.4cm	P-23 P-204 P-194
89-5	168	IVS-43	III層	深鉢	晩期3	口唇に突起に並列所収、筋突起は揃った小突起を付す所が顕著なり、口唇、強い肌取、 胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：8.8cm	9114
89-6	168	IVS-44	III層	半筒製釜	晩期3	外口縁に突起に並列所収、筋突起は揃った小突起を付す所が顕著なり、口唇、強い肌取、 胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口径：10.2cm	P-32
89-7	168	IVS-44	III層	半筒製釜	晩期3	外口縁に突起に並列所収、筋突起は揃った小突起を付す所が顕著なり、口唇、強い肌取、 胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：13.1cm、筋高：8.8cm、底径：3.2cm	P-29
89-8	168	IVS-44	III層	粗製鉢	晩期3	口唇、強い肌取、外面に筋部タズリ、胎土、小粒、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：12.3cm、筋高：10.0cm、底径：3.4cm 口径：14.1cm	P-182
89-9	168	IVS-44	III層	粗製鉢	後彌生後～晩期	口唇、強い肌取、外面に筋部タズリ、胎土、小粒、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：24.0cm、底文輪(口唇部)胎付一沈 跡、筋突→縄文→胎付、底存痕、胎土、	105・1106
89-10	168	IVS-44	III層	粗製深鉢	後彌生後～晩期	口唇、強い肌取、外面に筋部タズリ、胎土、小粒、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：28.0cm	P-1309
90-1	170	IVQ-45	III層	深鉢	後彌生4	平口縁に突起に並列所収、筋突起は揃った小突起を付す所が顕著なり、口唇、強い肌取、 胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：22.8cm	P-1482、1019
90-2	169	IVQ-45	III層	深鉢	後彌生4	平口縁に突起に並列所収、筋突起は揃った小突起を付す所が顕著なり、口唇、強い肌取、 胎土に筋部沈着、胎土基質の對比が高い、細砂粒、薄層付。 口蓋に突起に並列所収、筋突起の間に、口唇、口蓋、筋部沈着、沈着後外周部をナ ズ。体部に縄文肌、内面に小粒ヨコナナに上層部が凸出、口縁に強い肌取り、体部ナ ズ。底工工具痕、胎土、小粒、タズリ、薄層付、使用痕、外ズス、内コナ。 口唇、面取なし、外面に筋部タズリのタズリ。筋部と体部の間に強い沈着、体部に縄文肌、 の 口蓋に口縁沈着、外面に底工工具痕、胎土、小粒、使用痕、外ズスは二次沈着によるもの の。	口唇：35.5cm	1114

縄文土器観察表 (57)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	形態	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
90-5	169	IVQ-45	III層	深鉢	深鉢	後期7-4	平口縁に突起列を形成し、突起列の中央に3個一組を単位とする突起列を帯の下段にも突起列を設け、底部文様帯の中央に太い写目による周角帯を設ける。上段と下段に分かれた直線部文様帯には入組文を生成し、直線の上面と周角帯直前に連続する。縄文Ⅳ前期の、使用痕：外ス、内コケ。	口径：34.0cm。	P-1486	279
90-6	169	IVQ-45	III層	深鉢	皿鉢Ⅰ	後期7-4	平口縁と三山突起と小山形突起を交互に配置。口唇：面紋。外面：口縁部文様帯には口縁部形に平行する直線部を交互し、胴部は3個一組を単位とする突起列を帯の下段にも突起列を形成し、突起列の中央に太い写目による周角帯を設ける。上段と下段に分かれた直線部文様帯には入組文を生成し、直線の上面と周角帯直前に連続する。縄文Ⅳ前期の、使用痕：外ス、内コケ。	口径：33.5cm。 断面文様帯一平行沈線一突起一写目。	P-1597	288
90-7	168	IVQ-45	III層	深鉢	II	後期7-4	外面：直線、縄文Ⅰ、貼輪、体部ナナフ、黏土：小磯。タマリ磯、使用痕：外ス、内コケ。	口径：18.1cm、器高：10.6cm、底径：9.8cm。 後期7-4期とした119-4と形態は同じ。中付浅鉢が後期7-4期のものと見做してやる。	P-1446、1598	1090
90-8	171	巻頭下	II層	台付浅鉢	I B1	後期7~8	口唇：面紋。内外面：ナナフ。ミガサ。黏土：シルト下層。5mm以下の小磯、砂粒、薄綿骨粒。使用痕：なし。	後期7-4期とした119-4と形態は同じ。中付浅鉢が後期7-4期のものと見做してやる。	P-1465	208
90-9	171	IVQ-45	III層	台付鉢	I B1	後期7-4	口唇：面紋。外面：ミガサ。体部下半と台部縦ミガサ。黏土：タマリ磯。3mm以下小磯。使用痕：なし。	口径：14.3cm、器高：11.2cm、底径：10.8cm。	P-1226	204
90-10	169	巻頭下	III層	粗敷器	III 1	後期8	口唇：面紋。外面：口唇部ナナフ。体部細縄文Ⅰ。内面：ナナフ。器部：高右。黏土：小磯。タマリ磯。使用痕：なし。外面黒灰。	後期8期では後期7-4期に比べて器の色は黒調の明る多いものが多い。本例はその観点から後期8期とした。	P-1482	177
91-1	170	IVQ-45	III層	注口	III	後期7-4	外面：断面に貼輪(6単位)、尺綱、縄文Ⅰ(局部)。注口部直下に貼輪2個。器部：高右。	底径：2.8cm、器高：17.3cm、注口部は底部5-5刻溝。	P-1129	153
91-2	170	IVQ-45	III層	注口	III 1	後期7-4	平口縁に突起列(6単位)。口唇：面紋。外面：口縁に縄文Ⅰ、貼輪2個。尺綱、ミガサ。断面は尺綱(5単位)と断面ナナフ。断面：高右。体部縦ミガサ。使用痕：なし。	口径：12.0cm、底径：2.7cm、器高：10.5cm。 断面：尺綱、貼輪、高右。	P-1228	38
91-3	170	IVQ-45	III層	注口	III	後期7-4	外面：ミガサ。口縁部直下に貼輪、尺綱、貼輪。体部にミガサ、文様帯、尺綱。注口部直下に貼輪、注口先端と基部に尺綱、縄文Ⅰ、器部：高右。内面：ナナフ。黏土：小磯。タマリ磯。薄綿骨粒。使用痕：なし。	底径：2.2cm、器高：14cm、注口部が1個より多い。	P-1220	14
91-4	170	IVQ-45	III層	注口	III 1	後期7-4	口唇：面紋。外面：断面に尺綱、貼輪。体部ナナフ。器部：高右(部分的に高右)。内面：ナナフ。黏土：海神骨粒。使用痕：なし。外面：黒灰。	口径：9.9cm、体部両側が2つで注口部は3個である。 は縄文Ⅳでなく、断面文様帯一貼輪。	P-1514	166
91-5	170	巻頭上	III層	半筒状壺	III 1	後期7-4	外面：尺綱、縄文Ⅰ。ナナフ。器部：高右。内面：ナナフ。黏土：小磯。使用痕：なし。外面黒灰。	口径：8.7cm、底径：4.5cm、器高：13.7cm。 底部に底平な部分のため、後期8期に分類可能と思われる。	P-940	39

縄土器観察表(58)

図番分	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
91-6	168	IVQ-45	III層	深鉢	IIb04c	後期8	平口縁に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径29.2cm、残存率2/5。	P-1120
91-7	169	IVQ-45	III層	深鉢	IIb04c	後期8	平口縁に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：24.5cm。	P-824, 822
91-8	169	IVQ-45	III層	深鉢	IIb05	後期8	平口縁に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：25.6cm。	P-1131
91-9	169	IVQ-45	III層	深鉢	IIb04	後期8	平口縁に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：19.5cm、残存率2/5。	P-1136, 1137
91-10	170	IVQ-45	III層	深鉢	IIb05	晩期1a	口縁に突起が連続、突起は二山一組のものより山の大きめに付される。口唇：面取の上端に突起が連続し、原部文様帯の上端は単位突起で、下部は連続した文帯で飾す。原部文様帯には文帯帯に連続する区画帯で区画、体部縄文、内面：ナズ。貼上：小漚、砂粒、使用面：内コグ。	口径：22.0cm。	1118
91-11	170	IVQ-45	III層	深鉢	IIb04	晩期1a	口唇：高目。外面：面取、縄文(滑潤)。文帯による入組文、内面：ナズ。貼上：海部骨片。使用面：外ヌス、内コグ。	口径：29.3cm。	1132
92-1	171	IVQ-45	III層	台付浅鉢	Ib04	晩期1a	小漚状口縁。口唇：面取、外面：縄文、三文字、ミガキ。内面：ミガキ。右面：ナズ。貼上：青長、使用面：なし、外面面取。	口径：22.3cm、底径：9.8cm、脚高：10.6cm。	P-820
92-2	170	IVQ-45	III層	深鉢	Ib01c	後期後遺～晩期	平口縁に三山一組の突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：16.5cm。	1335
92-3	171	IVQ-45	III層	粗製鉢	Ib01	後期後遺～晩期	平口縁に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：10.6cm、脚高：8.1cm、底径：3.9cm。	P-1126
92-4	170	IVQ-45	III層	粗製深鉢	Ib01	後期後遺～晩期	口唇：面取、外面：縄文、口縁部の上端に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：14.5cm、脚高：16.2cm、底径：7.9cm。	P-1333
92-5	170	IVQ-45	III層	粗製台付鉢	Ib01c	後期後遺～晩期	平口縁に突起(単位突起)を有し、山原と台原の2種が交互に口唇・面取・外面・口縁部を形成する形状を形成し、原部文様帯の上端を幅の狭い、巾帯の無文帯で下向きに強調し、無文帯と縄文帯の上端の間は文様帯の上端の区画帯に下向きに強調文が、下部の区画帯に上向きに強調文が挿入し、横間が強調文帯に横間に入組文等を不規則に組合し、複雑な文意帯を挿入する。同時に、2-3mmの広く浅い文帯を0-10mm程度の間に連続させて挿入する。縄文(滑潤)。使用面：口縁部、口唇部、口唇部から下部区画帯の内面にコグが付き、貼上。貼上：小漚、タナリ縁、海部骨片。	口径：18.8cm、脚高：15.9cm、底径：8.2cm。	P-1399
92-6	171	IVQ-45	III層	粗製深鉢	Ib01	後期後遺～晩期	口唇：面取、外面：縄文、内面：ナズ。貼上：小漚、使用面：外ヌス。	口径：33.6cm。	P-1433, 1434, 1437, 1399
92-7	171	IVQ-45	III層	粗製深鉢	Ib01	後期後遺～晩期	口唇：面取、外面：縄文、内面：ナズ。原状加工痕跡。貼上：小漚、使用面：外ヌス、内コグ。	口径：36.2cm。	P-1130, 1131, 1137
92-8	171	IVQ-45	III層	粗製深鉢	Ib01	後期後遺～晩期	口唇：面取、外面：縄文、内面：ナズ。貼上：小漚、タナリ縁、使用面：外ヌス、内コグ。	口径：35.6cm。	P-1411, 1433, 1520
92-9	170	IVQ-45	III層	香炉小	香炉小	後期7-8	香炉の上端と思われる。外面：斜面面に有る。縄文、比羅。無文帯にはミガキ。内面：ナズ。貼上：海部骨片。使用面：なし。	92-9と同一個体。	1398
92-10	170	IVQ-45	III層	香炉小	香炉小	後期7-8	92-9と同一個体。内面面取。	92-9と同一個体。内面面取。	1397

縄文土器観察表 (59)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
92-11	170 巻頭10 下	IVa-7・ IVq-15	III層	香炉	香炉	後期7~8	香炉用器突起。突起の片側に入眼。もう一方には縦道を粘土柱・粘土板取付と瓦割による二重表現。胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。外面黒褐色。入眼の口より下の部分は二次焼による変形が用入。 口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。	特-67	1247
92-12	171	IVq-45	III層下部	残鉢	I B1	後期7~8	口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1751	1164
92-1	172	IVq-46	III層	深鉢	II Bc3	後期7-4	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1372	1227
92-2	172	IVq-46	III層	注口	II 1	後期8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1371	36
92-3	172	IVq-46	III層	深鉢	II Bc3	後期7-4	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1246, 1352	1212
92-4	172	IVq-46	III層	台付鉢	I C1	後期7~8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1374	1169
92-5	172	IVq-46	III層	粗敷鉢	I C1	後期7~8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1240	1171
92-6	172	IVq-46	III層	注口	II 4	後期8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1213	37
92-7	172	IVq-46	III層	深鉢	II Bc1	後期7-4	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1473	1253
92-8	172	IVq-46	III層	深鉢	II Bc11	後期7-4	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。		1270
92-9~ 11	172	IVq-46	III層	深鉢	II Bc1	後期8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。		1417・1 -3-5-6
92-12	172	IVq-46	III層	深鉢	II Bc11	後期7~8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1492	1357
92-13	172	IVq-46	III層	粗敷深鉢	II Bc11	後期7~8	底状口縁。口縁は丸みがあり口上器縁部と相違する。 胎土：小塊、焼物部針。使用痕：なし。	P-1240	1189

縄文土器観察表(61)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
95-7	173	IVQ-46	III層	粗製深鉢	浅部1a	後新石器 ~晩期	外面:ナズ。底面:平底。胎土:小籠。使用痕:なし。外面直度。 平口縁に深い台形突起と深い山形突起が交互。右面突起は上面をユピオキス。山形突起は 凹部縁に本。口唇:面取。外面:縄文肌(磨削)。左縁、最上部分の縁から石形突起の突起 に縄文肌。左縁による入組文。胎土:ナズ。胎土:海神骨片。使用痕:外 スス。内コブ。	底径:4.7cm。	P-1387	1183
95-8	174	IVQ-48	III層	深鉢	IIa5	晩期1a	口縁に台形突起が連続。口唇:面取。外面:淡緑下に三角形の縄文肌部が形成される 分。三又文は縦直されつており、左縁、縄文肌(磨削)。胎土:小籠。胎土:海神骨片。使用痕: 胎土:ナズ。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 外面は胎土の透かし(五原)部分。左縁、縄文肌。内面:ナズ。胎土:小籠。使用痕:内スス。			1392
95-9	174	IVQ-48	III層	深鉢	IIa5	後期8	口縁に連続する台形突起。胎土:2面目に原目をもつものと円形突起をもつものと交互。 五(16)単位あり。口唇:面取。外面:淡緑。縄文肌(磨削)。胎土:小籠。胎土:海神骨片。使用痕: 内面:ナズ。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 凹部突起をもつ突起の下には玉型三又文。体部の左縁部には上下2段の縄文肌。胎土: 入組文。入組部に円形突起。凹部突起部には三又文を配列。又縁部で左の縁より下に も部分的に縄文。体部下半はナズ。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 スス。内コブ。			1409
95-10	174	IVQ-48	III層	香炉	後期7~8	後期7~8	口縁部帯が平縁を呈し。外面に凹部突起を付して頸状に突出する小山形突起を配す。 胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 外面は胎土の透かし(五原)部分。左縁、縄文肌。内面:ナズ。胎土:小籠。使用痕:胎土:海神骨片。 コブが付き。胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 スス。胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。			1457
96-1	174 巻頭上	IVQ-47・ IVQ-47	III層	鉢	IIa5	晩期1a	口縁部帯が平縁を呈し。外面に凹部突起を付して頸状に突出する小山形突起を配す。 胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 外面は胎土の透かし(五原)部分。左縁、縄文肌。内面:ナズ。胎土:小籠。使用痕:胎土:海神骨片。 コブが付き。胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。 スス。胎土:小籠。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。胎土:海神骨片。	口径:30.8cm。底径:7.6cm。胎土: 29.2cm。	P-1410	1323
96-2	174	IVQ-47	III層	粗製深鉢	I ka11	後新石器 ~晩期	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-1631	1217	
96-3	174	IVQ-47	III層	香炉	後期7~8	後期7~8	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-1196	1179	
96-4	174	IVQ-47	III層	重	IV	晩期	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-562	202	
96-5	174 巻頭上	IVQ-47	III層	注口	II1	晩期1a	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-1092	4223	
96-6	174	IVQ-49	III層	粗製深鉢	I ka1	後新石器 ~晩期	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-1107	1310	
96-7	174	IVQ-49	III層	注口	晩期1a	晩期1a	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	特-01	1392	
96-8	174	IVQ-50	III層	深鉢	後期8	後期8	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。		1395	
97-1	175	IVR-45	III層	浅鉢	I B11	晩期1b	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-829, 834	233	
97-2	175	IVR-45	III層	浅鉢	II1	晩期1b	胎土:19.2cm。口径:19.8cm。底径: 8.2cm。底径:7.8cm。	P-831, 832, 833, 834, 835	105	

縄土器観察表 (62)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
97-3	175	IVc-45	III層	深鉢	IIIb-11	後期7-4	平口鉢に類形をコトナシとした山形の突起(取付口)。口唇・縁部・外面・底面に連続する乳目・織文類(乳目・乳輪・若しくは入組文・雲形刻印ナリ)。体部下方ナリ。内面・ナリ。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：17.7cm、底文輪(乳輪→織文→乳目(織文))。	1101
97-4	175	IVc-45	III層	深鉢	IIIb-11	後期7-4	平口鉢。口唇・面紋。外面・底面に連続する乳目・織文による入組文・織文(乳目・太い糸と細い糸が交互)。乳輪(乳輪と柄が交互)。体部・ナリ。内面・ナリ。使用炭・外スス、内ココロ。胎土・小磯。	口径：18.5cm。 底文輪(織文→乳輪)。	1356
97-5	175 巻物9上	IVc-45	III層	鉢	IIIb-11	後期7-4	平口鉢に突起(取付口)あり。口唇・面紋。外面・底面に連続する5個の乳目・乳輪が並ぶ。乳目・乳輪の間に等しい斜め傾向からの太い乳目と表出する。突起直下は凹目状の窪みを持つ。胎面に連続する乳目・乳輪の間に凹目状の窪みを持つ。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。胎土・油桐骨料。	口径：20.3cm。底文輪(乳輪→乳輪一周乳目→一部底紋片織文、現存率3/4。	150
97-6	175	IVc-45	III層	深鉢	I-C11	後期7-4	平口鉢。乳目・外面・底面に交互に斜め傾向する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。胎土・油桐骨料。底文輪には織文・乳目・乳輪・面紋による入組文・織文(乳目・乳輪)・一帯あり。入組文の縁線の上端と下端が区別不明に連続する。三山突起の下方では突起直下の3個一組の乳輪と、胎面部の第一の乳輪、4個一組の乳輪とが呼応して傾斜し、小山形突起の下方では突起直下の第一の乳輪と、胎面部の上下で一組となる単一の乳輪が呼応して整列する傾斜にあり。入組文の起点部、連続部、終点部もこれらと対応関係が成立する。胎土は織文となる。彫削痕：外スス、内ココロ。底面突起は傾斜した心形乳輪状の突起。突起部直後に使用炭・胎土・細面で、胎土基質の彫削痕あり。彫削痕・油桐骨料。	口径：25.9cm、現存率1/3。	1031
97-7	175	IVc-45	III層	深鉢	IIIb-1	後期7-4	口唇・面紋。外面・底面に連続する同一の文様が連続する構成で、口唇部文様部には無文部を介する4個の乳目を設け、胎面文様部が多岐化する。体部は織文となる。使用炭：口縁部から体部の外面に広くススが好ましく、乳紋がある。胎土：底面が油桐骨料。胎土基質の彫削痕が強い。彫削痕・油桐骨料。	口径：19.8cm、現存率1/4。	1102-1103
97-8	175	IVc-45	III層	半精製台付鉢	IIIb-2	晩期4	口唇・乳目。外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：14.4cm、底径：10.1cm、器高：11.2cm。	132
97-9	175	IVc-45	III層	半精製台付鉢	IIIb-2	晩期4	口唇・乳目・外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：16.1cm、底径：11.1cm、器高：15.9cm。	232
97-10	175	IVc-45	III層	半精製鉢	I B2	晩期4	口唇・乳目・外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：9.9cm、底径：4.7cm、器高：8.3cm。 底文輪(乳輪→織文)。	1080
97-11	175 巻物9下	IVc-45	III層	半精製鉢	I-C1	晩期か	外口。平口鉢に突起あり。口唇・現存率が少ないナリ。底面部に幅0.6cmの突起あり。口唇・底面・織文。口唇：平底、内面・ナリ。胎土：砂粒。胎面部分には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：10.3cm、底径：4.4cm、器高：4.8cm。 胎土・底面とは彫削痕から、彫削痕の可能性が低いと判断される。	1312
98-1	176	IVc-45	III層	粗製鉢	I B3-2	後期後葉	口唇・乳目・外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：13cm、器高：9.2cm、底径：7.1cm。	168
98-2	176	IVc-45	III層	粗製鉢	I B3-1	後期後葉	口唇・乳目・外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：14.0cm。	278
98-3	176	IVc-45	III層	粗製鉢	I B3-1	後期後葉	口唇・乳目・外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：16.8cm。底文輪(織文→乳輪)。	164
98-4	176	IVc-45	III層	深鉢	IIIb-1	後期後葉	口唇・乳目・外面・底面に連続する乳目・乳輪・面紋。外面・口唇・口縁部には織文・乳目・乳輪・面紋が連続する。胎土・小磯。焼成温度に使用炭・外スス、内ココロ。	口径：16.8cm、底文輪(織文→乳輪)。	1235

縄文土器観察表 (63)

区番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
98-5	176	IVR-45	III層	粗製深鉢	Ia61	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリのちナゲ、胎土：小磯、使用値：外スス。 平口鉢に形成立体単位。口唇：面取なし、外面：織文皿。胎土縁の接合痕が特徴。内面：ナゲ、胎土：砂粒、使用値：外スス。	口径：29.8cm、 P-1082
98-6	176	IVR-45	III層	粗製深鉢	Ia61 I	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：織文皿、織文は縦線状、底面直上には織文なし、内面：ナゲ、胎土：砂粒、使用値：外スス。口径：29.0cm、胎高：26.4cm、底径：8.6cm。	P-1094
98-7	176	IVR-45	III層	粗製鉢	Ia61	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯多く含む、使用値：外スス。内口唇：面取なし、外面：織文皿、内面：ナゲ、胎土：面取、底面ケズリ。胎土：海神谷針。	P-1406
98-8	176	IVR-45	III層	粗製深鉢	Ib61	後彌生後葉 ～晩期	深鉢口縁、器高部、深底部の突起は円形二つ重ね、深底部の突起は山形。口唇：面取、口縁：ヒ洩、織文(縞)。枕縁による入組文、胎土、原色は焼印形と頂面に刺突のある凹部が交互、体部無文、ナゲ。内面：ナゲ、胎土：海神谷針、使用値：外スス。内口径。	P-1299
99-1	177	IVR-46	III層	深鉢	IIb63t	後88	平口鉢に大小交互の突起(竹串状)。各突起の頂面に施される溝方向の突起は鈍角あり、突起上縁が「二」字状に見えるものと「口」字状に見えるものがある。これ2種は交互に作られる。小突起にはサカサキ形状に窪みをもつ、外面：口縁には織文皿。大突起は口縁にヒ洩、織文(縞)に施される窪みに織文(縞)が浅く刻まれている。胎土：砂粒、海神谷針、使用値：外スス、胎土：丸山、内面：無文、胎土：ヒ洩、海神谷針、使用値：なし、外面無文。	P-1253
99-2	177	IVR-46	III層	注口	III1	後彌生7-4	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1252
99-3	177	IVR-46	III層	注口	III1	後彌生7-4	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1296
99-4	177	IVR-46	III層	注口	III1	後彌生7-4	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1394
99-5	177	IVR-46	III層	粗製深鉢	Ib61	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1393
99-6	177	IVR-46	III層	粗製深鉢	Ib61	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1392
99-7	-	IVR-46	III層	粗製深鉢	Ia61	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1398、 1607
99-8	177	IVR-46	III層	粗製深鉢	Ia61	後彌生後葉 ～晩期	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1394、 1604
100-1	177	IVR-46	III層	深鉢	Ib61	後彌生7-4	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1664、 1609
100-2	177	IVR-46	III層	深鉢	Ib61	後88	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1139
100-3	177	IVR-46	III層	深鉢	IIIb63t	後彌生7-4	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-1385
100-4	178	IVR-46	III層	深鉢	Ib65	後彌生7-4	口唇：面取、外面：ケズリ、内面：ケズリ、胎土：小磯、使用値：外スス。	P-961、 1141

縄土器観察表(61)

図番号	写真	出土位置	層位	形種	器形	時期	特徴	備考	図上No.	整理No.
100-5	178	IVR-6	III層	深鉢	I Ch	後彌7-4	表裏口縁・裾周面には厚層の白灰塗りが施され、裏面には田舎焼の灰が白く塗り残された部分がある。口唇・口縁部が厚く、口縁部の裾が下方の裾と比べて縁の幅が広くなる。区画された裾周面には入組文を生かし、入組文の増幅の上端と下端が区画面に連続する。編文は厚層の。体部は編文で覆われ、使用済；外ズス。	口径：34.1cm、器高：23.3、	P-1669、1670	1218
100-6	178	IVR-6	III層	壺	III	後彌7-8	口唇・内唇面に厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：高台、胎土；白。平口縁に突起(4単位)。口唇・面紋、外面：テズリの十字子。底部：高台、底面テズリ。	口径：3.7cm、器高：9.2cm、底径：1.5cm。	P-1142	206
100-7	178	IVR-6	III層	瓶製鉢	I Ch	後彌7-8	内面：テズ。胎土：小粒。使用済；外ズス、内口コ。	口径：12.0cm、器高：8.5cm、底径：4.9cm。	P-1143	1174
100-8	178	IVR-6	III層	注口	II	後彌7-4	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。注口を中心に体部全面に表裏編文、表裏細点塗。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：8.4cm、底径：1.6cm、器高：18.1cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1471	17
100-9	178	IVR-6	III層	注口	II	後彌7-4	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：17.2cm、器高：15.2cm、底径：4.0cm、注口部突起。	P-1413	1318
100-10	178	IVR-6	III層	注口	III	後彌7-4	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：9.0cm、底径：2.1cm、器高：18.1cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1647	1321
100-11	178	IVR-6	III層	香炉	香	後彌7-8	表裏の上半部から、側面に円形の透かし孔が認められる。外面：頂部に白灰塗。突、表裏編文。ミガテ。内面：テズ。透かし孔の縁はタガリ、胎土：砂粒、薄層赤灰。使用済；外ズス。	口径：11.5cm、器高：30.7cm、底径：8.9cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1144	1382
101-1	178	IVR-6	III層	深鉢	I Bst	晩彌1a	胎土：厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：9.0cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1412	1475
101-2	178	IVR-6	III層	半楕製壺	II	晩彌1a	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：11.5cm、器高：30.7cm、底径：8.9cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1145	1343
101-3	179	IVR-6	III層	半楕製壺	III	晩彌1a	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：9.0cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1036	1334
101-4	179	IVR-6	III層	瓶製壺	III	晩彌	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：14.8cm、胎土(厚層)は基部から突頭、文様は男女別製(胎土)。	P-1205	1316
101-5	179	IVR-6	III層	瓶製壺	I Bst	晩彌	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：31.0cm、器高：7.2cm。	P-1379	1330
101-6	179	IVR-6	III層	粗製深鉢	I Acl	後彌後遺	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：13.3cm、底径：7.0cm、器高：14.1cm、外面赤彩。	P-1257	1370
101-7	179	IVR-6	III層	粗製深鉢	I Cl	後彌後遺	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：6.4cm、底径：1.6cm、器高：13.3cm、注口元部、体部に厚灰塗。	P-1149	1265
102-1	179	IVR-6	III層	粗製深鉢	I Acl	後彌後遺	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。	口径：6.4cm、底径：1.6cm、器高：13.3cm、注口元部、体部に厚灰塗。	P-1026	13
102-2	180	IVR-7	III層	台付鉢	I Bst	晩彌1a	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。			
102-3	180	IVR-7	III層	注口	II	後彌8	口唇・面紋なし。外面：胎土；分土。胎土に厚層の厚灰・赤灰塗。外面：厚灰塗。外面：テズリ。使用済；外ズス。			

縄文土器観察表 (65)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
102-4	180	IVR-47	III層	注口	II 1	後彌7-4	口唇：面取なし、外面：ナリ。肩部に丸縁、注口直下に屈折状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。 口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：8.1cm、器高：9.5cm、胎文(彫)：第一編文→絞縁。注口部残存。	p-1181
102-5	180	IVR-47	III層	注口	II 1	晩彌1a	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：5.4cm、器高：10.2cm。	p-1027
102-6	180	IVR-47・IVR-48・IVT-51	III層	深鉢	I 8a11	後彌7-4	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：26.6cm、器高：19.4cm、胎文(彫)：第一編文→絞縁→編文、周縁部残存胎文。	1354
102-7	180	IVR-47	III層	粗製鉢	I 8a1	後彌後彌 ～晩彌	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：20.0cm、器高：19.4cm、底径：7.2cm。	1206
102-8	180	IVR-47	III層	粗製鉢	I 8a1 1	後彌後彌 ～晩彌	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：13.2cm、器高：12.5cm、底径：6.8cm。	p-1538、 1727
102-9	180	IVR-47	III層	半周縁鉢	III	晩彌1a	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：10.3cm、器高：28.0cm、底径：10.2cm。	p-1728
102-1	180	IVR-47	III層	台付鉢	I C2	後彌7-4	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：18.4cm、胎文(彫)：第一編文→絞縁→編文、周縁部残存胎文。	p-1502、 1502、1504
102-2	180 巻頭上	IVR-47	III層	鉢	I 8a11	後彌7-4	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：9.3cm、器高：16.0cm、底径：8.0cm、底形：丸形。	p-1504
102-3	180	IVR-47	III層	兼	III	後末→晩彌	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：9.3cm、器高：16.0cm、底径：6.8cm。	p-1501
102-4	180	IVR-47	III層	台付鉢	I 8a11	後彌8	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：17.2cm、底径：6.8cm、胎文(彫)：第一編文→絞縁→編文、周縁部残存胎文。	p-1094
102-5	180	IVR-47	III層	深鉢	II 5	後彌8	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：24.4cm、器高：20.0cm、胎文(彫)：第一編文→絞縁→編文、周縁部残存胎文。	p-1096
102-6	181	IVR-47	III層	注口	II 1	後彌7-4	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：5.6cm、底径：2.4cm、器高：11.8cm、注口部先端は一部欠損。	p-1566
102-7	181	IVR-47	III層	注口	III	後彌7-4a	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	底径：3.2cm、注口部は基部から欠損。	p-1568
102-8	181	IVR-47	III層	注口	II 5	後彌7-4	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：8.8cm、底径：2.6cm、器高：14.9cm、注口部先端は一部欠損。	p-1254
102-9	181	IVR-47	III層	深鉢	II 8a11	後彌8	口唇：面取なし、外面：面取、外面：丸縁、外面：丸縁、注口直下に二稜状の筋あり、内面：ナリ。底部：未だ底文は残存。高台はない。胎土：小磯多を含む。注口部残存。	口唇：14.0cm、底径：7.0cm、胎文(彫)：第一編文→絞縁→編文、周縁部残存胎文。	p-1255、 1256

縄文土器観察表 (67)

収番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
104-9	182	IVR-48	深鉢	IIIa1	晩期1a	口縁に周溝を2周所出突起。口唇：面取。外面：突起部に三又状の縁が有向して配置される。縄文は、縄文は、縄文間に連続する短距離を導く。内面：ナズ。胎土：焼成。使用痕：外ナズ。		1413	
104-10	182	IVR-48	深鉢	IIIa1	晩期1a	平口縁に突起。口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組文。入組部に円形突起。前部はナズ。文部は外ナズ。内面：ナズ。胎土：薄。胎土：外ナズ。内面：ナズ。		1411	
104-11	182	IVR-49	浅鉢	II-21	晩期1b	平口縁に突起。口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：28.5cm。	P-918	
105-1	182	IVR-49	深鉢	IIIb21	晩期1b	平口縁に突起。口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：19.0cm。胎土(縄文+比羅)。外面付着同化物質年代測定中。	P-1120	
105-2	182	IVR-49	深鉢	IIIb2	晩期1b	口唇：肩目。外面：口縁部は建線による入組三又文。口唇部突を伴う。外面に内面、周溝小突起を伴う。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：23.1cm。	P-1067	1248
105-3	182	IVR-49	深鉢	IIIb4	後期8	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	1065・1405		
105-4	182	IVR-49	浅鉢	II-1	晩期1b	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	105-5と同一体。	1407	
105-5	182	IVR-49	浅鉢	II-1	晩期1b	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	105-4と同一体。	1408	
105-6	182	IVR-49	粗製鉢	I 3a1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：15.3cm。胎高：12.3cm。底径：8.2cm。	P-1337、1338	1185
105-7	182	IVR-49	粗製鉢	I 3a1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：20.4cm。胎高：19.8cm。底径：7.0cm。胎完成。	P-1333	1210
105-8、9	182	IVR-48	粗製深鉢	I 3a1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	105-8と同一体。	P-1558	1412・1・3
105-10	183	IVR-48	粗製深鉢		後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	105-7と同一体。	P-1103	1408
105-13	183	IVR-50	粗製深鉢	I 3a1	晩期2-3	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	赤色顔料付着。内面：赤色顔料付着。底の赤色顔料。胎土の磨研に用いられた。1106, 1148	P-1542	1366
105-14	183	IVR-50	台付鉢		晩期1a-b	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：16.0cm。	P-1542	1346
105-15	183	IVR-50	注口		晩期1a	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	底径：2.0cm。注口部は基部から剥離。	P-1184	1201
105-16	183	IVR-50	注口	III	晩期1b	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：5.2cm。器高：6.6cm。注口部突	P-1291	18
106-1	183	IVR-S-45	粗製深鉢	I 3a1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：30.0cm。胎高：33.0cm。底径：7.4cm。	P-1150	289
106-2	183	IVR-S-45	粗製深鉢	I 3a1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：30.7cm。胎高：25.3cm。底径：9.2cm。	P-1150	183
106-3	183	IVR-45	平嘴状台付鉢	IIIc-21	晩期3	口唇：面取。外面：建線。縄文は(磨研)。建線による入組三又文。外部ナズのみ。胎土：外ナズ。内面：ナズ。	口径：19.1cm。外面付着同化物質年代測定中。	P-1179	171

縄土土器観察表(68)

区番号	写真	出土位置	層位	形状	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
106-4	184 巻頭下	IVS-45	III層	壺	III	晩期3	口唇：面取なし、外面：口縁ほぼ縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：8.4cm、底径：3.0cm、器高：13.9cm、器口内径：11.0cm、外口内径：12.0cm、外口外径：12.5cm、器口厚：9.0cm、器口底径：7.4cm、口唇：12.8cm、器高：8.2cm、底径：4.1cm、内外面赤彩(縁)。	P-1055	178
106-5	184	IVS-45	III層下部	半筒形壺	IIIa	晩期4	平口縁に面取(4単位)、口唇：面取なし、外面：口縁がナガ、内面：口縁に沈線、胎土：小塊、タマリ泥、使用痕：外ヌス、外面黒直。	口唇：9.0cm、器高：15.0cm、底径：7.4cm、口唇：12.8cm、器高：8.2cm、底径：4.1cm、内外面赤彩(縁)。	P-1297	1080
106-6	184 巻頭下	IVS-45	III層	鉢	IIIc-1	晩期3	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：23.0cm、器高：24.3cm、底径：9.0cm、口唇：27.6cm、器高：30.1cm、底径：9.2cm、内外面赤彩(縁)。	P-1180	255
106-7	184	IVS-45	III層	粗頸深鉢	IIIb1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：21.2cm、底径：6.4cm、器高：14.5cm、内外面付着灰化粉年代測定中。	P-1057	296
106-8	184	IVS-45	III層	粗頸深鉢	IIIa1	後期後葉 ～晩期	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：21.2cm、底径：6.4cm、器高：14.5cm、内外面付着灰化粉年代測定中。	P-997	1310
107-1	184	IVS-46	III層	半筒形鉢	IIIc-1	晩期4	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：19.5cm、底径：6.4cm、器高：19.2cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1171	1208
107-2	184	IVS-46	III層	深鉢	I	後期後葉 ～晩期	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	1454	1292
107-3	184	IVS-46	III層	半筒形深鉢	IIIa11	晩期5	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：19.5cm、底径：6.4cm、器高：19.2cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1171	1208
107-4	184	IVS-46	III層	鉢	III	晩期5か	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1171	1208
107-5	184	IVS-46	III層	粗頸深鉢	IIIb11	後期後葉 ～晩期	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1171	1208
107-6	184	IVS-46	III層	粗頸壺	III	晩期3～4	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1171	1208
107-7	184	IVS-46	III層	壺	III	晩期4	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1171	1208
108-1	185 巻頭上	IVS-47	III層	深鉢	IIIb11	後期7-4	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1720	1219
109-2	185	IVS-47	III層	鉢	IIIa11	後期7-4	口唇：面取なし、外面：口縁は縁、裏面：平直、基部は縁のみで体部との明確な区分はない、縄文(II期前)、体部下平直、外面：口縁は縁のみで体部との明確な区分はない、内面：ナガ、胎土：黒良、使用痕：なし。	口唇：13.1cm、器高：18.0cm、底径：8.0cm、口唇：17.5cm、器高：17.5cm、胎土：黒良、使用痕：なし。	P-1781	100

縄文土器観察表 (69)

図番号	写真	出土位置	層位	認識	形状	時期	特徴	備考	取上No.
109-3	185	IVS-17	III層	深鉢	後期7-8	後期7-8	口唇：面取。外面：口唇に面取に上下の段、体部半ばに口段は段の可能性がある。口縁に面取る。口縁部は取付位に大きいものが取付けられる。ナズ。内面：ナズ。胎土：クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。内面に面取残るため使用痕底見。		P-1768
109-4	185 巻頭上	IVS-17	III層	粗製深鉢	I B611	後期7-8	平口縁に突起(4単位)。口唇：面取。外面：体部上半に縄文。下部はナズ。底跡：高台。内面：ナズ。胎土：小塚多く含む。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：16.0cm、底径：5.7cm、器高：18.4cm、底存率5/6。胎土は面取部を中心とし、このよりの器底は面取部が広く占める。口縁では面取部が少なくなるため、口縁ではナズと面取とした。	P-1765
109-5	185	IVS-17	III層	粗製鉢	I B61	後期7-8	口唇：面取。外面：ナズ。体部面取。使用痕：高台。内面：ナズ。胎土：砂粒。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：19.2cm、器高：15.4cm、底径：8.8cm。	P-1769
109-6	185	IVS-17	III層	粗製鉢	I 641	後期8	口唇：面取。外面：縄文。底跡：高台。内面：ナズ。胎土：砂粒。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：14.4cm、器高：11.8cm、底径：5.6cm。	P-1770
109-7	185	IVS-17	III層	深鉢		後期8	口縁に大小の突起交互に連続。突起突起は口唇に面取る。口唇：面取。外面：口縁による入組。内面：縄文。底跡：高台。胎土：クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：27.2cm、底径：13.1cm、器高：13.46cm、底存率5/6。胎土は面取部が広く占める。口縁では面取部が少なくなるため、口縁ではナズと面取とした。	P-1345、 P-1346、 P-1347
109-8	185	IVS-17	III層	粗製深鉢	I B61	後期7-8	口唇：面取。外面：ナズ。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。		P-1729
109-9	185	IVS-17	III層	深鉢	I B61 I	後期8	口唇：面取。外面：ナズ。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。		P-1319
109-10	185	IVS-17	III層	半精製深鉢	I 641	晩期4	口唇：面取。外面：縄文。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	内面に黒色顔料が着している。顔料の精製に用いられたものとも考えられる。	P-1288
109-11	185	IVS-17	III層	粗製深鉢	III	晩期小	口唇：面取。外面：口縁部ナズ。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：7.5cm、器高：13.1cm、底径：4.7cm。	P-1222
109-12	185	IVS-17	III層	半精製深鉢	III1	晩期4	平口縁に突起(10箇所残存)。口唇：面取。外面：口縁外部に黒色顔料を塗付け、外面に突出させている。胎土：クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：8.4cm、底径：6.0cm、器高：16.3cm。	P-1221
109-12	186	IVS-48	III層	壺	IV	晩期1b	外面：面取。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	底径：6.3cm。	P-1859
109-3	186	IVS-48	III層	深鉢	I C11	後期7-4	胎土：面取。外面：ナズ。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：26.0cm。	P-1771、 1781
109-4	186	IVS-48	III層	深鉢	I B611	後期7-4	平口縁に内側の突起(交互に10箇所)。木口から6箇所。一組の中央の突起は段状口縁。外面：面取。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：32.8cm、底径：10.6cm、器高：51.0cm。	P-1761、 1822、1823
109-5	186	IVS-48	III層	深鉢	I B611	後期7-4	突起は、口唇を凸出し、口唇、面取、胎土は上下に分かれ、それぞれに異なる突起が配列される。口縁部に突起がある。口唇：面取。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	胎土は面取部が広く占める。口縁では面取部が少なくなるため、口縁ではナズと面取とした。	
109-5	186	IVS-48	III層	注口	II	後期7-4	口唇：面取。外面：胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：8.9cm、底径：2.6cm、器高：10.9cm。口内面は面取部が少なくなる。	P-1821-2
110-1	186	IVS-48	III層	深鉢	I B64	晩期1b	小塚状口縁。外面：縄文。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：19.4cm。	P-1758
110-2	187	IVS-48	III層	粗製深鉢	I B61	後期7-8	口唇：面取。外面：縄文。胎土：小塚。クマリ。陶管骨片。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：20.6cm、器高：21.5cm、底径：8.4cm。	P-1738

縄土器観察表(70)

区分	写真	出土位置	部位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
110-3	187	IVS-48	III層	注口	IIIa	晩期1b	平口縁に突起口縁位。注口部の上には斜辺の口縁。口縁：斜辺・直線。外底：沈線・溝文。入組三又文。注口部の上の口縁に「ノ」の字の文様。ミガキ。注口基部に凹形の沈線。内面三又文。外面全体を黒色に染め上げている。内面：ナガ。口縁ミガキ。胎土：黒良。滑感。使用痕：なし。	口径：12.0cm。注口部沈存。	P-1786、1794、1802
110-4	186	IVS-48	III層	注口	III	晩期1b	外面：ミガキ。内面：ナガ。胎土：滑感良好。使用痕：なし。外面黒染。	口径：8.4cm。器高：10.6cm。底径：2.5cm。注口部は基部から欠損。	P-1802
110-5	187	IVS-48	III層	粗製鉢	IIIb-1	後期後葉～晩期	口唇：直線。外面：溝文。内面：低平な高台。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁。台形底(突起口縁位)。外面：溝文(溝文位)に沈線。突起下には「ハ」の字の文様。沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：小粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁。外面：溝文。内面：ナガ。胎土：滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：20.9cm。器高：18.6cm。底径：8.7cm。	P-1783、1794
111-1	187	IVS-48	III層	深鉢	IIIb-1	晩期1b	小波状口縁。深面に突起口縁位。外面：溝文(溝文位)に沈線。突起下には「ハ」の字の文様。沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：小粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：20.9cm。器高：18.6cm。底径：8.7cm。外面付着酸化物質年代測定。	P-1716、1718
111-2	187	IVS-48	III層	粗製深鉢	IIIb-1	後期後葉～晩期	平口縁に大小の二山状突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：19.2cm。非油性のある粗製土器。	P-1717、1723、1800
111-3	187	IVS-48	III層	粗製深鉢	IIIb-1	後期後葉～晩期	平口縁に大小の二山状突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：13.3cm。	P-1759
111-4	187	IVS-48	III層	深鉢	IIIb-1	後期1-4	平口縁に大小の二山状突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：13.3cm。	P-1318
111-5	187	IVS-48	III層	鉢	IIIb-1	後期1-4	平口縁に大小の二山状突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：21.0cm。胎土軟(沈線・溝文・沈線外側凹文)。	P-1817
112-1	187	IVS-48・IVS-49	III層	深鉢	IIIb-3	後期1-4	平口縁に大小の二山状突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：39.0cm。底径：8.0cm。器高：35.9cm。細砂りあり。光肌。	P-1722、1763
112-2	186	IVS-48	III層	粗製鉢	III	後期8	口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：4.2cm。器高：9.2cm。底径：5.0cm。内面全体(口縁から2cm下まで)に赤色顔料付着。粉末状ではないことと、底面にも黒まったように付着していることから、この赤色顔料を付着させているものと思われる。	P-1818
112-3	186	IVS-48	III層	粗製深鉢	III	後末～晩期2	口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：8.7cm。器高：4.1cm。底径：3.6cm。	P-1723
112-4	186	IVS-48	III層	注口	III	晩期1a	口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：8.5cm。器高：13.5cm。底径：4.5cm。注口部沈存。	P-1720
112-5	187	IVS-48	III層	深鉢	III	晩期1a	口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：8.5cm。器高：13.5cm。底径：4.5cm。注口部沈存。	P-1855
112-6	186	IVS-48	III層	台付深鉢	III	後末～晩期2	口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。小波状口縁に突起口縁位。口唇：直線。外面：沈線間に連続する凹形の短沈線。内面：ナガ。胎土：砂粒。滑感良好。使用痕：外・ス。内面：ナガ。	口径：9.0cm。底径：5.0cm。	P-1865

縄土器観察表(72)

図番	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
114-3	189 巻頭上	IVS-49	III層	台付鉢	IIb31	後彌生-4	底状口縁(0単位分)。口唇には垂腹の異なる2種の突起が交互に配す。垂腹部には縦長條が6條下す。口唇・垂腹・外面・口縁部縦帯には口縁部突起に通動して垂腹帯を存在する形をした本が文様が展開する。唇部には2層の目形筋を配し、2層にははくびらの異なる目形筋が交互に展開する。唇部には垂腹帯を存在する2層の目形筋が配り、唇部は2層の突起に対応して垂腹の異なる2種の文様を用いる。口縁部には縦長條による入組文を5或する。縄文I(前期)。入組文の異なる2種の文様の上端と下端は明確に区別される。体部と底面はともに縄文となる。使用痕：外ヌス。	口径：27.6cm、底径：12.0cm、器高：31.0cm。 磨孔あり。荒形。	P-1771、 1804	1304
114-4	189	IVS-49	III層	注口	II11	後彌生-4	平口縁に突起。口唇・垂腹・外面・突起部から基部にかけて沈線。基部文飾部は、沈線・縄文I、胎面。大きな突起は上部に注目。垂腹帯は、胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径：7.4cm、器高：3.7cm、器高：29.8cm、胎面(縄文I+沈線)。注目部は胎面から文様。	P-1776	1308
114-5	189	IVS-49	III層	注口	II1	後彌生-4	口唇・垂腹・外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径：8.3cm、器高：1.7cm、器高：11.8cm、注目部は基部から文様。	P-1746	1184
114-6	189	IVS-49・ IVS-49	III層	深鉢	IIb5	後彌生8	口唇・垂腹・外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径：7.4cm、器高：3.7cm、器高：29.8cm、胎面(縄文I+沈線)。注目部は胎面から文様。	P-1777	1288
114-7	189	IVS-49	III層	瓶製 右付鉢	IIa1a~b	晩彌生1a~b	口縁部不明。口唇・垂腹・外面・口縁文字、縄文I、胎面と体部縦帯部は縄文I、胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	底径：4.0cm。		1358
114-8	189	IVS-49	III層	台付鉢	IIa11	晩彌生1a	平口縁に山形突起と台形突起が交互(18単位)。どちらも突起頂部に注目。口唇・垂腹・外面・縄文I(前期)。沈線による入組文。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径：18.5cm。		1241
114-9	189	IVS-49	III層	浅鉢	IIa1	晩彌生1a	小底状口縁。口唇・垂腹・外面。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	内外面赤部(胎)。 内外面行重帯年代測定中。	1386	1391
114-10	189	IVS-49・ IVS-49	III層	深鉢	IIb4	晩彌生1b	小底状口縁。口唇・垂腹・外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径21.1cm。		1378
114-11	189	IVS-49	III層	深鉢	IIb4	晩彌生1b	小底状口縁に三山状の突起(胎面)・外面・縄文I、胎面。入組三叉文。胎面下草文がキ。	口径：23.5cm、底径：7.8cm、器高：12.5cm。		1188
114-12	190	IVS-49	III層	台付浅鉢	IIb4	後彌生8	口唇・垂腹・外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。			1477
114-13	190	IVS-49	III層	鉢	IIb1	後彌生8	外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	器面刺青葉しい。外面赤部のみ。	P-1772	31
114-14	190	IVS-49	III層	壺	III	晩彌生1b	外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	沈線内に小赤帯を帯びた基部の直線が認められることから、外面赤部(胎)と見られる。		1399
114-15	190 巻頭上	IVS-49	III層	瓶製深鉢	IIb11	後彌生-8a	平口縁に突起(単位数不明)。突起1・二山と三山が交互に5単位存在。三山は幅3.2×1.1の突起。口唇・垂腹・外面・胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径：17.3cm、器高：18.4cm、底径：8.0cm。	P-1779、 1780	1214
114-16	190 巻頭上	IVS-50	III層	台付鉢	IIb5	晩彌生1a	平口縁に大小の突起が交互に連続(単位数不明)。本突起は三山。小突起は一山。口唇・垂腹・外面・大突起間をつなぐ文様。大突起下(下)の字の沈線。縄文I、胎面による入組文。縄文I(前期)。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。胎面・高台、胎土・砂粒、胎面基部から文様。	口径：13.3cm、底径：5.7cm、器高：11.8cm。		1279

縄文土器観察表(73)

図番号	写真	出土位置	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.
116-1	190	IVS-50	III層	注口	晩期Ⅱa	口唇に縦筋、外周に溝文、内面に横文、注口直下には内面縦突と入組三又文、注口周囲に凸状文、内面にナツ、胎土：褐色、使用痕：なし、外面黒皮、口唇に突起(口単位)、口唇に縦筋なし、外面に横文、内面にナツ、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	口径：12.0cm、器高：11.8cm、注口深さ190mm、口唇：24.8cm、横径1.8cm。	1301
116-2	190	IVT-48	III層	船形深鉢	IIb31	口唇に縦筋、外周に横文、内面に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：24.8cm、横径1.8cm。	1326
116-3	190	IVT-49	III層	深鉢	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：15.6cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1394
116-4	190	IVT-49	III層	深鉢	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：15.6cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1389
116-5	190	IVT-49	III層	台付深鉢	IIa11	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：39.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1423
116-6	190	IVT-49	III層	深鉢	IIb31	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：39.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1411
116-7	190	IVT-49	III層	注口	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：39.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1411
116-8	190	IVT-49	III層	注口	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：39.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1411
116-9	191	IVT-50	III層	壺	I 1	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1318
116-10	191	IVT-50	III層	注口	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1319
116-11	191	IVT-50	III層	深鉢	IIa11	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1388
116-12	191	IVT-50	III層	船形深鉢	IIa5	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1325
116-13	191	IVT-50	III層	船形深鉢	Ia31	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1216
117-1	191	IVT-32	III層	深鉢	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	2241
117-2	191	IVT-29	III層	深鉢	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	2245
117-3	191	IVT-32	III層	深鉢	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	2209
117-4	191	IVT-35	III層	香印	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1458
117-5	191	IVT-36	III層	注口	II	口唇に縦筋、外周に横文、胎土は用いず、使用痕の痕目による外、外、外、内コゴ。	口径：5.6cm、器高：14.7cm、底径：4.8cm、胎土：小礫、使用痕：外、外、外、内コゴ。	1378

縄土土器観察表(74)

図番号	写真	出土位置	層位	形態	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
117-6	191	IVc-32・ (1)・IVd 180	III層・I層	深鉢	深鉢	後期中	底口縁に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			1396
117-7	191	IVc-37	III層	深鉢	深鉢	後期中	口縁に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2229
117-8	191	IVc-31	III層	注口	注口	後末～晩期	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2187
117-9	191	IVc-31・ IVc-32	I層～III層・III層	深鉢	深鉢	晩期1b	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2307
117-10	191	IVc-31	I層～III層	鉢	鉢	晩期2	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2184
117-11	191	IVc-32	I層・III層	粗形深鉢	粗形深鉢	晩期1～2	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			1468
117-12	191	IVc-30	I層・III層	平縁型深鉢	平縁型深鉢	晩期4～5	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2221
117-13	191	IVc-29	III層	深鉢	深鉢	晩期5	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2226
117-14	191	IVc-32	III層	壺小	壺小	後期	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2303
117-15	191	IVc-32	III層	深鉢	深鉢	後期8a	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2217
117-16	192	IVc-49・ (1)・IVc- 176	III層	壺小	壺小	晩期1a	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			1386
117-17	192	IVc-48	III層	深鉢	深鉢	晩期2	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			1451
117-18	192	IVc-57	III層	台付浅鉢	台付浅鉢	晩期5	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。		p-1827, 1826	1470
117-19	192	IVc-57	III層	台付浅鉢	台付浅鉢	晩期5	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			42
118-1	192	IVc-33	III層下	深鉢	深鉢	印田上層	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2309
118-2	192	IVc-44	III層	深鉢	深鉢	根林・大木8b	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			1430
118-3	192	IVc-44	III層	深鉢	深鉢	根林・大木8b	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			1429
118-4	192	IVc-33	III層下	深鉢	深鉢	大木8b	口唇に突起。口唇・面縁・外面に黒土(褐色)一部で赤土(赤い)に塗りつぶされ、別層(外)による刷り塗も用いられている部分がある。口縁・口縁直上にも黒土による入墨文。筋状部分にナズ。内面：ナズ。胎土：小礫多く含む。タガキ。使用痕：外・ス、内・コガ。			2308

縄文土器観察表(75)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
118-5	192	IVc-18	Ⅲ層	深鉢		根鉢・ 大木5b	外面:粘土貼付。花線。縄文区。内面:ナズ。粘土:湯沢岩片。小磯。使用痕:内コナ。			1402
118-6	192	IVc-41	Ⅲ層	深鉢		最花	外面:練糸文(単軸器全体第1類)。花線。連続する刺突。内面:ナズ。粘土:湯沢岩片。小磯。使用痕:外スス。内コナ。			1425 ~1428
118-7	192	IVc-44	Ⅲ層	深鉢		最花	外面:練糸文。刺突。縄文区。内面:ナズ。粘土:砂粒。使用痕:なし。			1431
118-8	192	IVc-41	Ⅲ層	深鉢		中層後葉	外面:粘土貼付による隆帯。縄文区。内面:ナズ。粘土:砂粒。使用痕:外スス。			1432
118-9	192	IVc-45	Ⅲ層	深鉢		中層後葉	口唇:面取。外面:強い内コナによる隆帯。内面:ナズ。粘土:砂粒。使用痕:なし。			1422
118-10	192	IVc-40	Ⅲ層	深鉢小		十層内1	外面:ナズ。花線。内面:ナズ。粘土:砂粒。使用痕:なし。			1297
118-11	192	IVc-40	Ⅲ層	深鉢小		十層内1	—			1298
118-12	192	IVc-40	Ⅲ層	深鉢小		十層内1	—			1299
118-13	192	IVc-48	Ⅲ層	壺小		十層内1	外面:花線。内面:底状工具によるナズ。粘土:小磯。タナリ磯。尚跡者付。使用痕:なし。			1420
118-14	192	IVc-48	Ⅲ層	深鉢小		十層内1	外面:粘土貼付。花線。内面:ナズ。粘土:砂粒。使用痕:なし。			1403
118-15	192	IVc-48	Ⅲ層下部	深鉢		十層内1	口唇:面取。外面:条痕文。ナズ。内面:ナズ。粘土:砂粒。使用痕:なし。			1419
118-16	192	IVc-35	Ⅲ層	深鉢		十層内1	外面:練糸文(単軸器全体第5類)。内面:ナズ。粘土:タナリ磯。使用痕:なし。			1424
118-17	192	IVc-51	攪乱	壺小			外面:縄文区とIVcで福栄部のない剥状縄文。磨消縄文で磨消面は形不定。内面:ナズ。粘土:砂粒。尚跡者付。使用痕:なし。			1387
118-18	192	IVT-52	Ⅲ層	台付壺小		十層IV	外面:ミカキ。花線。花線置の痕目。内面:ナズ。粘土:砂粒。尚跡者付。使用痕:なし。			1421

縄土器観察表(76)

図番号	写真	出土位置	部位	形状	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
写 193-1	SN45	焼土直上		注口	碗形1a-b	晩期1a	外面：体部の屈面部についで、ナズ、内面：粗いナズ。胎土：砂粒。	写真のみ掲載。		2334
写 193-2	SN45	焼土		注口	碗形3	晩期3	体直上部分、外面：沈積、黒く、織文(横筋)、筋目の彫刻。筋目の彫刻は彫法、内面：クズリに近いナズ。全体に黒褐色で器壁薄く、器壁彫刻。胎土：細砂粒、海綿骨針。	写真のみ掲載。		2341
写 193-3	SN45(III-25)	灰層		深鉢	後期7-4	外面：沈積による人眼文、織文(横筋)、筋目の彫刻は彫法。胎土：砂粒、クズリ織、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2338
写 193-4	SN45(III-34)	灰層		深鉢	後期8	外面：沈積面の連続する節目、胎土：小織、クズリ織、海綿骨針、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2336
写 193-5	SN45(III-28)	土層		注口	晩期1a-b	胎部→体部 外面：沈積、織文(人、内面に段)、胎土：砂粒、海綿骨針。	写真のみ掲載。			2340
写 193-6	SI101 (P110655)	柱瓦		注口	後来→晩期1	注口部、外面：黒いナズ、一部ミゾナ、胎土：小織、海綿骨針。	写真のみ掲載。			2315
写 193-7	SI101 (P110620)	覆土	右付採鉢		晩期1a	外面：沈積、織文、器壁薄い、胎土：砂粒、海綿骨針、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2316
写 193-8	SI101 (P110644)	覆土	半輪製鉢		晩期1a	外面：突起、沈積、織文、胎土：小織、クズリ織、使用痕；内面に突起のある模様のコ	写真のみ掲載。			2318
写 193-9	SI101 (P110644)	覆土	深鉢		晩期1a-b	口唇：面取、外面：織文、胎土：小織、砂粒、海綿骨針、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2320
写 193-10	SI101 (P110696)	覆土	深鉢		晩期1b	小波状口縁、外面：沈積、人組三叉文、胎土：海綿骨針、クズリ織、砂粒、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2321
写 193-11	SI101 (P110633)	覆土	深鉢		晩期1a	小波状口縁、外面：沈積、織文、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2322
写 193-12	SI101 (P110643)	覆土	注口		後期8	顔面、外面：沈積、織文、胎土：小織、海綿骨針。	写真のみ掲載。			2323
写 193-13	SI101 (P110541)	瓶方	深鉢		晩期1a	大突起の付く小波状口縁、外面：沈積、織文、内面：ミゾナ、胎土：クズリ織、砂粒、海綿骨針、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。			2326
写 193-14	SI101 (P110631)	覆土	深鉢		晩期1a	小波状口縁、外面：沈積、織文、器壁薄い、使用痕；外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。			2324
写 193-15	SI101 (P110623)	柱瓦	深鉢		後期7-4	平口縁に突起、口唇：面取、外面：沈積面の連続する節目、内面：口縁に面取時の粘土の	写真のみ掲載。			2325
写 193-16	SI101 (P110189)	柱瓦	深鉢		後期8	胎部片、粗面深鉢の器形で有文、厚縁、外面：織文(林を基とした花綱で粗面な文様を	写真のみ掲載。			2347
写 193-17	SI101 (P110674)	覆土	深鉢		後来→晩期1	胎部片、外面：織文、底面付点ナズ、胎部：面取、胎土：胎土、胎土：ナズ、外	写真のみ掲載。			2346
写 193-18	IIV-34	皿部直下	深鉢		後期7-4	平口縁に突起、口唇：面取、外面：面取、沈積面の連続する節目、胎土：小織、海綿骨	写真のみ掲載。	p-2447		2254
写 193-19	SN45(III-27)	皿部直下	深鉢		後期8	口唇：面取、外面：胎土、沈積面の連続する節目、織文、内面：内コゴ、海	写真のみ掲載。			2327
写 193-20	SN45(III-27)	皿部直下	深鉢		晩期1a	胎部片、使用痕；内コゴ、外スス。	写真のみ掲載。			2328
写 193-21	SN45(III-31)	皿部直下	深鉢		晩期1a	口唇：面取、外面：沈積による面取文、織文、胎土：小織、使用痕；外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。			2329
写 193-22	SN45(III-27)	皿部直下	半輪製鉢		晩期1a-b	平口縁に突起、外面：織文、沈積、初突、織文、胎土：砂粒、海綿骨針、使用痕；外	写真のみ掲載。			2332
写 193-23	SN45(III-25)	皿部直下	注口		後期8	胎部、外面：沈積、突起(横方向の貫通孔)、体部織文、内面：ナズ、胎土：小織、クズリ	写真のみ掲載。			2333
						注口部、外面：沈積、織文、胎土、胎土：シルト質、海綿骨針。				

縄文土器観察表(77)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	胎形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
写	193-24	SN450層/Ⅲ層床下	器鉢	器鉢1a	外面：幅広い基部、内面：ケズリ、胎土：小礫、海綿骨付、使用痕：外ヌス、平口縁に突起、口唇：面取、外面：北縁による入組文、縄文Ⅱ、内面：ナズ、胎土：砂、使用痕：外ヌス、内コゴ。	2337	写真のみ掲載。			
写	193-25	SN450層/Ⅲ層床下	器鉢	器鉢1a	外面：比較的による入組文、縄文Ⅱ、内面：ナズ、胎土：砂、使用痕：内コゴ。	2338	写真のみ掲載。			
写	193-26	SN450層/Ⅲ層床下	器鉢	器鉢1a	流状口縁、口唇：面取、外面：流線間の連続する目、縄文Ⅱ、胎土：小礫、砂付、使用痕：外ヌス、内コゴ。	2339	写真のみ掲載。			
写	194-27	P10707	覆土	後期7-4	外面：北縁部の連続する目、縄文Ⅱ、胎土：小礫、使用痕：外ヌス。	2317	写真のみ掲載。			
写	193-28	P10720	Ⅰ層	後期7-4	外面：口縁下に少なくとも見られる流線、使用痕：外ヌス、胎土：小礫。	2319	写真のみ掲載。			
写	193-29	P10176	覆土	晩期6a	外面：板状工具による本底文、使用痕：外コゴ。	2309	写真のみ掲載。			
写	193-30	P10176	柱頭	晩期	口縁内面に北縁、胎土：海綿骨付。	2310	写真のみ掲載。			
写	193-31	P10176	壺	晩期7-4		2311	写真のみ掲載。			
写	193-32	P10181	柱頭	晩期3	装飾的な口縁、外面：北縁、縄文Ⅱ、胎土：砂粒、海綿骨付。	2372	写真のみ掲載。			
写	193-33	P10209	瓶方	晩期1a	刻目による小波状口縁、外面：北縁で入組文三文字、胎土：砂粒。	2373	写真のみ掲載。			
写	193-34	P10436	覆土	晩期5	外面：縁部外側に使、刻目に表々流線、胎土：小礫、海綿骨付、使用痕：外ヌス。	2374	写真のみ掲載。			
写	193-35	P10743	瓶方	晩期3	外面：縁部による装飾文、縄文なし、胎土：精良。	2375	写真のみ掲載、内外面品取。			
写	194-1	S001	台付器鉢	後米～晩期	底部分、外面：縄文Ⅱ、胎土：小礫、海綿骨付、使用痕：口縁内面にヌス。	1485	写真のみ掲載。			
写	194-2	S002直下	Ⅲ層	後米～晩期	外面：ナズ、内面：ナズ、胎土：砂粒、使用痕：なし、外面面取。	1488	写真のみ掲載。			
写	194-3	S002直下	Ⅲ層	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、胎土：小礫、クナリ礫、使用痕：不明。	1487	写真のみ掲載。			
写	194-4	S002	配石下	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、胎土：小礫、海綿骨付、使用痕：外ヌス。	1489	写真のみ掲載。			
写	194-5	S005	Ⅲ層	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、胎土：砂粒、海綿骨付、使用痕：外ヌス。	1492	写真のみ掲載。	P-6		
写	194-6	S005	Ⅲ層	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、内面：粗いナズ、胎土：小礫、細砂粒、海綿骨付、使用痕：外ヌス、内コ	1493	写真のみ掲載。	P-7		
写	194-7	S002直下	Ⅲ層	後期後葉～	底部分、外面：ナズ、胎土：小礫、使用痕：外ヌス。	1490	写真のみ掲載。			
写	194-8	S002	配石下	後期後葉～	口唇：面取なし、外面：縄文Ⅱ、胎土：砂粒、海綿骨付、使用痕：外ヌス。	1491	写真のみ掲載。			
写	194-9	S005	Ⅲ層	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、内面：粗いナズ、胎土：小礫、細砂粒、海綿骨付、使用痕：外ヌス、内コ	1494	写真のみ掲載。	P-7		
写	194-10	S005	Ⅲ層	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、胎土：小礫、クナリ礫、海綿骨付、使用痕：外吹きこぼれコゴ、内面：コ	1495	写真のみ掲載。	P-1		
写	194-11	S005	Ⅲ層	後期後葉～	外面：縄文Ⅱ、胎土：小礫、クナリ礫、海綿骨付、使用痕：外吹きこぼれコゴ、内面：コ	1496	写真のみ掲載。	P-2		

縄土器観察表(78)

番号	写真	出土位置	部位	形態	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
写	194-12	SQ11	配右下	深鉢	後葉後半～晩葉	外面：縄文Ⅲ、胎土：小磯、海綿骨針、使用痕；内コゴ。	写真のみ掲載。		1486
写	194-13	SQ16	構築面	深鉢		体部片、外面：縄文Ⅲ、内面：ナグ、胎土：小磯、海綿骨針、使用痕；外スス、内面：白土。	写真のみ掲載、後葉期によりみられる胎土。		2360
写	194-14	SQ16 (ES117 S-21下、IV-32)	III層	深鉢		体部下半片、外面：厚縄、内面：板状工具によるナグ、使用痕；内コゴ。	写真のみ掲載。		2352
写	194-15	SQ16(下、IV-35)	注口		晩葉1a～b	体部片、外面：ミガキ、内面：ナグ、胎土：精良。	写真のみ掲載。		2330
写	194-16	SQ16下、IV-33	III層	—		30点ほどならざる、時期不定の胎土にみられる赤系写真掲載、右は蓋に接合する後葉期の土器片、胎土は白土、表面に黒い点状の痕跡あり、胎土に比べて、縄文Ⅲの土器片より胎土の硬さがあり、胎土は口唇部取りした粗面厚縄。	写真のみ掲載。		2368
写	194-17	SQ16(下、IV-35)	注口		晩葉1a～b	体部片、外面：ミガキ、内面：ナグ、胎土：精良。	写真のみ掲載。		2331
写	194-18	SQ19	I層	注口	夜来～晩葉	細い頸状の注口部、胎土：砂粒、海綿骨針。	写真のみ掲載、注口部先端欠損。		2312
写	195-1	SQ14	2層	粗製深鉢		体部片、外面：厚縄、縄文あり、内面：ナグ、器壁薄い、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。		2361
写	195-2	SQ14 S33	瓶方	粗製深鉢		体部片、外面：縄文Ⅲ、器壁薄い、徳成良好、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。		2348
写	195-3	IV-33	SQ18下	注口又は一重	夜来～晩葉	体部片、胎土：精良、海綿骨針。	写真のみ掲載。		2343
写	195-4	IV-33	SQ18下	深鉢	夜来～晩葉	外面：縄文Ⅲ、器壁薄く細い、胎土：小磯多し、海綿骨針、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。		2344
写	195-5	SQ18	構築面	粗製深鉢		体部片片、外面：厚縄表面に凹凸あり、文様の可能性も、縄文Ⅲ後ナグ、器壁薄い、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。	P-1	2350
写	195-6	SQ18	III層下	粗製深鉢		口唇片、口唇、外面：縄文Ⅲ、内面：ナグ、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。	P-9	2333
写	195-7	SQ18	列右下	深鉢	夜来～晩葉	2点あり、形方とも体部片片、左は器表面に縄文の前線なし、外スス、右は厚縄。	写真のみ掲載。	P-4	2337
写	195-8	SQ18	III層下	粗製深鉢		体部片、外面：縄文Ⅲ、器壁薄い、使用痕；外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	P-11	2336
写	195-9	SQ18	列右下	深鉢又は一重		体部片片、外面：厚縄、器壁薄い。	写真のみ掲載。	P-6	2339
写	195-10	SQ18	III層	粗製深鉢		器壁一重、口唇片、小波状口唇又は口唇角目、外面：縄文Ⅲ、胎土：砂粒、クナリ縄、海綿骨針、使用痕；外スス。	写真のみ掲載。	P-3	2334
写	195-11	SQ18	III層下	深鉢		胎土中に黒い点状の痕跡あり、胎土、器壁や内面、外面：縄文Ⅲ、胎土：砂粒、海綿骨針、クナリ縄、海綿骨針、使用痕；不明。	写真のみ掲載。	P-7	2335
写	195-12	SQ18	III層下	深鉢		体部片片、外面：厚縄、器壁薄い、使用痕；不明。	写真のみ掲載。	P-10	2336
写	195-13	SQ18	III層下	深鉢	中期か	外面：厚縄、2条の筋、工具痕が胎土；細長片状のような小磯、二次被熱で赤化が。	写真のみ掲載。	P-8	2301
写	195-14	SQ18	瓶方	粗製深鉢		体部片片、外面：厚縄、縄文Ⅲ、器壁薄い、使用痕；不明。	写真のみ掲載。	P-5	2302
写	195-15	SQ18	瓶方 A1層 四右目	粗製深鉢		体部片、外面：厚縄、内面：ナグ、器壁薄い、徳成良好、使用痕；内コゴ。	写真のみ掲載。		2303

縄文土器観察表(79)

図番号	写真	出土位置	層位	器種	器型	時期	特徴	備考	取上No.
写 195-16	S018		Ⅰ層	—			5点で構成、いざね丸蓋。器型は薄い、左右は細かく縄文肌。	写真のみ掲載。	2366
写 195-17	S24		Ⅰ層	粗製深鉢	碗	晩期	外面：縄文肌、内面：ナデ。胎土：砂粒。海綿骨付。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	1480・1481
写 195-18	S005		Ⅰ層	粗製深鉢	碗	晩期	外面：ケズリのみナデ。内面：ナデ。胎土：小礫。海綿骨付。使用痕：外スス。	写真のみ掲載。	1483
写 195-19	S005		Ⅰ層	粗製深鉢	碗	晩期	外面：ケズリ。内面：ナデ。胎土：小礫。海綿骨付。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	1484
写 195-20	S21	Sec3 IVc-IVd	Ⅰ層	粗製深鉢	碗	晩期	外面：縄文肌、胎土：砂粒。タナ口縁。海綿骨付。使用痕：外スス。	写真のみ掲載。	1479・1479
写 195-21	S005	Sec3 IVc-IVd	Ⅰ層	深鉢	中筒下層d	晩期	外面：縄文肌か。内面：ナデ。胎土：砂粒。織織。海綿骨付。	写真のみ掲載。	1513
写 195-22	S26	Sec2 IVc-IVd	Ⅰ層	深鉢	中筒下層d	晩期	外面：縄文肌、内面：ナデ。胎土：砂粒。織織。海綿骨付。	写真のみ掲載。	1514
写 195-23	S14	Sec2 IVc-IVd	Ⅰ層	粗製深鉢	碗	晩期	外面：縄文肌、内面：ナデ。胎土：小礫。海綿骨付。使用痕：外スス。	写真のみ掲載。	1482
写 196-1	IVT-31	Ⅲ層	粗製深鉢	I B01	晩期前葉		口唇：歪脱。外面：縄文肌、内面：ナデ。使用痕：なし。器表面の高低がよく残っている。胎土：砂粒。海綿骨付。	写真のみ掲載。	2169
写 196-2	Sec2 IVb-IVc-IVd	Ⅲ層・Ⅳ層	平縁割台付鉢	II B-2	晩期3		口唇：肩目。外面：縄文肌、内面：ナデ。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	200
写 196-3	IVb-15	Ⅲ層	平縁割台付鉢	II B-2	晩期3		口唇：肩目。外面：縄文肌、内面：ナデ。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：9.2cm。器高：5.2cm。器底：4.1cm。写真のみ掲載。	1251
写 196-4	IVb-50	Ⅲ層	粗製深鉢	II	晩期		口唇：肩目。外面：縄文肌、内面：ナデ。使用痕：外スス、内コゴ。口縁に3mm程度台形突起(白面所)。外面：ナデ。使用痕：なし。胎土：砂粒。海綿骨付。	口径：8.2cm。器高：5.2cm。器底：4.0cm。器高：10.2cm。写真のみ掲載。	1205
写 196-5	IVb-50	Ⅲ層	粗製深鉢	II	晩期		小波状口縁。外面：ナデ。内面：ナデ。使用痕：なし。全体に厚肌。胎土：砂粒。海綿骨付。小口縁の厚肌状態。口縁の厚肌が外側に残っている。胎土：砂粒。海綿骨付。	口径：9.2cm。器高：5.2cm。器底：4.0cm。器高：10.2cm。写真のみ掲載。	1204
写 196-6	IVb-15	Ⅲ層	半周四脚台付鉢	III 11	晩期3		外面：土肌。胎土：砂粒。口縁部は織織。口縁部突起の下に織織の突起。縄文肌、全体に厚肌。胎土：砂粒。海綿骨付。	写真のみ掲載。	228
写 196-7	IVb-19	Ⅲ層	半周四脚台付鉢	I B-1	晩期5		口縁直下に胎土の剥離層があり、片口部が凸になっていたと思われ。口唇：肩目。外面：土肌。胎土：砂粒。海綿骨付。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	1317
写 196-8	IVb-15	Ⅲ層	半周四脚台付鉢	I A-2	晩期3		口唇：肩目。外面：土肌。成り切ら(油化した生肌状)。縄文肌、内面：口縁下部。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	251
写 196-9	IVb-15	Ⅲ層	半周四脚台付鉢	I A-2	晩期3		小波状口縁。口縁部に肩目をもつもの箇所。外面：土肌。内面：口縁内に薄層(口縁部は5段に分けてある)。内面：粗製土器正土と粗部の土肌。胎土：砂粒。海綿骨付。	写真のみ掲載。	236
写 196-10	IVb-12	Ⅲ層	深鉢	II	晩期2		口唇：歪脱。外面：縄文肌、内面：ナデ。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	1516
写 196-11	IVb-15	Ⅲ層	粗製深鉢	I A-11	晩期前葉		口唇：歪脱。外面：縄文肌、内面：ナデ。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。	1049
写 196-12	IVb-15	Ⅲ層	壺	III	晩期3		全体に厚肌。口縁下と胎土の間に厚肌。胎土：砂粒。海綿骨付。使用痕：外スス、内コゴ。	口径：11.8cm。器高：11.8cm。	1045
写 197-1	IVb-11	Ⅲ層	注口		晩期2		外面：土肌。胎土：砂粒。海綿骨付。使用痕：外スス、内コゴ。	写真のみ掲載。器表面に褐色物質(アスファルト)が付着。	1499

縄土器観察表(80)

図番号	写真	出土位置	部位	器種	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
写	197-2	IVQ-46	III層	注口	後彌生末	外面：注口部直下に二袋状の彫らみ。胎土：砂粒。海漆着付。	写真のみ掲載。外面：黒色塗物(アース)が部分的に付着。黒色物質は注口の内部には付着しない。	1497	
写	197-3	IVR-46	III層	注口	後彌生末	外面：沈泥。縄文土。粘土。砂粒。海漆着付。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。	1510	
写	197-4	IVT-34	III層	注口	後彌生末～晩期	外面：注口基部は上方に沈泥。注口部直下には二袋状の彫らみ。内面：注口部穿孔の部に外側から時代の工具を挿し入れた痕跡。胎土：砂粒。海漆着付。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。	2348	
写	197-5	IVR-49	風葬木	注口	後彌生末～晩期	外面：沈泥。縄文土。胎土：砂粒。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。	1511	
写	197-6	IVS-48		注口	後彌生末～晩期	外面：沈泥。縄文土。ミガキ。胎土：砂粒。海漆着付。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。注口の内部に黒色物質(アース)が付着。注口の内部を包含した全体は、刺面面に黒色物質(アース)が付着。	1512	
写	197-7	IVT-49	III層	注口	後彌生末～晩期	外面：ミガキ。胎土：砂粒。海漆着付。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。	1498	
写	197-8	SI03	覆土2回目	注口又は蓋	後末～晩期	外面：ナズ。内面：ナズ。胎土：砂粒。海漆着付。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。胎土は黒くない。縄や土質から推定される。	991	
写	197-9	IVR-42	III層	半筒状鉢	晩期I	口唇：細かみ。内面：外面：沈泥。2個一組のペア。突起部に沈泥が貫入。縄文土(斜位)。内面：沈泥。使用痕：外々ス。	写真のみ掲載。刺面面に黒色物質(アース)が付着。胎土は黒くない。縄や土質から推定される。	1502	
写	197-10	IVR-45	III層	有付鉢	晩期	外面：縄文土。使用痕：外々ス。	写真のみ掲載。見込み部に漆着。幅みあり。	1500	
写	197-11	IVR-44	III層	台付深鉢	後彌生末	台部分：胎土の配面は外縁であり。逆化で確認してから組み合わせたと考えられる。使用痕：不明。	写真のみ掲載。内外面に黒色塗物(アース)が付着。胎土は黒くない。縄や土質から推定される。接接面の黒色物質は、黒色物質は分析未定中。	1504	
写	197-12	IVR-44	III層	浅鉢	晩期Ia	平口縁。口唇：面取。外面：縄文土。深い沈泥。	写真のみ掲載。外面に部分の漆の可能性がある。黒色塗物。塗物痕跡は漆の痕跡による。黒色塗物は分析未定中。	1505	
写	197-13	IVR-45	III層	深鉢	晩期	体部片。外面：縄文土。内面：ナズ。使用痕：外々ス。	写真のみ掲載。外面に黒色漆着。幅みあり。	1507	
写	197-14	IVR-45	III層	粗製深鉢	後彌生末～晩期	体部片。外面：縄文土。内面：ナズ。胎土：小粒。海漆着付。使用痕：不明。	写真のみ掲載。外面：黒色塗。赤色塗物。黒色塗物(アース)が付着。胎土は黒くない。	1508・1509	
写	197-15	IVS-45	III層	浅鉢	晩期	体部片。外面：胎土。使用痕：不明。	写真のみ掲載。外面に黒色塗物(アース)が付着。胎土は黒くない。	1506	
写	197-16	IVR-48	III層	粗製深鉢	後彌生末～晩期	体部片。外面：縄文土。胎土：砂粒。使用痕：不明。	写真のみ掲載。外面：赤色塗物(アース)が付着。胎土は黒くない。	1503	
写	197-17	IVS-46	III層	深鉢	晩期5	外面：縄文土。直部：平底。体部との境は丸縁をおひる。胎土：石膏。長石。クサリ層。海漆着付。使用痕：なし。	写真のみ掲載。外面：赤色塗物着。幅みあり。	1501	

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧) (1)

図・No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
1-8	93	S101	下層	二次加工剥片	珪質頁岩	42.0	35.9	12.9	16.7		1514
1-9	93	S101	貼床	二次加工剥片	珪質頁岩	54.2	37.1	9.6	16.9		1515
1-25	93	S102	覆土	削器	珪質頁岩	64.3	34.6	14.6	26.5	刃部光沢	999
2-5	93	S104	1層	接合資料	珪質頁岩	61.0	49.0	21.0	30.9	剥片2点接合	8120
2-6	93	S104	1層	石核	珪質頁岩	39.1	53.3	31.4	35.0		7145
2-7	93	S104	1層	石核	珪質頁岩	33.0	68.5	36.9	86.2		5992
10-5	98	SQ09	覆土	石匙	珪質頁岩	54.2	65.8	12.5	35.7	アスファルト	1300
13-1	100	SQ19	1層	掃器	珪質頁岩	40.2	45.4	14.5	28.1		8591
13-2	100	SQ19	1層	石核	珪質頁岩	39.7	44.6	64.0	151.8		7128
13-3	100	SQ19	1層	石核	珪質頁岩	50.8	75.7	48.5	220.5		7129
13-4	100	SQ19	直下	石核	珪質頁岩	36.9	69.0	40.2	103.7		6808
13-5	-	SQ19	直下	石核	珪質頁岩	61.0	66.0	41.0	189.3		6804
15-11	102	SR18	1層	剥片	珪質頁岩	35.0	36.0	7.0	6.6		3943
25-1	111	剥片集中1	Ⅲ	接合資料	珪質頁岩	66.0	82.0	26.0	70.5	剥片2点接合 S-53+S-X	8579
25-2	-	剥片集中1	Ⅲ	石核	珪質頁岩	66.0	44.0	24.0	48.1	S-2	8578
25-3	-	剥片集中1	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	60.0	33.0	15.0	22.2		8580
25-4	111	剥片集中2	Ⅲ	石核	珪質頁岩	49.2	58.0	36.4	89.6		7148
25-5	111	剥片集中2	Ⅲ	石核	珪質頁岩	77.1	50.4	37.3	131.1		7144
25-6	111	剥片集中2	Ⅲ	石核	珪質頁岩	36.9	40.1	21.9	28.5		7150
25-7	111	剥片集中2	Ⅲ	石核	珪質頁岩	23.4	30.9	21.0	16.4		7148
25-8	111	剥片集中2	Ⅲ	石核	珪質頁岩	26.9	30.6	29.4	25.8		7147
25-9	111	剥片集中2	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	33.0	54.0	10.0	10.9	玉髄質に近い	8590
25-10	-	剥片集中2	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	30.0	30.0	8.0	5.8		8591
25-11	111	剥片集中4	Ⅲ	接合資料	珪質頁岩	33.0	33.0	13.0	6.9	剥片2点接合	8582
25-12	111	剥片集中4	Ⅲ	接合資料	珪質頁岩	39.0	17.0	10.0	4.0	剥片2点接合、礫皮部分	8586
25-13	-	剥片集中4	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	30.0	27.0	8.0	6.0		8583
119-1	198	IVN-43	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	45.5	10.7	5.5	2.0	アスファルト敷量	218
119-2	198	IVS-44	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	(28.1)	6.6	3.4	(0.5)	アスファルト	217
119-3	198	IVN-44	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	29.6	10.3	5.1	1.2	アスファルト	180
119-4	198	IVR-37	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	36.0	9.2	4.3	1.3	アスファルト	586
119-5	198	IVQ-39	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	32.0	10.5	4.3	1.1	アスファルト	184
119-6	198	IVS-39	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	23.9	10.3	4.2	0.9	アスファルト	178
119-7	198	IVN-41	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	26.2	8.6	3.9	0.9	アスファルト	588
119-8	198	IVP-33	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	20.9	12.6	3.1	0.5	アスファルト	187
119-9	198	IVR-48	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	18.0	8.0	4.0	0.4	アスファルト	3936
119-10	198	IVN-47	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	26.0	10.0	4.0	0.8	アスファルト	3937
119-11	198	IVQ-47	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	27.1	10.1	3.3	0.7	アスファルト	223
119-12	198	IVQ-41	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	30.2	13.1	3.4	1.1	アスファルト、主に正面縁切加工	171
119-13	198	IVQ-44	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	28.3	10.0	5.6	1.5	アスファルト	211
119-14	198	IVT-52	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	27.9	13.1	4.7	1.2	アスファルト	1403
119-15	198	IVQ-43	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	19.0	11.1	3.7	0.6	アスファルト	1414
119-16	198	IVQ-47	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	37.6	11.8	4.4	1.4	アスファルト	212
119-17	198	IVQ-43	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	23.6	9.8	4.3	0.8	アスファルト	210
119-18	198	IVQ-40	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	21.1	8.7	2.8	0.5	アスファルト	175
119-19	198	IVQ-44	Ⅲ-8	石礫	珪質頁岩	21.1	9.7	2.2	0.4	アスファルト	1413
119-20	198	IVQ-44	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	23.7	8.6	3.2	0.5	アスファルト	154
119-21	198	IVR-30	I	石礫	珪質頁岩	24.4	10.3	3.5	0.8	アスファルト	163
119-22	198	IVT-48	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	22.6	9.3	3.5	0.6	アスファルト	215
119-23	198	IVP-39	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	23.1	11.1	4.3	0.9	アスファルト	152
119-24	198	IVQ-44	Ⅲ-8	石礫	珪質頁岩	37.5	17.8	5.0	1.8	アスファルト	1410
119-25	198	IVR-43	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	23.1	13.8	3.7	0.8	アスファルト	165
119-26	198	IVQ-42	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	38.3	14.2	5.2	1.9	アスファルト	204
119-27	198	IVS-51	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	26.1	14.1	5.4	1.2	アスファルト	291
119-28	198	IVN-44	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	37.0	11.2	4.3	1.2	アスファルト	454
119-29	198	IVQ-37	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	38.1	15.3	4.8	1.8	アスファルト	200
119-30	198	IVM-47	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	35.0	12.7	4.8	1.7	アスファルト	176
119-31	198	IVR-35 Sec1	Ⅲ-2	石礫	珪質頁岩	32.6	13.9	4.7	1.3	アスファルト	221
119-32	198	IVQ-43	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	35.2	14.9	5.3	1.9	アスファルト	181
119-33	198	IVR-51	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	41.0	14.1	4.5	1.9	アスファルト敷量	149
119-34	198	IVP-39	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	28.1	15.9	3.6	1.4	アスファルト	188
119-35	198	IVQ-42	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	28.6	11.9	5.2	1.3	アスファルト敷量	214
119-36	198	IVQ-48	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	33.0	14.9	4.4	1.4	アスファルト	198
119-37	198	IVQ-48	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	34.9	13.5	4.5	1.7	アスファルト敷量	194
119-38	198	IVT-52	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	(45.0)	11.5	4.7	(1.7)	アスファルト	1390
119-39	198	IVR-32	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	32.9	14.8	5.0	1.4	アスファルト	177
119-40	198	IVQ-48	Ⅲ	石礫	珪質頁岩	29.9	12.7	3.5	0.9	アスファルト	189

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(2)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No
119-41	198	IVQ-38 ベルト	Ⅲ-4	石鏟	珩質頁岩	42.6	12.8	5.4	2.2	アスファルト	155
119-42	198	IVN-47	Ⅲ	石鏟	玉髄	41.1	12.5	5.8	2.3	アスファルト微量	145
119-43	198	IVM-60	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	47.6	12.4	5.3	2.2	アスファルト	1397
119-44	198	IVR-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	28.8	15.9	4.6	1.4	アスファルト	179
119-45	198	IVT-56	I	石鏟	珩質頁岩	37.0	12.4	5.0	1.9	アスファルト	1434
119-46	198	IVR-45	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩	39.6	10.2	4.6	1.5	アスファルト	208
119-47	198	IVV-31	I	石鏟	珩質頁岩	36.9	15.6	6.5	2.3	アスファルト	173
119-48	198	IVN-43	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	41.4	11.6	5.6	1.7	アスファルト	220
119-49	198	IVP-41	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (35.9)	16.6	5.5	(1.8)		アスファルト	197
119-50	198	IVQ-41	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	30.1	10.2	5.3	1.2	アスファルト	213
119-51	198	IVQ-39	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	32.8	15.2	4.8	1.6	アスファルト	172
120-1	198	IVQ-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (26.8)	13.5	4.0	(1.0)		アスファルト	198
120-2	198	IVR-39	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (38.0)	13.8	4.5	(1.6)		アスファルト	156
120-3	198	IVR-47	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩 (31.3)	11.5	3.6	(1.1)		アスファルト	209
120-4	198	IVM-39	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	23.4	8.8	3.0	0.5	アスファルト	205
120-5	—	IVV-33	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	26.0	14.0	3.0	0.7	アスファルト微量	8119
120-6	198	IVQ-38	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (35.4)	14.5	5.0	(1.8)		アスファルト	169
120-7	198	IVQ-40	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (34.9)	12.1	3.2	(1.1)		アスファルト	467
120-8	198	IVR-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	29.7	13.2	4.0	1.2	アスファルト	196
120-9	198	IVQ-36	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (32.2)	13.8	5.0	(2.1)		アスファルト	471
120-10	198	IVR-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (32.5)	9.7	4.2	(1.3)		アスファルト	544
120-11	198	IVM-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	36.9	8.8	5.3	1.4	アスファルト	146
120-12	198	IVQ-44	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩 (31.9)	8.0	4.2	(1.1)		アスファルト	1404
120-13	198	IVS-49	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (25.6)	14.1	4.2	(1.0)		アスファルト	185
120-14	—	IVR-50	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	23.0	11.0	6.0	0.8	アスファルト	3793
120-15	198	IVR-44	Ⅲ-10	石鏟	珩質頁岩	30.1	15.4	4.7	1.5	アスファルト	1393
120-16	198	IVQ-42	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩 (33.8)	19.0	4.1	(1.7)		アスファルト	206
120-17	198	IVQ-36	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (26.9)	11.8	4.2	(1.2)		アスファルト微量	199
120-18	198	IVS-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	37.2	12.4	4.8	1.6	アスファルト	180
120-19	198	IVV-32	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	34.2	18.9	4.8	1.9	アスファルト	182
120-20	198	IVN-43	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	24.1	8.7	3.9	0.6	アスファルト	207
120-21	198	IVR-44	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩	19.2	11.2	4.5	0.6	アスファルト	1398
120-22	198	IVQ-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	25.4	14.2	4.5	0.9	アスファルト	164
120-23	198	IVN-45	Ⅲ-1	石鏟	珩質頁岩	25.9	11.6	4.7	1.0	アスファルト	1396
120-24	198	IVN-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	27.1	12.1	4.0	1.7	アスファルト	167
120-25	198	IVR-37	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	25.1	11.6	3.7	0.8	アスファルト	193
120-26	198	IVM-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	36.3	12.8	5.8	1.7	アスファルト	166
120-27	—	IVN-43	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	28.0	14.5	4.0	0.9	アスファルト	3691
120-28	198	IVQ-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	38.0	14.4	4.7	0.7	アスファルト	168
120-29	198	IVN-41	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	36.0	9.3	4.6	1.0	アスファルト	161
120-30	198	IVN-44	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	29.1	9.2	5.0	0.8	アスファルト	195
120-31	198	IVN-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (32.3)	10.8	4.2	(1.0)		アスファルト	160
120-32	198	IVQ-48	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	21.7	12.8	3.3	0.7	アスファルト	153
120-33	198	ブロック H8103	覆土	石鏟	珩質頁岩 (19.7)	9.0	2.6	(0.3)		アスファルト	219
120-34	198	IVN-44	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (23.0)	11.2	3.6	(0.7)		アスファルト微量	1071
120-35	198	IVN-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (25.9)	10.3	4.5	(1.1)		アスファルト	162
120-36	198	IVM-46	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	31.8	9.3	3.8	1.2	アスファルト	222
120-37	198	IVT-56	I	石鏟	珩質頁岩 (22.4)	9.2	4.2	(0.8)		アスファルト	1402
120-38	198	IVQ-49	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	27.9	7.0	4.0	0.7	アスファルト	582
120-39	198	IVQ-44	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩 (24.9)	9.8	5.0	(0.9)		アスファルト	1430
120-40	198	IVS-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (28.8)	11.9	6.0	1.6		アスファルト	568
120-41	198	IVQ-38	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	45.6	11.3	7.3	3.8	アスファルト微量	574
120-42	198	IVN-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	28.2	12.8	3.3	0.9	アスファルト微量	192
120-43	198	IVV-38	I	石鏟	珩質頁岩	22.2	8.9	3.8	0.6	アスファルト微量	183
120-44	198	IVS-45	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	22.2	8.2	4.0	0.6	アスファルト微量	216
120-45	198	IVQ-43	Ⅱ	石鏟	珩質頁岩 (28.4)	10.6	7.2	(1.3)		アスファルト微量	138
120-46	198	IVR-49	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	35.4	12.3	7.0	2.6	アスファルト微量	584
120-47	198	IVP-36	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	33.6	15.8	6.2	3.1	アスファルト微量	551
120-48	198	IVN-41	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	25.2	15.6	5.5	2.1	アスファルト	547
120-49	198	IVN-39	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩 (18.4)	13.3	2.5	(0.6)		アスファルト	546
120-50	198	IVQ-41	Ⅲ	石鏟	珩質頁岩	21.4	19.1	4.0	1.5	アスファルト	549
120-51	198	IVQ-40	Ⅲ	石鏟	黒曜石	23.6	13.2	3.5	0.8		121
120-52	198	IVQ-46	Ⅲ	石鏟	黒曜石	18.6	10.7	3.0	0.4		113
120-53	198	IVS-37	Ⅲ	石鏟	黒曜石 (17.0)	7.0	4.0	(0.5)			565
120-54	198	IVN-41	Ⅲ	石鏟	黒曜石 (26.0)	14.0	4.0	(1.2)			393

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧) (3)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
120-55	198	IVP-41	Ⅲ	石鏃	黒曜石	(21.4)	11.1	4.0	(0.8)		224
120-56	198	IVR-45	Ⅲ	石鏃	黒曜石	(14.0)	8.0	4.0	(0.2)	先端部破片	601
121-1	198	IVS-33	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	61.8	15.3	6.3	4.3		9
121-2	198	IVR-35	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	26.7	15.1	4.5	1.6		1408
121-3	198	IVT-52	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	45.1	13.8	4.5	1.6		46
121-4	198	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	45.5	16.1	4.2	2.0		77
121-5	198	IVQ-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	43.8	15.8	4.8	2.1		64
121-6	198	IVR-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	35.4	12.8	5.2	2.0		81
121-7	198	IVQ-50	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	30.6	11.2	5.2	1.3		142
121-8	198	IVO-36	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	35.4	12.1	4.5	1.3		96
121-9	198	IVQ-46	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	37.8	19.3	4.5	2.0		115
121-10	198	IVN-43	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	38.5	9.8	5.8	1.7		101
121-11	198	IVP-37	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	41.2	18.5	5.3	2.7		114
121-12	198	IVT-44	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	45.5	18.7	9.5	5.2		34
121-13	198	IVN-96	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	44.0	10.1	4.0	1.6		132
121-14	198	IVR-46	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	35.5	13.8	4.5	1.5		123
121-15	198	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	32.5	13.7	4.2	1.1		82
121-16	198	IVS-49	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	29.5	13.8	3.8	1.2		63
121-17	198	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	32.0	16.2	4.2	1.3		1401
121-18	198	IVQ-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	30.1	13.9	4.4	1.2		120
121-19	-	IVN-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	29.0	9.5	5.0	1.1		3779
121-20	198	IVN-42	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	27.1	10.1	3.5	0.8		119
121-21	198	IVQ-43	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	20.1	12.0	3.6	0.6		59
121-22	198	IVQ-49	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	24.5	13.8	3.2	0.8		58
121-23	198	IVR-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(36.6)	14.8	3.5	(1.4)		13
121-24	198	IVP-42	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	30.2	11.7	2.5	0.6		143
121-25	198	IVP-42	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	25.6	13.1	3.9	0.8		140
121-26	198	IVO-44	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	18.4	12.8	3.4	0.5		1392
121-27	198	IVP-36	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	21.2	10.2	2.8	0.3		118
121-28	198	IVO-45	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	21.8	12.3	4.5	0.8		33
121-29	198	IVS-44	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(25.6)	12.9	5.0	(1.2)		109
121-30	198	IVT-50	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(28.3)	18.0	5.8	(1.8)		67
121-31	198	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	24.1	13.2	3.2	0.6		1409
121-32	198	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(28.6)	16.4	4.5	(1.5)	火ハネ	14
121-33	198	IVQ-56	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	35.2	11.1	4.6	1.3		1399
121-34	198	IVO-39	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	32.0	15.3	4.3	1.4		45
121-35	198	IVN-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(23.0)	9.9	4.8	(0.9)		50
121-36	-	IVM-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	23.0	11.0	4.0	0.7		3780
121-37	198	IVY-42	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	42.2	12.1	6.7	2.5		21
121-38	198	IVO-39	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	29.9	11.8	3.8	1.1		48
121-39	198	IVN-44	Ⅲ-1	石鏃	珧質頁岩	(32.5)	9.4	3.5	(0.9)		1400
121-40	198	IVO-42	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(24.7)	14.2	3.1	(0.8)		15
121-41	198	IVN-39	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	37.6	12.2	6.2	2.0		47
121-42	198	IVR-44	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	34.0	8.5	4.1	0.7	器長い	1393
121-43	198	IVO-44	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	29.1	8.8	5.3	1.1		1403
121-44	198	IVQ-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	31.8	14.1	4.2	1.3		41
121-45	198	IVR-46	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	34.4	15.2	4.4	1.4		124
121-46	198	IVN-43	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(46.2)	16.4	6.5	(3.3)		87
121-47	198	IVN-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	35.4	11.2	6.1	1.7		148
121-48	198	IVR-46	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	40.4	17.4	4.6	1.8		72
122-1	198	IVN-45	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	37.4	9.8	7.0	2.0		19
122-2	198	IVN-46	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	26.4	10.1	3.2	0.6		20
122-3	198	IVO-42	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	26.0	8.5	4.0	0.5		2698
122-4	198	IVS-45	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	(43.0)	15.4	6.0	(2.5)		125
122-5	198	IVQ-44 Sec3	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	(31.5)	10.1	4.4	(1.2)		73
122-6	198	IVT-56	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	34.4	12.1	3.8	1.0		1412
122-7	198	IVT-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	33.9	16.6	6.1	2.0		144
122-8	198	IVS-49	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	25.1	11.0	4.3	0.8		107
122-9	198	IVQ-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(34.9)	11.4	5.2	(1.3)		75
122-10	198	IVU-30	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	(27.6)	10.8	4.2	(1.2)		1436
122-11	198	IVN-43	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	(28.8)	8.4	4.0	(0.7)		141
122-12	198	IVR-43	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	(29.4)	15.0	4.3	(1.3)		32
122-13	198	IVS-44 Sec3	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	(35.9)	11.3	4.8	(1.4)		65
122-14	198	表探	-	石鏃	珧質頁岩	29.0	13.1	3.4	0.8		110
122-15	198	IVN-45	Ⅰ	石鏃	珧質頁岩	(37.2)	11.1	4.2	(1.4)		51

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(4)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
122-16	198	IV0-44	Ⅱ	石鏃	珞質頁岩	(25.4)	9.5	4.2	(0.6)		137
122-17	198	IVN-45	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	20.5	8.4	3.0	0.4		106
122-18	—	IVM-46	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	21.5	9.5	5.0	0.6		3781
122-19	198	IVP-44	Ⅱ	石鏃	珞質頁岩	25.2	11.2	3.9	0.8	Sec2	1411
122-20	198	IVN-46	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	22.4	9.2	4.6	0.8		18
122-21	198	IVN-44	Ⅲ-7	石鏃	珞質頁岩	31.4	12.9	3.8	0.9	Sec2	1389
122-22	198	IVQ-46	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	23.4	10.0	3.0	0.6		127
122-23	198	IVN-41	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	30.6	12.1	4.5	1.0		23
122-24	198	IV0-44	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	36.2	10.2	4.1	0.8		93
122-25	198	IVS-48	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	(31.6)	10.3	4.8	(0.7)		7
122-26	199	IVP-44	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	29.8	8.7	3.4	1.1		80
122-27	199	IVS-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	39.2	11.6	8.3	3.4		951
122-28	199	IVP-41	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	38.4	11.7	9.3	3.4		581
122-29	199	IVN-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	24.6	8.3	4.6	0.9		133
122-30	199	IVQ-48	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	35.8	9.8	4.4	1.1		90
122-31	199	IVQ-56	Ⅲ 上面	石鏃	珞質頁岩	24.2	7.8	3.5	0.6		1407
122-32	199	IVR-35	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	39.4	14.2	7.0	3.2		583
122-33	199	IVN-43	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	41.4	8.9	5.0	1.4		135
122-34	199	IVT-48	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	30.9	13.9	4.0	1.3		130
122-35	199	IVS-45	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	30.8	9.9	4.2	1.1		577
122-36	—	IVS-34	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	17.0	7.5	3.5	0.5		3785
122-37	199	IV0-42	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	31.3	11.2	7.0	2.0		575
122-38	199	IVP-43	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	32.3	16.3	4.8	2.0		589
122-39	199	IV0-44	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	31.5	8.9	4.5	0.9		49
122-40	199	IV0-44	Ⅱ	石鏃	珞質頁岩	21.9	7.3	5.0	0.7	Sec2	1406
122-41	199	IV0-37	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	36.5	9.9	4.7	1.4		599
122-42	199	IVQ-41	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	26.2	9.2	3.9	0.8		598
122-43	199	IVS-48	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	29.2	8.4	3.7	0.8		578
122-44	—	IVM-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	(21.0)	11.0	6.0	(1.0)		3703
122-45	199	IVN-45	Ⅰ	石鏃	珞質頁岩	18.1	7.9	4.3	0.5		573
122-46	199	IVN-46	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	(17.8)	8.7	4.8	(0.6)		600
122-47	199	IVT-51	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	17.8	7.4	3.8	0.4		590
122-48	—	IVM-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	26.0	11.0	3.5	0.7		3703
122-49	199	IVP-44	排土	石鏃	珞質頁岩	23.4	9.8	4.7	1.0		1437
122-50	199	IVR-37	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	27.2	11.6	8.1	2.4		570
122-51	199	IVV-33	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	37.5	16.2	6.4	3.3		569
122-52	199	IVV-38	Ⅰ	石鏃	珞質頁岩	39.2	13.0	6.0	2.1		11
122-53	199	IVT-48	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	39.0	11.4	6.8	2.6		593
122-54	199	IVT-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	34.7	10.2	5.2	1.8		596
122-55	199	IVU-56	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	34.2	13.9	7.7	3.2		1391
122-56	199	IVP-38	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	28.9	11.6	5.5	1.5		580
122-57	—	IVR-49	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	26.0	16.5	5.0	1.6		3768
123-1	199	IVQ-44	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	43.2	21.4	9.6	4.4		105
123-2	199	IVR-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	29.9	18.2	5.5	2.4		62
123-3	199	IVP-39	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	37.2	22.2	6.5	3.7		625
123-4	199	IV0-40	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	24.6	15.8	3.3	1.1		117
123-5	199	IVS-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	30.1	9.9	3.9	1.2		579
123-6	199	IVQ-41	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	15.9	10.0	2.0	0.2		548
123-7	199	IVQ-29	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	23.6	12.5	3.6	1.0		545
123-8	199	IVQ-48	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	30.2	13.1	7.2	3.1		553
123-9	199	IVM-44	Ⅰ	石鏃	珞質頁岩	19.9	13.1	3.9	0.9		554
123-10	199	IVN-44	Ⅲ 下部	石鏃	珞質頁岩	31.9	14.7	5.8	2.5		550
123-11	199	P10072	Ⅰ	石鏃	珞質頁岩	25.9	12.9	5.7	1.8		555
123-12	199	IVN-43	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	18.1	11.1	6.3	1.1		552
123-13	199	IVN-42	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	24.4	12.6	2.4	0.7		536
123-14	—	IVN-46	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	19.0	19.0	5.0	0.5		3692
123-15	—	IVN-46	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	24.5	20.0	5.0	1.9		3763
123-16	199	IVM-47	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	34.5	10.0	5.0	1.2		3767
123-17	199	IVS-49	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	34.5	12.5	6.0	1.8		3802
123-18	—	IVT-45	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	(27.0)	15.0	6.0	(1.5)	未製品?	3783
123-19	—	IVT-35	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	26.0	18.0	6.0	2.0	未製品?	8118
123-20	—	IVQ-50	Ⅱ	石鏃	珞質頁岩	20.0	18.0	5.0	1.3	未製品?	3763
123-21	—	IVM-48	Ⅰ	石鏃	珞質頁岩	32.0	19.0	39.0	3.9	未製品?	3741
123-22	—	IV0-42	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	29.0	16.5	4.0	1.3	未製品?	3769
123-23	199	IVR-32	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	22.0	14.0	4.0	1.0	未製品?	8110
123-24	199	IVR-40	Ⅲ	石鏃	珞質頁岩	30.8	18.8	5.4	2.8	未製品?	607

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(5)

図・No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
123-25	199	IVS-49	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(52.6)	20.6	7.2	(5.7)	未製品?	151
123-26	-	IVR-44 Sec3	I	石鏟	珪質頁岩	36.0	20.5	8.0	5.3	未製品?	3764
123-27	-	IVQ-42	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	40.0	20.5	8.0	5.6	未製品?	3779
123-28	199	IVQ-38	Ⅲ	石鏟	玉髄	(29.2)	11.9	7.5	(2.3)	未製品?	780
123-29	-	IVJ-32	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(28.0)	20.0	6.0	(2.9)	未製品?	8111
123-30	-	IVT-49	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	28.0	18.0	4.0	1.7	未製品?	2687
123-31	-	IVS-35	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	32.0	23.0	7.0	4.1	未製品?	7795
123-32	199	IVQ-45	I	石槍	珪質頁岩	30.1	18.7	9.0	4.9	細縁非直線の、未製品?	970
123-33	-	IVR-37	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	40.0	21.0	8.0	5.4	未製品?	3742
123-34	-	IVS-48	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	31.0	16.0	5.0	2.1	未製品?	8113
123-35	-	IVP-39	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	41.0	25.5	7.0	5.4	未製品?	3721
123-36	199	IVN-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	19.0	13.0	5.0	1.1	未製品	2689
123-37	199	IVT-34	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	28.0	20.0	6.0	2.7	未製品	7818
123-38	-	IVR-50	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	27.5	15.0	6.5	1.5	未製品	3782
123-39	-	IVN-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	32.0	15.0	3.5	1.4	未製品	3751
123-40	-	IVS-35 Sec5	Ⅲ-5	石鏟	珪質頁岩	38.0	16.0	5.0	2.9	未製品	8900
123-41	-	IVQ-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	25.0	14.0	4.0	1.3	未製品	2666
123-42	-	IVQ-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(25.0)	13.0	4.0	(1.2)	未製品	3761
123-43	-	IVN-43	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(37.0)	22.0	6.0	(3.4)	未製品	2653
123-44	-	IVQ-42	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(23.0)	15.0	4.5	(1.6)	未製品	3752
123-45	-	IVQ-48	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(18.0)	17.0	2.0	(0.8)	未製品	3656
123-46	-	IVQ-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(23.0)	12.0	3.0	(0.8)	未製品	3655
123-47	-	IVN-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(24.0)	20.0	5.0	(2.1)	未製品	3684
124-1	199	IVR-50	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	63.6	17.9	10.7	10.9		971
124-2	199	IVR-43	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	44.6	21.1	9.7	7.1		1309
124-3	199	IVR-47	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	46.5	19.2	10.2	7.0		964
124-4	199	IVQ-42	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	(43.6)	18.2	9.8	(6.5)		972
124-5	199	IVQ-41	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	46.5	20.9	9.2	6.8		969
124-6	199	IVS-46	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	(47.5)	23.9	11.9	(11.3)		965
124-7	199	IVR-39	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	47.2	20.4	9.9	8.5		963
124-8	199	IVR-45	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	(46.3)	22.1	12.8	(11.8)		966
124-9	199	IVQ-48	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	51.0	22.9	8.5	9.1		962
124-10	199	IVN-39	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	38.4	25.9	6.9	6.2		955
124-11	199	IVQ-41	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	(31.8)	19.6	6.3	(3.2)		1073
124-12	199	IVQ-44	I	石槍	珪質頁岩	36.5	21.1	8.3	5.8	石鏟未製品?	975
124-13	199	IVQ-45	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	35.9	25.6	8.9	7.2	石鏟未製品?	1074
124-14	199	IVS-44	I	石槍	珪質頁岩	43.7	23.5	8.4	6.9		974
124-15	199	IVN-47	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	46.5	21.1	9.3	9.4		959
124-16	199	IVR-43	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	37.6	24.6	8.6	6.9		1386
124-17	199	IVQ-41	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	46.5	26.6	9.3	10.6	側面湾曲	1698
124-18	199	IVQ-42	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	44.5	20.7	8.8	7.8		958
124-19	199	IVR-36 Sec1	Ⅲ-2	石槍	珪質頁岩	53.8	24.7	9.1	10.6		1637
124-20	199	IVR-37	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	38.6	22.5	11.2	6.1		1638
124-21	199	IVN-45	Ⅲ-7	石槍	珪質頁岩	43.0	26.5	13.8	14.1		1642
124-22	199	IVN-40	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	37.4	20.2	11.1	6.8		968
124-23	199	IVP-37	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	41.8	20.8	9.8	8.1		1639
124-24	199	IVR-42	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	49.0	32.5	11.6	18.9	折れ面から再加工	997
124-25	199	IVS-45	Ⅲ	石槍	珪質頁岩	40.7	28.6	9.8	10.5		8598
125-1	199	IVR-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	43.4	29.0	5.4	3.3	上面礫面	739
125-2	199	IVQ-47	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	51.1	23.8	7.7	4.8		734
125-3	199	IVQ-49	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(52.2)	34.9	11.3	(12.3)	上面礫面	776
125-4	199	IVP-41	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	64.5	28.9	6.8	6.7	上面礫面	741
125-5	199	IVS-48	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(51.3)	24.2	11.8	(7.4)	上面礫面	768
125-6	199	IVP-47	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	53.4	19.7	9.5	4.1		740
125-7	199	IVN-42	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(44.8)	30.4	9.3	(5.9)		771
125-8	199	IVP-42	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	62.4	23.5	7.9	6.1		726
125-9	199	IVN-43	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	55.7	26.9	5.9	4.5	上面礫面?	723
125-10	199	IVQ-48	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	(40.6)	19.4	6.3	(2.8)		760
125-11	199	IVV-33	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	65.5	29.2	13.1	12.8		8726
125-12	199	IVQ-45	Ⅲ下部	石鏟	珪質頁岩	44.4	19.1	8.3	3.9		724
125-13	199	IVT-34	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	73.2	18.9	12.1	9.5		8721
125-14	199	IVT-36	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	47.1	25.0	10.2	8.2	先端摩耗	2923
125-15	199	IVN-46	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	44.1	22.7	7.0	3.7		738
125-16	199	IVT-34	Ⅲ	石鏟	珪質頁岩	70.1	26.0	16.6	17.7		8604

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧) (6)

図-No	字号	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
125-17	199	IVT-35	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	45.0	17.9	6.2	1.8	ブロック12	2943
125-18	199	IVS-43	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	48.5	15.2	7.2	3.0		721
125-19	199	IVT-38	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(47.9)	20.4	6.7	(4.3)	穴ハネ	728
125-20	199	IVS-45	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(40.8)	22.1	7.8	(3.8)		725
125-21	199	IVP-42	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(43.4)	34.5	10.2	(9.2)		751
125-22	199	IVP-40	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	45.9	17.2	4.8	2.5		733
125-23	200	IVQ-37	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	44.4	14.4	6.8	2.2		742
125-24	200	IVS-47	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	42.0	21.7	5.4	2.9		743
125-25	200	IVR-47	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(45.1)	24.9	4.5	(2.8)		736
125-26	200	IVS-35	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(37.7)	21.6	9.7	(4.9)		8602
125-27	200	IVP-42	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(45.8)	24.1	5.7	(3.5)		736
125-28	200	IVN-42	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	44.8	14.4	9.7	4.2		728
126-1	200	IVN-42	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	63.2	34.8	12.7	17.8		763
126-2	200	IVS-44	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(58.6)	25.1	16.8	(17.1)	未製品?	1481
126-3	200	IVS-49	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(31.5)	21.6	13.6	(5.2)	基部は礫面付近の軟質部	2918
126-4	200	IVU-33	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(36.2)	16.4	8.0	(3.7)		8617
126-5	200	IVS-34	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(53.5)	21.0	9.6	(9.0)	ブロック11	8612
126-6	200	IVR-47	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	35.6	17.4	5.9	3.1		730
126-7	200	IVT-41	I	石鏃	珉質頁岩	37.0	15.5	7.0	3.2		732
126-8	200	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	44.0	22.4	5.9	5.4		731
126-9	200	IVQ-54	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	40.4	22.2	6.0	4.1		3638
126-10	200	IVQ-39	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	42.2	13.3	5.2	1.9	アスファルト	747
126-11	200	IVT-52	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	33.5	14.2	5.5	1.8		737
126-12	200	IVQ-40	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	30.1	14.8	4.0	1.6		745
126-13	—	IVU-29	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	35.0	15.0	8.0	4.0		8108
126-14	200	IVR-31	I	石鏃	珉質頁岩	55.8	15.8	12.7	9.7		8608
126-15	200	IVQ-38	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	43.3	15.3	11.1	6.6	先端摩滅	735
126-16	200	IVT-51	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	35.0	8.7	5.8	1.6		783
126-17	200	IVT-46	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	42.0	10.4	6.8	2.0	上面礫面	711
126-18	200	ブロック 田SI03	300目 取り上げ	石鏃	珉質頁岩	47.5	15.3	9.9	7.0	先端側縁わずかに摩滅	1517
126-19	200	IVQ-43	Ⅲ	石鏃	玉髄質珉質頁岩	46.1	14.2	10.8	6.2		678
126-20	—	IVV-33	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	38.9	11.6	8.6	3.9	先端摩滅、二重パティナ	8615
126-21	200	IVM-46	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(33.2)	13.5	6.0	(2.2)		669
126-22	200	IVR-42	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	40.0	10.0	6.1	2.5	先端摩滅	715
126-23	200	IVV-34	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	45.1	14.0	6.4	3.6		2946
126-24	200	IVT-49	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	50.5	10.9	9.6	4.7		695
126-25	200	IVQ-40	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	47.3	10.3	6.4	2.5	先端摩滅	704
126-26	200	IVR-33	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	43.4	8.2	5.8	2.0		8606
126-27	200	IVT-33	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	61.1	9.1	6.6	4.2	先端摩滅	8601
126-28	200	IVQ-48	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	78.5	11.1	7.7	7.5	先端摩滅	671
126-29	200	IVQ-43	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	61.2	9.9	8.9	4.6		717
126-30	200	IVT-35	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(47.3)	8.6	5.9	(2.8)	先端わずかに摩滅	8603
126-31	200	IVQ-48	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(48.6)	10.1	7.0	(3.5)	先端摩滅	676
126-32	200	IVQ-39	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	48.3	9.1	7.0	2.7	先端摩滅	718
126-33	200	IVT-47	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	42.9	7.7	5.0	1.8		705
126-34	200	IVQ-42	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	48.5	8.8	7.5	3.0	先端側縁摩滅	712
126-35	200	IVQ-45	Ⅲ-6	石鏃	珉質頁岩	46.4	8.9	5.7	2.4	先端摩滅、Sec2	1415
126-36	200	IVQ-37	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	40.9	7.7	5.7	1.8	両端使用? 基部端部わずかに摩滅、Sec2	687
126-37	200	IVT-35	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	30.1	8.1	5.5	1.2	先端側縁わずかに摩滅	8604
126-38	—	IVV-34	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	26.5	7.3	4.5	0.7	アスファルト、石織?	8616
126-39	200	IVQ-44	Ⅲ-5	石鏃	珉質頁岩	22.0	5.1	4.0	0.5	先端摩滅	1489
126-40	—	IVU-34	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	34.0	8.4	4.7	1.3	先端側縁わずかに摩滅、ブロック09	8611
126-41	200	IVS-35	Ⅲ上	石鏃	珉質頁岩	33.4	5.7	3.6	0.8	両端使用? 基部側端部摩滅	8723
126-42	200	IVR-39	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(24.6)	5.2	3.5	(0.5)		719
126-43	200	IVM-46	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	26.1	7.4	5.5	1.1	先端摩滅	697
126-44	200	IVR-45	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	30.8	7.7	4.2	1.1		706
126-45	—	IVU-33	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	19.9	6.2	3.5	0.6		8609
127-1	200	IVT-50	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	38.2	10.2	8.2	3.0	先端摩滅	707
127-2	200	IVQ-46	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	47.3	8.5	7.9	2.8	先端摩滅	677
127-3	200	IVQ-45	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	48.5	8.8	6.9	2.5		691
127-4	200	IVN-40	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	39.1	8.8	5.5	2.1	両端摩滅	693
127-5	200	IVS-48	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	35.7	7.5	5.5	1.7		690
127-6	200	IVT-49	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	30.1	9.2	5.6	1.9		679
127-7	200	IVU-30	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	42.4	10.6	7.4	3.3	先端摩滅、先端顯著	8618
127-8	200	IVN-45	Ⅲ	石鏃	珉質頁岩	(32.9)	7.3	3.9	(1.0)		709
127-9	200	IVS-46	Ⅱ	石鏃	珉質頁岩	(38.9)	9.8	7.9	(2.6)		674

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(7)

図・No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
127-10	200	IVN-44	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	43.4	9.9	7.5	2.7		683
127-11	200	IVQ-34	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	38.0	9.5	7.8	2.9	先端摩滅	688
127-12	200	IVQ-44	Ⅲ-8	石鏃	珪質頁岩	42.1	9.7	6.5	2.6	先端摩滅	1418
127-13	200	IVQ-44	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	39.6	10.6	7.8	3.4	先端摩滅	699
127-14	200	IVT-34	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	39.2	8.2	4.2	1.4	先端摩滅	8607
127-15	200	IVQ-37	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	42.7	11.7	8.5	3.6	両端摩滅、先端鋭	779
127-16	200	IVS-47	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	42.5	9.8	7.1	2.9	先端摩滅	708
127-17	200	IVQ-41	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	35.1	9.3	6.5	2.3	先端摩滅	703
127-18	200	IVQ-44	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	33.4	10.8	6.8	2.2		685
127-19	200	IVR-46	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	38.5	11.0	7.6	3.3		684
127-20	200	IVQ-45	I	石鏃	珪質頁岩	30.9	7.0	4.5	1.1		720
127-21	200	IVT-50	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	32.5	8.0	4.5	1.2		680
127-22	200	IVS-47	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(28.9)	8.9	6.0	(1.5)	先端摩滅	713
127-23	200	IVQ-39	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	26.5	5.7	5.1	0.8		701
127-24	200	IVR-48	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	23.2	7.6	5.5	1.1		675
127-25	200	IVQ-41	I	石鏃	珪質頁岩	28.0	7.9	6.5	1.6		686
127-26	200	IVT-33 ブロッコ9	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	39.3	8.2	6.2	2.0		8720
127-27	200	IVT-42	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	40.9	9.2	6.3	2.4	先端摩滅	681
127-28	200	IVU-33	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	32.7	8.6	5.5	1.6		8616
127-29	200	IVU-55	I	石鏃	珪質頁岩	35.4	7.0	5.2	1.0		1496
127-30	200	IVQ-47	Ⅲ下部	石鏃	珪質頁岩	(31.6)	11.0	6.4	(2.0)		673
127-31	200	IVS-48	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(33.6)	7.8	5.2	(1.2)		682
127-32	200	IVS-45	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(26.4)	7.4	3.5	(0.8)		716
127-33	200	IVV-40	I	石鏃	珪質頁岩	24.6	8.6	4.7	1.1	先端摩滅	694
127-34	200	IVR-40	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	30.4	9.6	6.6	2.0		670
127-35	200	IVT-49	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(26.9)	9.0	5.3	(1.3)	先端からの衝撃により欠損	702
127-36	200	IVR-44	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	37.6	6.3	4.8	1.0		696
127-37	200	ブロッコ HIS103	3回目 取上り	石鏃	珪質頁岩	35.1	7.4	5.0	1.6	先端摩滅	1516
127-38	200	IVQ-44	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	31.8	9.2	6.8	2.0	先端摩滅、火ハネ	700
127-39	200	IVT-49	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	26.8	7.2	5.5	1.2	先端からの衝撃により欠損	672
127-40	200	IVQ-43	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	29.0	8.3	5.7	1.4		692
127-41	200	IVN-45	I	石鏃	珪質頁岩	22.2	6.0	3.1	0.4	先端摩滅	689
127-42	200	IVR-49	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	29.2	8.3	6.6	1.3	先端摩滅	710
127-43	200	IVN-47	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	26.9	6.8	4.0	0.7		714
127-44	200	IVT-29	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	88.2	49.5	24.7	81.8		2950
127-45	200	IVV-31	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	59.3	44.4	18.2	39.4	先端摩滅	1073
127-46	200	IVR-34	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(39.6)	20.4	7.0	(3.4)		1072
127-47	200	IVR-48	Ⅲ	石鏃	玉髄珪質頁岩	(27.6)	8.3	3.8	(0.9)		698
127-48	—	IVT-34	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	30.0	10.0	5.0	1.1		8118
127-49	200	IVQ-39	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	40.8	27.6	6.2	4.6		782
127-50	200	IVQ-57	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(45.9)	39.6	8.7	(11.3)	アスファルト?	2919
127-51	200	IVT-34	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	(30.4)	6.5	4.7	(1.0)		8605
128-1	—	IVV-33	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	86.0	39.8	16.5	48.1	欠沢	7124
128-2	201	IVQ-42	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	90.3	41.1	13.1	54.2	刃部・基部欠沢	1076
128-3	201	IVR-36	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	76.6	39.0	13.2	38.2	欠沢、刃部再加工?	6053
128-4	201	IVR-50	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	88.9	42.0	15.7	51.5		8595
128-5	201	IVN-42	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	63.7	29.6	16.8	30.3		1373
128-6	201	IVN-39	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	78.4	34.0	18.9	44.5		1633
128-7	201	IVQ-41	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	71.4	30.2	13.4	27.8	欠沢	988
128-8	201	IVT-44	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	87.9	44.1	17.4	73.0		1374
128-9	201	IVR-43	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	57.0	35.0	14.8	26.9		1372
128-10	201	IVN-39	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	71.6	26.8	10.4	21.2		1634
128-11	201	IVV-40	I	石鏃	珪質頁岩	(49.9)	27.1	10.6	(15.2)		989
128-12	201	IVV-30	I	石鏃	珪質頁岩	94.4	64.7	25.7	101.7	二重パティナ	7127
129-1	201	IVT-29	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	69.4	56.5	20.9	53.8	欠沢	7123
129-2	201	IVN-40	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	68.4	39.9	29.3	76.4	石核?	1632
129-3	201	IVV-30	I	石鏃	珪質頁岩	48.5	19.0	9.1	9.0		7128
129-4	201	IVT-29	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	72.6	54.2	15.4	41.8		7122
129-5	201	IVS-35 See7	Ⅲ-9	石鏃	珪質頁岩	38.5	26.9	7.8	6.3		8599
129-6	201	IVN-45	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	42.5	33.3	10.4	11.0		1077
129-7	201	IVN-42	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	70.4	76.0	16.2	56.6		937
129-8	201	IVN-46	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	44.3	27.5	10.7	12.9	未製品?	4108
129-9	201	IVT-34	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	38.5	27.6	8.6	10.5		7122
129-10	201	IVR-46	Ⅲ	石鏃	珪質頁岩	38.5	32.0	8.2	8.2		799

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(8)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
129-11	201	IVP-40	Ⅲ	石鏡	珩質頁岩	70.8	55.2	21.6	58.0	正面基部左側縁つぶれ	1633
129-12	201	IV0-41	Ⅲ	石鏡	珩質頁岩	42.4	29.9	6.7	7.5		800
129-13	201	IVR-48	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	49.7	30.8	14.4	19.6	石槍・石鏃未製品?	3641
129-14	201	IV1-51	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	44.1	18.6	9.5	7.2	石鏃(未製品)? 石鏃未製品?	960
129-15	201	IVS-44	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	47.7	29.9	13.6	18.3	石槍・石鏃未製品?	1388
129-16	201	IVS-44 Sec3	I	両面調整石器	珩質頁岩	51.6	26.9	11.3	15.4	石槍未製品?	1641
130-1	201	IVN-39	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	53.5	18.5	9.9	10.7	石槍・石鏃未製品?	1038
130-2	201	IVR-45	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	47.0	15.5	6.4	4.4	石鏃未製品? 削器?	1036
130-3	201	IVR-47	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	60.2	18.8	9.9	10.1	石鏃未製品?	1037
130-4	202	IV1-29	Ⅲ	両面調整石器	凝灰岩	127.0	41.0	29.0	133.2	正面左側縁つぶれ。石核?	6735
130-5	201	IVP-43	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	47.9	25.8	10.5	11.7	石槍・石鏃未製品?	2910
130-6	201	IVQ-45	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	40.5	24.6	10.8	10.1	石鏃未製品?	973
130-7	201	IVM-39	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	47.5	30.5	8.1	10.6		3644
130-8	201	IVR-44 Sec3	Ⅲ-8	両面調整石器	珩質頁岩	71.1	28.6	15.2	32.9	石鏃(未製品)?	1581
130-9	201	IV0-41	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	72.4	36.5	11.3	30.5	石槍未製品?	1372
130-10	201	IVS-52	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	66.7	37.6	12.0	31.2	石鏃? 光沢	8507
130-11	202	IVS-41	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	44.7	60.0	16.4	34.7	削器?	1621
130-12	202	IVQ-49	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	74.2	32.2	12.4	25.4	石槍・石鏃未製品?	3645
130-13	202	IV0-43	Ⅲ	両面調整石器	珩質頁岩	70.5	45.9	22.6	62.2	光沢。石鏃刃部再加工?	8722
130-14	202	IVN-44	Ⅱ	両面調整石器	珩質頁岩	48.3	25.1	10.6	10.2	石鏃(未製品)?	8730
131-1	-	IVT-34	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	28.0	12.0	6.0	1.6		7133
131-2	-	IVQ-49	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	40.0	17.0	5.0	2.5	素材剥片ヒンジフラクチャー	3441
131-3	202	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	42.9	20.1	4.3	3.2	素材剥片ステップフラクチャー	836
131-4	202	IV0-40	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	(41.5)	21.4	4.4	(3.2)		845
131-5	202	IVS-35 Sec5	Ⅲ-7,8	石匙	珩質頁岩	60.5	22.0	8.0	5.3	アスファルト	3543
131-6	-	IVP-46	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	65.0	22.0	6.0	6.9		3473
131-7	-	IVQ-96 Sec1	Ⅲ-1	石匙	珩質頁岩	45.5	14.0	9.0	2.8		843
131-8	202	IVS-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	42.0	17.0	5.0	2.7		840
131-9	-	IVR-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	46.0	19.0	11.0	6.7		3437
131-10	-	IVR-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	50.0	22.0	8.0	4.9		6059
131-11	202	IVS-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	49.0	19.0	6.0	3.7		823
131-12	-	IVN-47	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	60.0	26.0	12.0	11.5	表面先端鈍理	3445
131-13	202	IVS-34 Sec7	Ⅲ-2	石匙	珩質頁岩	56.0	30.0	9.0	8.3	素材剥片ウートラパッセ	3552
131-14	202	IVT-29	I	石匙	珩質頁岩	45.0	33.0	7.0	4.8		3504
131-15	202	IVS-35	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	67.0	24.0	12.0	8.9		3512
131-16	-	IVR-45	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	(61.5)	23.5	9.0	(6.2)		842
131-17	-	IVR-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	46.0	24.0	8.0	3.5		6072
131-18	-	IVQ-37	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	62.0	34.0	9.0	10.2		1340
131-19	-	IVT-52	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	50.0	28.0	8.0	5.5		6499
131-20	202	IVT-51	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	53.9	(20.2)	7.5	(5.0)		862
131-21	202	IVW-31	I	石匙	珩質頁岩	60.0	20.0	5.0	4.1		3486
131-22	202	IVQ-46	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	84.0	31.0	13.0	25.7		3480
131-23	202	IVQ-37	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	70.0	30.0	12.0	11.5		1820
131-24	202	IVT-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	45.5	14.0	7.0	3.6		3449
131-25	202	IVS-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	67.0	34.0	12.0	22.8		6081
131-26	202	IVS-50	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	50.0	30.0	9.0	7.7		858
132-1	-	IVQ-47	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	48.0	14.0	7.0	2.6		6055
132-2	-	IV0-47	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	72.0	34.0	16.0	33.0	アスファルト挟り部に微量	6084
132-3	202	IVS-47	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	51.2	20.2	3.0	2.8		844
132-4	202	IVN-45	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	45.9	32.3	8.9	6.9		853
132-5	202	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	56.5	22.0	6.0	4.2		860
132-6	-	IVR-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	46.0	22.0	8.0	4.2	つまみ部先端	6608
132-7	202	IVS-50	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	75.0	36.0	11.0	22.6	正面右下下部アスファルト	3478
132-8	202	IV1-34	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	95.4	34.5	15.9	(32.5)	両側縁の一部火ハネ	7140
132-9	202	IV0-43	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	41.0	25.5	8.8	7.1	アスファルト	2889
132-10	202	IVR-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	58.1	22.1	7.2	9.1	素材剥片ウートラパッセ	871
132-11	202	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	79.3	45.1	11.9	36.3		852
132-12	202	IVP-37	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	71.0	39.0	18.0	26.8		1783
132-13	202	IVP-42	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	54.8	24.4	8.3	10.6		856
132-14	202	IVS-49	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	71.2	34.6	10.9	22.0		830
132-15	202	IVR-48	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	64.8	29.5	8.3	11.4		834
132-16	203	IVM-56	Ⅲ	石匙	珩質頁岩	58.5	32.6	4.6	9.7	素材剥片ヒンジフラクチャー	828

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(9)

図・No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
132-17	203	IVP-41	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	68.8	31.8	10.2	15.8	アスファルト	805
132-18	203	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	66.6	47.1	9.6	22.9	アスファルト	798
133-1	203	IVQ-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	79.0	29.0	8.0	11.5	アスファルト	6373
133-2	203	IVR-37	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	92.7	29.6	7.7	14.4	アスファルト	804
133-3	203	IVR-31	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	114.3	64.5	20.8	(90.4)	刃部光沢、正面下辺にガジリ	3547
133-4	203	IVS-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	75.5	31.3	14.7	27.0	アスファルト	8506
133-5	203	IVN-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	87.4	43.8	16.6	38.9	アスファルト	2953
133-6	203	IVQ-37 Sec1	Ⅲ-2	石匙	珪質頁岩	91.1	45.1	14.1	38.7	刃部光沢、S-4	810
133-7	203	IVR-43	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	83.0	26.0	17.0	21.5	アスファルト	3934
133-8	203	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	72.5	33.9	10.0	20.5	上面節理面、 素材剥片ステップフラクチャー	825
133-9	-	IVS-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	(56.2)	(31.6)	6.5	(7.7)	アスファルト	801
133-10	203	IVN-39	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	96.4	32.4	12.2	32.8		6312
133-11	203	IVT-35	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	70.0	38.0	9.0	13.9	つまみ部は礫皮付近の軟質部	3543
133-12	203	IVS-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	(73.7)	51.4	17.2	(66.8)		1380
134-1	203	IVP-43	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	63.6	29.8	8.8	18.1	アスファルト	802
134-2	-	IVS-35	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	42.0	22.0	8.0	6.0		3500
134-3	203	IVR-35	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	54.0	12.0	8.0	3.9	つまみ部は礫皮付近の軟質部	830
134-4	203	IVT-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	55.9	21.6	13.3	8.0	つまみ部は礫皮付近の軟質部	835
134-5	203	IVQ-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	48.8	19.4	6.0	4.7		854
134-6	203	IVU-29	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	75.0	19.0	7.5	6.4	上部は礫皮付近の軟質部	3521
134-7	-	IVR-96	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	68.0	22.0	10.0	9.2		6091
134-8	203	IVS-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	71.3	36.5	11.4	32.5		829
134-9	-	IVQ-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	72.0	38.0	16.0	34.2		6482
134-10	-	IVR-37	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	83.0	42.0	8.0	25.7	上面節理面、 素材剥片ステップフラクチャー	1828
134-11	203	IVR-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	55.4	30.9	9.0	14.6		849
134-12	203	IVQ-29	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	59.0	24.0	8.0	9.6		1786
134-13	-	IVT-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	53.0	26.0	9.0	7.5		3442
134-14	-	IVN-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	57.0	30.0	9.0	7.5		3464
134-15	-	IVQ-39	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	67.0	31.0	7.0	8.1		1341
134-16	203	IVS-34	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.0	21.5	5.0	2.6		3519
134-17	-	IVS-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	46.0	21.0	7.0	3.5		6073
134-18	203	IVS-35	Ⅲ-7	石匙	珪質頁岩	32.0	26.5	5.0	3.8		3533
134-19	-	IVO-43	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	44.0	41.0	8.0	9.3		3469
134-20	203	IVR-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	(43.2)	15.7	7.0	(3.2)		876
134-21	-	IVN-41	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	44.0	51.5	12.0	12.8		1808
134-22	203	IVR-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	59.2	31.8	9.7	12.3		851
135-1	-	IVT-48	Ⅲ	石匙	玉髄質珪質頁岩	43.0	32.0	5.0	2.6		848
135-2	-	ブロック HIS103	3回目 敷上:子	石匙	珪質頁岩	41.0	47.0	9.0	7.1		1518
135-3	-	IVQ-40	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	41.0	35.0	9.0	8.8		855
135-4	203	IVS-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	68.5	25.2	8.8	13.4	素材剥片ヒンジフラクチャー、S-164	864
135-5	-	IVO-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	59.0	32.0	5.0	5.5		846
135-6	203	IVS-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	(55.4)	27.6	7.7	(9.5)		872
135-7	-	IVR-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	47.0	26.0	7.0	4.4		8069
135-8	-	IVU-31	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	30.0	23.0	7.0	2.9		8114
135-9	203	IVO-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	52.5	42.0	6.0	7.9	アスファルト	3463
135-10	203	IVQ-37	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.6	51.4	8.4	15.5		826
135-11	203	IVS-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	36.9	68.8	8.9	22.2	上部礫皮付近の軟質部	831
135-12	203	IVO-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	44.6	58.8	9.0	18.3	挟り部にアスファルト?微量	936
135-13	-	IVN-43	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	55.0	55.0	10.0	22.1	アスファルト	6354
135-14	203	IVQ-36 Sec1	Ⅲ-2	石匙	珪質頁岩	73.0	30.6	7.7	16.2		859
135-15	203	IVS-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	58.0	31.0	10.0	10.9	アスファルト、S-49	2892
135-16	203	IVN-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	60.8	46.5	11.2	27.9	素材剥片ヒンジフラクチャー	1379
135-17	203	IVT-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	56.9	66.1	7.8	18.2	アスファルト	807
136-1	203	IVT-50	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	35.8	52.0	7.8	13.5	アスファルト	837
136-2	204	IVS-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	42.4	63.1	11.1	22.7		838
136-3	204	IVS-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	27.1	70.7	10.9	15.2	S-119	873
136-4	204	IVN-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	56.8	50.0	9.2	24.7		873
136-5	204	IVQ-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	26.9	42.0	10.5	11.3	アスファルト	806
136-6	204	IVS-34	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	36.0	32.0	6.5	4.6		3531
136-7	204	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	53.1	30.4	10.2	15.1		850
136-8	204	IVR-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	58.5	(79.2)	14.7	(53.6)	正義とともに下部刃部に薄く光沢	847
136-9	204	IVO-44	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	38.5	46.5	8.0	14.1	アスファルト	803

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(10)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No
136-10	204	IVT-35	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	60.3	65.7	12.6	28.2	アスファルト	3546
136-11	204	IVN-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	36.7	42.4	12.0	13.3		3471
136-12	204	IVR-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	35.0	33.0	7.0	3.7	アスファルト	2891
136-13	204	IVM-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.0	22.0	7.0	3.2		3475
136-14	204	IVP-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	28.4	46.5	9.4	14.0		833
136-15	204	IVR-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	65.5	48.0	8.0	10.7		6036
136-16	-	IVT-34	Ⅲ-7~8	石匙	珪質頁岩	37.0	34.0	4.0	2.8		3540
136-17	-									欠番	3540
137-1	-	IVS-44	I	石匙	珪質頁岩	55.0	49.5	11.0	18.9		1771
137-2	204	IVQ-36 Sec1	Ⅲ-2	石匙	珪質頁岩	55.4	14.8	9.2	6.6		841
137-3	204	IVT-29	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	60.0	50.0	20.0	39.2		3520
137-4	-	IVR-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	53.0	38.0	101.0	15.8		3467
137-5	204	IVS-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	53.0	48.0	13.0	22.0	アスファルト	3951
137-6	204	IVT-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	46.0	34.0	8.0	13.8	緑色	992
137-7	204	IVN-45	I	石匙	珪質頁岩	60.2	71.9	12.8	32.2	アスファルト	1822
137-8	204	IVR-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	28.0	62.5	6.7	11.2		888
137-9	-	IVT-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	32.0	46.0	7.0	4.5		6043
137-10	-	IVS-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	77.0	71.0	14.0	45.6		8503
137-11	204	IVR-37	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	51.6	51.0	13.5	29.8	アスファルト	797
137-12	-	IVV-33	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	39.0	21.0	6.0	2.5		3503
137-13	204	IVN-40	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	52.0	46.5	9.0	13.0	アスファルト	1779
137-14	-	IVO-41	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	57.0	29.0	6.0	4.7		1802
137-15	204	IVS-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	91.0	62.0	15.0	26.8	つまみ部2個	6079
137-16	204	IVS-36 Sec5	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	45.0	55.0	11.0	14.1	アスファルト	3430
138-1	204	IVQ-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	56.5	44.0	8.0	14.2	アスファルト	3931
138-2	204	IVQ-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	32.5	88.9	11.7	18.7	アスファルト、特8	868
138-3	204	IVO-40	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	45.5	64.6	9.2	22.3		930
138-4	204	IVU-35	SN45下	石匙	珪質頁岩	23.5	48.5	5.0	3.7		3513
138-5	204	IVT-52	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	33.7	56.9	8.3	12.4		913
138-6	204	IVS-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	37.4	52.5	8.6	11.4		921
138-7	204	IVR-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	38.3	53.2	10.8	18.5		821
138-8	204	IVR-37	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	39.5	56.0	9.2	16.1		931
138-9	205	IVQ-50	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	35.4	60.8	13.1	24.4		925
138-10	205	IVO-41	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	45.2	73.5	10.7	29.9		933
138-11	205	IVQ-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	35.5	60.6	8.6	12.0		917
138-12	-	IVN-44	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	53.0	61.0	9.0	26.2		6480
138-13	205	IVR-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	38.5	55.6	10.1	15.1		909
138-14	205	IVT-33 ブロック9	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.8	69.8	11.5	15.8		2858
139-1	205	IVS-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.8	69.8	11.5	15.8		6060
139-2	205	IVT-34	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	36.0	69.7	12.4	22.3		8728
139-3	205	IVS-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	48.0	49.0	13.0	16.3	アスファルト	6063
139-4	205	IVT-44	I	石匙	珪質頁岩	58.1	66.9	14.9	41.4	Sec3	1378
139-5	205	IVS-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	43.1	50.1	8.2	12.5		911
139-6	205	IVO-41	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.3	72.5	12.3	(17.6)	アスファルト	1803
139-7	205	IVR-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	51.5	53.3	11.2	19.2		922
139-8	205	IVR-35	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	35.6	74.7	9.1	14.9	アスファルト	1070
139-9	205	IVP-42	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	33.0	64.0	11.0	16.1	アスファルト	6478
139-10	205	IVN-44	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	41.1	56.8	11.3	16.7	アスファルト、S-67	899
139-11	205	IVN-39	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	53.0	68.8	13.8	33.6	アスファルト	900
139-12	205	IVQ-45	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	31.9	66.8	9.2	12.7	アスファルト	919
139-13	205	IVR-49	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	46.4	62.7	9.3	17.8	アスファルト	903
139-14	205	IVT-34	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	26.0	30.0	6.0	2.0		3508
140-1	205	IVO-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	74.0	69.5	13.0	47.5	正面切り部変色。アスファルト痕? 接着の組織? 写真参照	908
140-2	205	IVT-34	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	42.5	56.0	12.0	18.6	アスファルト	2859
140-3	205	IVS-47	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	40.0	61.0	9.0	16.6	アスファルト、 つまみ部繊維付近の軟質部	3466
140-4	205	IVS-37	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	36.0	53.0	10.0	13.4	裏面下部にアスファルト	1817
140-5	205	IVQ-48	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	34.0	43.1	10.5	13.3	アスファルト	935
140-6	205	IVV-30	I	石匙	珪質頁岩	49.0	40.0	10.0	12.7	アスファルト	3416
140-7	205	IVQ-46	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	42.0	52.0	10.0	16.0	アスファルト	3450
140-8	205	IVT-34	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	43.0	54.0	10.0	19.4	アスファルト	2860
140-9	205	IVP-38	Ⅲ	石匙	珪質頁岩	51.5	74.0	16.0	28.8	アスファルト、S-12	942

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(11)

図・No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
140-10	205	IVT-50	I	石匙	珪質頁岩	37.2	53.2	10.2	14.4		932
140-11	205	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	36.2	39.6	7.9	8.5		931
140-12	205	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	42.5	47.4	10.9	15.5	アスファルト、 つまみ部繰皮付近の軟質部	3933
140-13	206	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	67.0	60.2	11.0	34.3	アスファルト	2896
140-14	206	IVS-44	III	石匙	珪質頁岩	27.1	24.4	5.2	2.5	アスファルト	895
140-15	206	IVT-47	III	石匙	珪質頁岩	48.5	50.9	10.2	20.6		926
140-16	206	IVS-44	III	石匙	珪質頁岩	65.1	(37.4)	14.9	(29.6)	アスファルト、 下部刀部の表裏に薄く光沢	878
140-17	206	IVS-35	III	石匙	珪質頁岩	47.2	34.9	11.6	12.3	アスファルト、 下部刀部の表裏に薄く光沢	8727
141-1	206	IVR-34	I	石匙	珪質頁岩	50.0	53.0	9.0	19.3	アスファルト	1331
141-2	206	IVT-33	III	石匙	珪質頁岩	47.0	60.0	11.0	22.1	アスファルト	2856
141-3	206	IVO-43	II	石匙	珪質頁岩	32.1	34.3	8.2	5.6	アスファルト	896
141-4	206	IVR-36 Sec1	III-2	石匙	珪質頁岩	30.6	54.5	7.3	10.0	S-48	924
141-5	206	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	20.8	29.9	5.0	2.1		918
141-6	206	IVT-29	III	石匙	珪質頁岩	44.0	58.0	9.0	17.0	アスファルト	2537
141-7	206	IVT-51	III	石匙	珪質頁岩	41.8	61.9	6.7	10.4		916
141-8	206	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	42.8	53.4	9.8	15.6		897
141-9	206	IVT-28	I	石匙	珪質頁岩	42.5	60.0	9.0	13.8	アスファルト	2854
141-10	206	IVS-50	III	石匙	珪質頁岩	41.5	49.5	8.9	13.9	つまみ部繰皮付近の軟質部	923
141-11	206	IVN-44	III-1	石匙	珪質頁岩	70.3	69.2	14.7	47.5	アスファルト、Sec2	1381
141-12	206	IVQ-34	III	石匙	珪質頁岩	37.9	47.4	7.8	9.0		910
141-13	206	IVT-50	III	石匙	珪質頁岩	36.9	62.4	9.5	13.0		927
141-14	206	IVS-45	III	石匙	珪質頁岩	66.3	64.7	14.8	47.4	アスファルト	939
142-1	206	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	50.0	54.4	11.1	20.5		940
142-2	206	IVQ-34	III	石匙	珪質頁岩	49.2	(59.3)	10.9	(26.3)	アスファルト	938
142-3	206	IVN-45	III-1	石匙	珪質頁岩	45.4	45.8	10.6	19.5	アスファルト	1377
142-4	206	IVN-43	III	石匙	珪質頁岩	53.8	68.2	15.2	26.6		869
142-5	206	IVR-38	III	石匙	珪質頁岩	38.6	57.1	13.8	30.0	アスファルト	898
142-6	206	IVS-35	III	石匙	珪質頁岩	48.0	59.0	9.0	13.7	アスファルト	2851
142-7	206	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	41.0	(45.0)	11.0	(14.1)	アスファルト	2889
142-8	206	IVM-38	I	石匙	珪質頁岩	62.0	78.8	14.1	42.7	アスファルト	1376
142-9	206	IVS-50	III	石匙	珪質頁岩	54.1	62.2	9.8	22.4		915
142-10	206	IVO-40	III	石匙	珪質頁岩	29.4	43.4	7.6	7.0		941
142-11	206	IVT-28	III	石匙	珪質頁岩	51.0	62.0	15.0	30.8	アスファルト	2853
142-12	206	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	58.6	37.0	8.2	12.7	つまみ部上面繰皮	2948
142-13	206	IVQ-51	III	石匙	珪質頁岩	44.0	40.0	8.8	14.2	アスファルト	902
143-1	207	IVR-30	I	石匙	珪質頁岩	41.9	62.5	12.1	26.6	アスファルト	929
143-2	207	IVS-47	II	石匙	珪質頁岩	46.5	51.8	8.9	15.8	アスファルト	943
143-3	207	IVV-32	III	石匙	珪質頁岩	43.1	43.5	8.3	9.7		928
143-4	207	IVN-44	III	石匙	珪質頁岩	47.0	77.4	12.4	30.0	アスファルト	3482
143-5	207	IVT-41	I	石匙	珪質頁岩	57.4	58.1	13.3	30.8	刃部わずかに光沢	906
143-6	207	IVR-50	III	石匙	珪質頁岩	46.8	67.2	11.7	23.8	アスファルト	901
143-7	207	IVR-46	III	石匙	珪質頁岩	54.0	76.0	14.4	41.1		920
143-8	207	IVQ-46	III	削器	珪質頁岩	53.0	48.0	16.0	28.6	アスファルト	2976
143-9	207	IVS-48	III	微細剥片	珪質頁岩	33.0	39.0	7.0	7.1	アスファルト	2948
143-10	207	IVQ-49	III	削器	珪質頁岩	56.0	36.0	11.0	7.6	アスファルト、正面右に微細剥離痕	3969
143-11	207	IVV-30	I	削器	珪質頁岩	88.0	30.0	10.0	16.7		6996
144-1	207	IVQ-45	III	搔器	珪質頁岩	99.0	45.6	18.6	70.1	削器と複合	8593
144-2	207	IVR-48	III	搔器	珪質頁岩	42.4	31.9	12.1	14.2		4152
144-3	207	IVP-41	III	搔器	珪質頁岩	57.0	38.0	10.0	19.0	削器と複合	1958
144-4	207	IVQ-45	III	搔器	珪質頁岩	48.4	43.7	11.1	23.0		990
144-5	207	IVO-45	III	削器	珪質頁岩	(56.4)	26.4	6.3	(12.4)		1018
144-6	207	IVN-45	III	削器	珪質頁岩	59.8	48.7	12.7	23.3		1382
144-7	207	IVQ-40	III	削器	珪質頁岩	70.5	36.9	22.1	44.0	素材剥片ウートラバッセ	998
144-8	-	ブロック HIS103	覆土	削器	珪質頁岩	51.0	26.0	9.0	6.5	石匙?	1507
144-9	207	IVL-30	III	削器	珪質頁岩	84.8	41.7	16.8	34.0		7205
144-10	207	IVV-30	III	削器	珪質頁岩	74.2	42.5	13.3	35.8		7173
144-11	207	IVN-44 Sec2	III-1	削器	珪質頁岩	91.5	40.4	13.0	48.9	正面右側軟質部	1543
144-12	207	IVQ-45	III	削器	珪質頁岩	38.4	38.8	9.7	12.4		993
144-13	-	IVS-33	III	削器	珪質頁岩	57.0	42.0	15.0	23.4		7197
144-14	207	IVN-44	III	削器	珪質頁岩	80.0	86.0	17.0	107.8		3910
145-1	207	IVO-44	III	削器	珪質頁岩	112.6	42.5	26.1	105.2	正面右側軟質部	6461

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(12)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
145-2	208	IVN-42	Ⅲ	削器	珩質頁岩	60.8	40.8	18.2	39.6	正面左側軟首部	1383
145-3	-	IVR-45	Ⅲ	削器	珩質頁岩	38.0	26.0	8.0	7.1		3658
145-4	208	IVR-35	Ⅲ	削器	珩質頁岩	(68.7)	36.2	8.1	(26.6)		1010
145-5	208	IVR-45	Ⅲ	削器	珩質頁岩	68.2	29.9	11.7	20.1		8506
145-6	208	IVO-45	Ⅲ	削器	珩質頁岩	83.3	49.3	17.0	63.5		8383
145-7	208	IVU-30	Ⅲ	削器	珩質頁岩	55.4	71.3	15.3	49.5		7206
145-8	208	IVU-34	Ⅲ	削器	珩質頁岩	80.6	40.6	17.3	44.6	素材剥片打面線状・ウートラパッセ	7208
145-9	208	IVS-31	Ⅲ	削器	珩質頁岩	83.4	44.6	11.5	37.6		7845
145-10	208	IVQ-48	Ⅲ	削器	珩質頁岩	102.3	33.1	10.3	31.8		1014
145-11	208	IVO-41	Ⅲ	削器	珩質頁岩	68.8	34.0	7.9	19.5		1017
145-12	208	IVQ-41	I	削器	珩質頁岩	61.0	48.2	16.3	46.5		1385
145-13	208	IVU-34 SN45周辺	2	削器	珩質頁岩	69.1	37.7	8.7	16.4		8613
146-1	208	IVN-39	Ⅲ	削器	珩質頁岩	84.8	50.8	13.9	55.0		1384
146-2	208	IVT-35	Ⅲ上	削器	珩質頁岩	95.9	58.7	22.4	82.1		7293
146-3	208	IVP-45	Ⅲ	削器	珩質頁岩	80.6	25.8	12.6	20.8	アスファルト・石蔵?	6427
146-4	208	IVQ-45	Ⅲ	削器	珩質頁岩	51.0	27.2	9.3	14.7	アスファルト	991
146-5	208	IVM-44	Ⅲ	削器	珩質頁岩	18.9	40.3	8.1	6.3	アスファルト	6335
146-6	208	IVQ-46	Ⅲ	削器	珩質頁岩	33.0	26.0	6.0	3.5	アスファルト	3651
146-7	208	IVS-44	I	削器	珩質頁岩	41.0	20.0	6.0	4.0	正面左側にアスファルト微量。 右側に光沢	2302
146-8	208	IVR-44	Ⅲ	削器	珩質頁岩	37.7	19.6	9.2	6.2		1387
146-9	208	IVN-44	Ⅱ	削器	珩質頁岩	75.0	25.7	10.8	18.2		8592
146-10	208	IVO-43	Ⅲ	削器	珩質頁岩	46.0	22.3	8.4	8.4		967
146-11	-	IVR-48	Ⅲ	削器	珩質頁岩	37.0	29.0	7.0	8.2	石蔵・削器・石鏝未製品?	3662
146-12	-	IVR-48	Ⅲ	削器	珩質頁岩	42.0	27.0	7.0	6.9	石蔵・削器・石鏝未製品?	3659
146-13	208	IVQ-46	Ⅲ	削器	珩質頁岩	40.0	29.0	7.0	7.4	石蔵・削器・石鏝未製品?	3759
146-14	-	IVO-42	Ⅲ	削器	珩質頁岩	41.0	23.0	5.0	3.9	石蔵・削器・石鏝未製品?	3756
146-15	-	IVU-30	I	削器	珩質頁岩	36.0	40.0	11.0	10.9	三脚石器に形状類似	7659
146-16	208	ブロック H1S103	覆土	削器	珩質頁岩	33.4	40.0	9.6	10.3		1511
146-17	-	IVM-47	Ⅲ	削器	珩質頁岩	45.0	28.0	9.0	12.8	石蔵・削器・石鏝未製品?	3671
146-18	208	ブロック H1S103	覆土	削器	珩質頁岩	52.6	39.0	12.4	27.7		1508
146-19	208	IVU-34	Ⅲ	両極石器	珩質頁岩	43.8	21.5	11.3	11.0	正面側左右から両極打撃	8729
146-20	-	IVS-48	Ⅲ	両極石器	珩質頁岩	22.0	33.0	12.0	8.4		8117
146-21	-	IVV-31	I	両極石器	玉髄質珩質頁岩	22.1	13.4	3.5	1.0		1080
147-1	-	IVN-41	Ⅲ	両極石器	珩質頁岩	42.9	40.4	11.2	23.0		1079
147-2	-	IVS-43	Ⅲ	両極石器	珩質頁岩	43.5	39.4	12.9	26.7		1081
147-3	208	IVT-44	Ⅲ	両極石器	珩質頁岩	34.0	36.7	15.2	21.0		1078
147-4	-	IVQ-39	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	30.4	46.9	15.5	16.7		1082
147-5	209	IVU-34	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	34.0	23.0	6.0	5.0	左右縁辺両極打法?石鏝未製品?	7793
147-6	-	IVT-47	Ⅱ	二次加工剥片	珩質頁岩	(28.0)	17.0	5.0	(2.5)	石鏝未製品?	3653
147-7	-	IVN-46	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	25.0	17.0	3.0	0.7	石蔵・削器・石鏝未製品?	3679
147-8	209	IVQ-37 Secl	Ⅲ-4	二次加工剥片	玉髄質珩質頁岩	(27.0)	16.0	6.0	(1.6)	石鏝未製品?	3753
147-9	-	IVQ-47	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	39.0	25.0	9.0	5.9	石蔵・削器・石鏝未製品?	3788
147-10	209	IVS-35 Sec5	Ⅲ-7,8	二次加工剥片	珩質頁岩	50.0	20.0	7.0	6.8	石鏝未製品?	7995
147-11	-	表様	-	二次加工剥片	珩質頁岩	36.0	33.0	8.0	6.8	石蔵・削器・石鏝未製品?	3686
147-12	209	IVR-56	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	38.0	15.5	5.0	2.8	石蔵・削器・石鏝未製品?	3801
147-13	-	IVP-44	-	二次加工剥片	珩質頁岩	38.0	22.0	5.0	2.9	石蔵・削器・石鏝未製品?	3680
147-14	-	IVO-42	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	29.0	16.0	7.0	1.8	石蔵・削器・石鏝未製品?	3760
147-15	-	IVR-48	Ⅱ	二次加工剥片	珩質頁岩	29.0	22.0	7.0	4.4	石蔵・削器・石鏝未製品?	3657
147-16	-	IVO-46	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	25.0	19.0	6.5	3.5	石蔵・削器・石鏝未製品?	3663
147-17	-	IVO-40	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	37.0	20.0	3.0	2.0	石鏝未製品?	3660
147-18	209	IVN-43	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	30.0	22.5	5.0	1.5	石蔵・石鏝未製品?	3715
147-19	-	IVN-46	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	40.0	21.0	5.0	2.8	石蔵未製品?石蔵?	3665
147-20	-	IVS-48	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	32.0	23.0	6.0	2.4	石蔵未製品?	3754
147-21	-	IVM-46	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	32.5	16.0	4.0	1.6	石蔵未製品?	3749
147-22	209	IVU-30	I	二次加工剥片	珩質頁岩	35.0	74.0	4.0	4.1	石蔵未製品?	7686
147-23	-	IVN-47	Ⅲ	削器	珩質頁岩	(24.0)	16.0	6.0	(2.4)	石蔵未製品?	3758
147-24	-	IVN-47	Ⅲ	削器	珩質頁岩	(17.0)	12.0	3.0	(0.7)	石蔵未製品?火ハネ	3683
147-25	-	IVO-46	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	30.0	25.0	7.0	3.4	石蔵未製品?	3664
147-26	-	IVN-40	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	30.5	21.0	7.0	4.5	石蔵未製品?	3738
147-27	-	IVR-48	Ⅱ	二次加工剥片	珩質頁岩	34.0	21.0	8.0	5.0	石蔵未製品?	3675
147-28	209	IVR-47	Ⅲ	二次加工剥片	珩質頁岩	37.0	24.0	4.5	5.0	石蔵未製品?	3734

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧) (13)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
147-29	—	IVR-48	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	21.0	8.0	6.3	石礫未製品?	3682
147-30	—	IVN-46	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	39.0	18.0	5.0	2.2	石礫未製品?	3690
147-31	—	IVS-49	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	29.0	17.0	5.0	1.9	石礫未製品?	3712
147-32	—	IVN-47	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	30.0	15.0	5.0	2.2	石礫未製品?	3688
147-33	—	IVR-48	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	16.0	7.0	(3.4)	石礫未製品? 火ハネ	3676
147-34	—	IVN-46	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	20.0	15.0	3.0	0.6	未製品?	3753
148-1	—	IVR-48	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	(34.0)	24.0	8.0	(4.1)	未製品?	3762
148-2	—	IVQ-50	Ⅱ	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	24.0	8.0	6.3	石楕破片?石器未製品?	3661
148-3	—	IVN-46	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	40.0	26.0	8.0	8.5	石礫未製品?	3677
148-4	209	IVU-30	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	78.0	27.0	10.0	13.8	石匙?	7073
148-5	209	IVS-34 Sec7	Ⅲ下	二次加工剥片	珪質頁岩	91.0	106.0	29.0	189.6	光沢	7074
148-6	209	IVU-29	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	47.0	23.0	6.0	5.7	割器?石礫未製品?加工側縁非直線的	7660
148-7	209	IVY-30	I	二次加工剥片	珪質頁岩	87.7	61.6	21.5	(95.5)	異形石器?ガジリ有	7176
148-8	209	IVN-46	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	51.0	31.0	9.0	8.3	異形石器?	4163
148-9	—	IVM-47	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	50.2	29.2	9.0	6.4	割器?加工側縁非直線的	3683
148-10	—	ブロック HIS103	覆土	二次加工剥片	珪質頁岩	53.0	37.0	12.0	16.6		1506
148-11	209	IVS-35	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	27.0	5.0	2.4	アスファルト	3417
148-12	209	IVU-34 ブロック7	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	38.0	9.0	10.3	アスファルト	3432
148-13	209	IVQ-36	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	29.0	5.0	3.5	アスファルト	3944
148-14	209	IVS-35 Sec5	Ⅲ-7,8	二次加工剥片	珪質頁岩	50.0	36.0	15.0	23.9	アスファルト	3431
148-15	209	IVN-45	Ⅲ	二次加工剥片	珪質頁岩	78.0	42.0	15.0	33.4	アスファルト	3952
148-16	209	IVT-50	Ⅲ	二次加工剥片	玉髄質珪質頁岩	47.0	45.0	16.0	26.1	アスファルト	3950
148-17	—	IVR-44 Sec3	Ⅲ-10	二次加工剥片	珪質頁岩	29.0	23.0	9.0	4.7	アスファルト	3946
149-1	—	IVN-46	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	20.0	9.0	5.0	0.7	黒褐色(10YR3/1)	4162
149-2	209	IVR-40	Ⅲ	異形石器	玉髄質珪質頁岩	(25.6)	12.4	6.3	(1.7)	石礫?黄灰色(2.5Y6/1)	953
149-3	209	IVQ-39	Ⅲ	異形石器	玉髄質珪質頁岩	24.6	12.3	5.5	1.5	灰黄色(2.5Y7/2)	952
149-4	209	IVP-43	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	23.4	26.3	5.8	2.6	黒色(2.5Y2/1), S-89	949
149-5	209	IVT-35 ブロック12	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	81.0	42.0	18.0	36.3	黄灰色(2.5Y6/1)	8718
149-6	209	IVS-49	Ⅲ	異形石器	ジャスパー	84.3	32.4	11.1	(22.1)	火ハネ 暗灰色(N3/0), S-173	1067
149-7	209	IVR-46	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	60.0	33.6	10.4	18.7	灰黄褐色(10YR4/2), S-70	944
149-8	209	IVR-49	Ⅲ下部	異形石器	珪質頁岩	39.0	29.8	5.9	(3.1)	黒褐色(10YR3/1), S-184	1068
149-9	209	IVQ-48	Ⅲ	異形石器	黒曜石	21.8	17.1	7.6	1.7	黒色(N2/0)	945
149-10	209	IVQ-41	Ⅲ	異形石器	玉髄質	(38.0)	29.4	4.7	(3.1)	被熱 灰白色(2.5Y8/1), S-73	950
149-11	209	IVQ-42	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	52.3	44.3	12.8	17.4	黄灰色(2.5Y4/1)	4164
149-12	209	IVT-34 ブロック12	Ⅲ	異形石器	緑色凝灰岩	28.2	23.2	5.1	1.3	緑灰色(10G7/1)	2846
149-13	209	IVQ-45	Ⅲ	異形石器	黒曜石	32.0	13.2	5.2	2.1	黒色(N2/0)	947
149-14	209	IVR-47	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	42.2	12.7	9.1	5.3	黒褐色(2.5Y3/1), S-89	946
149-15	209	IVS-45	Ⅲ	異形石器	凝灰石	34.4	17.9	6.4	2.3	灰白色(5G/8/1), 特55	948
149-16	209	IVT-32	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	64.8	39.6	8.3	12.0	灰白色 灰黄色(2.5Y7/2)	2844
149-17	209	IVQ-41	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	45.3	52.7	7.2	15.5	黒灰色(10YR6/1), S-38	954
149-18	210	IVU-33	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	39.6	16.3	6.7	3.3	黄灰色(2.5Y4/1)	2843
149-19	210	IVP-46	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	36.0	21.9	6.0	4.4	灰黄色(2.5Y6/2) アスファルト	1069
149-20	210	IVR-45	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	143.2	50.8	35.5	221.7	石核?裏面アスファルト? 灰黄褐色(10YR5/2)	6280
149-21	210	IVS-36	Ⅲ	異形石器	珪質頁岩	17.0	31.0	8.0	2.2	被熱、灰色(N4/0)	8112
150-1	210	IVT-28	I	微細剥片	凝灰岩	123.0	8.0	22.0	159.2	刃部摩滅	7007
150-2	210	IVQ-36 Sec1	Ⅲ-2	微細剥片	珪質頁岩	118.0	54.0	20.0	96.1	打面小さい	1533
150-3	210	IVT-29	Ⅲ	微細剥片	珪質頁岩	74.0	128.0	23.0	145.1		7006
150-4	210	ブロック HIS103 3回目 取上子		微細剥片	黒曜石	24.0	21.0	6.0	2.5	被熱	1519
150-5	210	IVS-45	Ⅲ	微細剥片	珪質頁岩	46.0	26.0	10.0	9.3	アスファルト	3938
150-6	210	IVQ-37	Ⅲ	微細剥片	珪質頁岩	72.0	21.0	8.0	9.6	石刃状、剥片剥離軸はねじれ	1763
150-7	210	IVU-30	I	微細剥片	珪質頁岩	47.0	25.0	9.0	8.2	アスファルト	7682
150-8	210	IVU-34	Ⅲ	微細剥片	珪質頁岩	141.0	63.0	27.0	139.8		7073
150-9	210	IVR-48	Ⅲ	微細剥片	珪質頁岩	42.0	36.0	13.0	11.7	アスファルト、石匙?	3968
150-10	210	IVQ-55	Ⅲ	微細剥片	珪質頁岩	41.0	24.0	10.0	5.9	アスファルト	3956
151-1	211	IVT-48	Ⅲ	石核	黒曜石	26.4	22.4	20.7	11.0		8783
151-2	211	IVR-48	Ⅲ	石核	黒曜石	25.9	28.8	16.7	12.2	下部打面つぶれ 最後は両極打法	979
151-3	211	IVV-33	Ⅲ	石核	黒曜石	33.4	33.5	15.2	14.1		8911

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(14)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
151-4	211	IVR-47	Ⅲ	石核	黒曜石	37.1	39.6	32.4	55.0		8906
151-5	211	IVR-50	Ⅲ	石核	黒曜石	18.9	42.5	27.8	23.6		8907
151-6	211	IVR-46	Ⅲ	石核	黒曜石	29.6	37.7	19.4	16.6		8788
151-7	211	IVT-35	Ⅲ	石核	黒曜石	28.2	21.5	13.5	8.5		8988
151-8	211	IVR-47	Ⅱ	石核	黒曜石	45.6	39.0	28.1	48.5		8787
151-9	211	IVT-34	Ⅲ	石核	黒曜石	41.9	37.8	32.3	53.2		8909
151-10	211	IVU-35 SN45周辺		石核	黒曜石	25.9	27.6	21.1	16.2	不純物なく良質	8908
151-11	211	IVN-42	Ⅲ	石核	黒曜石	30.5	31.2	15.4	13.3	最後両極打法?	983
151-12	211	IVO-41	Ⅲ	石核	黒曜石	27.8	38.0	25.5	26.3	不純物なく良質	8786
151-13	211	IVV-31	Ⅲ	石核	黒曜石	24.4	19.2	19.3	9.2		8912
151-14	211	IVU-33	Ⅲ	石核	黒曜石	31.1	21.4	12.0	7.2	二次加工剥片?	8910
151-15	211	IVR-45	Ⅲ	石核	黒曜石	28.9	33.5	23.2	20.5		8780
151-16	211	ブロック 旧S103	覆土	石核	珪質頁岩	29.1	44.3	20.6	27.6		5091
151-17	211	ブロック 旧S103	覆土	石核	珪質頁岩	35.1	51.2	27.3	47.2		5099
151-18	211	IVU-35	Ⅲ	石核	珪質頁岩	27.4	38.5	14.8	16.2		6689
151-19	211	IVT-48	Ⅲ	石核	珪質頁岩	33.1	47.9	20.4	31.3		5102
151-20	211	IVN-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	61.2	87.9	35.0	179.7		5270
152-1	211	IVR-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	35.8	59.8	21.0	31.6		5073
152-2	211	IVO-44	Ⅲ	石核	珪質頁岩	102.5	108.1	44.0	487.1		5003
152-3	211	IVT-33	Ⅲ	石核	珪質頁岩	27.9	47.4	22.9	31.3		7133
152-4	211	IVS-35	Ⅲ	石核	珪質頁岩	68.2	79.7	39.0	196.4		6739
152-5	211	IVO-43	Ⅱ	石核	珪質頁岩	39.0	39.3	21.9	28.8		7126
152-6	211	IVO-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	29.0	55.0	20.0	22.5		5784
152-7	—	IVS-48	Ⅲ	石核	珪質頁岩	44.0	42.0	24.0	37.9		5799
152-8	211	IVR-31	Ⅲ	石核	珪質頁岩	43.9	76.8	28.8	81.5		6584
152-9	211	IVU-34	Ⅲ	石核	珪質頁岩	35.0	38.0	16.0	18.5		7116
152-10	211	IVR-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	33.5	49.5	28.6	40.9		5211
152-11	211	IVS-35	Ⅲ-2	石核	珪質頁岩	22.4	42.3	24.7	25.2	Sec7	6602
153-1	211	IVS-35	Ⅲ下	石核	珪質頁岩	27.6	38.7	29.1	29.3		6803
153-2	211	IVN-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	55.5	62.6	47.0	187.3		5020
153-3	211	IVU-35	Ⅲ	石核	珪質頁岩	56.2	85.7	54.5	253.1		6682
153-4	211	IVS-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	23.9	29.7	26.0	22.6		5191
153-5	212	IVT-52	Ⅲ	石核	珪質頁岩	43.5	46.3	24.2	57.0		7143
153-6	212	IVO-48	Ⅲ	石核	珪質頁岩	33.4	31.6	24.6	28.3		7130
153-7	212	IVU-29 IVV-30	I	石核	珪質頁岩	105.0	87.0	40.0	412.6		6672
153-8	212	IVS-35	Ⅲ-7	石核	珪質頁岩	39.7	45.2	32.5	60.4		6615
153-9	212	IVU-33	Ⅲ	石核	珪質頁岩	46.2	75.3	36.1	118.3		6654
154-1	212	IVR-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	27.6	36.9	36.1	37.8		5015
154-2	212	IVQ-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	86.6	104.4	83.7	948.8		5287
154-3	—	IVO-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	73.8	86.3	86.3	48.5		5258
154-4	212	IVS-34	Ⅲ	石核	珪質頁岩	59.1	64.4	40.1	148.0		6632
155-1	—	IVT-29	I	石核	珪質頁岩	40.4	90.7	46.3	175.2		5148
155-2	212	IVM-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	40.9	60.8	32.5	86.0		5245
155-3	212	IVQ-45	Ⅲ	石核	珪質頁岩	28.9	35.5	23.6	25.0		7132
155-4	212	IVS-37	Ⅲ	石核	珪質頁岩	53.8	75.4	41.1	173.9		5121
155-5	212	IVR-31	Ⅲ	石核	珪質頁岩	33.1	44.8	14.0	23.3		6552
155-6	212	IVU-33	Ⅲ	石核	珪質頁岩	42.2	78.8	34.7	97.8		6677
155-7	212	IVR-44	Ⅲ	石核	珪質頁岩	31.0	44.6	20.2	25.4		5021
155-8	212	IVU-34	Ⅲ	石核	珪質頁岩	40.0	70.5	26.2	89.1		6533
155-9	212	IVQ-37	Ⅲ	石核	珪質頁岩	67.7	68.2	40.1	119.4		5028
156-1	212	IVQ-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	36.9	43.4	35.4	56.7		5236
156-2	212	IVS-35	Ⅲ	石核	珪質頁岩	67.3	84.4	66.8	378.1		7134
156-3	212	IVS-36	Ⅲ	石核	珪質頁岩	34.8	41.0	29.8	33.6		6685
156-4	212	IVS-35	Ⅲ上	石核	珪質頁岩	44.2	84.3	48.7	245.9		6777
156-5	212	IVT-37	Ⅲ	石核	珪質頁岩	31.8	34.4	29.8	40.3		5053
156-6	212	IVO-36	Ⅲ	石核	珪質頁岩	34.1	43.1	24.9	37.8		5054
156-7	212	ブロック 旧S103	覆土	石核	珪質頁岩	30.6	43.2	35.7	60.5		5093
156-8	212	IVN-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	39.2	35.9	34.3	52.6		5022
157-1	213	IVO-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	39.8	97.5	52.3	199.3		5206
157-2	213	IVS-35	Ⅲ	石核	珪質頁岩	119.2	51.3	40.1	216.0		6785
157-3	213	IVN-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	44.0	86.0	48.1	181.8		7136
157-4	213	IVS-45	Ⅲ	石核	珪質頁岩	94.8	42.5	39.1	183.2		7125

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(15)

図No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
157-5	213	IVS-34	Ⅲ	石核	珪質頁岩	55.6	131.2	62.6	417.4	S-218	7133
158-1	—	IVS-43	Ⅲ	石核	珪質頁岩	20.3	38.1	31.2	26.5		5182
158-2	—	欠番									
158-3	213	IVR-37	Ⅲ	石核	珪質頁岩	38.2	35.9	29.1	46.4		5055
158-4	213	IVL-30	Ⅲ	石核	珪質頁岩	45.6	37.2	24.8	35.5		6533
158-5	213	IVS-44 Sec3	Ⅲ-2	石核	珪質頁岩	39.9	59.2	45.6	120.7		5094
158-6	213	IVS-35	Ⅲ上	石核	珪質頁岩	40.0	29.0	23.2	25.9		6792
158-7	213	IVT-34	Ⅲ	石核	珪質頁岩	26.1	31.2	22.6	18.2		6742
158-8	213	IVQ-41	Ⅲ	石核	珪質頁岩	28.1	53.8	21.7	35.4		5025
158-9	213	IVP-36	Ⅲ	石核	珪質頁岩	31.4	29.8	34.5	34.7		7131
158-10	—	IVQ-57	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	63.5	43.2	36.2	140.4		313
158-11	213	IVR-33	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	31.2	34.3	34.8	42.2		6646
158-12	213	IVS-57	Ⅱ	石核転用敲石	珪質頁岩	48.3	47.0	39.4	44.6		1318
159-1	213	IVR-47	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	55.0	54.0	51.8	175.0		508
159-2	213	IVM-47	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	60.4	56.3	52.0	240.6		507
159-3	213	IVR-42	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	58.1	39.0	28.4	65.0		451
159-4	213	IVN-39	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	51.8	32.7	33.5	67.7		452
159-5	—	IVS-49	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	72.0	64.0	44.2	268.9	S-142	25
160-1	213	IVR-35	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	66.7	46.9	43.7	174.3		1315
160-2	213	IVN-44	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	46.0	29.8	26.4	33.1		1316
160-3	213	IVL-30	I	石核転用敲石	珪質頁岩	34.0	35.9	22.6	34.7		1319
160-4	213	IVS-51	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	38.9	39.1	27.2	49.6		1317
160-5	214	IVR-45	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	52.3	54.5	49.1	181.0		8614
160-6	214	IVQ-35	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	45.5	50.1	20.6	49.9		454
160-7	214	IVQ-46	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	69.3	60.6	57.1	249.6	S-114	24
160-8	214	IVQ-39	Ⅲ	石核転用敲石	珪質頁岩	52.9	54.3	34.4	133.6		5250
161-1	214	IVS-49	Ⅲ	接合資料	珪質頁岩	63.2	72.7	23.9	61.0	同一グリッドの剥片3点接合	8724
161-2	214	IVS-49	Ⅲ	接合資料	珪質頁岩	71.3	54.0	22.6	52.3	同一グリッドの剥片5点接合	8723
161-3	—	IVQ-49	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	20.0	13.0	4.0	0.8		3654
161-4	214	IVQ-45	Ⅲ	剥片	黒曜石	18.2	14.8	4.8	1.0	両極剥片	982
161-5	214	IVS-34 Sec5	A	剥片	珪質頁岩	41.0	44.0	12.0	15.1	アスファルト	3428
161-6	214	IVR-47	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	29.0	27.0	8.0	4.1	アスファルト	3963
161-7	214	IVR-44 Sec3	Ⅱ	剥片	珪質頁岩	43.0	44.0	11.0	14.5	アスファルト	3933
161-8	214	P10006	覆土	剥片	珪質頁岩	37.0	35.5	8.0	3.7	アスファルト、IV0-35	3939
161-9	214	IVS-49	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	28.0	44.0	9.0	7.9	アスファルト	3966
161-12	214	IVM-45	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	50.0	29.0	11.0	10.5	アスファルト	3949
161-10	214	IVR-35	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	32.0	50.0	7.5	8.3	アスファルト	2941
161-11	214	IVT-35	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	30.0	32.0	8.0	4.0	アスファルト	3418
161-13	214	IVS-42	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	44.0	24.0	5.0	5.5	アスファルト	3940
161-14	214	IVL-35	Ⅲ	剥片	珪質頁岩	31.0	18.0	10.0	4.0	アスファルト	8109
162-1	215	IVS-35 Sec7	Ⅲ-5	打製石斧	緑色凝灰岩	136.7	66.2	40.5	371.6		3929
162-2	215	IVT-48	Ⅲ	打製石斧	珪質頁岩	145.7	61.4	36.0	(300.9)		6211
162-3	215	IVS-49	Ⅲ	打製石斧	粗粒玄武岩	149.0	57.3	21.6	212.7	S-149	506
162-4	215	IVQ-48	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	(68.1)	61.4	33.3	(298.0)	S-96	4
163-1	215	P10035	1層	磨製石斧	粗粒玄武岩	130.8	56.3	28.7	318.8	S-50	71
163-2	215	表様	—	磨製石斧	粗粒玄武岩	106.5	59.0	29.0	303.1		504
163-3	215	排土	—	磨製石斧	粗粒玄武岩	(63.8)	43.5	30.6	(123.3)		73
163-4	215	IVS-38	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	(78.5)	61.9	34.2	(321.1)		177
163-5	215	IVP-29	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	(51.4)	36.5	22.6	(54.8)	脱編後6と接合	75
163-6	215	IVR-49	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	(69.1)	49.2	23.1	(126.1)	脱編後5と接合	8
163-7	215	IVL-34	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	(100.0)	43.0	28.0	(181.0)		8113
163-8	215	IVS-49	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	96.3	47.1	22.0	142.1	S-154	2
163-9	216	IVL-30	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	68.0	34.0	12.0	37.3		8711
163-10	216	P11228	掘方	磨製石斧	粗粒玄武岩	(43.0)	15.0	10.0	(11.4)		8107
164-1	216	IVS-34	Ⅲ	磨製石斧	粗粒玄武岩	(61.0)	45.0	30.0	(150.9)		3923
164-2	—	IVS-35	Ⅲ	磨製石斧	デイサイト	78.0	57.0	31.0	192.5		8102
164-3	216	IVQ-45	Ⅲ	磨製石斧	砂岩	72.8	45.5	22.8	119.6		1009
164-4	216	IVT-24	Ⅲ	磨製石斧	凝灰岩	114.0	47.0	26.0	185.3	基部再加工	8104
164-5	216	IVQ-50	Ⅲ	磨製石斧	凝灰岩	113.5	53.5	30.7	320.3		505
164-6	216	IVP-42	Ⅲ	磨製石斧	凝灰岩	(84.4)	41.8	21.3	(73.9)	火ハネ	436
164-7	216	IVQ-45	Ⅱ	磨製石斧	凝灰岩	92.1	36.9	20.3	103.2		457
164-8	216	IVS-48	Ⅲ	磨製石斧	緑色凝灰岩	86.5	48.8	24.7	185.4		7
165-1	216	IVL-33	Ⅲ	磨製石斧	緑色凝灰岩	(70.0)	47.0	25.0	(132.8)		8103

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧) (16)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.	
165-2	216	IV0-47	Ⅲ	磨製石斧	緑色岩	26.8	22.8	7.5	8.2		74	
165-3	216	P1(10206)	地礎土	磨製石斧	緑色岩	42.0	19.0	15.0	7.0		8742	
165-4	216	IVS-46	Ⅲ	磨製石斧	緑色岩	90.8	54.0	27.4	219.1	基部再加工	6	
165-5	216	IVR-44	Ⅱ	磨製石斧	緑色岩	84.0	53.0	27.0	207.0	正面側赤色顔料?付着	8105	
165-6	216	IV0-39	Ⅲ	磨製石斧	緑色岩	66.8	46.3	10.9	138.1	折れ面最打初期?礫石転用?	5	
165-7	216	IVT-48	Ⅲ	磨製石斧	緑色岩	(85.6)	45.3	11.9	(146.7)		72	
165-8	216	IVQ-45	Ⅲ	磨製石斧	緑色岩	(51.4)	39.2	21.8	(70.3)		1	
165-9										欠番		
165-10	216	IVQ-44 Sec3	Ⅲ-9	磨製石斧	緑色岩	45.6	25.1	10.2	18.0		70	
写 真 の み 掲 載	1	217	IVS-34	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	42.0	14.0	4.0	1.9	正面側面周辺加工	8739
	2	217	IV0-41	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	28.0	13.0	3.5	1.1	正面側面周辺加工	636
	3	217	SQ19	I	石鏃	珧質頁岩	37.0	11.0	4.0	1.3		8741
	4	217	IVU-29	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	15.0	8.0	4.0	0.3	短小形	8740
	5	217	IVT-41	I	石鏃	鉄石英	30.0	23.0	8.0	4.6		961
	6	217	IVQ-47	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	41.0	7.5	7.0	1.6	アスファルト	562
	7	217	IV0-42	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	52.0	36.0	12.0	14.1	アスファルト	1836
	8	217	IVN-45	I	石鏃	珧質頁岩	56.0	48.0	14.0	22.7	アスファルト	2932
	9	217	IVR-39	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	75.0	17.0	5.5	6.9		1804
	10	217	IVQ-46	Ⅱ	石鏃	珧質頁岩	47.0	33.0	9.0	10.3		4113
	11	217	IVU-30	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	107.0	57.0	27.0	136.4		8736
	12	217	IVV-29	Ⅲ	削器	珧質頁岩	76.0	48.0	22.0	59.3	刃部は頁岩部分にのみ加工	1213
	13	217	IVV-29	Ⅲ	削器	珧質頁岩	85.0	45.0	15.0	28.7		7174
	14	217	IVT-51	Ⅲ	削器	珧質頁岩	86.0	41.0	14.5	48.9		5555
	15	217	IVT-34	床下	両極石器	珧質頁岩	46.0	38.0	15.0	26.0		8751
	16	217	IV0-42	Ⅲ	両極石器	珧質頁岩	62.0	35.0	20.0	45.6		4120
	17	217	IVN-41	Ⅲ	両極石器	珧質頁岩	58.0	35.0	12.0	32.5		4117
	18	217	IVS-41	Ⅲ	二次加工剥片	珧質頁岩	136.0	58.0	24.0	147.4		8791
	19	217	IVQ-40	Ⅲ	二次加工剥片	珧質頁岩	48.0	18.0	11.0	7.2		1107
	20	217	IVR-38	Ⅲ	石鏃	珧質頁岩	110.0	66.0	23.0	110.3		4109
	21	217	IVN-42	Ⅲ	微細剥片	珧質頁岩	134.0	55.0	32.0	144.4	刃部光沢	1753
	22	217	IV0-41	Ⅲ	二次加工剥片	珧質頁岩	38.0	31.5	10.0	6.2	アスファルト	2104
	23	217	IVR-49	Ⅲ	剥片	珧質頁岩	16.0	14.0	9.0	6.1	アスファルト	8207
	24	217	IVN-41	Ⅲ	剥片	珧質頁岩	36.0	24.0	7.0	4.6	アスファルト	1083
	1	218	IVN-44	Ⅱ	剥片	珧質頁岩	25.0	13.0	4.0	1.5	アスファルト	6198
	2	218	IVQ-46	Ⅲ	削	珧質頁岩	40.0	39.0	11.0	10.3		2124
	3	218	IVT-49	Ⅲ	剥片	ジャスパー	35.0	31.0	7.0	4.4		4127
	4	218	IVS-49	Ⅲ	剥片	珧質頁岩	40.0	38.0	7.0	7.7		8750
	5	218	IVS-34	ゴッパ11	自然礫	水晶	34.0	25.0	16.0	13.9	9片(10.1g, 2.3g, 1.5g) 接合	8731
	6	218	IVR-40	Ⅲ	自然礫	水晶	28.0	15.0	9.0	4.3		3804
	7	218	IVV-40	I	自然礫	水晶	18.0	11.0	5.0	1.0		8707
	8	218	IVN-41	Ⅲ	石核転用礫石	珧質頁岩	53.0	35.0	12.0	28.8	「剥片」の転用品か	3863
9	218	IVR-47	Ⅲ	石核転用礫石	珧質頁岩	114.0	46.0	43.0	271.0		8757	
10	218	IVR-35	Ⅲ	石核転用礫石	珧質頁岩	55.0	27.0	31.0	92.5		8759	
11	218	IVR-50	Ⅲ	石核転用礫石	珧質頁岩	48.0	44.0	42.0	119.2		8773	
12	218	IVR-45	Ⅱ	石核転用礫石	珧質頁岩	53.0	43.0	26.0	68.7		8763	
13	218	IVQ-37	Ⅲ	石核転用礫石	珧質頁岩	64.0	31.0	30.0	66.8		8761	
14	218	IVQ-37	Ⅲ	石核転用礫石	珧質頁岩	59.0	54.0	41.0	132.3		8758	
15	218	IVN-37	I	原石	玉髄質珧質頁岩	26.0	22.0	17.0	16.5		8795	
16	218	IVT-48	Ⅲ	原石	玉髄質珧質頁岩	32.0	19.0	12.0	13.0		8793	
17	218	IVP-53	Ⅲ	原石	黒曜石	53.0	38.0	31.0	94.0	2片に割れ、割れ面擦影	8794	
18	218	IVR-49	Ⅲ	原石	珧質頁岩	94.0	76.0	41.0	420.5		7330	
19	218	IVT-47	Ⅲ	原石	珧質頁岩	125.0	105.0	88.0	1280.0		8792	
20	218	IVR-50	Ⅲ	原石	珧質頁岩	195.0	105.0	70.0	1058.6		7333	
21	218	IVQ-45	Ⅲ	原石	珧質頁岩	220.0	180.0	163.0	5350.0		8752	
写218	剥片集中1			接合資料	珧質頁岩	34.0	22.0	10.5	4.6	剥片2点接合	8581	
写218	剥片集中3			接合資料	珧質頁岩	124.0	57.5	29.0	136.0	剥片3点接合、裏面含め修理で割れ	8733	
写218	剥片集中4			接合資料	珧質頁岩	29.0	29.0	11.0	5.4	剥片3点接合	8583	

礫石器観察表(1)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No
1-10	93	S101	下層	石皿	粗粒玄武岩	28.9	33	6.5	7,500	空々間む 縁なし	120
1-11	93	S101	床面	石皿	安山岩	22.2	41.1	4.6	4,940	板状磨理 破損	118
1-20	93	S102	1層	磨石	安山岩	12.6	10.2	7.8	1,350	フノ石に似る	59
1-27	93	S102	床面	石皿	斑岩	28.7	35	11.7	13,340	完形 中央窪む	119
3-16	94	SN45周辺 IV1-35	Ⅲ	凹石	凝灰岩	12.6	8.3	3.4	330.4	両面に凹孔	1138
3-17	226	SN45周辺 IV1-35	Ⅲ	石皿	凝灰岩				14,180		1359
5-1	95	SN38 IVT-48		敲石	花崗閃緑岩	9.5	11.8	7.7	1,300	平坦面は平滑 側面に打痕	58
5-2	95	SN38 IVT-48		砥石	安山岩	16.2	11	4.6	1,210	平坦面に磨痕	83
5-3	95	SQ12 IVT-48	Ⅲ	石皿	凝灰岩	24.1	32.2	4.9	5,200	板状 縁なし 平滑 ※SQ12はSS39上部の配石。	1011
5-4	95	SQ12 IVT-48	Ⅲ	石皿	安山岩	29.5	39.9	9.8	15,400	完形 縁なし 両面利用 ※SQ12はSS39上部の配石。	1010
5-6	96	SN29 IVT-48	Ⅲ	石皿	凝灰岩	24.3	19.3	3.6	17,380	両面利用	460
6-1	96	SN29 IVT-48		石皿	安山岩	20.5	28.6	4.9	7,540	破損品 縁なし 平坦で滑らか	122
9-6	97	SQ01	確認面	台石	安山岩	17.9	13.1	6.7	1,780		32
9-14	97	SQ06	Ⅲ	石皿	デイスait	52	44.6	5	15,150	板状	124
9-18	98	SQ07	1層	敲石	デイスait	8.7	10.2	7.1	670	一部にアバタ状の敲打痕	67
10-6	98	SQ09 IVR-45	覆土	石皿	凝灰岩	31.4	40	7.3	9,750	完形 縁なし赤色顔料付着	79
11-3	99	SQ11		石皿	安山岩	36.8	46.4	4.5	10,100	板状磨理 片面平滑	138
11-6	99	SQ14		石皿	凝灰岩	24.5	23.8	6.2	3,802	両面利用 平滑な部分と打痕	1354
11-7	99	SQ14		石皿	安山岩	23.4	28	7.5	5,860		1209
12-6	100	SQ19		石皿	花崗閃緑岩	33.5	40.7	10	19,200	大形	1210
12-7	-	SQ19	I	凹石	安山岩	10.5	9	5.8	644.5	破損利用 両面に凹孔	1339
13-6	99	SQ41 IVT-48	Ⅲ	確認	デイスait	10	18.4	7.9	1637.3	側面に打痕	139
166-1	219	IVR-47	Ⅲ	磨石	粗粒玄武岩	5.5	5	4.7	170	表面に磨痕	885
166-2	219	IVT-35	Ⅲ	磨石	デイスait	10.4	8.4	5.4	699.4	赤色顔料付着 平坦面に磨痕	1110
166-3	219	IVT-52	Ⅲ	磨石	凝灰岩	7.3	6.5	3.5	210	黒色物質の付着	1008
166-4	219	IVQ-42 (HIS103)	覆土 2回目	磨石	緑色凝灰岩	10.5	7.5	4.5	460	平坦面に磨痕	65
166-5	219	IVQ-44	Ⅲ	磨石	粗粒玄武岩	11.1	8.2	4.8	690	平坦面に磨痕	251
166-6	219	IVQ-45	Ⅲ	磨石	安山岩	8.9	9.6	7.4	890	表面に磨痕	920
166-7	219	IVU-34	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	11.2	9.2	8.8	1,240	全体に磨痕	1082
166-8	219	IVV-11 IVT-34	Ⅲ	磨石	安山岩	14.5	11.1	7.7	1,640	平坦面に磨痕と線状痕	1299
166-9	219	IVP-49	Ⅲ	磨石	安山岩	11.5	8.4	6.5	800	片面に磨痕	927
166-10	219	IVP-48	Ⅲ	磨石	斑岩	10.4	8.2	7.4	963	表面に光沢 敲打整形	347
166-11	219	IVN-36	Ⅲ	磨石	安山岩	8.9	9	6.2	740	平坦面に磨痕 側面打痕	169
166-12	219	IVT-35	Ⅲ上	磨石	安山岩	8.6	7.8	4.4	426.2	両面に磨痕 片面に線状痕	1112
166-13	219	IVS-48	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	9	6.9	5	460	全体整形 両面に磨痕	882
166-14	219	IVP-43	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	9	8	5.8	580	一部被熱 両面に磨痕	435
166-15	219	IVR-34	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	10	7.8	6	680.1	両面に磨痕 側面に打痕	1066
166-16	219	IVS-34	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	10.1	6.9	5.5	574.3	両面に磨痕 全体整形	1109
166-17	219	IVS-35	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	11.7	7.8	6.8	950.6	両面に磨痕	1098
166-18	219	Sec7 IVS-35	Ⅲ-7	磨石	安山岩	11.1	8.5	6.3	760.6	両面に磨痕	1119
166-19	219	IVP-46	Ⅲ	磨石	安山岩	11.3	9.2	7.2	1,040	両面に黒色物質付着	886
166-20	219	IVQ-45	Ⅲ	磨石	安山岩	10.9	9.4	6.6	790	両面に光沢	353
166-21	219	IVT-51	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	11.6	9.3	6.5	790	平坦面は平滑 線状痕あり	773
166-22	219	Sec3 IVQ-44	Ⅲ-6	磨石	安山岩	10.6	9.5	6.4	920	平坦面に磨痕 側面に打痕	62
167-1	219	IVR-47	Ⅲ	磨石	安山岩	10.5	10.2	7.1	1,050	裏面に滑らかな磨痕	884
167-2	219	IVT-49	Ⅲ	磨石	粗粒玄武岩	10.7	9.8	6	940	表面は滑らか 磨痕	18
167-3	219	Sec3 IVS-44	Ⅲ-2	磨石	粗粒玄武岩	15	8.7	5.8	1,140	凹孔周辺は滑らかな磨痕	63
167-4	219	IVN-42	Ⅲ	磨石	安山岩	10.1	9	6	770		384
167-5	219	IVT-52	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	10.4	8.5	5.6	710	平坦面に磨痕と打痕	954
167-6	219	IVR-50	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	10.6	9.6	5.2	700	磨り潰した磨痕と線状痕	652
167-7	220	IVQ-46	Ⅲ	磨石	安山岩	9.6	8	5.7	580	中央にアバタ状の打痕	922

礫石器観察表(2)

図No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No
167-8	220	IVT-48	Ⅲ	磨石	安山岩	10.3	8.8	7.1	930	両面に凹孔	494
167-9	220	IVT-50	Ⅲ	磨石	安山岩	12.4	8.6	7.3	1,120	平坦面に磨痕 側面に打痕	944
167-10	220	IVQ-42	Ⅲ	磨石	玄武岩	10.1	8.3	6.3	736.3	平坦面に凹孔	398
167-11	-	IVS-35	Ⅲ	磨石	安山岩	11	7.3	6.4	656.1	3面の平坦な面に光沢	1090
167-12	220	IVS-38	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	12.3	8.8	3	346.9	側面に敲打痕	264
167-13	220	IVS-45	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	15.9	10.1	7.2	1,440	広い磨痕と大きな凹孔	657
168-1	220	IVS-35	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	14.8	8.7	2.7	464.6	側面に敲磨痕	1159
168-2	220	IVQ-42	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	13.4	7.6	4.4	610	扁平磨石 両面に浅い凹孔	382
168-3	220	IVS-47	Ⅲ	磨石	デイスサイト	12.3	7.8	4.9	647.5	扁平磨石 両面に凹孔	739
168-4	220	IVR-46	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	17.5	7.9	4	561.6	扁平磨石 平坦面に凹孔	694
168-5	-	IVR-45	Ⅲ	磨石	凝灰岩	13	3.7	2.5	142.5	端部に磨痕 スリコギ的	1240
168-6	220	Sec7 IVS-36	Ⅲ-10	磨石	安山岩	9.2	4	1.5	87.2	スリコギ的 両端部に磨痕	1345
168-7	220	IVT-34	Ⅲ	磨石	粗粒玄武岩	13.5	7.3	5.4	737.5	側面に打痕 端部に磨痕	1115
168-8	220	IVW-32	Ⅲ	凹石	安山岩	10.6	8.7	7.3	718.5	片面に凹孔	1154
168-9	220	IVQ-49	Ⅲ	凹石	安山岩	9	10.3	7.1	820	片面利用 平坦面に凹孔	840
168-10	220	IVQ-44	Ⅲ	凹石	凝灰岩	11.1	7.1	4.5	440	凹孔は浅い 敲打による	356
168-11	220	IVS-45	Ⅲ	凹石	玄武岩	14.3	6.1	3.6	469.2	片面に凹孔	666
168-12	-	IVQ-45	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	16.6	9.9	2.4	450	片面に凹孔 裏面平滑	664
168-13	-	IVP-45	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	13	6.8	5.9	710	凹孔のある面は滑らか	681
168-14	-	IVS-52	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	11.1	8.3	3	300	片面に凹孔	663
168-15	220	Sec2 IVN-44	Ⅲ-1	凹石	凝灰岩	9.9	7.9	2	150	片面に凹孔	57
168-16	220	IVT-52	Ⅲ	凹石	凝灰岩	10.7	10	6.5	780	両面に凹孔	768
168-17	-	Sec5 IVS-35	Ⅲ-5	凹石	砂岩	14.5	10.2	3.5	427.9		1120
168-18	220	IVQ-46	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	7.6	6.3	4.1	227.6	浅い凹孔と深い凹孔	691
169-1	-	IVS-45	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	6.8	7.6	3.6	240		665
169-2	221	IVR-44	Ⅲ	凹石	安山岩	8	5.7	4.9	230.2	両面利用 器面はゼラツク	275
169-3	-	IVR-50	Ⅲ	凹石	安山岩	7.7	6	5.6	270	両面に凹孔	651
169-4	-	IVR-46	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	7.8	7.1	6	360	両面に凹孔	706
169-5	-	IVT-49	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	9	7.4	3.5	250	両面に凹孔	586
169-6	221	IVQ-43	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	8.5	6.4	4	203.7	両面に浅い凹孔	371
169-7	-	IVR-47	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	9.3	7	3.7	320	両面に凹孔	743
169-8	-	IVR-47	Ⅲ	凹石	粗粒玄武岩	8.4	8.3	5.3	510	平坦面に凹孔	741
169-9	-	IVR-45	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	9.8	9.3	3	290	両面に凹孔	717
169-10	-	IVT-49	Ⅲ	凹石	凝灰岩	9.1	6.1	2.2	150	両面に凹孔	571
169-11	-	IVS-46	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	9.8	9.9	5.5	610	両面に凹孔	715
169-12	221	IVS-27	I	凹石	凝灰岩	14.1	8.6	4.1	637.8	両面に深い凹孔	1172
169-13	-	IVQ-49	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	7.3	9.4	2.9	220	両面に打痕による凹孔	764
169-14	221	IVR-31	Ⅲ	凹石	凝灰岩	9.9	8	4.1	327.4	両面に凹孔	1152
169-15	-	IVQ-42	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	14.4	7.7	4.4	540	両面に凹孔	758
169-16	221	IVQ-46	Ⅲ	凹石	安山岩	12.3	6.3	5.4	562.1	平坦面にすり鉢状の凹孔	661
169-17	221	IVS-47	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	11.5	7.8	4.5	390	被熱 両面に凹孔	722
169-18	221	IVU-30	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	12.8	7.6	4.2	429.8	両面に凹孔 一部に擦痕	1096
169-19	221	IVR-49	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	8.4	7.7	3.5	260	両面に凹孔 平坦面なめらか	572
170-1	-	IVR-47	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	9.7	9	5	510	両面に凹孔	734
170-2	-	IVT-49	Ⅲ	凹石	凝灰岩	11	7.1	5.5	440	両面に凹孔	583
170-3	221	IVS-48	Ⅲ	凹石	安山岩	11	6.3	4.7	369.5	両面に深い凹孔	813
170-4	221	IVS-48	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	11.6	10.6	2.8	450	両面に凹孔 側縁打ち欠き	286
170-5	221	IVR-50	Ⅲ	凹石	安山岩	12.8	8	6	850.7	タール状の物質付着	655
170-6	221	IVQ-46	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	10.3	8.1	4.6	380	両面に凹孔	638
170-7	-	IVP-46	Ⅲ	凹石	凝灰岩	13.6	10	3.8	550	板状に加工・整形	762
170-8	-	IVN-45	Ⅲ	凹石	安山岩	10.1	6.9	5.1	480	両面に複数の深い凹孔	669
170-9	-	IVS-44	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	11.1	8.7	4.4	500	両面に凹孔	483
170-10	221	IVQ-45	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	10	8.2	5.5	440	両面利用 深い凹孔	686
170-11	-	IVS-48	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	11.7	7.6	4	460	両面に連続する凹孔	746
170-12	221	IVS-48	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	13.1	7.9	3.7	408.9	片端に刺磨痕 被熱	751
170-13	-	IVS-50	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	11.2	7.8	4.1	560	両面に連続する凹孔	642
170-14	-	IVM-46	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	10.1	7.4	2.6	290	両面に凹孔	754
170-15	-	IVP-45	Ⅲ	凹石	デイスサイト	13	8.9	2.8	370	両面に凹孔	680
170-16	221	IVU-34	Ⅲ	凹石	凝灰岩	11.8	7.5	3.9	386.8	両面に凹孔	1136
170-17	-	IVR-48	Ⅲ	凹石	粗粒玄武岩	10.4	5.6	3.3	290	両面に凹孔	749
171-1	221	IVR-47	Ⅲ	凹石	緑色凝灰岩	10	6.9	5.5	440.5	凹孔の一つはすり鉢状	731

礫石器観察表(3)

図No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
171-2	221	IVR-33	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	12.5	6.9	4.2	385.1	両面に凹孔	1147
171-3	—	IVQ-45	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	11.9	7.5	2	210	両面に凹孔	689
171-4	221	IVN-45	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	13.6	7.3	2.6	330	凹孔は深くナリ鉢状	233
171-5	221	IVR-47	Ⅲ	閃石	デイスait	15.4	8.5	2.7	410	両面に連続する凹孔	723
171-6	—	IVR-50	Ⅲ	閃石	安山岩	12.6	8.1	5.6	760	両面に凹孔 片端に弱い打痕	647
171-7	221	IVR-46	Ⅲ	閃石	凝灰岩	12.7	9.8	6.2	830	両面に凹孔	704
171-8	221	IVS-27	I	閃石	玄武岩	15.7	8	3.5	534	両面に凹孔	1168
171-9	222	IVR-44	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	16.3	6.2	2.9	389.9	両面に凹孔	397
171-10	222	IVR-34	Ⅲ下	閃石	凝灰岩	16.5	5.6	3.6	369	片端に剥離	1183
171-11	222	IVT-50	Ⅲ	閃石	安山岩	14.8	7.8	3.7	600		611
171-12	222	IVR-44	Ⅲ	閃石	安山岩	14.2	5.3	3.1	310	両面に凹孔 被熱	404
171-13	—	IVR-46	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	12.3	8	3.5	490		703
172-1	222	IVQ-42	Ⅲ	閃石	粗粒玄武岩	15.5	7.1	4.4	547.5	端部欠損 煤付着	160
172-2	222	IVT-49	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	13.1	5.1	3	240	両面に凹孔	577
172-3	—	IVP-45	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	13.9	6.7	4.7	610		688
172-4	222	IVT-48	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	10.3	7	6.4	480	3面に凹孔	591
172-5	222	IVP-47	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	13.4	7.4	6.1	776.7	3面に凹孔 一部に傷痕	599
172-6	222	IVR-37	Ⅲ	閃石	凝灰岩	11.1	4.5	4.1	250	円柱状 凹孔付近に打痕	210
172-7	222	IVR-44	Ⅲ	閃石	凝灰岩	8.6	7.2	5.5	410	4面に凹孔	274
172-8	222	IVR-46	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	13.1	8.1	5.5	730	4面に凹孔	1007
172-9	222	IVR-47	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	14.4	5.4	4.1	400	側面は敲打痕が主体	709
172-10	222	IVQ-45	Ⅲ	閃石	デイスait	12.3	6.7	4.7	450		424
172-11	222	IVQ-49	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	9.5	4.1	3.2	170	3面に凹孔	835
172-12	222	IVQ-47	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	12.8	4.8	4	300	側面にも敲打痕	710
172-13	222	IVV-34	Ⅲ	閃石	凝灰岩	13.1	5.2	2.9	241.3	平面に凹孔系の凹孔	1189
172-14	222	IVR-48	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	11.4	8.4	4.9	520	平坦面の凹孔はナリ鉢状	755
173-1	223	IVS-51	Ⅲ	閃石	粗粒玄武岩	13.5	5.3	2.9	247.6		772
173-2	—	IVS-46	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	7.7	6.7	4.4	310	両面利用	707
173-3	—	IVS-45	Ⅲ	閃石	安山岩	10.5	9.7	6.5	860	両面に打痕による凹孔	668
173-4	223	IVS-53	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	12.9	8.2	3.5	350	側面に打痕	341
173-5	223	IVM-48	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	13.9	6.5	3.6	450	端部に敲打痕	733
173-6	223	IVT-49	Ⅲ	閃石	安山岩	9.8	8.8	6	639.7	両面に凹孔 側面に磨痕	573
173-7	223	IVS-44	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	10.3	8.4	3.7	310	両面に凹孔 側面に打痕	496
173-8	223	IVV-34	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	15.3	11.4	3.4	790.3	両面に連続する凹孔	1153
173-9	223	IVR-45	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	10.9	10.4	6.1	740	側面には敲打痕	365
173-10	223	IVS-33	Ⅲ	閃石	凝灰岩	12.3	8.6	5.7	666	凹孔付近に磨痕 端部に打痕	1173
173-11	223	IVQ-45	Ⅲ	閃石	粗粒玄武岩	13.5	8.9	4.2	720	両面に凹孔が連なる	423
173-12	223	IVP-42	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	10.5	8.3	3.2	288.4	両面に凹孔	390
174-1	223	IVN-39	Ⅲ	閃石	安山岩	10.8	7.2	3.2	280	側縁部に打痕2か所	150
174-2	223	IVR-50	Ⅲ	閃石	安山岩	11.8	5.2	3.3	270	両面に凹孔 側面に刻み	656
174-3	223	IVR-48	Ⅲ	閃石	緑色凝灰岩	12.2	5.1	4.1	340	両面、片側面に凹孔	750
174-4	223	IVU-33	Ⅲ	閃石	凝灰岩	11	8.3	5.2	469.1	両面と側縁に側縁に打痕	1142
174-5	223	ブロック HIS103	覆土	閃石	緑色凝灰岩	12.4	10.5	6.4	1,050	片側に磨り痕、IVQ-42	49
174-6	—	IVQ-45	Ⅲ	敲石	デイスait	8.9	4.1	3.1	153.6	小形 端部に打痕	1239
174-7	224	IVR-48	Ⅲ	敲石	デイスait	7.1	5	2.5	120	小形 端部に打痕	876
174-8	—	IVV-34	Ⅲ	敲石	デイスait	7.4	5.7	4	233.9	小形 端部に打痕	1046
174-9	224	IVS-47	Ⅲ	敲石	凝灰岩	10.6	6.4	4.8	377.4	全柱状 端部に打痕	489
174-10	224	IVS-49	Ⅲ	敲石	凝灰岩	14.7	5.9	4	425.9	端部に打痕 平坦面に磨痕	1054
174-11	224	IVN-43	Ⅲ	敲石	花崗閃緑岩	9.2	7.1	4.9	428.9	セラツク器面 端部に打痕	432
174-12	224	IVQ-50	Ⅲ	敲石	花崗閃緑岩	14.6	8.1	7.8	1,240	平面に磨痕 端部に打痕	947
174-13	224	IVR-47	Ⅲ	敲石	花崗閃緑岩	11.9	6.8	6.1	660	全面打痕 磨石的	872
174-14	—	IVS-50	Ⅲ	敲石	粗粒玄武岩	10	9.5	7.3	960	両面に打痕 平坦面に凹み	645
174-15	224	IVS-44	Ⅲ	敲石	安山岩	13.3	8	7.3	1,210		366
174-16	224	Sec5 IVS-35	Ⅲ-4	敲石	凝灰岩	9.7	7.6		534.3	楕円球状礫 全面に敲打痕	1123
174-17	—	IVR-34	Ⅲ	敲石	花崗閃緑岩	7.8	7.1	6.1	436	全面打痕	1034
174-18	224	IVQ-44	Ⅲ	敲石	凝灰岩	7	5.9	5.2	220.5	全体打痕 3面に打痕	362
174-19	224	IVT-53	Ⅲ	敲石	デイスait	8.5	7.5	5.4	435.1	全面打痕	297
174-20	224	IVQ-46	Ⅲ	敲石	凝灰岩	5	4.4	3	90	平坦面に打痕	860
174-21	224	IVR-49	Ⅲ	敲石	凝灰岩	5.4	4.7	3.6	120	片面に打痕	866
174-22	—	IVS-50	Ⅲ	敲石	凝灰岩	5.5	4.7	3.9	130	裏面に打痕	644
174-23	—	IVT-35	Ⅲ	敲石	安山岩	9.8	8.7	2.2	186.4	平坦面にアババ状の打痕	1018

礫石器観察表(4)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
174-24	224	Sec2 IVP-44	Ⅲ-8	敲石	安山岩	12.3	8.6	6.4	930	片面にアバタ状の打痕	69
174-25	224	IVS-47	Ⅲ	敲石	凝灰岩	14.9	9.1	3.4	490	側面に打痕	854
175-1	224	IVS-48	Ⅲ	石錘	粗粒玄武岩	4.8	7.8	1.1	53.2	小形 短軸辺を挟り敲打	516
175-2	224	IVQ-45	Ⅲ	石錘	安山岩	4.8	6.2	2.3	80	小形 短軸辺を挟り	448
175-3	224	IVS-49	Ⅲ	石錘	凝灰岩	8.1	8.8	2.2	190.6	短軸辺に挟り	515
175-4	224	IVS-54	Ⅲ	石錘	粗粒玄武岩	7.9	6.4	2.2	167.8	長軸端に剥離	514
175-5	224	IVM-46	Ⅲ	加工礫	緑色凝灰岩	13.1	9.4	2.9	481.6	長軸端と短軸辺に剥離	513
175-6	224	IVN-41	Ⅲ	礫器	珪質頁岩	10.6	5.3	4.4	260.5		509
175-7	224	IVS-50	Ⅲ	礫器	珪質頁岩	12.8	8.7	6	567.3		512
175-8	224	IVT-46	Ⅲ	礫器	珪質頁岩	17.6	5.4	5.3	508.3		511
175-9	224	IVS-44	Ⅲ	礫器	デイスサイト	15.4	5.7	4.3	459.2		510
175-10	224	IVS-48	Ⅲ	砥石	安山岩	20.3	20.9	5.8	2811.8	有薄砥石 片面を利用	15
176-1	224	IVR-46	Ⅲ	砥石	凝灰岩	12.4	12	7.8	862.9	有薄砥石	14
176-2	224	IVT-35	Ⅲ	砥石	凝灰岩	26.5	23.1	4.3	3,040	中央が滑らか	1219
176-3	225	IVV-34	Ⅲ	砥石	凝灰岩	17.2	9.4	2.8	580	縁辺部整形 片面に擦痕	1230
176-4	225	IVQ-45	Ⅲ	砥石	凝灰岩	9.3	7.8	2	176.4	扁平 両面平滑	442
176-5	225	IVS-33	Ⅲ	石皿	安山岩	34.5	46.8	3.5	6,940	板状磨理	1218
176-6	225	IVU-34	Ⅲ	石皿	安山岩	31.1	36.3	3.6	5,300	板状磨理 片面利用	1227
177-1	225	IVU-32	Ⅲ	石皿	安山岩	28.3	32.5	1.9	1,790	板状磨理 片面	1083
177-2	225	IVU-33	Ⅲ	石皿	安山岩	31.4	44.4	2	3,620	板状磨理 両面利用	1206
177-3	—	ブロック 旧S103	覆土	石皿	安山岩	13.4	12.7	2	388.3	板状磨理 片面	1350
177-4	225	IVT-35	Ⅲ上	石皿	凝灰岩	21.4	16.3	3.1	1,690	縁あり 被熱	1196
177-5	225	IVT-29	Ⅲ	石皿	凝灰岩	23.3	22.1	5.8	2,140	破損 縁あり	1233
177-6	225	IVS-45	Ⅲ	石皿	凝灰岩	29.4	43	9.2	8,100	一部破損 大きく覆む	459
177-7	225	Sec3 IVS-44	Ⅲ-4-C	石皿	安山岩	22.5	37.4	6.5	5,750	縁あり 破損	116
178-1	225	IVR-46	Ⅲ	石皿	凝灰岩	58.6	47	16	24,660		458
178-2	225	IVS-43	Ⅲ	石皿	安山岩	15.9	19.9	5.5	2,030	完形 縁あり 大きく凹む	544
178-3	226	IVQ-46	Ⅲ	石皿	凝灰岩	37	46.4	7	12,350	完形 縁あり	137
178-4	225	IVQ-35	Ⅲ	石皿	安山岩	23.3	27.2	5	5,300	縁なし タール状物質付着	179
178-5	226	IVR-57	Ⅲ	石皿	安山岩	27.6	37.1	8.2	5,200	大形 完形 縁なし	1012
179-1	226	IVQ-49	Ⅲ	石皿	安山岩	25.4	40.8	14.2	20,400	大型 縁なし	1013
179-2	226	Sec3 IVR-44	Ⅲ-4-C	石皿	デイスサイト	18	36.4	5.5	4,000	扁平 完形 縁なし片面平滑	114
179-3	226	IVT-47	Ⅲ下部	石皿	凝灰岩	27.2	30.3	13.5	13,160	完形 縁なし	471
179-4	226	ブロック 旧S103	覆土	石皿	安山岩	41.4	45.4	8	19,600	完形縁なし	123
179-5	226	Sec3 IVR-44	Ⅲ-4-C	石皿	凝灰岩	29.6	22.3	5.5	3,860	扁平 完形 縁なし片面平滑	115
180-1	227	IVP-46	Ⅲ	磨石	デイスサイト	10.8	8.5	6.2	760	赤色顔料付着 片面に顕著	889
180-2	—	IVS-35	Ⅲ	磨石	安山岩	6.5	5.7	4.5	212.5	小形 平坦面に磨痕	1100
180-3	227	IVU-54	Ⅲ	磨石	斑岩	11.2	8.6	6	774.6	平坦面を中心に赤色顔料付着	777
180-4	227	IVR-43	Ⅲ	磨石	花崗閃緑岩	8.7	8.5	6.4	700	赤色顔料付着	13
180-5	227	IVP-42	Ⅲ	磨石	緑色凝灰岩	10	8.6	6.7	768.4	赤色顔料の付着	383
180-6	227	IVS-47	Ⅲ	磨石	安山岩	11.1	7	4.7	522.5	赤色顔料付着	725
180-7	227	IVS-45	Ⅲ	磨石	デイスサイト	11.6	9	7.1	1,020	筋路的に赤色顔料が付着	912
180-8	227	Sec2 IVQ-44	Ⅲ-6	磨石	凝灰岩	13.1	8	4.8	700	赤色顔料の付着	66
180-9	227	IVQ-45	Ⅲ下部	磨石	安山岩	7.1	6.4	4.4	280	筋路的に赤色顔料が付着	358
180-10	227	IVQ-45	Ⅲ	石皿	安山岩	9.5	10.5	1.7	200	板状磨理 赤色顔料付着	979
180-11	227	IVU-29	Ⅲ	石皿	安山岩	10.6	15.8	1.7	337.1	赤色顔料付着 板状磨理	1351
180-12	227	IVS-37	Ⅲ	石皿	デイスサイト	9.2	24.4	2	430	板状磨理 片面に赤色顔料付着	81
181-1	227	IVR-43	Ⅲ	石皿	デイスサイト	15.8	28.8	2	800	板状磨理 片面に赤色顔料付着	80
181-2	227	P10145	確認面	石皿	安山岩	21.6	26.2	2.7	1,911	赤色顔料付着 板状磨理	1352
181-3	227	IVQ-41	Ⅲ	石皿	安山岩	11.8	17.6	3	910	板状磨理 片面に赤色顔料付着	215
181-4	227	IVR-43	Ⅲ	石皿	安山岩	35	25.6	10.1	8,150	縁なし 片面に赤色顔料付着	20
181-5	227	IVR-45	Ⅲ	石皿	安山岩	32.1	39.8	5.9	8,450	縁なし 赤色顔料付着	135

土製品観察表(1)

図-No.	写真	遺構名	グリップ	層位	分類	部位・形状	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上No.	整理 No.
182-1	228	S103※		覆土	土鍋(中実)	胴	28.9	32.7	10.5	6.9	※プロファイルS103		135
182-2	228		WR-49	Ⅲ	土鍋(中実)	胴	35.2	36.4	10.4	8.9			124
182-3	228	Sec2	WR-44	Ⅲ-5	土鍋(中実)	胴	45	52	33	22.5		P-15	10
182-4	228		WT-54	Ⅲ	土鍋	胴体突起	20.9	19.6	1.3	4.2		特-93D	16
182-5	228		WT-54	Ⅲ	土鍋(中実)	上半身	101.5	109.2	51.4	137.8		特-84	1
182-6	228		WT-34	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	49	42	28	19.6	胴面欠損		169
182-7	228		WT-54	Ⅲ	土鍋	不明	23.1	18.6	19	3.5		特-93E	17
182-8	228		WT-54	Ⅲ	土鍋(中実)	口部	17.6	21.3	13.5	3.9		特-93E	17
183-1	228	P-1020 付皮	WR-41	Ⅲ	土鍋(中実)	全身	183	88	65	216.7	89+36+121+122	土鍋	8
183-2	228		WR-41	Ⅲ	土鍋(中実)	背中	68	95	66	47.1	177+128		127
183-3	228		WR-38	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	52.9	35.1	38.2	18.8		土鍋×	7
183-4	228		WT-54	Ⅲ	土鍋(中実)	右肩	34	58	43.4	26.4		特-93A	13
184-1	229		WR-44	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	96	135	54	331.9		P-1016 P-1591	56
184-2			WR-48	Ⅲ	土鍋?	不明	—	—	9	23			123
184-3			WR-48	Ⅲ	土鍋?	不明	—	—	4	8.1			126
184-4			WR-54	Ⅲ	土鍋?	不明	23	34	27	8.6		特-93B	14
184-5			WR-44	Ⅲ	土鍋?	不明	—	—	8	8			130
184-6	228		WR-44	Ⅲ	土鍋?	不明	44.6	47.5	12.9	22.3	胴断面に黒色付着物、注版内赤彩		125
184-7			WR-41	Ⅲ	土鍋?	不明	—	—	5	4.9			134
184-8			WR-50	Ⅲ	土鍋?	不明	—	—	6	34.8			184
185-1	230		WR-36 WR-46 WR-32	Ⅲ	土鍋(中実)	胴壁	91	78	67	296.32+3		特-73 特-74 特-25 特-59 特-207	2
185-2	230	Sec1		Ⅲ-2	土鍋(中実)	上半身	92	174	46	310	5+6+146		5
185-3	230		WR-43	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	75	37	27	62.6	5+6+146と同-?	特-12	38
186-1	230		WR-35	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	89	36	31	75.7	5+6+146と同-?	特-213	157
186-2	229		WR-32	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	87	71	69	215.2	2946付皮	特-201	142
186-3	229	Sec7		Ⅲ-10	土鍋(中実)	胴部	75	49.5	44	116.9			4
187-1	231		WR-45	Ⅲ	土鍋(中実)	上半身	67.3	62.9	17.3	37.3		特-37	4
187-2	230		WR-50	Ⅲ	土鍋(中実)	上半身	108.5	83	49.5	229.4		特-82	11
187-3	231		WR-33	Ⅲ	土鍋(中実)	下半身	70.2	43	25.5	37.6			189
188-1	231		WR-31	Ⅲ	土鍋	胴壁	35	63.2	19.6	24.1			137
188-2	231		WR-31	Ⅲ	土鍋	胴壁	46.4	30.5	19.2	15.1		特-206	155
188-3	231		WR-45	Ⅲ	土鍋	胴壁	18.2	37.4	18.3	9.7			136
188-4	231		WR-50	Ⅲ	土鍋	胴壁	21.1	22.4	23	8.8			133
188-5	231		WR-50	Ⅲ	土鍋	胴壁	27.4	18.4	23.5	11.2			167
188-6	231		WR-30	Ⅲ	土鍋	胴部	63.6	41	23.4	42.4			133
188-7	231		WR-37	Ⅲ	土鍋	不明	—	—	20	12.2	胴もしくは胴壁部		159
188-8	231		WR-43	Ⅲ	土鍋?	不明	74.2	74.5	39	96.4		P-×	53
188-9	231		WR-35	Ⅲ	土鍋?	不明	52.2	33.3	21.9	18.1	土器の一部?	特-202	165
188-10	231		WR-45	Ⅲ	土鍋(中実)	胴部	47.4	31	26	29.4		特-27	12
188-11	231		WR-30	Ⅲ	土鍋?	不明	—	—	24.1	23.4	56.9		159

土製品観察表(2)

図-番号	写真	遺構名	グランド	層位	分類	部位・形状	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上No	記録 No
189-1	231		WR-48	Ⅲ	耳飾	白色 円形	—	—	19.9	18.1	赤彩		113
189-2	231		WR-35	Ⅲ	耳飾	白色 円形	54.3	57.6	24.9	47	赤彩		33
189-3	231		WR-33	Ⅲ	耳飾	白色 円形	49.6	51.6	21	35.6	赤彩	特-215	114
189-4	231		WR-34	Ⅲ	耳飾	白色 円形	46.7	27.4	29.4	28.5			187
189-5	231		WR-38	Ⅲ	耳飾	白色 円形	26	25	12	5		特-21	21
189-6	231		WR-40	Ⅲ	耳飾	車輪形	24.8	24.6	14.4	7.3	赤彩	P-X	111
189-7	231		WR-48	Ⅲ	耳飾	車輪形	24	23.6	14.8	7.2		特-91	41
189-8	231		WR-34	Ⅲ	耳飾	車輪形	40.5	35.6	20.1	22.7	赤彩		188
189-9	231		WR-32	Ⅲ	耳飾	車輪形	24	21.5	19.3	8		特-203	116
189-10	231		WR-32	Ⅲ	耳飾	車輪形	24	27	26	16.2			202
189-11	231		WR-50	Ⅲ	耳飾	鼓形	17	23	23	3.3			171
189-12	231		WP-35	Ⅲ	耳飾	鼓形	26.7	29.5	29.2	11.9			179
189-13	231		WR-46	Ⅲ	耳飾	鼓状	48	48	15	25.4	赤彩		104
189-14	231		WR-46	Ⅲ	耳飾	鼓状	41	40	16	13.5		特-66	18
189-15	231	Sec7	NS-34	Ⅲ-2	耳飾	鼓状	35	37	13	15			110
189-16	231		WR-44	Ⅲ	耳飾	鼓状	31	31.6	19.6	10.3		特-236	119
189-17	231		WR-44	Ⅲ	耳飾	鼓状	18.3	18.2	11.4	1.7			110
190-1	231		WT-51	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	14.6	7.2			35
190-2	231		WS-49	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	16	5.9		P-X	55
190-3	231		WS-47	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	19.3	6			105
190-4	231		WR-46	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	15.4	1.4		P-1219	107
190-5	231		WR-48	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	18.9	4.9			106
190-6	231		WS-47	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	16.4	2.4	P-1765の基点で出土	P-1765	50
190-7	231		WR-47	Ⅲ下部	耳飾	鼓状	—	—	13.2	2			19
190-8	231		WR-45	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	11.2	5.9		P-X	54
190-9	231		WR-41	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	17.8	4.4		P-X	49
190-10	231		WT-48	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	9.8	1.8		特-108	40
190-11	231		WS-48	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	15.1	4.7		P-X	51
190-12	231	Sec3	WR-44	Ⅲ-8	耳飾	鼓状	—	—	13.8	2.1		P-X	50
191-1	231	Pl10707	WR-34	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	18	4.5			165
191-2	231		WS-35	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	19	6.1			163
191-3	231		WR-50	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	11	2.2			186
191-4	231		WR-45	Ⅲ	耳飾	鼓状	—	—	15.5	2			168
191-5	231		WR-45	Ⅲ	土玉	星型	25	24	16	5.8	赤彩, 50mm近く離れてそれぞれ出土	特-66 特-208	22
191-6	231		WT-59	Ⅲ	土玉	星型	21	21	13	3.4	赤彩	特-92	25
191-7	231	Sec5	WR-35	Ⅲ-9 相当	土玉	車輪形	20	20.2	13.4	3.8	赤彩	特-234	120
191-8	231		WR-46	Ⅲ	土玉	車輪形	19	19	17	4.8	赤彩	特-52	24
191-9	231		WT-35	Ⅲ	土玉	車輪形	14.4	16	13.6	2.3	赤彩		118
191-10	231		WR-43	Ⅲ	耳飾	耳栓	17	17	17	1.5		特-28	20
191-11	231		WR-43	Ⅲ	土玉	勾玉	15.2	8.7	3.6	0.4	赤彩		42
191-12	231		WR-43	Ⅲ	土玉	勾玉	16.4	10.2	3.8	0.5	赤彩	特-6	45
191-13	231	Sec3	WR-44	Ⅲ-1+d	土玉	丸玉	7	7	6	0.3	赤彩		37
191-14	231		WR-43	Ⅲ	土玉	丸玉	7	7	7	0.2	赤彩	特-8	43

土製品観察表(3)

図番	写真	遺構名	グリッド	層位	分類	部位・形状	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上No.
19-15	231		VR-43	Ⅲ	土玉	丸玉	7	7	7	0.3	赤砂	特-7
19-16	231		VR-43	Ⅲ	土玉	丸玉	6	6	7	0.2	赤砂	特-10
19-17	231		VR-43	Ⅲ	土玉	丸玉	6	7	6	0.2	赤砂	特-9
19-18	231		VR-43	Ⅲ	土玉	丸玉	8	7	7	0.3	赤砂	48
19-19	232		VR-45	Ⅲ	彫物土	溝抜き	30	27	7	4.9		特-77
19-21	232		VR-47	Ⅲ	ミニチュア土器	底形	36.7(総高)	56(最大径)	4	21.9		38
19-22	232	SR31		層土	ミニチュア土器	底形	28.7(総高)	43(口径)	4	6.3		94
19-23	232		VR-49	Ⅲ	ミニチュア土器	鉢形	62.4(総高)	56(最大径)	4	60.6		P-1633
19-4	232		VR-49	Ⅲ	ミニチュア土器	注口	47(総高)	56(最大径)	3	11.8		95
19-5	232		VR-49	Ⅲ	ミニチュア土器	底形	45(総高)	18(最大径)	4	19.5		101
19-6	232		VR-48	Ⅲ	ミニチュア土器	器形・注口	11(総高)	15(底径)	—	2.6		109
19-7	232		VR-48	Ⅲ	ミニチュア土器	鉢形	29(総高)	52(最大径)	4	21.5		201
19-8	232		VR-31	Ⅲ	ミニチュア土器	鉢形	14(総高)	21(口径)	2	1.7		203
19-9	232		VR-49	Ⅲ	ミニチュア土器	口縁部	—	—	4	1.9		100
19-10	232		VR-37	Ⅲ	ミニチュア土器	口縁部	—	—	5	3.4		60
19-11	232		VR-49	Ⅲ	ミニチュア土器	不明	63	37.5	37.5	28.5		96
19-12	232	Sec3	WS-44	Ⅲ-2	土製品	棒状	54.8	19.4	20.1	13.3		特-112
19-13	232		WS-40	Ⅲ	土製品	不明	32	46.5	26	19.9		30
19-14	232		WS-48	Ⅲ	土製品	不明	37.2	21.4	8	4.1		特-103
19-15	232		WS-48	Ⅲ	土製品	不明	—	—	5	22.5		P-X
19-16	232		WS-50	Ⅲ	土製品	不明	—	—	5	21.8		P-X
19-17	232			Ⅲ	土製品	不明	—	—	—	—		184
19-18	232		VR-49	Ⅲ	土製品	不明	—	—	4	1.2		98
19-19	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	32.2	29.4	7.8	7.9		32
19-2	232		VT-47	Ⅲ	内蓋	—	35	33	6	7.5		64
19-3	232		WS-49	Ⅲ	内蓋	—	31	29	12	11.6		65
19-4	232		WS-45	Ⅲ	内蓋	—	41	40	6	10.1		66
19-5	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	31	35	8	9.9		67
19-6	232		VR-48	Ⅲ	内蓋	—	30	33	7	6.1		68
19-8	232		VR-46	Ⅲ	内蓋	—	22	24	5	2.9		70
19-9	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	26	26	5	4.3		71
19-10	232		VR-48	Ⅲ	内蓋	—	23	24	4	2.1		72
19-11	232		VR-48	Ⅲ	内蓋	—	27	29	5	4		73
19-12	232		WS-41	Ⅲ	内蓋	—	31	35	6	6.8		75
19-13	232		VR-38	I	内蓋	—	35	36	5	8.2		76
19-14	232		VR-47	Ⅱ	内蓋	—	29	31	5	4.7		77
19-15	232		WS-47	Ⅱ	内蓋	—	31	35	2	7.1		78
19-16	232		VR-41	Ⅲ	内蓋	—	37	35	5	8.5		79
19-17	232		VR-46	Ⅲ	内蓋	—	31	35	7	8.8		80
19-18	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	30	30	6	5		81
19-19	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	45	47	5	13.9		82
19-20	232		VR-45	Ⅲ	内蓋	—	48	46	10	24.1		85
19-21	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	49	51	8	23		87
19-22	232		VR-49	Ⅲ	内蓋	—	51	48	7	19.5		89

※図番に黒抜けのあるものは、発掘品として得た小型土器。

土製品観察表(4)

図-№	写真	遺構名	グランド	層位	分類	部位・形状	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	取上№
193-22			WT-49	Ⅲ	円盤	—	32	34	8	8.5		90
193-23		?	WT-49	?	円盤	—	37	39	8	11.3		91
193-24			WT-49	Ⅲ	円盤	—	39	46	8	11.9		92
193-25			WR-50	Ⅲ	円盤	—	33	38	6	8.7		166
193-26		ア?#11	WS-34	Ⅲ	円盤	—	26	29	8	5		P-3000の中
193-27			WS-51	Ⅲ	円盤	—	4	36	7	11.1		172
193-28			WS-50	Ⅲ	円盤	—	36	33	4	5.6		173
193-29			WS-31	I	円盤	—	30	31	6	6.5		174
193-30	232		WT-34	Ⅲ	円盤	—	23	43	5	4		175
194-1			WS-50	Ⅲ	円盤	—	41	43	6	8.8		176
194-2			WS-50	Ⅲ	円盤	—	48	47	7	13.6		177
194-3			WT-49	Ⅲ	円盤	—	35	39	6	8		178
194-4			WT-50	Ⅲ	円盤	—	49	49	7	19.7		180
194-5			WS-50	Ⅲ	円盤	—	34	35	5	7.1		181
194-6			WT-35	Ⅲ	円盤	—	41	48	48	15.4		190
194-6	232		WT-34	Ⅲ	円盤	—	55	47	5	17.1		191
194-7			WF-35	Ⅲ	円盤	—	39	41	7	10.1		194
194-8			WT-35	Ⅲ	円盤	—	27	30	5	5		193
194-9			WT-35	Ⅲ上	円盤	—	46	45	6	11.2		192
写真のみ	232		WT-44	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	13.8		58
写真のみ	232	Sec3	WS-44	I	粘土塊	—	—	—	—	91.5		208
写真のみ	232		WS-45	Ⅲ	粘土塊	—	—	—	—	4.2		210
写真のみ	232		WT-47	Ⅲ	粘土塊	—	—	—	—	6.6		211
写真のみ	232		WT-47	Ⅲ	粘土塊	—	—	—	—	17.6		209
写真のみ	232		WR-48	Ⅲ	粘土塊	—	—	—	—	13.9		108
写真のみ	232		WS-34	Ⅲ	ミニチュア土器	—	—	—	—	1.4		94
写真のみ	232		WS-34	Ⅲ	ミニチュア土器	—	—	—	—	5.2		102
写真のみ	232		WS-34	Ⅲ	ミニチュア土器	—	—	—	—	14.4		161
写真のみ	232		WS-47	Ⅲ	不明	—	—	—	—	8.1		129
写真のみ	232		WT-49	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	9.3		83
写真のみ	232		WT-49	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	8.5		84
写真のみ	232		WT-49	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	2.4		86
写真のみ	232		WT-49	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	18		74
写真のみ	232		WS-35	Ⅲ-4	円盤	—	—	—	—	8.6		195
写真のみ	232		WS-35	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	16.4		207
写真のみ	232		WS-44	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	5.9		69
写真のみ	232		WR-44	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	18.6		88
写真のみ	232		WR-46	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	5.9		31
写真のみ	232		WT-34	Ⅲ	円盤	—	—	—	—	7.7		206
写真のみ	232	SN45周切	WT-35	Ⅲ	耳飾	—	—	—	—	3.6		205
写真のみ	232		WR-46	Ⅲ	耳飾	—	—	—	—	2.2		204
写真のみ	232		WS-48	Ⅲ	耳飾	—	—	—	—	2.4		103

石製品観察表(1)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	備考	取上 No	整理 No
195-1	233	IV0-45	Ⅲ	岩版類	凝灰岩	63	46	10	33.7		P-1272	135
195-2	233	IVM-52	Ⅲ	攪乱	凝灰岩	51	41	7	12.3			395
195-3	233	IVR-50	Ⅲ	岩版類	凝灰岩	88.5	60.2	19.7	105.3		特-25	136
195-4	233	IVT-29	I	岩版類	凝灰岩	35	37	6				
195-5	233	IVR-57	Ⅲ	岩版類	凝灰岩	78.6	65.1	18	99.7		特-104	131
195-6	233	IVS-48	Ⅲ	岩版類	凝灰岩	146	170	40	970.1	中央部に盲孔	特-70	99
195-7	233	IVR-44	Ⅲ	岩版類	凝灰岩	31	30	23	24.9	十字の溝刻	特-5	134
195-8	233	IVT-51	Ⅲ	岩版類	安山岩	46	41	11.5	18.7	十字の溝刻	特-100	102
195-9	—	IVS-34	—	岩版類		65	36	28	36.2	下半部に鏡刻	特-217	339
195-10	233	IVN-45	Ⅲ	岩版類	安山岩	87.3	61.7	21	123.4	正面放射状の線刻	特-60	101
195-11	233	IV0-41	Ⅲ	有孔石製品	ヒスイ	8.5	8.6	6.2	0.8	小玉 片側穿孔	特-17	121
195-12	233	IV0-39	Ⅲ	有孔石製品	ヒスイ	9.2	9.2	6.1	0.8	小玉 片側穿孔	特-14	122
195-13	233	IVR-45	Ⅲ	有孔石製品	緑色凝灰岩	10.8	10.6	9.4	1	小玉 両側穿孔	特-47	118
195-14	233	IVR-46	Ⅲ	有孔石製品	緑色凝灰岩	11.5	11.7	7.6	0.9	小玉 両側穿孔	特-41	119
195-15	233	IVR-47	Ⅲ	有孔石製品	緑色凝灰岩	12.2	11.4	5.6	0.8	小玉 両側穿孔	特-48	123
195-16	233	IV0-41	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	12.5	12	3	0.5	小玉 片側穿孔		120
195-17	—	IVS-34	—	有孔石製品		11	9	5	0.5	小玉未成品? 盲孔	特-218	340
195-18	233	IVN-44	Ⅲ	有孔石製品	緑色凝灰岩	25	15	8	3.7	未成品? 盲孔		144
195-19	233	IVT-34	Ⅲ	有孔石製品	緑色凝灰岩	2.4	2	1.2		欠入縁		
195-20	—	IV0-42	—	有孔石製品	緑色凝灰岩	31	26	20	18.8	未成品? 盲孔		124
195-21	—	IVN-44	—	有孔石製品	緑色凝灰岩	33	22	17	16.5	欠入縁		125
195-22	233	IVT-34 SN45周辺	Ⅲ	有孔石製品	軽石	60	35	15	3.5	磨飾品 片側穿孔	特-224	342
195-23	233	IV0-42	Ⅲ	有孔石製品	軽石	42	27	14	3.7	磨飾品 片側穿孔		167
195-24	233	IVQ-43	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	50.1	38.4	8.7	12.9	磨飾品? 破断面に両側穿孔の貫通孔 側面盲孔に赤彩残る部分有	特-2	137
195-25	233	IV0-42	Ⅲ	有孔石製品	粘板岩	53	25	5	10.1	磨飾品? 両側穿孔		311
195-26	233	IVR-35	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	52	35	27	23.3	磨飾品? 側面穿孔・正面に赤彩	P-X	312
195-27	233	IVQ-37	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	47	30	19	13.9	磨飾品? 両側穿孔		130
195-28	233	IVR-36	Ⅲ	有孔石製品	粘板岩	34	17	5	3.8	磨飾品 前面研磨 両側穿孔		443
195-29	233	IVT-45	Ⅲ	有孔石製品	マンガン ノジュール	2.9	2.8	0.8		盲孔(穿孔未達)両側穿孔	ソノ 071	
195-30	233	IVQ-48	Ⅲ	有孔石製品	凝灰岩	85	42	17	71.8	盲孔(周囲に敲打痕)		161
196-1	234	IV0-42	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	31	29.3	5	7.2	全面研磨	S-37	39
196-2	234	IV0-53	Ⅲ	円盤状石製品	緑色凝灰岩	30.2	32.6	8.4	12.5	全面研磨		188
196-3	234	IV0-41	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	26.8	28	6.2	7	全面研磨		40
196-4	234	IVS-49 風筒木直	—	円盤状石製品	凝灰岩	35.2	34.8	5	7.5	全面研磨・中央部に浅い盲孔	S-183	42
196-5	234	IVR-36 Sec1	Ⅲ-3	円盤状石製品	凝灰岩	26.2	27.4	7.4	6.1	全面研磨		41
196-6	—	IVN-44	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	56	58	13	51.2	全面研磨		206
196-7	234	IVR-50	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	25	26	11	12.3	接縁磨耗	特-44	33
196-8	—	IVT-52	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	25	28	10	9.7	接縁磨耗		306
196-9	234	IVT-49	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	28	27	12	11.1			209
196-10	234	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	32	31	13	18.3		—	35
196-11	234	IVS-41	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	31	32	10	14.9	接縁磨耗		208
196-12	—	IVR-50	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	36	37	13	27.9	側面一部磨耗激しい	S-126	16
196-13	—	IVR-44 Sec3	Ⅲ-8	円盤状石製品	緑色凝灰岩	38	38	12	23.3		S-3	2
196-14	—	IVS-46	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	36	36	15	29.4			381
196-15	234	IVS-41	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	38	40	12	28.6			156
196-16	—	IVS-52	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	41	41	19	42.6			176
196-17	—	IV0-47	Ⅲ	円盤状石製品	緑色凝灰岩	47	45	14	29	側面一部敲打	S-134	21
196-18	234	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	43	45	14	32.8			183
196-19	234	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	54	51	25	92.5			179
196-20	—	IVS-35	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	45	48	17	56.7			221
196-21	234	IVQ-21	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	46	45	13	30.2	側面一部敲打		202
196-22	—	IVS-38	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	50	49	19	69.8			210
196-23	—	IV0-42	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	54	51	20	77.2		S-47	26
196-24	—	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	55	52	23	84.9		S-55	10
196-25	—	IVS-52	Ⅲ	円盤状石製品	泥岩	57	55	19	55.6	黒色物質付着	P-X	391
196-26	234	IVR-42	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	51	57	10	35.7	赤色顔料・粘土状物質付着		159
196-27	—	IVQ-46	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	57	63	20	85.3		S-107	6

石製品観察表(2)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上 No.	整理 No.
196-28	234	IVT-34	Ⅲ	円盤状石製品	粘板岩	58	60	13	69.1			216
196-29	—	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	56	60	15	77		S-56	4
196-30	—	IVS-49	Ⅲ	円盤状石製品	粗粒玄武岩	65	63	19	85.3		S-144	31
196-31	—	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	65	58	36	178.4			174
196-32	234	IVR-49	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	55	60	20	118.9	側面一部敲打	S-94	19
197-1	—	IVS-49	Ⅲ	円盤状石製品	緑色凝灰岩	75	72	19	142.6		S-183	8
197-2	—	IV0-43	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	79	82	17	141.6			157
197-3	234	IVV-33	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	68	71	18	134.5			141
197-4	—	IVS-53	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	86	84	14	163.4		特-101	20
197-5	—	IVR-50	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	85	90	32	350		—	34
197-6	—	IVV-33	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	84	85	20	209.6			386
197-7	—	IVW-31	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	83	85	13	116.5			375
197-8	—	IVP-34	Ⅱ～Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	34	36	16	25.2	側面敲打		376
197-9	—	次番										
197-10	—	IVW-31	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	62	68	20	132.9	側面敲打		352
197-11	—	IVS-49	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	58	57	29	103.3	側面一部敲打	S-143	14
197-12	—	IVS-54	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	43	45	10	27.6	側面一部敲打	S-179	5
197-13	—	IVR-44	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	45	51	11	32.2	不整形		160
197-14	—	IVS-49	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	53	52	16	58.8	不整形	S-129	30
197-15	—	IVS-49	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	60	63	16	65.3	不整形	S-148	180
197-16	—	IVR-50	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	45	50	14	43.2	不整形	S-127	28
197-17	—	S102	I	円盤状石製品	泥岩	57	55	18	60.6	不整形	S-11	3
197-18	—	IVT-48	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	88	83	28	311.2	不整形		161
198-1	234	IV0-45	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	45	44	8	22.1	側面両面からの剥離		196
198-2	234	IV0-49	第3段	円盤状石製品	デイサイト	36	54	18	75.1	側面両面からの剥離		164
198-3	—	IVQ-44 Sec3	Ⅱ	円盤状石製品	凝灰岩	62	66	14	69.3	側面両面からの剥離		198
198-4	—	IVR-57	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	62	60	12	57.3	側面両面からの剥離・ 黒色物質付着	S-182	32
198-5	—	IVR-44 Sec3	Ⅲ-10	円盤状石製品	緑色凝灰岩	82	75	19	141	側面両面からの剥離・ 側面一部敲打		17
198-6	234	IVQ-45	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	89	75	20	174.3	側面両面からの剥離・ 側面一部敲打		155
198-7	—	IVN-44 Sec2	Ⅲ-7	円盤状石製品	凝灰岩	67	61	20	121.7	側面両面からの剥離・ 側面一部敲打		199
198-8	—	IVR-49	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	68	71	21	148.7	側面両面からの剥離	S-99	385
198-9	—	IVQ-53	Ⅲ	円盤状石製品	緑色凝灰岩	62	62	23	98.6	側面両面からの剥離	特-105	191
198-10	234	IVT-54	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	66	87	22	213.5	側面両面からの剥離		152
198-11	234	IVR-49	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩	63	61	19	94.4	側面一部敲打・磨耗・線刻有	S-98	1
198-12	—	IVR-50	Ⅲ	円盤状石製品	デイサイト	60	64	20	99.3	線刻有	S-112	7
198-13	234	IVR-45	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	80	75	18	150.1	一部分のみ加工		153
198-14	—	IVQ-49	Ⅲ	円盤状石製品	安山岩	64	65	22	115.8		S-96	22
199-1	235	IV0-42	Ⅲ	石棒	凝灰岩	116	34	38	49.1	正面溝内に赤彩。表面に磨痕	S-58	104
199-2	235	IVT-44 Sec3	I	石棒	砂岩	92	34	15	63	表面に乳瘤		103
199-3	235	IVT-49	Ⅲ	石棒	凝灰岩	56	41	37	83.4		S-161	64
199-4	235	IVT-47	Ⅲ	石棒	粘板岩	69	43	39	137.2	線刻の線刻	特-96	132
199-5	235	IVS-35 Sec5	Ⅲ-7	石棒	粘板岩	278	37	30	473.6	先端部に遮光器状の溝刻。 先端部直下に貫通孔	特-237	245
199-6	235	IVR-37	Ⅲ	石棒	凝灰岩	113	28	22	126.1	帯状敲打痕・沈線線取り	特-18	66
199-7	235	IVS-43	Ⅲ	石棒	粘板岩	92	28	11	28.1	帯状敲打痕・沈線線取りとX字状	S-60	75
199-8	235	IVT-50	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	196	34	23	283.7		S-171	55
199-9	—	IVT-50	Ⅲ	石棒	粘板岩	64	29	22	43.1	X字状沈線		170
199-10	235	IVS-51	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	89	24	7	21.8	帯状敲打痕	S-166	46
199-11	235	IV0-43	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	142	32	22	166.5	破損品の両端部を 研磨し再加工	S-72	71
199-12	235	HIS103 フク土 2回目		石棒	凝灰岩	104	33	29	170.9		S-3	58
199-13	—	IVT-53	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	118	35	13	102.2		特-102	61
199-14	—	IVS-49	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	159	37	17	161		S-95	70
199-15	235	IVS-47	Ⅲ	石棒	泥岩質粘板岩	189	33	25	282.1	帯状の横痕	S-118	69

石製品観察表(3)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上 No	整理 No
199-16	235	IV0-42	Ⅲ	石棒	凝灰岩	120	28	22	121.8			57
200-1	—	IVR-36 IVQ-37 Sec1	Ⅲ-2	石棒	粘板岩質 凝灰岩	365	38	15	287.5		特-24 S-5	43 68
200-2	236	IVY-33	Ⅲ	石棒	泥岩質粘板岩	202	30	25	277.3	沈鏝	S-292	243
200-3	235	IVT-50	Ⅲ	石棒	粘板岩	140	27	18	114.7		S-169	62
200-4	236	IVR-46	Ⅲ	石棒	凝灰岩	66	42	35	145.9	凸凹反る	特-61	53
200-5	236	IVR-31	I	石棒	安山岩	248	88	80	2086	表面に敲打痕、西傍端と接合		373
200-6	236	IV0-46	Ⅲ	石棒	デイスサイト	100	78	62	669	表面に擦痕・被熱	S-123	168
201-1	—	IVT-34	Ⅲ	石棒	粘板岩	291	30	22	310.6	下端部折損後研磨し再加工	S-215	360
201-2	236	IVN-44 Sec2	Ⅲ-7上面	石剣	粘板岩質 凝灰岩	176	25	19	132.8			84
201-3	236	IVR-33	I	石剣	ホルンフェルス	139	23	17	86.7			91
201-4	236	IVR-48	Ⅲ	石剣	粘板岩質 凝灰岩	164	30	23	192.1		S-97	54
201-5	—	IVS-44	Ⅲ	石剣	ホルンフェルス	67	23	20	56.3	沈鏝		258
201-6	—	IVR-42	Ⅲ	石剣	粘板岩	127	30	17	116.1	下半部に敲打痕残存	S-8	88
201-7	236	IV0-42	Ⅲ	石剣	ホルンフェルス	95	22	18	46.8		S-59	89
201-8	236	IVS-33	Ⅲ	石剣	粘板岩	207	24	20	97.9	折損部研磨再加工、下端部磨耗	S-293	244
201-9	236	IVN-39	Ⅲ	石剣	粘板岩	151	22	18	76.9		特-22	85
201-10	236	IVR-43	Ⅲ	石剣	粘板岩	198	29	23	196.8	帯状敲打痕、沈鏝縁取り	特-3	73
201-11	236	IVS-50	Ⅲ	石剣	ホルンフェルス	265	30	25	339.5	帯状敲打痕、下端部磨耗	S-182	87
201-12	236	IVM-52	I	石剣	泥岩質粘板岩	149	35	23	166.7	帯状敲打痕、下端部磨耗		169
201-13	236	IVS-50	Ⅲ	石剣	粘板岩	52	17	8	12.1	小型、沈鏝	特-68	60
202-1	237	IVR-39	Ⅲ	石刀	凝灰岩	206	61	23	294.9		S-14	109
202-2	237	IVN-45	Ⅲ	石棒	凝灰岩	134	32	16.5	246.9	擦痕	S-110	59
202-3	237	IVT-49	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	215	32	16.5	73.3	柄部沈鏝、峰に沈鏝	S-160	51 266
202-4	237	IVY-53	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩	98	36	10	50			267
202-5	237	IVR-31	I	石棒	粘板岩	45	31	7	12.1	柄部に沈鏝		106
202-6	237	IV0-42	Ⅲ	石棒	砂岩(古期)	91	32	6	37.1	擦痕		56
202-7	237	IVT-52	Ⅲ	石棒	粘板岩	208	34	12	104.8	刃部内反り	S-167	94
202-8	—	IVT-48	Ⅲ	石棒	粘板岩	84	26	12	49.1		S-158	96
202-9	237	IVS-44 Sec3	Ⅲ-2	石棒	粘板岩	87	32	12	37.4	刃部にまち		92
202-10	237	IV0-44 Sec2	Ⅲ-1	石棒	粘板岩	167	32	25	195.9		S-2	93
202-11	—	IVY-34 ブロック8	Ⅲ	斧状	粘板岩	220	33	14	185.1	割離整形→研磨	S-226	361
202-12	237	IVS-34 ブロック11	Ⅲ	斧状	粘板岩質 凝灰岩	290	32	21	304.3	黒色物質付着	特-209	242
202-13	—	IVN-43	Ⅲ	棒状石製品	チ	92	16	15	48.5	全面研磨	S-65	116
202-14	—	IVR-42	Ⅲ	棒状石製品	凝灰岩	38	9.4	9.7	6.4			165
202-15	237	IVS-45	Ⅲ	石製模倣品	凝灰岩	32	37	16	7.3	容器状、外面に沈鏝		330
203-1	238	IVQ-46	Ⅲ	石製模倣品	安山岩	66	68	49	237.5	敲打整形、正面が凹む	S-71	107
203-2	238	IVS-47	Ⅲ	石製模倣品	凝灰岩	66	56	31	68.8	材質軟質	S-109	168
203-3	238	IVR-35	Ⅲ下	石製模倣品	粗粒玄武岩	83	72	46	369.7	裏面に敲打痕、正面弱く凹む		402
203-4	—	IVS-35	Ⅲ	石製模倣品	粗粒玄武岩	101	96	27	326	黒色物質付着、下端敲打痕		393
203-5	238	IVY-34	Ⅲ	石製模倣品	粗粒玄武岩	54	57	27	102.9	表裏面に敲打痕		380
203-6	238	IVT-35	Ⅲ	石製模倣品	デイスサイト	197	61	40	537.4	石槍の模倣品?一部に敲打痕		430
203-7	238	IVT-43	Ⅲ	石製模倣品	安山岩	95	39	11	42.2			321
203-8	—	IVT-56	I	石製模倣品	凝灰岩	94	92	14	91.8	石槍の模倣品?		394
203-9	238	IVN-44 Sec2	Ⅲ-1	石製模倣品	凝灰岩	141	86	35	408.5	石槍の模倣品?擦痕		138
203-10	238	IVT-43	Ⅲ	石製模倣品	凝灰岩	77	155	35	411.6		S-1	100
204-1	239	IVR-49	Ⅲ	擦痕の 見られる 石製品	凝灰岩	84	43	15	57.4	表面研磨	S-90	98
204-2	239	IVS-50	Ⅲ	擦痕の 見られる 石製品	粘板岩	107	18	9	22.4	表面研磨、盲孔	S-153 特-69	65-67
204-3	239	IVM-52	覆乱	擦痕の 見られる 石製品	凝灰岩	55	25	17	41.2	表面研磨		441
204-4	239	IVT-56	Ⅲ上面	擦痕の 見られる 石製品	凝灰岩	77	52	15	71.2	表面研磨・敲打	特-x	193

石製品観察表(4)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 No	整理 No
204-5	—	IVQ-43	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	凝灰岩	30	24	24	8.1	上下端面に凹み	S-20	133
204-6	—	IVP-42	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	瑪瑙	34	32	18	29	側面に敲打痕	S-09	115
204-7	239	IV0-53	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	緑色凝灰岩	111	72	16	152.7	全面研磨		151
204-8	—	IV0-45	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	緑色岩	123	48	25	2.8	全面研磨、凝灰岩	S-162	277
204-9	239	IVQ-46	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	凝灰岩	80	73	19	148.9	表面研磨		97
204-10	239	IVS-34	Ⅱ	磨痕の見られる 石製品	凝灰岩	79	62	18	104.3	表面研磨		396
204-11	239	IVS-34	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	凝灰岩	137	73	31	335.8	正面に線刻?	特-219	337
204-12	239	IVR-46	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	凝灰岩	163	109	25	395.7	正面中央部磨耗		173
204-13	239	IVT-53	Ⅲ	磨痕の見られる 石製品	凝灰岩	134	117	42	480	一部研磨	特-88	187
204-14	239	IVR-43	Ⅲ	自然産利用	凝灰岩	55	54	37	96.2	自然に孔の開いた礫	S-137	110
204-15	239	IVS-35	I	自然産利用	凝灰岩	60	51	18	64.2	自然に孔の開いた礫		336
報告なし	—	IVN-43	Ⅲ	円盤	緑色凝灰岩				60.7		S-83	9
報告なし	—	IVQ-40	Ⅲ	円盤	凝灰岩				17		P×	11
報告なし	—	IVN-45 Sec2	Ⅲ-1	円盤	閃緑岩				112.2			12
報告なし	—	IVR-50	Ⅲ	円盤	泥岩				44		特-39	13
報告なし	—	IVQ-45	Ⅲ	円盤	泥岩				43.8			15
報告なし	—	IVT-31	Ⅲ	円盤	凝灰岩				101.8			18
報告なし	—	IVW-32	Ⅲ	円盤	緑色凝灰岩				143.6			23
報告なし	—	IVR-50	Ⅲ	円盤	凝灰岩				212.4		S-135	24
報告なし	—	IVT-52	Ⅲ	円盤	凝灰岩				9.2			25
報告なし	—	IVS-54	Ⅲ	円盤	粗粒玄武岩	48	52	14	37		S-180	27
報告なし	—	IVS-49	Ⅲ	円盤	安山岩				7			29
報告なし	—	IVR-46	Ⅲ	円盤	凝灰岩				37.9		—	37
報告なし	—	IVT-31	I	円盤	シルト				1.1			38
報告なし	—	IVS-47	Ⅲ	石棒類	粗粒玄武岩				191.7	自然石だろう	S-106	44
報告なし	—	IVS-48	Ⅲ	石棒類	粗粒玄武岩				65	自然石だろう	S-131	45
報告なし	—	IVQ-39	Ⅲ	石棒類	粘板岩質 凝灰岩				11.1			47
報告なし	—	IVQ-37	Ⅲ	石棒類	粘板岩				5.5			48
報告なし	—	IVR-36 Sec1	Ⅲ-3	石棒類	粘板岩				32.8			49
報告なし	—	IV0-42	Ⅱ	石棒類	—				90.2			50
報告なし	—	IVQ-41	Ⅲ	石棒	粘板岩				144.2	No. 143と接合	特-15	52
報告なし	—	IVQ-45	Ⅲ	石棒	角閃石				25.3	接合しない 同一個体 破片2点	S-115	63
報告なし	—	IV0-41	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩				87.2		S-29	72
報告なし	—	IVQ-47	Ⅲ	石棒	粘板岩				121	No. 248と接合	S-105	74
報告なし	—	IV0-43	Ⅲ	石棒	粘板岩				14.9		S-77	76
報告なし	—	IV0-42	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩				27.1		S-57	77
報告なし	—	IVS-48	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩				57.5		S-176	78
報告なし	—	IVT-46	Ⅲ	石棒	粘板岩質 凝灰岩				174.7		S-80	79
報告なし	—	IVS-45	Ⅲ	石棒	粘板岩				74.7		S-139	80
報告なし	—	IVR-45	Ⅲ	石剣	粘板岩				55.1	写真はS054になっている	特-34	81
報告なし	—	IVQ-45	Ⅱ	石剣	粘板岩				26.8			82
報告なし	—	IVQ-34	Ⅲ	石剣	粘板岩				7.8			83
報告なし	—	IVS-43	Ⅲ	石剣	粘板岩				37.1	写真はS058になっている	S-15	86
報告なし	—	IVN-45	Ⅲ	石剣	粘板岩質 凝灰岩				—	No. 84と接合		90
報告なし	—	IVS-43	Ⅲ	石剣	粘板岩				32.6			95
報告なし	—	IVN-44	Ⅲ	磨入礫	玉髓				33.2			111
報告なし	—	IVN-41	Ⅲ	磨入礫	水晶				0.2			112
報告なし	—	IVR-33	I	磨入礫	水晶				1.1			113

石製品観察表(5)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上 No	整理 No
報告なし	—	IVR-46	Ⅲ	搬入礎	珪化木				120.9			114
報告なし	—	IVN-44 Sec2	Ⅲ-1	搬入礎	安山岩				76.1			117
報告なし	—	IVR-48	Ⅲ	搬入礎	緑色凝灰岩				0.9		S-133	126
報告なし	—	IVN-44	Ⅲ	搬入礎	緑色凝灰岩				0.5			127
報告なし	—	IVR-48	Ⅲ	搬入礎	緑色凝灰岩				0.6		特-56	128
報告なし	—	IVR-48	Ⅲ	搬入礎	緑色凝灰岩				1.3		特-55	129
報告なし	—	IVV-38	I	搬入礎	カルセドニー				53.6			139
報告なし	—	IVS-44	Ⅲ	円盤打次	泥岩				129.9			140
報告なし	—	IVS-37	Ⅲ	不明	凝灰岩				95.4			142
報告なし	—	IVS-48	Ⅲ	石剣	—				—	No. 52と接合	S-168	143
報告なし	—	IVQ-38	Ⅲ-4	石剣	粘板岩				49.8			145
報告なし	—	IVQ-36	Ⅲ	石剣	粘板岩				—	No. 50と同一接合		146
報告なし	—	—	—	表探	円盤				208.1			147
報告なし	—	IVQ-57	Ⅲ	円盤	安山岩	51	50	22	103			148
報告なし	—	IVP-53	Ⅲ	円盤	泥岩				110.2			149
報告なし	—	IVQ-57	Ⅲ	円盤	泥岩				102.1			150
報告なし	—	IVO-43	Ⅲ	円盤	泥岩	65	76	20	144.1			154
報告なし	—	SI02	I	円盤	凝灰岩	53	56	13	53.9			158
報告なし	—	—	—	排土	円盤				182.1			162
報告なし	—	IVT-47	Ⅲ下部	円盤	花崗閃緑岩				149.7			163
報告なし	—	IVO-49	落ち込み	円盤	安山岩				119.9			165
報告なし	—	IVO-44	Ⅲ	石剣	粘板岩				47			166
報告なし	—	IVO-45	Ⅲ	岩版(三角形)	凝灰岩	120	125	23	356.8			172
報告なし	—	IVQ-48	Ⅲ	円盤	緑色凝灰岩				55.8			175
報告なし	—	IVT-50	Ⅲ	円盤	流紋岩				255.1			177
報告なし	—	IVT-52	Ⅲ	円盤	安山岩				214.8			178
報告なし	—	IVS-49	Ⅲ	円盤	安山岩				89.7		S-147	181
報告なし	—	IVR-46	Ⅲ	円盤	閃緑岩				183.8			182
報告なし	—	IVR-46	Ⅲ	円盤	安山岩				118.3			184
報告なし	—	IVT-49	Ⅲ	円盤	花崗閃緑岩				44.6			185
報告なし	—	IVN-45 Sec2	Ⅲ-1	石剣	粘板岩				11.6			186
報告なし	—	IVN-54	Ⅲ	円盤	花崗閃緑岩				27.1			特× 189
報告なし	—	IVT-48	Ⅲ	石剣	粘板岩				36.8			特-107 190
報告なし	—	IVQ-30	I	円盤	泥岩				20.3			特× 192
報告なし	—	IVS-44 Sec3	I	円盤	安山岩				41.9			194
報告なし	—	IVO-44	Ⅲ	円盤	凝灰岩				11.8			195
報告なし	—	IVN-46	Ⅲ	円盤	ホルンフェルス				63.7			197
報告なし	—	IVO-45	I	円盤	—				6.2			200
報告なし	—	IVR-45	Ⅲ	円盤	凝灰岩				33.6	自然石かも		201
報告なし	—	IVT-50	Ⅲ	円盤	凝灰岩				46.9			203
報告なし	—	IVO-45	Ⅲ	円盤状石製品	玄武岩				112.8			204
報告なし	—	IVP-45	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩				26.8			205
報告なし	—	IVR-51	Ⅱ	円盤	泥岩				73.4			207
報告なし	—	IVS-38	Ⅲ	円盤	凝灰岩				30.4			211
報告なし	—	IVO-41	Ⅲ	円盤	凝灰岩				14.7			212
報告なし	—	IVT-29	I	円盤	泥岩				81.9			213
報告なし	—	IVR-41	Ⅲ	円盤	凝灰岩				10.7			214
報告なし	—	IVT-29	I	円盤状石製品	凝灰岩				7.9			215
報告なし	—	IVU-52	仮Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩				91			218
報告なし	—	IVT-36	Ⅲ	円盤状石製品	泥岩				110.8			219
報告なし	—	IVU-55 Sec4	I	円盤状石製品	凝灰岩				79.1			220
報告なし	—	IVR-33	Ⅲ	円盤	花崗閃緑岩				149.2			227
報告なし	—	IVU-52 ブロック2	—	フタ土	円盤	34	34	9	14.7			229
報告なし	—	—	—	排土	円盤状石製品				67.8	未製品		235
報告なし	—	—	—	表探	石棒				—	No. 74と接合		248
報告なし	—	IVU-34	Ⅲ	石棒	—				30.9		S-209	249
報告なし	—	IVY-34	Ⅲ	石棒	—				18.9		S-23	250
報告なし	—	IVU-33	Ⅲ	石棒	—				52.8		S-220	252
報告なし	—	IVV-31	I	石棒	—				27			253

石製品観察表(6)

図№	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 No.	整理 No.
報告なし	—	IVS-34 Sec6	Ⅲ-3	石棒	—				131.1		S-249	254
報告なし	—	IVS-35	Ⅲ	石棒	—				10.6			256
報告なし	—	IVR-44	Ⅲ	石棒	—				17.3			257
報告なし	—	IVR-44	Ⅲ	石棒	—				6.6			259
報告なし	—	IVQ-44	Ⅲ	石棒	粘板岩				42.8			260
報告なし	—	IVN-46	Ⅲ	石棒	—				34.6			261
報告なし	—	IVT-46	Ⅲ	石棒	—				11.5			262
報告なし	—	旧SI03	フク土	石棒	—				63.5	No. 264と接合	S-1	263
報告なし	—	IVR-42	Ⅲ	石棒	—				—	No. 263と接合		264
報告なし	—	IVR-47	Ⅱ	石棒	—				15.8			265
報告なし	—	IV0-42	Ⅲ	玉類	緑色石				1			276
報告なし	—	IV0-42	Ⅲ	玉類	緑色石				1.3			278
報告なし	—	IVS-46	Ⅲ	玉類	緑色石				11.1			279
報告なし	—	IV0-41	Ⅲ	玉類	—				15.7			280
報告なし	—	IV0-40	Ⅲ	玉類	—				4.8			281
報告なし	—	IVM-46	Ⅲ	玉類	—				17.4			282
報告なし	—	IVM-42	Ⅲ	その他	—				40.3			313
報告なし	—	IV0-42	Ⅲ	その他	—				14.4			314
報告なし	—	IVR-44	I	その他	—				17.9			315
報告なし	—	IVY-44	I	その他	—				6.6			316
報告なし	—	IVY-44	I	その他	—				1.1			317
報告なし	—	IVR-44	I	その他	—				3.3			318
報告なし	—	IVR-44	I	その他	—				1.7			319
報告なし	—	IVN-42	Ⅲ	その他	—				14.1			320
報告なし	—	IVY-44	I	その他	—				7			322
報告なし	—	IVR-44	Ⅲ	その他	—				1.4			323
報告なし	—	IVR-45	Ⅲ	その他	—				58.8			324
報告なし	—	IVS-48	Ⅲ	その他	—				5.7			325
報告なし	—	IVT-49	Ⅲ	その他	—				6.2			326
報告なし	—	IVP-41	Ⅲ	その他	—				8.4			327
報告なし	—	IV0-41	Ⅲ	その他	—				9.9			328
報告なし	—	IVT-49	Ⅲ	その他	—				5			329
報告なし	—	IVY-39	I	その他	凝灰岩	27	15	9	3			332
報告なし	—	—	埴土	その他	—				124.7			334
報告なし	—	IVU-54	仮Ⅲ下	その他	—				4.4			335
報告なし	—	IVU-54	仮Ⅲ2	その他	粗粒玄武岩	91	57	23	144.4			338
報告なし	—	IVU-55	I	その他	凝灰岩	19	26	18	5.5			341
報告なし	—	IVS-39	Ⅱ	その他	—				5.3		特×	345
報告なし	—	IVU-54	仮Ⅲ	その他	ホルンフェルス	44	6	6	2.4			347
報告なし	—	IVY-54	仮Ⅲ下	その他	—				1.4			348
報告なし	—	IVS-34	Ⅲ	その他	—				69.7			350
報告なし	—	IVU-56 Sec4	仮Ⅲ1	その他	—				0.7		特×28	351
報告なし	—	IVW-31	Ⅲ	円盤	—				78.2			354
報告なし	—	IVW-31	Ⅲ	石棒	—				95.7			356
報告なし	—	IVT-33	Ⅲ	石棒	—				150.5		S-214	359
報告なし	—	IVU-35	Ⅲ	石棒	—				22.8			362
報告なし	—	IVS-30	Ⅲ	石棒	—				89			363
報告なし	—	IVS-30	Ⅲ	石棒	—				23			364
報告なし	—	IVY-30	I	石棒	—				14.6			365
報告なし	—	IVU-30	Ⅲ	石棒	—				76.4			366
報告なし	—	IVU-29	Ⅲ	—	—				—	No. 366と接合		367
報告なし	—	IVU-30	Ⅲ	石棒	—				—	No. 366と接合		368
報告なし	—	IVT-35	Ⅲ	石製品	—				52.8			369
報告なし	—	IVY-33	Ⅲ	—	—				18.2			370
報告なし	—	IVS-47	Ⅱ	石製品素材?	—				6.9			371
報告なし	—	IVY-31	Ⅲ	石製品	—				4.2			372
報告なし	—	IVS-32	Ⅲ	石棒	—				376.9			374
報告なし	—	IVT-53	Ⅲ	石製品	安山岩				10.9			377
報告なし	—	IVU-32	I	—	緑色凝灰岩				7			378
報告なし	—	IVT-56	Ⅲ	—	泥岩				57			379
報告なし	—	IVY-30	I	—	凝灰岩				15.4			382
報告なし	—	IVW-31	Ⅲ	石製品	泥岩				61.7			383

石製品観察表(7)

図-No	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	取上 No	整理 No
報告なし	—	IVS-35	Ⅲ下		柱化木	60	61	24	116.5			384
報告なし	—	IVR-46	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩				19.5			387
報告なし	—	IVQ-53	Ⅲ	石製品	凝灰岩				15.1			388
報告なし	—	IVT-47	Ⅲ	石製品	安山岩				82.1			389
報告なし	—	IVP-52	I	石製品	凝灰岩				168.9			390
報告なし	—	IVS-49	Ⅲ	石製品	安山岩				101.8			392
報告なし	—	IVS-48	Ⅲ	石製品	緑色凝灰岩				5.6			397
報告なし	—	IVU-30	I	石製品	粘板岩				2.5			398
報告なし	—	IVT-33	Ⅲ		緑色凝灰岩				61.3			399
報告なし	—	IVS-48	Ⅲ	石製品素材	緑色凝灰岩				24.5			400
報告なし	—	IVR-32	Ⅲ		凝灰岩				93.5			401
報告なし	—		Ⅲ	石製品	—				17.7			403
報告なし	—		Ⅲ	石製品	—				51.4			404
報告なし	—		Ⅲ	石製品素材?	—				57.5			405
報告なし	—	ブロック9	Ⅲ		—				170			406
報告なし	—		Ⅲ		—				15.7			407
報告なし	—		Ⅲ	石製品	—				4.1			408
報告なし	—		I	石製品	—				19.1			409
報告なし	—		Ⅲ	石製品	—				6.8		P-x	410
報告なし	—			石製品	—				66.5		P-x	411
報告なし	—		Ⅲ		—				76			412
報告なし	—		Ⅲ	石製品	—				240.5			413
報告なし	—		Ⅲ		—				13.1			414
報告なし	—		Ⅲ	石製品	—				37.7			415
報告なし	—	不明	不明	石製品	—				16		不明	416
報告なし	—	IVQ-59	I	石製品	—				6.1			417
報告なし	—	IVQ-58	Ⅲ		—				18.5			418
報告なし	—	IVU-33	Ⅲ	石製品	—				77.1			419
報告なし	—	IVM-52	Ⅲ	石製品	—				16.7			420
報告なし	—	IVS-52	Ⅲ	石製品	—				15.1		P-x	421
報告なし	—	IVQ-56	Ⅲ	石製品	—				13.5		P-x	422
報告なし	—	IVS-33	Ⅲ	石製品素材?	—				90.1			423
報告なし	—	IVS-35	Ⅲ	石製品?	—				155.6			424
報告なし	—	IVT-53	Ⅲ		—				42.3			425
報告なし	—	IVU-33	Ⅲ	石製品	—				119.5			426
報告なし	—	IVU-34	Ⅲ	石製品	—				230.9			427
報告なし	—	IVU-28	I	石製品	—				5.7			428
報告なし	—	IVU-33	Ⅲ		—				49.5			429
報告なし	—	IVS-35	Ⅲ	円盤状素材	—				48.9			431
報告なし	—	IVS-35	Ⅲ	石製品素材?	—				31			432
報告なし	—	IVT-48	Ⅲ	石製品素材?	—				114.5			433
報告なし	—	IVQ-54	Ⅲ	石製品	—				53			434
報告なし	—	IVY-34	Ⅲ	石製品	—				956.4			435
報告なし	—	IVR-48	Ⅲ	石製品	—				10.1			436
報告なし	—	—	表探	石棒破片	—				25.1		—	437
報告なし	—	IVP-45	Ⅲ		—				91.5			438
報告なし	—	IVT-50	Ⅲ	円盤状石製品	凝灰岩				28.2			439
報告なし	—	IVT-48	Ⅲ	石皿破片	凝灰岩				14.5			440
報告なし	—	IVR-50	Ⅲ	石製品	—				3.5			442
報告なし	—	IVS-50	Ⅲ		—							444
報告なし	—	IVT-50	Ⅲ		凝灰岩							445
報告なし	—	IVS-49	Ⅲ		安山岩							446
報告なし	—	IVU-30	I		凝灰岩							447
報告なし	—	IVT-29	I		凝灰岩							448
報告なし	—	IVR-47	Ⅲ		凝灰岩							449
報告なし	—	IVQ-44	Ⅲ		安山岩							450
報告なし	—	IVQ-55	Ⅲ		凝灰岩							451
報告なし	—	IVR-49	Ⅲ		緑色凝灰岩							452

漆製品観察表

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	備考	取上No.	整理 No.
205-1	240	IVR-43	Ⅲ	壺桶	7	19	8		特-16	J-8
205-2	240	IVR-43	Ⅲ	壺桶	14	51	19		特-4	J-1
205-3	240	IVR-47	Ⅲ	壺桶	16	27	19		特-47	J-11
205-4	240	IVU-34	Ⅲ	藍胎漆器	—	—	—			J-26
写真のみ	240	IVQ-36 Sec1	Ⅲ-2	不明	—	—	—		Sec1 特-1	J-5
写真のみ	240	IVQ-36 Sec1	Ⅲ-2	不明	—	—	—	藍胎漆器?	Sec1 特-2	J-9
写真のみ	240	IVQ-37	Ⅲ	壺桶	—	—	—		特-1	J-7
写真のみ	240	IVQ-44	Ⅲ	壺桶	—	—	—		特-42	J-6
写真のみ	240	IVQ-44	Ⅲ	不明	—	—	—	繊維痕みられる。	特-83	J-12
写真のみ	240	IVR-36 Sec1	Ⅲ-2	不明	—	—	—	藍胎漆器?	特-23	J-10
写真のみ	240	IVR-37	Ⅲ	壺桶	—	—	—		特-19	J-3
写真のみ	240	IVT-50	Ⅲ	壺桶	—	—	—		特-95	J-4
写真のみ	240	IVT-50	Ⅲ	不明	—	—	—	繊維痕みられる。	特-87	J-13
写真のみ	240	IVS-35 Sec5	Ⅲ-8	壺桶	—	—	—		特-238	
図示なし		IVO-39	Ⅲ	不明	—	—	—	壺桶?	特-20	J-17
図示なし		IVQ-36 Sec1	Ⅲ-2	不明	—	—	—		特-4	J-16
図示なし		IVQ-44	Ⅲ	不明	—	—	—	壺桶?	特-86	J-22
図示なし		IVQ-45	Ⅲ	不明	—	—	—		特-89	J-14
図示なし		IVQ-45	Ⅲ	不明	—	—	—		特-3	J-19
図示なし		IVR-36 Sec1	Ⅲ-3	不明	—	—	—		特-31	J-18
図示なし		IVR-44 Sec3	Ⅲ-5-d	不明	—	—	—		特113	J-25
図示なし		IVR-47	Ⅲ	不明	—	—	—		特-62	J-21
図示なし		IVR-48	Ⅲ	不明	—	—	—		特-61	J-20
写真のみ	240	IVS-47	Ⅲ	不明	—	—	—		特-65	J-2
図示なし		IVS-49	Ⅲ	不明	—	—	—		特-99	J-24
図示なし		IVT-50	Ⅲ	不明	—	—	—		特-98	J-23

アスファルト関連遺物観察表

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	重量 (g)	備考	取上No.	整理 No.
205-5	241	IVS-49	Ⅲ	土器内面付着	30.4	P-1796遺・注口の底部に付着		A1
205-6	241	IVS-50	Ⅲ	土器内面付着	41.9			土183
205-7	241	IVP-42	Ⅲ	土器内面付着	6.6			特-29 A2
205-8	241	IVR-42	Ⅲ	アスファルト塊	78.4			特-13 A5
205-9	241	IVU-23	Ⅲ	アスファルト塊	1.5			A4
205-10	241	IVQ-48	Ⅲ	アスファルト塊	3.8			A3
205-11	241	IVR-36 Sec1	Ⅲ-3	アスファルト塊	76.9			特-32 A6
写真のみ	241	IVR-35	Ⅲ	アスファルト塊	2.7	P-1834より下から出土		A7
写真のみ	241	IVR-51	Ⅱ	アスファルト塊	1.0			C× A8
写真のみ	241	IVR-48	Ⅲ	土器内面付着	26.6	土器の底部に付着		A9

弥生土器観察表

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	時期	特徴	整理 No.
206-1	242	IVS-44 Sec3	Ⅱ	甕・壺・鉢	不明	外面隆帯、無文頸部、2条の横走比線。横走比線に粘土粒被さる。内面は3条の凹線、縄文(LRかRLか不明)。復元口径20.7cm。	弥生1

土師器観察表

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	時期	特徴	整理 No.
206-2	242	IVS-49	Ⅱ	杯	10世紀 代	ロクロ 口縁部 大きく端反る 外面段状のロクロ目 灰白～灰黄色 焼成堅緻 砂粒と陶面骨針含む	土師器 1

陶磁器観察表

写真-Na	出土位置	層位	種別	器種	時期	産地	文様など	整理No.
写真242-1	IVP-49	I	磁器	皿類	肥前IV期	肥前	人物文か	陶磁器002
写真242-2	IVV-40	I	磁器	皿類	肥前IV期	肥前	内面見込み蛇目軸刺 外面高台付近露胎	陶磁器001
写真242-3	IVR-48	I	磁器	皿類	肥前IV期	肥前	内外面唐草文	陶磁器027
写真242-4	IVP-51	I	磁器	碗類	肥前IV期	肥前	内面一重網目文 外面二重網目文	陶磁器069
写真242-5	IVU-55	I	磁器	碗類	肥前IV期	肥前	内面四方障文か 外面青磁軸	陶磁器072-a
写真242-6	IVV-34	I	磁器	瓶類	肥前IV期	肥前	外面雨降文 内面無軸	陶磁器071
写真242-7	IVQ-30	I	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	内外面染付	陶磁器005-a
写真242-8		排土	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	内外面染付	陶磁器031
写真242-9	IVU-30	I	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	外面染付	陶磁器054
写真242-10	IVT-29	I	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	外面染付 口唇部口銘	陶磁器074
写真242-11	IVU-55	I	磁器	瓶類	19世紀中葉	瀬戸	赤が主体 一部に青あり	陶磁器081-a
写真242-12	IVU-30	I	磁器	皿類	19世紀後葉以降	不明	襷絵 外底面蛇目軸刺	陶磁器041
写真242-13	IVU-30	I	磁器	碗類	19世紀後葉以降	不明	襷絵	陶磁器052
写真242-14	IVU-30	I	磁器	瓶類	19世紀後葉以降	不明	襷絵 内面無軸 外底面無軸	陶磁器049
写真242-15	IVU-55	I	磁器	皿類	19世紀後葉以降か	不明	内面鉄絵 内外面貫入	陶磁器075
写真242-16	IVU-54	I	陶器	碗類か	19世紀中葉以降か	不明	外面鉄絵と白濁軸 内面白濁軸	陶磁器077-a
写真242-17	IVU-30	I	陶器	瓶類か	19世紀中葉以降か	不明	内外面灰軸	陶磁器062-a
写真242-18	IVT-54	I	陶器	鉢類	肥前IV期	肥前	鉢類(襷鉢)	陶磁器068
写真242-19	IVT-29	I	陶器	鉢類	19世紀中葉	悪戸	鉢類(襷鉢) 内外面鉄塗	陶磁器060-a
写真242-20	IVS-32	I	陶器	碗類か	19世紀中葉以降か	不明	内外面灰軸、貫入	陶磁器039-a
写真242-21	IVR-34	I	陶器	瓶類か	19世紀中葉以降か	不明	外面一部に灰軸? 外底面回転糸切痕露胎 内面無軸	陶磁器022
写真242-22	IVV-40	I	陶器	鉢類	19世紀中葉	悪戸	鉢類(片口鉢か) 内外面灰軸	陶磁器016
写真242-23	IVT-34	I	陶器	鉢類	19世紀中葉	悪戸	鉢類(片口鉢か) 内外面灰軸	陶磁器067
写真242-24	IVP-44	I	陶器	壺類か	肥前IV期か	肥前か	内面鉄軸 外面熱押付	陶磁器037
写真242-25	IVM-45	I	陶器	鉢類	19世紀中葉以降か	不明	内外面鉄塗 外面鉄軸掛付	陶磁器040
写真242-26	IVU-55	I	陶器	瓶類か	19世紀中葉以降か	不明	内外面灰軸	陶磁器064
写真242-27	IVU-30	I	土器	壺?*	19世紀中葉頃か	不明	出窓あり 舟カマド形	陶磁器061-a
写真242-28	IVU-30	I	土器	壺?*	19世紀中葉頃か	不明	出窓あり 舟カマド形	陶磁器059-a

報 告 書 抄 録

ふりがな	かわらたい (い) せき に						
書 名	川原平 (I) 遺跡 II						
副 書 名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告						
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第564集						
編 著 者	岡本洋 笹森一朗 齋藤岳 木村高 高山昇 高橋哲 茅野嘉雄 岩井美香子 佐々木雅裕						
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター						
所 在 地	〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702						
発行機関	青森県教育委員会						
発行年月日	西暦 2016年 3月 25日						
所収遺跡名	所在地	コ ー ド		世界遺産系 (JG2000)	調査期間	調査面積	調査原因
川原平 (I) 遺跡	青森県津軽郡西目屋村大字川原平 字福岡地内	市町村	遺跡番号	北緯	東経	4.250㎡ (報告範囲)	記録保存調査
		02343	343009	40° 31' 35"	140° 13' 31"	20110511 20111028 20130507 20131114	
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特 記 事 項		
川原平 (I) 遺跡	集 落	縄 文	建物跡 6棟 焼土遺構 42基 柱穴(単軸検出)225基 土 坑 5基 石積状配石 3基 配石遺構 15基 土器埋設遺構 30基	調文土器(前期～晩期) 石 器 土 製 品 石 製 品 漆 製 品 アスファルト 焼成粘土 紙 物 (マンソン・ジョール) 赤色顔料膠凝	・後期後葉～晩期後葉にかけての大規模な集落跡で、遺物が大量に出土。 ・石積状配石はいわゆる石積墓と同じ構造であるが、後期末葉頃に構築されたものである。 ・壺付土器後半(青森県史による後期7-4期)～晩期初期(晩期1a期)の土器がまとまって出土している。 ・人面付土器が複数個体出土している。		
	散布地	弥生(?)	なし	弥生土器(?)	・田舎館式並行(?)の破片1点		
	散布地	平安	なし	土師器	・坪の破片1点		
	散布地	近世以降	なし	陶磁器・土器・銭貨			
要 約	<p>川原平 (I) 遺跡は西目屋村役場から南西約 9 km に位置し、岩木川右岸の岡成段丘上に立地する。</p> <p>本報告は川原平 (I) 遺跡に関する 2 冊目の報告書である。今回の報告範囲は、2011年度本調査範囲全てと、2013年度本調査範囲の一部である。また、2年連続の本調査範囲には、青森県埋蔵文化財調査報告書第409集として刊行された2003年度本調査範囲も含まれており、当時確認されたままで未精査だった遺構も2013年度に精査が終了し、今回の報告となっている。</p> <p>本報告の対象となった出土遺物は、段ボール箱にして土器・土製品が724箱、石器・石製品が404箱、漆製品が3箱の合計 1,131箱である。遺物のほとんどは縄文時代後期後葉～晩期後葉に属する。</p> <p>本遺跡から検出された縄文時代の集落は後期後葉(青森県史による後期7-4期)～晩期後葉(晩期5期)にかけて継続して営まれており、津軽ダム建設予定地内における該期の拠点的な集落と考えられる。今回の報告範囲は遺物出土量に対して建物跡の検出数が少なく、居住域に隣接した「捨て場」であると考えられ、居住域の主体は今回報告範囲の北側に広がる。捨て場に重なるように焼土遺構や配石遺構、土器埋設遺構が検出されている。土器埋設遺構の検出数は、これまでに調査された青森県内の晩期遺跡では最多である。また、いわゆる石積墓と類似した遺構が3基検出され、これらの構築時期が後期末葉頃と確定したのが特筆される成果である。石積墓は青森県内で多数検出されているが、構築時期は中期末葉～後期前葉であり本遺跡とは時期が異なる。また、該期の石積墓は改葬を前提とした一斉施設と考えられているのに対し、本遺跡の石積墓類似遺構は内部が埋め戻されている点で異なり、人骨も出土しないため墓と断定することができず、石積状配石として報告した。秋田県大館市矢石部遺跡では晩期の組石墓が報告されており、本遺跡の石積状配石は秋田県方面との関連も検討する必要がある。</p> <p>大量に出土した後期後葉～晩期後葉の遺物のなかでも、後期7-4期～晩期1a期の土器はこれまで青森県内でまとまって出土することが稀であったため、本遺跡出土資料は今後土器編年の基準としての役割を果たすものと考えられる。該期の土器付着層化物25については放射炭素年代測定を実施しており、晩期開始年代を3000yrBPとする見通しが得られた。人面付土器も複数出土しており、その中には精巧に作られた注口土器も含まれる。</p> <p>なお、川原平 (I) 遺跡の発掘調査は2015年8月に完了し、今後数冊の報告書が刊行される予定である。また、放射炭素年代測定を含め、今回報告範囲に係る自然科学分析の詳細な結果は本書には収録しておらず、今後刊行される報告書にまとめて掲載する予定である。</p>						

青森県埋蔵文化財調査報告書 第564集

川原平(1)遺跡 II

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—
(第1分冊)

発行年月日	2016年3月25日
発行	青森県教育委員会
編集	青森県埋蔵文化財調査センター 〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152番15 TEL (017)788-5701 FAX (017)788-5702
印刷	ワタナベサービス株式会社 〒030-0803 青森県青森市安方二丁目17-3 TEL (017)777-1388 FAX (017)735-5982
